



札幌市立大学年報

2019年度



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

目次

I 概要

1	大学の概要	1
2	デザイン学部の概要	4
3	看護学部の概要	5
4	デザイン研究科の概要	6
5	看護学研究科の概要	7
6	助産学専攻科の概要	8
7	2019年度の特筆すべき事項	9
8	行事	10

II 教育活動

1	教育活動概要	11
2	共通教育・連携教育	12
3	デザイン学部	14
4	看護学部	30
5	デザイン研究科	52
6	看護学研究科	58
7	助産学専攻科	71
8	デザインと看護の連携教育	74

III 研究活動

1	個人研究費による研究一覧	76
2	学内公募研究課題一覧	79
3	学外からの研究費、研究補助金などの受入状況	81
4	寄附金の受入状況	83
5	その他研究助成	83
6	海外出張記録	83

IV 社会活動

1	地域貢献諸活動	86
2	公開講座開催実績	98
3	国・自治体審議会等への就任状況	102
4	専門職支援・セミナー講師等	107
5	国際交流実績	115
6	サテライトキャンパスの利用状況	116

V キャリア支援活動

1	デザイン学部	117
2	看護学部(助産学専攻科含む)	122
3	デザイン研究科	125

VI 令和2年度入学者選抜結果

1	デザイン学部・看護学部	128
2	デザイン研究科・看護学研究科	135
3	助産学専攻科	139

Ⅶ 附属図書館

1 概要	141
2 利用状況	142

Ⅷ 法人・学内運営の概要

1 2019年度公立大学法人札幌市立大学 組織図	143
2 役員会及び審議会の審議状況	143
3 役員会及び審議会委員名簿	144
4 経営会議	145
5 部局長会議	145
6 企画室	146
7 広報室	146
8 教授会	146
9 地域連携研究センター	147
10 附属図書館	148
11 アドミッションセンター	149
12 キャリア支援センター	149
13 教育支援プロジェクトセンター	149
14 学内委員会	149
15 構成員名簿	151
16 FD・SD活動	157

Ⅸ 資料

1 2019年度計画	159
2 2019年度決算報告書	169
3 教職員数	170
4 管理職一覧表	170
5 学生定員及び学生数	171
6 授業料等	172
7 奨学金貸与・授業料減免実施状況	172
8 学生の入選・受賞(デザイン学部)	174
9 学生の課外活動	175
10 後援会	176
11 教育・研究刊行物一覧	176
12 施設	177
13 大学へのアクセス	182
14 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』	183

X 教員一覧

1 教員一覧	184
2 教員業績一覧	185



I 概要

1 大学の概要

1) 設置の経緯

環境問題や少子高齢化、高度情報化、国際化などの進展に伴い、社会構造がますます複雑化する中で、学術研究の高度化、学際化とともに、社会では高い資質と能力を持った職業人が強く求められている。

特に、札幌市においては、公共事業の削減が進む中、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要であり、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

また、今後も当分の間、看護職の不足が続くと予測されているにもかかわらず、看護職養成施設の廃止や定員の削減に伴う新卒看護職の減少が懸念されている。そうした中、在宅医療を支える訪問看護等の需要増加を始めとして、今後は、患者の生活の質向上を目指したケアを行うことができる、広範で高度な看護能力を有する看護職の確保が求められている。

一方、今日の高等教育機関には、その高度な教育研究機能を通じて、これまで以上に地域社会への貢献を果たすことが大きな社会的要請となっている。

1991年に開校した札幌市立高等専門学校は、中学卒業時から5年間の早期一貫教育を行うデザイン系高等教育機関として、実践的職業人を数多く輩出してきたほか、企業や行政からの受託研究などを通じて、産業の振興や市民生活の向上に貢献してきた。

また、1965年に開校した札幌市立高等看護学院は、高校卒業後の3年課程の専修学校として、市立札幌病院を始めとする札幌市内の医療機関に看護職を多数輩出し、市民の健康支援に貢献してきた。

このような状況の中で、先の地域課題への対応や社会的要請にこたえるために、札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院の大学化の必要性と方向性について幅広い論議を行うべく、2001年11月、「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」を設置した。

大学化検討懇話会は、市民論議の中心的役割を担う立場から、インターネットを始め、さまざまな形で寄せられる市民の意見に耳を傾け、審議経過を逐次公開しながら検討を進め、2002年12月、約1年間にわたる市民論議の集大成として、「札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院が社会構造の変化に的確に対応し、かつ、地域社会の要請にこたえていくためには、4年制大学化によるレベルアップをできるだけ早期に図る必要がある。」とした「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」をまとめた。

こうした市民論議の経過を踏まえて、札幌市では、2003年9月に「(仮称)札幌市立大学基本構想」を策定し、2006年春の開学を目指すこととした。

そして、この基本構想に盛り込まれた方向性を具体化するために、2003年11月に大学教育の専門家を中心とする「(仮称)札幌市立大学設置準備委員会」を設置して調査・審議を進め、学部・学科や教育課程、学生の受け入れ、校地・校舎のあり方といった事項について、準備委員会における検討内容を踏まえて、2004年7月に「(仮称)札幌市立大学基本計画」を策定し、2005年4月に札幌市立大学の設置認可申請を行った。同年12月に大学の設置が認可され、2006年4月に開学した。

また、デザインと看護の学部での教育を基盤として、より高度な専門的知識を有する高度専門職業人及び研究者・教育者の育成を目的として大学院修士課程を設置することとした。

大学院修士課程は大学院基本計画に基づき学部1期生の卒業時期に合わせた開設が計画され、2009年5月に札幌市立大学大学院設置認可申請書を文部科学省に提出、10月に大学院の設置が認可され、2010年4月に札幌市立大学大学院修士課程を開設した。

大学院修士課程の開設と併せて、より高度な能力を持った助産師の養成が必要とする社会的要請を受け、本学に助産学専攻科を設置して助産師を育成することとした。

その後、2011年5月に大学院デザイン研究科・看護学研究科の課程変更認可申請書(修士課程を博士課程に変更)を文部科学省に提出、同年10月に認可され、2012年4月に大学院デザイン研究



科・看護学研究科に博士後期課程を開設するとともに、両研究科の修士課程を博士前期課程に改称した。

2) 理念

札幌市立大学では、造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させたデザイン学と看護学を教育研究の対象とする。

また、札幌市立大学では、次の二つの理念を掲げて、デザイン学及び看護学に関する教育研究に取り組むとともに、社会における有為な人材の育成に取り組む。

① 「人間重視を根幹とした人材の育成」

デザイン学と看護学は、いずれも人間を対象とした学問領域であることから、両者に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、一人の人間から社会全体までを対象に、安全で快適な暮らしを創造できる職業人を育成するとともに、知識・技術に加え、教養と人間性を涵養し、有為な人材を育成する。

② 「地域社会への積極的な貢献」

札幌市立大学が市民からの負託にこたえ、「市民に開かれた大学」、「市民の力になる大学」、「市民が誇れる大学」という三つの視点を掲げて、地域貢献という使命を果たし続けていくため、時代の要請に柔軟に対応しながら質の高い教育研究を追究する。

3) 特長

札幌市立大学では、教育研究上の理念のもと、「デザイン学部」及び「看護学部」の二つの学部を設けて教育研究を行うとともに、次の二つの特長を備え、開学後及び将来にわたっての大学の基本的な方向性としている。

① 「デザイン学部と看護学部の連携」

デザイン学部と看護学部を併せ持つという特長を生かし、両学部の教員が連携・共同して教育を行うとともに、保健・医療・福祉分野を対象とするデザインなどを共同研究し、両学部の連携を目指す。

② 「幅広いネットワーク」

行政施策や公的機関、市民、産業界などと連携することにより、幅広いネットワークを持った大学とし、地域課題等に対応した教育研究を積極的に展開することを目指す。

4) 目的

① 学術研究の高度化等に対応した職業人の育成

デザインと看護に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、デザイン分野においては、幅広いデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、看護分野においては、医療の高度化に対応する知識・技術に加え、問題解決能力を有し、他職種と連携できる職業人の育成を目指す。

② まちづくり全体により大きな価値を生み出す「知と創造の拠点」

デザイン学部の設置によって、産業や芸術・文化の振興、都市機能・都市景観の向上などへの貢献を果たすとともに、看護学部の設置によって、少子高齢社会における地域看護の充実、看護職への学習機会の提供などを通じた、市民の健康の保持増進への貢献を果たす。

また、札幌市の行政施策との緊密な連携によって、地域課題の解決に積極的に取り組み、その成果を広く市民に還元して地域貢献を実現する。



沿革

1965年4月	札幌市立高等看護学院 開校
1991年4月	札幌市立高等専門学校 開校
1996年4月	札幌市立高等専門学校専攻科 開設 札幌市立高等専門学校附属研究所 開設
2001年11月	「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」設置
2002年12月	同懇話会による「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」
2003年9月	「（仮称）札幌市立大学基本構想」策定
2003年11月	「（仮称）札幌市立大学設置準備委員会」設置
2004年7月	「（仮称）札幌市立大学基本計画」策定
2005年12月	大学設置認可
2006年3月	公立大学法人札幌市立大学 設立認可
2006年4月	札幌市立大学 開学
2006年10月	サテライトキャンパス 開設
2007年4月	地域連携研究センター 開設 アドミッションセンター 開設
2008年3月	札幌市立高等看護学院 閉校
2008年4月	キャリア支援センター 開設
2008年8月	認定看護管理者制度サードレベル教育課程 開講
2009年3月	札幌市立高等専門学校本科 閉科
2009年10月	大学院（修士課程）設置認可
2009年12月	助産学専攻科の助産師学校指定通知
2010年4月	大学院（修士課程）デザイン研究科・看護学研究科・助産学専攻科 開設
2011年3月	札幌市立高等専門学校専攻科 閉校
2011年10月	大学院（博士課程）変更認可
2012年4月	大学院（博士後期課程）開設 大学院（博士前期課程）に改称



2 デザイン学部の概要

1) 特色

デザイン学部では、大学の特色を踏まえ、幅広い職業人の育成を行うことを基盤とし、デザインという特定の専門分野の教育研究を通じて、社会に貢献することを特色としている。具体的には、優秀で創造的な人材を社会に輩出するほか、企業との共同研究や受託研究といった産学連携、個人の創造性・スキルに基盤を置き、知的資産によって価値を生み出す創造的な産業の振興などを通じて社会に貢献するものである。

また、2005年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある七つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、デザインという「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

2) 教育目的

デザイン学部では、次のような人材の育成を目的とする。

① 幅広いデザイン能力を持った人材の育成

デザインの基礎的な理論や技術について幅広く教育を行い、高度な職業人に必要なデザイン能力を持った人材を育成する。

② 人間中心の視点に立ったデザインに取り組める人材の育成

造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させ、人にやさしいデザインや使いやすいデザインなど、人間中心の視点に立ったデザインに取り組むことのできる人材を育成する。

③ 地域社会に貢献できる人材の育成

時代や社会の要請を的確に捉えた教育研究に取り組むとともに、地域産業や芸術・文化の振興をはじめ、都市機能や都市景観の向上など、まちづくり全体に幅広く貢献する人材を育成する。

3) 育成する人材像

札幌市においては、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野や、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要視されており、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

デザイン学部では、そうした社会の人材需要にこたえるとともに、教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

① 多様なコミュニケーション能力

的確に意思疎通を図り、豊かな人間関係を形成することができる能力のほか、海外とのコミュニケーションに必要な実用的な英語能力、高度情報化社会に不可欠な情報処理能力を養う。

② 課題探求能力と問題解決能力

社会の課題やニーズを自ら探求する能力と、その問題をデザインによって解決することのできる能力を養う。

③ デザインの基礎となる表現力

豊かな感性を涵養するとともに、創造的な発想と豊かな表現力を養う。

④ 人間や環境に配慮したデザイン思考能力

人間にとって使いやすいデザインや環境への負荷に配慮したデザインを行う能力を養う。

⑤ 新たな価値を発見する柔軟な発想力

固定観念にとらわれず、さまざまな視点からデザインに取り組むことのできる柔軟な発想力を養う。

⑥ 企画力や管理・運営能力

デザインを実践的に活用することのできる企画力や管理・運営能力を養う。



3 看護学部の概要

1) 特色

看護学部では、幅広い職業人を育成することを基盤として、看護学という特定の専門的分野の教育研究を通じて、社会貢献を果たしていくことを特色としている。具体的には、確実な看護実践力を持ち、高い資質を有する看護職を輩出するとともに、保健・医療・福祉行政や関係機関などと連携し、地域看護の充実や市民の健康の保持増進につながる研究を通して社会に貢献するものである。

したがって、看護学部では、2005年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある7つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、看護という「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

2) 教育目的

看護学部では、看護職として活躍する次のような人材の育成を目的とする。

① 的確な実践力を有する人材の育成

看護は、看護の理論や知識を基盤とした看護実践を通して研鑽を重ねつつ、専門性を深める学問である。

高度・専門化する医療、多様化する看護ニーズに対応するためには、緻密な観察に基づく的確な判断能力と技術力、さらにこれらを基盤とした問題解決能力が求められる。また、人々がより高い水準の健康を維持・獲得するためには、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を用いて、自律的にケアを推進する実践的な援助能力が求められる。

このため、あらゆる健康レベルや場において、人々が快適で安全に安心して生活できるよう、理論・知識・根拠に基づき的確に看護を実践できる技術と能力を有する看護職を育成する。

② 人間性を尊重した対人関係形成能力を備えた人材の育成

看護の援助過程は、看護職と看護を必要とする人との人間関係形成により進行するものである。看護職は、人間の尊厳を重視し、安心感を与える態度・態様が求められるとともに、看護行為を実施する上では、すべての人に対する人権の擁護と倫理的判断ができるように常に志向することが肝要である。

また、医療施設における看護はもとより、福祉施設や在宅における看護、地域における看護など、看護職に求められる能力、期待される役割が増大しているとともに、高度化する医療は、さまざまな職種の医療従事者を必要としており、看護職や他の従事者と連携・協働し、対象である人間を中心とする視点に立った医療・看護を提供することが重要である。

このため、対象あるいは医療従事者間との意思疎通を図り、対人関係の形成のために、身体的側面だけではなく、心理的、社会的側面から人間を理解し、幅広い教養を基盤とした豊かな人間性と倫理観を備えた看護職を育成する。

③ 地域社会に貢献できる人材の育成

市民の健康に対するニーズの増大や価値観の多様化などに伴い、看護職に対する需要は増大、複雑化してきており、本学では、このような地域の看護需要に対応することが必須になる。

このため、保健・医療・福祉などの学びに加えて、幅広い分野・職種と連携し、創造的、主体的に学習することで、積極的に地域社会における市民の健康の保持増進に貢献できる人材を育成する。また、看護職に対する需要は、それぞれの地域ごとに異なっており、札幌市はもとより、北海道内あるいは全国的な視点から、看護の発展に寄与できる看護職を育成する。

3) 育成する人材像

札幌市には、多くの高度・専門的医療機関が立地し、北海道における高度・先進的医療技術の中核的役割を担っている。少子高齢化が急速に進行し、さらに、独居老人世帯数、高齢夫婦世帯数も増加しており、このような社会情勢に的確に対応した看護職が求められている。

このため、看護学部では、医療機関における高度・専門的医療を担う看護職を育成することはもとより、在宅の高齢者等に対する看護、保健指導など地域の看護需要に対応できる看護職を育成す



ることとし、こうした社会の人材需要の充足と教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

- ① 対人関係形成能力
豊かな人間性と倫理的判断力を備え、安心感を与える的確な意思疎通により対人関係を形成できる能力を養う。
- ② 権利擁護・安全なケア提供能力
さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階、さまざまな場において、対象の権利を擁護し、安全なケアを提供できる能力を養う。
- ③ 的確な判断能力と問題解決能力に基づく看護実践技術力
緻密な観察と科学的知識に基づく的確な判断能力と問題解決能力を培い、これらを基盤とした看護実践技術力を養う。
- ④ 医療従事者間における調整・指導のための基礎的能力
看護対象者の視点から保健・医療・福祉を追究し、各分野における看護の専門性と役割を認識の上、医療従事者間の調整や指導的役割を担うための基礎的な能力を養う。
- ⑤ 課題解決力を高めるための自己研鑽能力
主体的・創造的に課題探求に取り組み、解決する力を高めるために継続的に自己研鑽できる能力を養う

4 デザイン研究科の概要

1) 特色

デザインの役割が拡張し、従来のように造形や視覚表現にとどまらず、社会や地域、産業等の複雑な問題をデザイン課題として受け止め、人間や環境に配慮したデザイン提案によりその解決策を実現できる、高度なデザイン能力を有する人材が必要となっている中で、デザイン研究科では、よりよい地域社会の実現に貢献できる高度専門職業人及び研究者・教育者を育成するため、以下の能力を修得することを特色とする。

また、2005年9月中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の四つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組む。

【博士前期課程】

- ① 複合的かつ複雑な課題・問題を解決する「課題解決能力」
- ② デザインを通じて新たな価値を見出す「創造力」
- ③ 課題・問題の発見、分析から具体的事業化までを一貫したデザインプロセスとしてまとめる「企画調整能力」
- ④ 一連のデザインプロセスを具体化する「実践能力」

【博士後期課程】

- ① 自身の専攻分野の専門的知識・技能を中心としつつ、関連近隣分野の基礎的素養をも修得し、幅広い見識から事象の本質を捉える「課題発見・分析・解決能力」
- ② デザインの視点を通じて自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究遂行能力」
- ③ 国内外の専門家や研究者とのコミュニケーションを図りながら、広く社会全体を俯瞰し、「リーダーシップ」を発揮できる確かな「調整力」及び「指導力」



2) 教育目的

【博士前期課程】

地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業、芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としている。

【博士後期課程】

自立した研究者として独創的な視点から社会課題を発見するとともに、深く研究に取り組み、デザイン分野における学術理論及び技能の高度化の追求を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

3) 育成する人材像

【博士前期課程】

- ① 屋内外の様々な空間を対象とする空間デザイン分野において、人間の生活や自然環境に配慮しつつ、建築デザインや環境デザインに関する高度なデザイン能力を有する人材。
- ② 人間生活に欠かせない多様な製品並びにそれを支えるインタフェース（操作性）について、人間中心の生活システムとしての製品やそのインタフェースをデザインできる高度なデザイン能力を有する人材。
- ③ 人々の豊かなコミュニケーション活動を支えるコンテンツの制作と、多様なコンテンツのメディア展開を企画・構築し、運営に至るプロセスをプロデュースできる高度なデザイン能力を有する人材。

【博士後期課程】

- ① デザインを通じた組織構築や質改善のためのシステム開発を実践し、組織において指導的立場となり得る人材。
- ② 自立して研究活動を行い、デザインの学問的体系を構築できる人材。

5 看護学研究科の概要

1) 特色

近年、看護分野は専門分化しており、これに対応する卓越した実践能力を有する看護職及び統合的な調整能力を有する看護管理者の育成が急務となっている。

また、これら卓越した臨床能力及び看護の専門性のさらなる向上には、看護の未来を見据えた洞察力・創造力を有し、学問的理念を基盤として研究を推進する自立した教育者・研究者の果たす役割が大きい。

看護学研究科は、このような社会の要請に応える人材を育成し、札幌を発信源に、21世紀の看護の一端を担い、これを保健・医療・福祉分野へ発信できる、看護のバランス感覚に優れた人材の育成を目指している。

なお、本研究科では、2005年9月5日中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の4つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組むことを特色とし、以下の能力の修得を目指している。

【博士前期課程】

- ① 正確性・緻密性及び独創性を有する高度な臨床看護実践能力
- ② 高度な倫理観に基づき、専門看護分野において分析・判断・行動・評価ができる能力
- ③ 他職種と協働し、看護における将来展望に資する統合・調整ができる能力
- ④ 積雪寒冷地における健康づくり支援に取り組む能力

【博士後期課程】

- ① 看護に対する社会的課題を的確に認識し、将来を見据えた技術開発やシステムの検証・創出、組織での施策提言等を行う能力



- ② 豊かな人間性や広い視野に加え、高度な倫理観、専門知識や技能に裏打ちされる高い管理能力、指導能力
- ③ 高度な学識と臨床の両面から、看護学の基礎研究や応用研究に自立的に取り組み、実践科学としての看護学を追究する能力

2) 教育目的

【博士前期課程】

広い視野に立って看護学の基盤を学修した個々人の専門性及び学識を深めつつ、看護学を発展させることのできる研究者・教育者や様々な形態での看護の実践及び幅広く地域社会に貢献できる高度で専門的な人材を育成することを目的としている。

【博士後期課程】

自立した研究者として、様々な看護現象に対して深く研究に取り組み、看護の枠組みの再構築やシステム開発や、技術開発などを行い、看護分野における学術理論及び技能の高度化の追究を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

3) 育成する人材像

【博士前期課程】

- ① 保健・医療の中核を担う高度臨床看護実践者（専門看護師を含む）
- ② 総合的に看護ケアをマネジメントする看護管理者
- ③ 地域や在宅において健康な生活と福祉の向上に率先して貢献する看護職
- ④ 看護の未来を創造・開拓する看護研究者・看護教育者
- ⑤ 看護技術の開発及び評価能力を備える人材
- ⑥ 幅広い視野のもとで新しい看護システムや制度の開発に資する人材

【博士後期課程】

- ① 他職種との協働・連携を円滑に行える人間性とともにより交渉力や調整能力、さらにはイノベーション力等を推進できる高度専門職業人
- ② 健康問題や社会の動向をグローバルに捉え、高度な専門知識と豊かな臨床経験の両面から、エビデンスに基づく基礎研究や応用研究を自立的に推進して的確な分析・評価等を行い、地域や保健医療機関等が抱える課題解決に真摯に向き合う研究者
- ③ 大学等の高等教育機関において、次世代を担う看護職に高度な教育・研究の成果とその方法論、指導論等をより高い倫理観や職業観をもって教授できる教育能力を有する教育者

6 助産学専攻科の概要

1) 特色

助産学専攻科では、学士課程4年間に於いて培った自己研鑽力が発揮できる教育課程を特色としている。

その1つとして、選択科目を設定せず、学生個々に助産学に広く関連した課題を発見し、自ら学びを深める機会を創っている。加えて、この学びの更なる発展に向け文献研究を行う。

また、1年間の学修では、助産師に必要な基本的知識・技術を土台に、ハイリスク事例に対応できるような高度な知識・技術を熟練した助産師と専門医のもとで修得する。この学修では、看護師資格が大いに役立っている。

2) 教育目的

札幌市立大学の理念である「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を基盤に、各種助産技術能力の正確な修得を目指し、次のような教育を目的とする。

- ① 助産師に必要な基本的かつ高度な知識が修得できる。
- ② 助産師に必要な基本的かつ正確な助産技術が修得できる。
- ③ 助産師に必要な知識と技術を統合し、助産ケアが実践できる。



3) 育成する人材像

北海道、札幌市においては、需給見通しで助産師の不足が見込まれる一方、産科医師の減少などにより、助産師の需要がさらに増加する可能性がある。また、少子高齢化が急速に進行する中で、より一層安全で安心な分娩介助が求められるとともに、思春期や更年期への相談など、助産師が担う役割は広範化・高度化する傾向にある。

このため、助産学専攻科においては、次のような人材を育成する。

- ① 助産に関する高度な知識と正確な技術を幅広く有する助産師
- ② 地域社会における母子健康の向上に貢献できる助産師
- ③ 人間性豊かな助産師

7 2019年度の特筆すべき事項

1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応（大学運営について）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大に伴い、特に2020年2月以降、大学運営に様々な影響が生じたことから、大学としての種々の対応に係る意思決定を迅速に行うため、2月27日に危機管理対策本部を設置した。

入学試験は感染症罹患の場合に受験できないことを周知する等の対策を行ったうえで予定どおり実施したものの、3月19日の卒業式はインターネット方式により開催することとした。入学式についても、インターネット方式とすることを決定した。

また、学生が罹患した場合やその疑いがある場合の報告指針の周知、感染防止対策の呼びかけ、各種発表会・祝賀会・卒業パーティ等の中止・実施方法の変更、登校禁止措置をはじめキャンパス施設利用や活動の制限、行動自粛要請、入試における感染防止対策や個別対応等を行ったほか、前期開始に向けた準備として、前期ガイダンス実施方法の変更、新年度授業開始日の後ろ倒しの決定、遠隔授業や履修登録の準備等を行った。

2) デザイン学部新カリキュラム完全移行

デザイン学部新カリキュラム完全移行学年進行により、全ての学年が2016年度に開始した新カリキュラムの学生となった。4年間の学びの集大成である卒業研究に関しては、前期科目「卒業研究Ⅰ」と後期科目「卒業研究Ⅱ」に再編成され、それぞれに評価、審査を行った。

3) Pacific Northwest College of Art (PNCA) との学術交流協定調印

2014年に札幌市の姉妹提携都市の米国ポートランド関係者が来学したことに端を発し、交流が始まった。2019年は、札幌市・ポートランド市の交流60周年記念事業があり、市長の訪問団に同行した、細谷デザイン学部長ならびに松浦看護学部長がPNCAを訪問した。

9月には在札幌米国総領事館からの補助金を得て、デザイン学部生4名、教員2名を5日間のポートランドでの「SCU-PNCA 異文化理解と制作活動を通じた国際交流ワークショップ」に派遣した。その成果は地下歩行空間で発表した。ワークショップでPNCAを訪問した折、学術交流協定（3年自動更新）を9月13日付で調印した。協定内容は；①教員及び研究者の交流、②学生の交流、③学術資料、刊行物及び情報等の交換、④共同研究及びシンポジウムの実施、⑤短期特別教育プログラムの実施、⑥その他の学術及び文化交流の実施



8 行事

行 事 名	月 日
前期開始	4月1日
入学式・後援会総会	4月2日
前期ガイダンス	4月3日
前期授業開始	4月4日
前期履修登録期間	4月4日～11日
健康診断	4月8日・10日
第1回オープンキャンパス	6月15日
デザイン学部3年次編入学試験	7月20日
大学院デザイン研究科博士前期課程推薦選抜入学試験	7月20日
前期定期試験期間	8月2日～9日
夏季休業	8月10日～9月1日
看護学部3年次編入学試験	9月7日
助産学専攻科入学試験	9月7日
第2回オープンキャンパス	9月21日
大学祭	9月21日・22日・23日
後期ガイダンス	9月20日・26日・27日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月28日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月28日
後期授業開始	9月24日・27日・30日
後期開始	10月1日
後期履修登録期間	10月1日～8日
デザイン学部特別選抜入学試験（推薦入学・社会人）	11月23日
看護学部特別選抜入学試験（推薦入学・社会人）	11月23日
冬季休業	12月25日～1月5日
後期定期試験期間	1月6日～7日・2月5日～18日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月8日
大学院看護学研究科博士後期課程入学試験	2月8日
デザイン学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
看護学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
デザイン学部特別選抜入学試験（私費外国人留学生）	2月25日
春季休業	3月1日～31日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月29日
大学院デザイン研究科博士後期課程入学試験	2月29日
デザイン学部一般選抜入学試験（後期日程）	3月12日
卒業式・修了式	3月19日



II 教育活動

1 教育活動概要

1) デザイン学部・看護学部

デザイン学部・看護学部共通の「共通教育科目」は、両学部に通ずる「人間重視」の考え方を基本に、両学部の学生が一緒に学習することにより、学部間の交流を深め、異なる分野を志す学生が互いの発想に触れ、広い視野を持つことができるよう体系化した。また、「共通教育科目」は、①大学における心構えや履修方法、あるいは基本的な学習の進め方や研究方法を学ぶ「導入科目」、②文化や人間、社会に対する理解を目的とする「教養科目」、③語学などのコミュニケーション・ツールの修得を目的とする「コミュニケーション科目」の3つの区分で構成した。

デザイン学部の「専門教育科目」は、デザインの基礎的な理論や技術から、より専門性の高い知識や技術、実践的・発展的な知識やデザインの方法までを体系的に理解できるよう、①「基本科目」、②「展開科目」、③「発展科目」の3つの科目群で構成した。また、学芸員の資格を取得するために必要となる科目を「自由科目」という区分で開講した。その他、専門教育科目を履修する上で必要となる技術や知識を補完する目的で特別講義「リフレーミングの活用-人間中心設計を基本としたデザイン思考-」を実施した。

看護学部の「専門教育科目」は、専門科目を学ぶ前提や基礎となる「専門基礎科目」と看護の専門的知識・技術を学ぶ「専門科目」で構成し、段階を踏んで学修できるよう体系化している。特に「専門科目」の各看護領域の授業カリキュラムは、まず「概論科目」により基本理念や考え方を理解した後、「演習科目」「実習科目」を学ぶことで、高度な実践的能力を修得できる構成としている。「実習科目」は、1年次から4年次まで開講し、各学年の講義・演習のレベルに応じた実習を行っている。また、平成24年度（編入学生は26年度）以降の入学生のうち、保健師国家試験受験資格の取得を希望する場合は、必要な単位を修得したうえで保健師コースを選択することとしている。保健師コースは3年次前期終了時に選択（編入学生を含む）することとしており、選択希望者が30名を上回る場合は、面接及び3年次前期までの成績等により総合的に判定し、選択者を決定している。

2) デザイン研究科

デザイン研究科博士前期課程の授業科目は、幅広い視野を身につけ、デザインと看護に共通する関連領域の基礎的素養を涵養するため、看護学研究科と合同で行う「研究科連携科目」とデザイン分野における高度専門職業人及び研究者・教育者に必要な専門知識・技術、研究方法を修得するための「専門教育科目」の2つに区分し、「専門教育科目」はさらに「基本科目」、「展開科目」、「実践科目」及び「修士研究」の4つの科目群で構成され、学生がデザインの高度かつ専門的な知識・技術を学ぶことができるよう体系化している。

デザイン研究科博士後期課程では、「基本科目」、「展開科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分を設け、体系的なコースワークによる教育課程を編成し、研究指導を体系的・組織的に展開する教育・研究環境を整備している。それにより、専門分野に関する高度な専門知識及び能力を修得させるとともに、関連する分野の教育を行っている。

3) 看護学研究科

看護学研究科博士前期課程の授業科目は、課程制大学院の趣旨に従い、教育目標を達成するために体系化した構成としている。科目区分は、デザイン研究科と合同で授業を行う「研究科連携科目」と、看護学の各専攻分野に関する高度の専門的知識および能力を修得する「専門教育科目」に区分し、卓越した能力を発揮できる人材を育成する。また、専門看護師（CNS）教育課程の認定基準に沿った授業科目も配置し、広く保健・医療・福祉や看護学の発展に寄与することを目指している。



看護学研究科博士後期課程は、課程制大学院としてコースワークを意識し、コースワークがリサーチワークの基礎となるよう学修できる教育課程を構成している。「連携科目」、「専門科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分に基づき体系的な授業展開を行い、看護学開発の基盤形成をねらいとする「看護学特論（1年次前期）」の学修を通じて、社会を広く俯瞰し看護学のさらなる進化、発展に取り組む提案力を形成する。各特講科目では、高度な創造性を涵養して主体的に課題発見や新たな提案を行い、「特別研究」で独創的な研究を取りまとめる。

4) 助産学専攻科

助産学専攻科では、助産に関する幅広く、高度な知識と正確な技術を有し、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目標として教育課程を編成している。また、助産師活動に不可欠な技術・能力を高い次元で身につけるため、学部教育と同様にOSCEを導入し、各種助産技術能力の修得度を適正に評価している。

2 共通教育・連携教育

1) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
スタートアップ演習	演習・60時間	1年次前期	◎町田佳世子 松井 美穂 片山めぐみ 小宮加容子 安齋 利典 矢久保空遥 金 秀敬 大島 卓 丸山 洋平 森 朋子 工藤 京子 大野 夏代 小田 和美 近藤 圭子 渋谷 友紀 伊東健太郎 鬼塚 美玲 武富貴久子 牧田 靖子 黒田 紀子
哲学と倫理	講義・30時間	1年次前期	★中島 孝一
体のしくみ	講義・30時間	1年次前期	小宮加容子
人間関係を考える	講義・30時間	1年次前期	★椿 武愛子
自然科学を学ぶ	講義・30時間	1年次前期	★小野田波里
札幌を学ぶ	講義・30時間	1年次前期	◎町田佳世子 丸山 洋平
英語 I A	演習・30時間	1年次前期	★赤間 荘太 ★遠藤 愛 ★清水 香
英語 I B	演習・30時間	1年次前期	松井 美穂 ★白土 淳子 ★鈴木 一生 ★長嶋みさと
英語 I C	演習・30時間	1年次前期	★バマイ モクター ★山田 パトリシア
日本語表現法	演習・30時間	1年次前期	★斎木 正直 ★齊田 春菜 ★錦戸 葵 ★安永 立子
基礎カウンセリング	演習・30時間	1年次前期	★小坂 守孝
情報リテラシー I (デザイン学部)	演習・30時間	1年次前期	大淵 一博
情報リテラシー I (看護学部)	演習・30時間	1年次前期	★杉野 佑太
宗教と思想	講義・30時間	1年次後期	★堀 雅彦
芸術と文化	講義・30時間	1年次後期	★望月由美子
心のしくみ	講義・30時間	1年次後期	★岸 靖亮
動物の暮らし	講義・30時間	1年次後期	★桑原 禎知
現代社会と家族	講義・30時間	1年次後期	丸山 洋平
現代社会と経済	講義・30時間	1年次後期	★近藤 公彦



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
統計の世界（看護学部）	講義・30時間	1年次後期	丸山 洋平
英語ⅡA	演習・30時間	1年次後期	町田佳世子 ★赤間 荘太 ★遠藤 愛 ★清水 香
英語ⅡB	演習・30時間	1年次後期	松井 美穂 ★白土 淳子 ★鈴木 一生
英語ⅡC	演習・30時間	1年次後期	★バマイ モクター ★山田 パトリシア
プレゼンテーション	演習・30時間	1年次後期	◎武田 亘明 矢久保空遥
対人コミュニケーション	演習・30時間	1年次後期	町田佳世子
手話	演習・30時間	1年次後期	★高橋 淨
情報リテラシーⅡ（デザイン学部）	演習・30時間	1年次後期	★児玉 潤二郎
情報リテラシーⅡ（看護学部）	演習・30時間	1年次後期	★杉野 佑太
生活と文化	講義・30時間	2年次前期	★宮本 花恵
環境を考える	講義・30時間	2年次前期	矢部 和夫
現代社会と国際関係	講義・30時間	2年次前期	★青木 隆直
ボランティア活動を考える	講義・30時間	2年次前期	★篠原 辰二
日本国憲法を学ぶ	講義・30時間	2年次前期	★岡田 信弘
実践英語A（デザイン学部）	演習・30時間	2年次前期	松井 美穂
実践英語B（デザイン学部）	演習・30時間	2年次前期	★バマイ モクター
実践英語A（看護学部）	演習・30時間	2年次前期	★二ノ宮靖史
実践英語B（看護学部）	演習・30時間	2年次前期	★山田 パトリシア
グループ・ダイナミクス	演習・30時間	2年次前期	★山口 司
教育を考える	講義・30時間	2年次後期	★木下 卓弥
ジェンダーと文化	講義・30時間	2年次後期	松井 美穂
健康とスポーツ（看護学部）	講義・30時間	2年次後期	★出町 道代
韓国語	演習・30時間	2年次後期	★松田 由紀
中国語（看護学部）	演習・30時間	2年次後期	★照井はるみ
ロシア語（看護学部）	演習・30時間	2年次後期	★ジダーノフ ウラジーミル
健康とスポーツ（デザイン学部）	講義・30時間	3年次前期	★出町 道代
中国語（デザイン学部）	演習・30時間	3年次前期	★照井はるみ
ロシア語（デザイン学部）	演習・30時間	3年次前期	★ジダーノフ ウラジーミル
統計の世界（デザイン学部）	講義・30時間	3年次後期	丸山 洋平

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



3 デザイン学部

1) 2019年度時間割

① 1年前期

		月	火	水	木	金	
1	9:00 ～ 10:30		材料加工 理論/ 実習 I	表現基礎 (描画)	情報リテラシー I	体のしくみ	人間関係を考える
					時間表現理論/演習 I		
2	10:40 ～ 12:10				情報リテラシー I	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	哲学と倫理
					時間表現理論/演習 I		
3	13:10 ～ 14:40	デザイン史	デザインと数学	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	札幌を学ぶ	
4	14:50 ～ 16:20	人間空間デザイン論	材料加工 理論/ 実習 I	表現基礎 (描画)	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	スタートアップ演習	英語 I A 英語 I B 英語 I C 基礎カウンセリング
5	16:30 ～ 18:00	人間情報デザイン論			自然科学を学ぶ		英語 I A 英語 I B 英語 I C 基礎カウンセリング

② 1年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	情報リテラシー II	Webデザイン	芸術と文化	デザイン工学	手話
2	10:40 ～ 12:10	情報リテラシー II	Webデザイン	宗教と思想	現代社会と家族	手話
				動物のくらし	心のしくみ	
3	13:10 ～ 14:40	表現基礎 (製図)	材料加工理論/実習 II	英語 II A 英語 II B 英語 II C プレゼンテーション	英語 II A 英語 II B 英語 II C プレゼンテーション	現代社会と経済
		表現基礎 (構成)			対人コミュニケーション	
4	14:50 ～ 16:20	表現基礎 (製図)		英語 II A 英語 II B 英語 II C	英語 II A 英語 II B 英語 II C	英語 II A 英語 II B 英語 II C
		表現基礎 (構成)				
5	16:30 ～ 18:00	視覚・色彩心理学			アイデア生成プロセス	英語 II A 英語 II B 英語 II C



③ 2年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	デザイン総合実習Ⅰ	現代社会と国際関係	コミュニティデザイン論	建築計画論	デザイン研究法 (人間空間)
			日本国憲法を学ぶ		情報製品製図	ビジュアライゼーション Ⅰ (人間情報)
2	10:40 ～ 12:10	デザイン総合実習Ⅰ	実践英語A	フィールドスタディ	建築設計製図	実践英語B
			時間表現理論/ 演習Ⅱ		プログラミングⅠ	環境計画論
3	13:10 ～ 14:40	デザイン研究法 (人間情報)	実践英語A	フィールドスタディ	環境芸術論	実践英語B
		ビジュアライゼーション Ⅰ (人間空間)	時間表現理論/ 演習Ⅱ			プロダクト デザインⅠ
4	14:50 ～ 16:20	協同デザインⅠ	環境を考える		3 DCG 実習 (表現系)	建築系 CAD実習
			生活と文化			
5	16:30 ～ 18:00	近現代建築史	グループ・ ダイナミクス			学部連携基礎論
			ボランティア活動 を考える			

④ 2年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	エコロジカル デザイン	ジェンダーと文化	環境心理学	3 DCG実習 (建築系)	コンピュータ グラフィックス
			韓国語			
2	10:40 ～ 12:10	プロダクト デザインⅡ	韓国語	ユニバーサル デザイン論		情報社会論
3	13:10 ～ 14:40	空間デザイン史	家具・インテリア デザイン	メディア芸術論	建築デザイン論	一般構造
		プログラミングⅡ			協同デザインⅡ	Webプログラミング
4	14:50 ～ 16:20	製品系CAD実習			デザイン総合実習Ⅱ	教育を考える ※前半7.5週で終了
5	16:30 ～ 18:00		空間プロダクト			



⑤ 3年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30		生涯学習概論	ユニバーサル デザイン都市札幌	建築設備計画 プログラミングⅢ	ランドスケープ アーキテクチャ
2	10:40 ～ 12:10	博物館資料論 ※1～8回目	中国語	構造力学Ⅰ	ヒューマン インタラクションⅠ	博物館資料論 ※9～15回目
		博物館概論 ※9～15回目	ロシア語			
3	13:10 ～ 14:40	都市計画論	中国語	インターンシップ	健康とスポーツ	デザイン総合実習Ⅲ
			ロシア語			
4	14:50 ～ 16:20	感性情報学	ユーザーエクス ペリエンスデザインⅠ	博物館概論 ※1～8回目		
5	16:30 ～ 18:00	空間演出デザイン論	メディア社会論	博物館教育論		キャリアガイダンス

⑥ 3年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	寒冷地デザイン論	建築構法	空間映像表現	デザイン 展開プロ セス	ビジュアライゼーション Ⅱ (人間情報)
			ヒューマン インタラクションⅡ			
2	10:40 ～ 12:10	博物館経営論	統計の世界	構造力学Ⅱ	ユーザー エクスペ リエンス デザイン Ⅱ	ビジュアライゼーション Ⅱ (人間空間)
3	13:10 ～ 14:40	建築法規		博物館展示論	建築生産	地域ブランド構築
4	14:50 ～ 16:20	博物館資料保存論				デザイン総合実習Ⅳ
5	16:30 ～ 18:00	キャリアデザイン	学部連携演習			



⑦ 4年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ∩ 10:30		知的財産権論	デザイン英語	博物館実習 ※1～8回目	
2	10:40 ∩ 12:10		起業・経営論			ビジュアライゼーションⅢ
3	13:10 ∩ 14:40	博物館実習 ※9～15回目	住宅論		ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ	
4	14:50 ∩ 16:20		観光デザイン論		景観デザイン文化論	
5	16:30 ∩ 18:00					キャリアガイダンス

⑧ 4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ∩ 10:30					
2	10:40 ∩ 12:10					
3	13:10 ∩ 14:40					
4	14:50 ∩ 16:20					
5	16:30 ∩ 18:00	キャリアガイダンス				



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

2012～2015年度（編入学生は2014～2017年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件 単位			
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2			○										2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義		2		○										4単位以上
		宗教と思想	講義		2			○									
		芸術と文化	講義		2			○									
		教育を考える	講義		2					○							
		生活と文化	講義		2					○							
		ジェンダーと文化	講義		2					○							
	人間に対する理解	心のしくみ	講義		2			○									4単位以上
		体のしくみ	講義		2		○										
		人間関係を考える	講義		2		○										
		健康とスポーツ	講義		2					○							
		環境を考える	講義		2					○							
		自然科学を学ぶ	講義		2		○										
	社会に対する理解	動物のくらし	講義		2			○									6単位以上
		現代社会と家族	講義		2			○									
		現代社会と国際関係	講義		2					○							
		現代社会と経済	講義		2				○								
		札幌を学ぶ	講義		2		○										
		ボランティア活動を考える	講義		2					○							
	外国語	統計の世界	講義	2				○									8単位以上
		日本国憲法を学ぶ	講義		2					○							
		英語 I A	演習	1			○										
		英語 I B	演習	1			○										
		英語 I C	演習	1			○										
		英語 II A	演習	1				○									
		英語 II B	演習	1				○									
		英語 II C	演習	1				○									
		実践英語A	演習		1					○	○						
		実践英語B	演習		1					○	○						
		韓国語	演習		1						○						
		中国語	演習		1						○						
	コミュニケーション科目	ロシア語	演習		1					○							4単位以上
		日本語表現法	演習		1		○										
プレゼンテーション		演習	1				○										
基礎カウンセリング		演習		1		○											
対人コミュニケーション		演習		1			○										
グループ・ダイナミクス		演習		1					○								
デザイン基礎	手話	演習		1			○									16単位以上	
	情報リテラシー I	演習	1			○											
	情報リテラシー II	演習	1			○											
	デザイン原論	講義	2			○											
	デザイン史	講義	2			○											
	デザイン方法論	講義	2				○										
	色彩設計論	講義	2			○											
	感性科学	講義	2				○										
	工学基礎	講義		2				○									
	感性デザイン論	講義	2						○								
	ユニバーサルデザイン論	講義	2						○								
	創造産業論	講義	2						○								
	現代芸術論	講義		2					○								
	デザイン解析論	講義		2					○								
	ヒューマンファクターズ入門	講義		2					○								
	近現代建築史	講義		2					○								
	設計製図基礎	演習		2					○								
	認知科学	講義		2					○								
	デザイン法規	講義		2					○								
	エコロジーデザイン論	講義		2						○							
情報社会論	講義		2						○								
造形基礎	造形基礎実習 I	実習	2			○									6単位以上		
	表現基礎実習	実習	2			○											
	造形基礎実習 II	実習	2				○										
	デザイン材料加工実習 I	実習		2					○								
	デザイン材料加工実習 II	実習		2					○								
情報基礎	コンピュータ基礎実習 I	実習	2				○								8単位以上		
	コンピュータ基礎実習 II A (3D)	実習		2				○									
	コンピュータ基礎実習 II B (ムービー)	実習		2					○								
	コンピュータ基礎実習 II C (CAD)	実習		2					○								
	プログラミング I	演習	2				○										
プログラミング II	演習		2					○									

さらに基本科目から10単位以上



2016年度（編入学生は2018年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位			
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2			○										2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義	2			○										4単位以上
		宗教と思想	講義	2				○									
		芸術と文化	講義	2				○									
		教育を考える	講義	2							○						
		生活と文化	講義	2						○							
		ジェンダーと文化	講義	2							○						
	人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義	2				○									4単位以上
		体のしくみ	講義	2			○										
		人間関係を考える	講義	2			○										
		健康とスポーツ	講義	2								○					
		環境を考える	講義	2						○							
		自然科学を学ぶ	講義	2			○										
	社会に対する理解	動物のくらし	講義	2				○									4単位以上
		現代社会と家族	講義	2				○									
		現代社会と国際関係	講義	2							○						
		現代社会と経済	講義	2					○								
		札幌を学ぶ	講義	2			○										
		ボランティア活動を考える	講義	2						○							
	外国語	英語 I A	演習	1			○										8単位以上
		英語 I B	演習	1			○										
		英語 I C	演習	1			○										
		英語 II A	演習	1				○									
		英語 II B	演習	1				○									
		英語 II C	演習	1				○									
		実践英語A	演習	1		1				○							
		実践英語B	演習	1		1				○							
		韓国語	演習	1		1					○						
		中国語	演習	1		1						○					
		ロシア語	演習	1		1							○				
		コミュニケーション科目	日本語表現法	演習		1		○									
	プレゼンテーション		演習	1				○									
	基礎カウンセリング		演習		1		○										
	対人コミュニケーション		演習		1			○									
	グループ・ダイナミクス		演習		1				○								
	手話		演習		1				○								
デザイン	デザイン概論	講義	2			○										4単位	
	人間空間デザイン論	講義	2			○											
	デザイン理論	デザイン史	講義	2			○									20単位以上	
		近現代建築史	講義	2	2					○							
		情報社会論	講義	2							○						
		エコロジカルデザイン	講義	2							○						
		メディア社会論	講義+演習	2								○					
		知的財産権論	講義	2									○				
		デザインと数学	講義+演習	2			○										
		デザイン工学	講義+演習	2				○									
		コンピュータグラフィックス	講義+演習	2							○						
		アイデア生成プロセス	講義+演習	2					○								
		デザイン展開プロセス	講義+演習	2	2								○				
		視覚・色彩心理学	講義	2					○								
		環境心理学	講義	2	2						○						
		ユニバーサルデザイン論	講義	2							○						
	感性情報学	講義	2								○						
	デザイン基盤	デザイン研究法	講義+演習	2						○							20単位以上
デザイン英語		講義+演習	2	2									○				
表現基礎 (描画)		実習	2			○											
表現基礎 (製図)		講義+演習	2				○										
表現基礎 (構成)		講義+演習	2				○										
材料加工理論/実習 I		実習	2			○											
材料加工理論/実習 II		実習	2				○										
建築設計製図		演習	2						○								
情報製品製図		演習	2						○								
3DCG実習		実習	2						○	○							
建築系CAD実習		実習	2						○								
製品系CAD実習		実習	2							○							



区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位		
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基本科目	デザイン基盤	時間表現理論/演習Ⅰ		2			○									20単位以上
		時間表現理論/演習Ⅱ		2				○								
		Webデザイン		2				○								
		Webプログラミング		2					○							
展開科目	人間空間デザインコース	建築デザイン論		2						○						所属するコースから22単位以上/他コースから10単位以上
		空間デザイン史		2						○						
		建築計画論		2					○							
		都市計画論		2							○					
		景観デザイン文化論		2										○		
		住宅論		2										○		
		環境計画論		2					○							
		建築設備計画		2							○					
		構造力学Ⅰ		2							○					
		構造力学Ⅱ		2								○				
		一般構造		2						○						
		建築構法		2								○				
		構造・材料実験		2									○			
		建築生産		2									○			
	建築法規		2									○				
	家具・インテリアデザイン		2						○							
	ランドスケープアーキテクチャ		2								○					
	コミュニティデザイン論		2						○							
	メディア芸術論		2						○							
	人間情報デザインコース	空間演出デザイン論		2							○					
		地域ブランド構築		2								○				
		観光デザイン論		2									○			
		環境芸術論		2					○							
		空間プロダクト		2						○						
		空間映像表現		2								○				
		寒冷地デザイン論		2								○				
起業・経営論			2										○			
プロダクトデザインⅠ			2					○								
プロダクトデザインⅡ			2						○							
ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ			2							○						
ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ			2								○					
ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ		2									○					
プログラミングⅠ		2						○								
プログラミングⅡ		2							○							
プログラミングⅢ		2								○						
ヒューマンインタラクションⅠ		2							○							
ヒューマンインタラクションⅡ		2								○						
協同デザインⅠ		2						○								
協同デザインⅡ		2							○							
ビジュアライゼーションⅠ		2						○								
ビジュアライゼーションⅡ		2								○						
ビジュアライゼーションⅢ		2									○					
発展科目	連携	学部連携基礎論		2						○					4単位以上	
		学部連携演習		2							○					
		地域プロジェクト				2	○	○	○	○	○	○	○			
		地域プロジェクトⅠ(基礎編)			2		○	○	○	○						
		地域プロジェクトⅡ(応用編)			2				○	○	○	○	○			
		地域プロジェクトⅢ(発展編)			2					○	○	○	○			
	ユニバーサルデザイン都市札幌			2						○						
	総合実習	デザイン総合実習Ⅰ	実習		2					○					8単位	
		デザイン総合実習Ⅱ	実習		2					○						
		デザイン総合実習Ⅲ	実習		2						○					
デザイン総合実習Ⅳ		実習		2							○					
卒業研究	卒業研究Ⅰ	演習		3								○		6単位		
	卒業研究Ⅱ	演習		3									○			
キャリア教育	フィールドスタディ	実習		2					◎					4単位以上		
	インターンシップ	実習		2						◎						
	キャリアデザイン	講義		2							○					
自由科目	学芸員課程 関連科目	生涯学習概論	講義			2					○			19単位		
		博物館概論	講義			2					○					
		博物館経営論	講義			2						○				
		博物館資料論	講義			2						○				
		博物館資料保存論	講義			2						○				
		博物館展示論	講義			2							○			
		博物館情報・メディア論	講義			2						○				
		博物館教育論	講義			2						○				
		博物館実習	実習			3							◎			



2017年度（編入学生は2019年度）以降入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位					
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次							
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	演習	2			○											2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義	2			○											4単位以上	
		宗教と思想	講義	2				○											
		芸術と文化	講義	2					○										
		教育を考える	講義	2						○									
		生活と文化	講義	2						○									
		ジェンダーと文化	講義	2							○								
	人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義	2				○										4単位以上	
		体のしくみ	講義	2			○												
		人間関係を考える	講義	2				○											
		健康とスポーツ	講義	2							○								
		環境を考える	講義	2						○									
		自然科学を学ぶ	講義	2				○											
	社会に対する理解	動物のくらし	講義	2					○									4単位以上	
		現代社会と家族	講義	2						○									
		現代社会と国際関係	講義	2							○								
		現代社会と経済	講義	2						○									
		札幌を学ぶ	講義	2				○											
		ボランティア活動を考える	講義	2						○									
	外国語	統計の世界	講義	2									○					8単位以上	
		日本国憲法を学ぶ	講義	2						○									
		英語 I A	演習	1				○											
		英語 I B	演習	1				○											
		英語 I C	演習	1				○											
		英語 II A	演習	1					○										
		英語 II B	演習	1					○										
		英語 II C	演習	1					○										
		実践英語A	演習	1	1					○									
		実践英語B	演習	1	1					○									
		韓国語	演習	1	1						○								
		中国語	演習	1	1							○							
	コミュニケーション科目	ロシア語	演習	1	1							○						4単位以上	
		日本語表現法	演習	1	1			○											
プレゼンテーション		演習	1	1				○											
基礎カウンセリング		演習	1	1				○											
対人コミュニケーション		演習	1	1					○										
グループ・ダイナミクス		演習	1	1						○									
手話		演習	1	1						○									
専門教育科目	情報リテラシー I	演習	1				○										4単位		
	情報リテラシー II	演習	1					○											
	デザイン概論	講義	2				○												
	人間空間デザイン論	講義	2					○											
	人間情報デザイン論	講義	2						○										
	デザイン理論	デザイン史	講義	2						○									20単位以上
		近現代建築史	講義	2	2					○									
		情報社会論	講義	2							○								
		エコロジカルデザイン	講義	2							○								
		メディア社会論	講義+演習	2								○							
		知的財産権論	講義	2									○						
		デザインと数学	講義+演習	2				○											
デザイン工学		講義+演習	2					○											
コンピュータグラフィックス		講義+演習	2							○									
アイデア生成プロセス		講義+演習	2								○								
デザイン展開プロセス		講義+演習	2	2								○							
視覚・色彩心理学		講義	2							○									
環境心理学	講義	2	2							○									
ユニバーサルデザイン論	講義	2									○								
感性情報学	講義	2										○							
デザイン基盤	デザイン研究法	講義+演習	2							○							20単位以上		
	デザイン英語	講義+演習	2	2										○					
	表現基礎 (描画)	実習	2				○												
	表現基礎 (製図)	講義+演習	2					○											
	表現基礎 (構成)	講義+演習	2						○										
	材料加工理論/実習 I	実習	2				○												
	材料加工理論/実習 II	実習	2	2				○											
	建築設計製図	演習	2							○									
	情報製品製図	演習	2								○								
	3 DCG実習	実習	2									○							
	建築系CAD実習	実習	2										○						
	製品系CAD実習	実習	2											○					



区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位	
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基本科目	デザイン基盤	時間表現理論/演習 I		2											20単位以上
		時間表現理論/演習 II		2											
		Webデザイン		2											
		Webプログラミング		2											
専門教育科目	人間空間デザインコース	建築デザイン論		2											所属するコースから22単位以上/他コースから10単位以上
		空間デザイン史		2											
		建築計画論		2											
		都市計画論		2											
		景観デザイン文化論		2											
		住宅論		2											
		環境計画論		2											
		建築設備計画		2											
		構造力学 I		2											
		構造力学 II		2											
		一般構造		2											
		建築構法		2											
		構造・材料実験		2											
		建築生産		2											
	建築法規		2												
	家具・インテリアデザイン		2												
	ランドスケープアーキテクチャ		2												
	コミュニティデザイン論		2												
	メディア芸術論		2												
	空間演出デザイン論		2												
	地域ブランド構築		2												
	観光デザイン論		2												
	環境芸術論		2												
	空間プロダクト		2												
	空間映像表現		2												
	寒冷地デザイン論		2												
	起業・経営論		2												
	人間情報デザインコース	プロダクトデザイン I		2											
プロダクトデザイン II			2												
ユーザーエクスペリエンスデザイン I			2												
ユーザーエクスペリエンスデザイン II			2												
ユーザーエクスペリエンスデザイン III			2												
プログラミング I			2												
プログラミング II			2												
プログラミング III			2												
ヒューマンインタラクション I			2												
ヒューマンインタラクション II			2												
協同デザイン I			2												
協同デザイン II			2												
ビジュアライゼーション I			2												
ビジュアライゼーション II			2												
ビジュアライゼーション III		2													
発展科目	連携	学部連携基礎論		2										4単位以上	
		学部連携演習		2											
		地域プロジェクト I (基礎編)			2										
		地域プロジェクト II (応用編)			2										
		地域プロジェクト III (発展編)			2										
	ユニバーサルデザイン都市札幌			2											
	総合実習	デザイン総合実習 I		2										8単位	
		デザイン総合実習 II		2											
		デザイン総合実習 III		2											
		デザイン総合実習 IV		2											
卒業研究	卒業研究 I		3										6単位		
	卒業研究 II		3												
キャリア教育	フィールドスタディ		2										4単位以上		
	インターンシップ		2												
	キャリアデザイン		2												
自由科目	学芸員課程関連科目	生涯学習概論			2									19単位	
		博物館概論			2										
		博物館経営論			2										
		博物館資料論			2										
		博物館資料保存論			2										
		博物館展示論			2										
		博物館情報・メディア論			2										
		博物館教育論			2										
		博物館実習			3										



② 卒業要件

2015年度（編入学生は2017年度）以前入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	13	15	28
専門教育科目	40	56	96
(基本科目)	(26)	(14)	(40)
(展開科目)	—	(34)	(34)
(発展科目)	(14)	(8)	(22)
合 計	53	71	124

2016年度（編入学生は2018年度）以降入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	11	15	26
専門教育科目	42	56	98
(基本科目)	(24)	(20)	(44)
(展開科目)	—	(32)	(32)
(発展科目)	(18)	(4)	(22)
合 計	53	71	124



3) 教育活動 (デザイン学部)

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
人間空間デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎田島 悠史 齊藤 雅也 上遠野 敏 羽深 久夫 矢部 和夫 山田 良 椎野亜紀夫 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 大島 卓 片山めぐみ 小宮加容子 須之内元洋 金子 晋也
人間情報デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎安齋 利典 石井 雅博 細谷 多聞 若林 尚樹 柿山浩一郎 張 浦華 藤木 淳 三谷 篤史 大淵 一博 金 秀敬 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥
デザイン史	講義・30時間	1年次前期	◎細谷 多聞 金子 晋也
デザインと数学	講義+演習・30時間	1年次前期	◎石井 雅博 大淵 一博 松永 康佑
表現基礎 (描画)	実習・60時間	1年次前期	◎藤木 淳 福田 大年
材料加工理論/実習 I	実習・60時間	1年次前期	◎上遠野 敏 矢久保空遥 ★川上 理恵
時間表現理論/演習 I	講義+演習・30時間	1年次前期	◎須之内元洋 石田 勝也
デザイン工学	講義+演習・30時間	1年次後期	◎齊藤 雅也 細谷 多聞
アイデア生成プロセス	講義+演習・30時間	1年次後期	福田 大年
視覚・色彩心理学	講義・30時間	1年次後期	石井 雅博
表現基礎 (製図)	講義+演習・30時間	1年次後期	◎山田 信博 金子 晋也
表現基礎 (構成)	講義+演習・30時間	1年次後期	◎金 秀敬 横溝 賢
材料加工理論/実習 II	実習・60時間	1年次後期	◎安齋 利典 張 浦華 ★石崎 友紀 ★山田 祥子
Webデザイン	演習・30時間	1年次後期	大淵 一博
地域プロジェクト I (基礎編)	演習・60時間	1年次・2年次 次通年	◎定廣和香子 大淵 一博 菊池ひろみ 大野 夏代 三上 智子 村松 真澄 山本真由美
近現代建築史	講義・30時間	2年次前期	◎羽深 久夫 山田 良 金子 晋也 ★池上 重康 ★小澤 丈夫 ★武田 明純 ★中渡 憲彦
デザイン研究法 (人間空間デザイン)	講義+演習・30時間	2年次前期	◎矢部 和夫 石井 雅博 森 朋子
デザイン研究法 (人間情報デザイン)	講義+演習・30時間	2年次前期	◎柿山浩一郎 石井 雅博 張 浦華 金 秀敬
建築設計製図	演習・30時間	2年次前期	山田 良
情報製品製図	演習・30時間	2年次前期	柿山浩一郎
3DCG実習 (表現系)	実習・60時間	2年次前期	松永 康祐
建築系CAD実習	実習・60時間	2年次前期	金子 晋也



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
時間表現理論／演習Ⅱ	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	◎石田 勝也 須之内元洋
建築計画論	講義・30時間	2年次前期	◎片山めぐみ 山田 信博
環境計画論	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	◎齊藤 雅也 矢部 和夫
コミュニティデザイン論	講義・30時間	2年次前期	◎武田 亘明 片山めぐみ
環境芸術論	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	◎山田 良 上遠野 敏
プロダクトデザインⅠ	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	安齋 利典
プログラミングⅠ	演習・30時間	2年次前期	石井 雅博
協同デザインⅠ	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	福田 大年
ビジュアルライゼーションⅠ	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	若林 尚樹
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎若林 尚樹 安齋 利典 武田 亘明 山田 信博 福田 大年 ◎貝谷 敏子 喜多 歳子 原井 美佳
デザイン総合実習Ⅰ (人間空間建築・環境)	実習・60時間	2年次前期	◎山田 信博 齊藤 雅也 羽深 久夫 矢部 和夫 山田 良 椎野亜紀夫 森 朋子 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也
デザイン総合実習Ⅰ (人間空間地域・総合)	実習・60時間	2年次前期	◎武田 亘明 片山めぐみ 小宮加容子
デザイン総合実習Ⅰ (人間情報)	実習・60時間	2年次前期	◎安齋 利典 三谷 篤史 大淵 一博
フィールドスタディ	実習・60時間	2年次集中	◎椎野亜紀夫 藤木 淳 松永 康祐 田島 悠史
情報社会論	講義・30時間	2年次後期	武田 亘明
エコロジカルデザイン	講義・30時間	2年次後期	矢部 和夫
コンピュータグラフィックス	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	松永 康祐
環境心理学	講義・30時間	2年次後期	片山めぐみ
ユニバーサルデザイン論	講義・30時間	2年次後期	小宮加容子
3DCG実習(建築系)	実習・60時間	2年次後期	山田 信博
製品系CAD実習	実習・60時間	2年次後期	◎三谷 篤史
Webプログラミング	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	大淵 一博
建築デザイン論	講義・30時間	2年次後期	◎山田 良 齊藤 雅也
空間デザイン史	講義・30時間	2年次後期	羽深 久夫
一般構造	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	羽深 久夫



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
家具・インテリアデザイン	実習・60時間	2年次後期	◎片山めぐみ ★岸本 幸雄 ★祐川 諭 ★藤原 誠
メディア芸術論	講義・30時間	2年次後期	須之内元洋
空間プロダクト	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	小宮加容子
プロダクトデザインⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	三谷 篤史
プログラミングⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	松永 康祐
協同デザインⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	若林 尚樹
デザイン総合実習Ⅱ (人間空間建築・環境)	実習・60時間	2年次後期	◎金子 晋也 齊藤 雅也 羽深 久夫 矢部 和夫 山田 良 椎野亜紀夫 森 朋子 山田 信博 大島 卓 片山めぐみ
デザイン総合実習Ⅱ (人間空間地域・総合)	実習・60時間	2年次後期	◎石田 勝也 須之内元洋 田島 悠史
デザイン総合実習Ⅱ (人間情報デザインコース)	実習・60時間	2年次後期	◎張 浦華 矢久保空遥
地域プロジェクトⅡ(応用編)	演習・60時間	2年次・3年 次・4年次 通年	◎定廣和香子 大淵 一博 菊池ひろみ 大野 夏代 三上 智子 村松 真澄 山本真由美
メディア社会論	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	須之内元洋
感性情報学	講義・30時間	3年次前期	◎張 浦華 金 秀敬
都市計画論	講義・30時間	3年次前期	森 朋子
建築設備計画	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	齊藤 雅也
構造力学Ⅰ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	★石丸 修二
ランドスケープアーキテクチャ	講義・30時間	3年次前期	◎椎野亜紀夫 大島 卓
空間演出デザイン論	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	◎石田 勝也 山田 良 小宮加容子
ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	金 秀敬
ヒューマンインタラクションⅠ	演習・30時間	3年次前期	矢久保空遥
プログラミングⅢ	演習・30時間	3年次前期	三谷 篤史
ユニバーサルデザイン都市札幌	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	◎小宮加容子 張 浦華 ★酒井 正幸 ★中原 宏
デザイン総合実習Ⅲ (人間空間建築・環境)	実習・60時間	3年次前期	◎山田 良 柿山浩一郎 齊藤 雅也 羽深 久夫 細谷 多聞 矢部 和夫 椎野亜紀夫 森 朋子 山田 信博 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也
デザイン総合実習Ⅲ (人間空間地域・総合)	実習・60時間	3年次前期	◎上遠野 敏 若林 尚樹 大島 卓 小宮加容子 田島 悠史



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
デザイン総合実習Ⅲ (人間情報もの・総合)	実習・60時間	3年次前期	◎柿山浩一郎 齊藤 雅也 羽深 久夫 細谷 多聞 矢部 和夫 山田 良 椎野亜紀夫 森 朋子 山田 信博 大島 卓 片山めぐみ 福田 大年 金子 晋也
デザイン総合実習Ⅲ (人間情報情報・総合)	実習・60時間	3年次前期	◎柿山浩一郎 藤木 淳 若林 尚樹 大島 卓 小宮加容子 松永 康佑
インターンシップ	実習・60時間	3年次集中	◎大淵 一博 三谷 篤史 須之内元洋 矢久保空遥
デザイン展開プロセス	講義+演習・ 30時間	3年次後期	安斎 利典
構造力学Ⅱ	講義+演習・ 30時間	3年次後期	★石丸 修二
建築構法	講義+演習・ 30時間	3年次後期	金子 晋也
構造・材料実験	実習・60時間	3年次後期	羽深 久夫
建築生産	講義+演習・ 30時間	3年次後期	★佐野 天彦
建築法規	講義・30時間	3年次後期	★小林 宏
地域ブランド構築	講義+演習・ 30時間	3年次後期	◎田島 悠史
空間映像表現	演習・30時間	3年次後期	石田 勝也
寒冷地デザイン論	講義+演習・ 30時間	3年次後期	◎齊藤 雅也 山田 良
ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ	講義+演習・ 30時間	3年次後期	張 浦華
ヒューマンインタラクションⅡ	演習・30時間	3年次後期	石井 雅博
ビジュアルライゼーションⅡ	講義+演習・ 30時間	3年次後期	藤木 淳
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎矢部 和夫 齊藤 雅也 山田 良 若林 尚樹 藤木 淳 三谷 篤史 石田 勝也 須之内元洋 福田 大年 金子 晋也 田島 悠史 ◎卯野木 健 荒木 奈緒 神島 滋子 本田 光 守村 洋 桜井 繭子 高橋 奈美 檜山 明子 矢野由美子 柏倉 大作 田仲 里江
デザイン総合実習Ⅳ (人間空間)	実習・60時間	3年次後期	◎須之内元洋 上遠野 敏 齊藤 雅也 羽深 久夫 矢部 和夫 山田 良 椎野亜紀夫 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 大島 卓 片山めぐみ 小宮加容子 金子 晋也 田島 悠史



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
デザイン総合実習Ⅳ (人間情報)	実習・60時間	3年次後期	◎石井 雅博 安齋 利典 柿山浩一郎 細谷 多聞 若林 尚樹 張 浦華 藤木 淳 三谷 篤史 大淵 一博 金 秀敬 福田 大年 松永 康佑 矢久保 空遥
キャリアデザイン	講義・30時間	3年次後期	◎安齋 利典 大島 卓
地域プロジェクトⅢ (発展編)	演習・60時間	3年次・4年 次通年	◎定廣和歌子 大淵 一博 菊池ひろみ 大野 夏代 三上 智子 村松 真澄 山本真由美
デザイン英語	演習・30時間	4年次前期	松井 美穂
知的財産権論	講義・30時間	4年次前期	◎安齋 利典 須之内元洋 ★伊藤 博之 ★岩崎 孝治 ★川上 大雅 ★吉田 聡子 ★渡辺 直行
景観デザイン文化論	講義・30時間	4年次前期	★中井 和子
住宅論	講義・30時間	4年次前期	山田 信博
観光デザイン論	講義＋演習・ 30時間	4年次前期	大島 卓
起業・経営論	講義・30時間	4年次前期	★小林 元 河嶋 峻
ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ	講義＋演習・ 30時間	4年次前期	細谷 多聞
ビジュアライゼーションⅢ	講義＋演習・ 30時間	4年次前期	柿山浩一郎
卒業研究Ⅰ (人間空間)	演習・45時間	4年次前期	◎齊藤 雅也 上遠野 敏 羽深 久夫 矢部 和夫 山田 良 椎野亜紀夫 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也 小宮加容子 須之内元洋 田島 悠史
卒業研究Ⅰ (人間情報)	演習・45時間	4年次前期	◎柿山浩一郎 細谷 多聞 石井 雅博 安齋 利典 若林 尚樹 張 浦華 藤木 淳 三谷 篤史 大淵 一博 金 秀敬 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥
卒業研究Ⅱ (人間空間)	演習・45時間	4年次後期	◎齊藤 雅也 上遠野 敏 羽深 久夫 矢部 和夫 山田 良 椎野亜紀夫 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也 小宮加容子 須之内元洋 田島 悠史
卒業研究Ⅱ (人間情報)	演習・45時間	4年次後期	◎柿山浩一郎 細谷 多聞 石井 雅博 安齋 利典 若林 尚樹 張 浦華 藤木 淳 三谷 篤史 大淵 一博 金 秀敬 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥
生涯学習概論	講義・30時間	3年次前期	★木村 純
博物館概論	講義・30時間	3年次前期	◎矢部 和夫 ★岩崎 直人 ★越前谷宏紀
博物館資料論	講義・30時間	3年次前期	◎★佐藤 弥生 ★小野 裕子



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
博物館情報・メディア論	講義・30時間	3年次前期	武田 亘明
博物館教育論	講義・30時間	3年次前期	★細川 健裕
博物館経営論	講義・30時間	3年次後期	★佐藤 幸宏
博物館資料保存論	講義・30時間	3年次後期	★守屋 開
博物館展示論	講義・30時間	3年次後期	★岩崎 直人
博物館実習	実習・90時間	4年次前期 (学外での 実習は集中)	◎矢部 和夫 ★岩崎 直人 ★越前谷宏紀 ★古沢 仁

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

4 看護学部

1) 2019年度時間割

① 1年前期

		月		火	水	木	金
		前半 (第1～7.5週)	後半 (第7.5～15週)				
1	9:00 ～ 10:30				情報リテラシー I	体のしくみ	人間関係を考える
2	10:40 ～ 12:10		看護観察技術論		情報リテラシー I	英語 I A 英語 I B 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	哲学と倫理
3	13:10 ～ 14:40	形態機能学 I	形態機能学 II		英語 I A 英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	英語 I A 英語 I B 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法	札幌を学ぶ
4	14:50 ～ 16:20	形態機能学 I	形態機能学 II		英語 I A 英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法 日本語表現法		基礎カウンセリング 英語 I A 英語 I B 英語 I C 英語 I C
5	16:30 ～ 18:00	看護学原論	地域保健学 概論	人間発達援助論	自然科学を学ぶ	スタートアップ演習	基礎カウンセリング 英語 I A 英語 I B 英語 I C 英語 I C



② 1年後期

		月		火		水	木	金
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)			
1	9:00 ~ 10:30	病理病態学		看護過程論		芸術と文化		情報リテラシーⅡ
								手話
2	10:40 ~ 12:10	病理病態学		看護理論	看護過程論	宗教と思想 動物のくらし	現代社会と家族 心のしくみ	情報リテラシーⅡ
								手話
3	13:10 ~ 14:40	基礎看護技術論		薬理学		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC プレゼンテーション	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC プレゼンテーション	現代社会と経済
								対人コミュニケーション
4	14:50 ~ 16:20	基礎看護技術論		感染予防論		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC 英語ⅡC	英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡB 英語ⅡC	英語ⅡA 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC
5	16:30 ~ 18:00						統計の世界	英語ⅡA 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅡC

③ 2年前期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	精神看護学概論	人間工学	現代社会と国際関係	老年看護学概論			家族社会学		
				日本国憲法を学ぶ						
2	10:40 ~ 12:10	生命科学	環境保健	実践英語A	医療情報		成人看護学概論		臨床栄養学	
				実践英語B						
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生学	成人看護援助論	実践英語A	生命倫理		疾病治療学概論		症状マネジメント論	
				実践英語B						
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生学	成人看護援助論	環境を考える		社会福祉学			症状マネジメント論	
				生活と文化						
5	16:30 ~ 18:00	疾病治療学B		グループ・ダイナミックス		社会福祉学	疾病治療学A		学部連携基礎論	
				ボランティア活動を考える						



④ 2年後期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30		精神看護 援助論	ジェンダーと文化	臨床薬理学		疾病治療学C			
2	10:40 ~ 12:10	母性看護学 概論	精神看護 援助論		臨床心理学		小児看護学 概論	看護倫理学		
3	13:10 ~ 14:40	感染管理論	教育を 考える	中国語 ロシア語	健康とスポーツ		老年看護 援助論	がん看護学	援助的 人間関係論	在宅看護 援助論
4	14:50 ~ 16:20	在宅看護学 概論	教育を 考える	中国語 ロシア語	韓国語		老年看護 援助論	がん看護学	援助的 人間関係論	在宅看護 援助論
5	16:30 ~ 18:00				公衆衛生 看護学概論		チーム 医療論			

⑤ 3年前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療 福祉行政論 I		保健統計	
2	10:40 ~ 12:10	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療 福祉行政論 I		保健統計	
3	13:10 ~ 14:40			在宅看護 技術論				リハビリ テーション 看護学		精神看護 技術論	
4	14:50 ~ 16:20	小児看護 援助論		在宅看護 技術論				リハビリ テーション 看護学		精神看護 技術論	
5	16:30 ~ 18:00	小児看護 援助論						疫学 I			



⑥ 3年後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	研究方法論		健康教育 指導法		看護教育学		公衆衛生 看護援助論 (前半Ⅰ/ 後半Ⅱ)		老年看護 技術論	
2	10:40 ~ 12:10	研究方法論		健康教育 指導法		透析ケア		公衆衛生 看護援助論 (前半Ⅰ/ 後半Ⅱ)		老年看護 技術論	
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生 看護援助論 (前半Ⅰ/ 後半Ⅱ)						小児看護 技術論		重症集中 ケア	
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生 看護援助論 (前半Ⅰ/ 後半Ⅱ)		学部連携演習				小児看護 技術論		母性看護 技術論	
5	16:30 ~ 18:00	救急看護学						放射線医療 管理論		母性看護 技術論	

⑦ 4年前期

		月		火		水		木	金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	国際保健学		パリアティブ ケア		看護管理学		卒業研究		ヘルスプロ モーション 活動論
2	10:40 ~ 12:10	現代専門 職論		災害看護学		看護管理学		卒業研究		ヘルスプロ モーション 活動論
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生 看護技術論		医療経営学						医療安全 管理論
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生 看護技術論		寒冷地医療						ペリネイタル ケア
5	16:30 ~ 18:00			国際看護学						看護情報学



⑧ 4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ∩ 10:30			公衆衛生看護管理論	卒業研究	保健医療福祉行政論Ⅱ
2	10:40 ∩ 12:10			公衆衛生看護管理論	卒業研究	保健医療福祉行政論Ⅱ
3	13:10 ∩ 14:40					疫学Ⅱ
4	14:50 ∩ 16:20					
5	16:30 ∩ 18:00					



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

2009～2011年度（編入学生は2011～2013年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次（◎は集中で開講）								卒業要件単位				
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2			○											2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義	2			○											4単位以上
		宗教と思想	講義	2				○										
		芸術と文化	講義	2				○										
		環境を考える	講義	2						○								
		教育を考える	講義	2							○							
		生活と文化	講義		2					○								
	人間に対する理解	心のしくみ	講義	2				○										4単位以上
		体のしくみ	講義	2			○											
		ジェンダーを考える	講義	2							○							
		人間関係を考える	講義	2				○										
		健康とスポーツ	講義	2							○							
		自然科学を学ぶ	講義			2		○										
	社会に対する理解	動物のくらし	講義			2		○										6単位以上
		現代社会と家族	講義	2				○										
		現代社会と国際関係	講義	2						○								
		現代社会と経済	講義	2					○									
		札幌を学ぶ	講義	2				○										
		ボランティア活動を考える	講義	2							○							
	外国語	統計の世界	講義	2				○										8単位以上
		日本国憲法を学ぶ	講義			2				○								
		英語 I A	演習	1				○										
		英語 I B	演習	1				○										
		英語 I C	演習	1				○										
		英語 II A	演習	1					○									
		英語 II B	演習	1					○									
		英語 II C	演習	1					○									
実践英語A		演習		1						○								
実践英語B		演習		1						○	○							
韓国語		演習		1							○							
中国語		演習		1							○							
コミュニケーション科目	ロシア語	演習		1							○						4単位以上	
	日本語表現法	演習	1				○											
	プレゼンテーション	演習	1					○										
	基礎カウンセリング	演習	1				○											
	対人コミュニケーション	演習	1					○										
	グループ・ダイナミクス	演習	1						○									
	手話	演習	1					○										
	情報リテラシー I	演習	1				○											
情報リテラシー II	演習	1					○											
専門基礎科目	人間と命	形態機能学 I	演習	2				○									5単位以上	
		形態機能学 II	演習	2					○									
		生命科学	講義		1						○							
		生命倫理	講義		1						○							
		環境保健	講義		1						○							
	健康と健康障害と予防	人間工学	講義		1						○							
		薬理学	講義	1					○									
		臨床薬理学	演習	1								○						
		臨床栄養学	演習	1							○							
		病理病態学	演習	2						○								
保健と医療と福祉	疾病治療学概論	演習	1							○							10単位	
	疾病治療学A	演習	1							○								
	疾病治療学B	演習	1							○								
	疾病治療学C	演習	1							○								
	感染予防論	講義	1						○									
	公衆衛生学	演習	1							○								
	社会福祉学	講義	1							○								
	家族社会学	講義		1						○								
	チーム医療論	講義		1							○							
	感染管理論	講義		1							○							
保健と医療と福祉	臨床心理学	講義		1							○						7単位以上	
	地域保健学概論	講義	1				○											
	保健医療福祉行政論	演習	1								○							
	保健統計	演習	1								○							
	医療情報	演習	1						○									
												○						



区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次 (◎は集中で開講)								卒業要件単位	
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
看護の基礎となるもの	看護学原論	講義	1			○									7単位
	看護理論	講義	1				○								
	援助的人間関係論	演習	1						○						
	人間発達援助論	演習	1							○					
	看護初期実習	実習	1				◎								
	看護倫理学	講義	1							○					
	健康教育指導法	演習	1								○				
	看護過程論	演習	1					○							10単位
	看護観察技術論	演習	1				○								
	症状マネジメント論	演習	2						○						
基礎看護技術論	演習	2					○								
基礎看護学臨地実習Ⅰ	実習	1					◎								
基礎看護学臨地実習Ⅱ	実習	2						◎							
研究方法論	演習	1									○				
小児	小児看護学概論	講義	1						○					5単位	
	小児看護援助論	演習	1							○					
	小児看護技術論	演習	1								○				
	小児看護学臨地実習	実習	2								◎				
母性	母性看護学概論	講義	1						○				5単位		
	母性看護援助論	演習	1							○					
	母性看護技術論	演習	1								○				
	母性看護学臨地実習	実習	2								◎				
成人	成人看護学概論	講義	1					○					8単位		
	成人看護援助論	演習	1					○							
	成人看護技術論	演習	1							○					
	成人看護学臨地実習Ⅰ	実習	3						◎						
	成人看護学臨地実習Ⅱ	実習	2							◎					
老年	老年看護学概論	講義	1					○					6単位		
	老年看護援助論	演習	1						○						
	老年看護技術論	演習	1								○				
	老年看護学臨地実習Ⅰ	実習	1							◎					
老年看護学臨地実習Ⅱ	実習	2								◎					
精神	精神看護学概論	講義	1					○					5単位		
	精神看護援助論	演習	1						○						
	精神看護技術論	演習	1							○					
	精神看護学臨地実習	実習	2								◎				
在宅	在宅看護学概論	講義	1						○				5単位		
	在宅看護援助論	演習	1						○						
	在宅看護技術論	演習	1							○					
	在宅看護学臨地実習	実習	2								◎				
健康レベルに応じて生活を援助するもの	リハビリテーション看護学	演習	1							○			5単位以上		
	がん看護学	演習	1						○						
	認知症ケア	演習	1							○					
	透析ケア	講義		1							○				
	重症集中ケア	講義		1							○				
	救急看護学	講義		1							○				
	放射線医療管理論	講義		1							○				
	ペリネイタルケア	講義		1								○			
	パリアティブケア	講義		1								○			
	寒冷地医療	講義		1								○			
コミュニティケアに関するもの	地域看護学概論	講義	1							○			9単位		
	地域看護援助論	演習	2								○				
	地域看護技術論	演習	1									○			
	ヘルスプロモーション活動論	演習	1									○			
	地域看護学臨地実習Ⅰ	実習	2									◎			
	地域看護学臨地実習Ⅱ	実習	2									◎			
発展・統合に関するもの	看護管理学	演習	1									○	11単位以上		
	看護教育学	講義	1								○				
	卒業研究	演習	4									○			
	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3									◎			
	看護情報学	講義		1								○			
	災害看護学	講義		1								○			
	国際看護学	講義		1								○			
	国際保健学	講義		1								○			
	医療経営学	講義		1								○			
	医療安全管理論	講義		1								○			
	現代専門職論	講義		1								○			
学部連携	演習	2								○		2単位			

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。



2012～2013年度（編入学生は2014～2015年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数		保健師 コース 必修	配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位				
			必修	選択		1年次		2年次		3年次		4年次						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2			○										2単位		
	文化に 対する 理解	哲学と倫理	講義	2			○										4単位 以上	
		宗教と思想	講義	2				○										
		芸術と文化	講義	2					○									
		教育を考える	講義	2						○								
		生活と文化	講義	2							○							
		ジェンダーと文化	講義	2								○						
	人間と 自然に 対する 理解	心のしくみ	講義	2				○									4単位 以上	
		体のしくみ	講義	2				○										
		人間関係を考える	講義	2				○										
		健康とスポーツ	講義	2							○							
		環境を考える	講義	2								○						
		自然科学を学ぶ	講義	2				○										
	社会に 対する 理解	動物のくらし	講義	2								○					6単位 以上	
		現代社会と家族	講義	2									○					
		現代社会と国際関係	講義	2										○				
		現代社会と経済	講義	2											○			
		札幌を学ぶ	講義	2				○										
		ボランティア活動を考える	講義	2										○				
	外国語	統計の世界	講義	2										○			8単位 以上	
		日本国憲法を学ぶ	講義	2											○			
		英語 I A	演習	1										○				
		英語 I B	演習	1										○				
		英語 I C	演習	1										○				
		英語 II A	演習	1											○			
		英語 II B	演習	1											○			
		英語 II C	演習	1											○			
		実践英語A	演習	1												○		
		実践英語B	演習	1												○		
		韓国語	演習	1												○		
		中国語	演習	1												○		
	コミュニ ケーション ・ 情報技術	ロシア語	演習	1												○	4単位 以上	
		日本語表現法	演習	1											○			
プレゼンテーション		演習	1											○				
基礎カウンセリング		演習	1											○				
対人コミュニケーション		演習	1											○				
グループ・ダイナミクス		演習	1											○				
手話		演習	1											○				
人間と命	情報リテラシー I	演習	1											○		5単位 以上		
	情報リテラシー II	演習	1											○				
	形態機能学 I	演習	2											○				
	形態機能学 II	演習	2											○				
	生命科学	講義	1											○				
	生命倫理	講義	1											○				
	環境保健	講義	1											○				
	人間工学	講義	1											○				
	健康と健康 障害と予防	薬理学	講義	2											○			12単位
		臨床薬理学	演習	1											○			
臨床栄養学		演習	1											○				
病理病態学		演習	2											○				
疾病治療学概論		演習	1											○				
疾病治療学A		演習	1											○				
疾病治療学B		演習	1											○				
疾病治療学C		演習	1											○				
感染予防論		講義	2											○				
保健と医 療と福祉		公衆衛生学	演習	1											○		9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)	
	社会福祉学	講義	1											○				
	家族社会学	講義	1											○				
	チーム医療論	講義	1											○				
	感染管理論	講義	1											○				
	臨床心理学	講義	1											○				
	地域保健学概論	講義	1											○				
	保健医療福祉行政論 I	演習	1											○				
	保健医療福祉行政論 II	演習	1											○				
	保健統計	講義	2											○				
	疫学 I	講義	1											○				
疫学 II	講義	1											○					
医療情報	演習	1											○					



区分	授業科目	授業形態	単位数		配当年次 (◎は集中で開講)								卒業要件単位		
			必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
看護の基礎となるもの	看護学原論	講義	1			○									7単位
	看護理論	講義	1				○								
	援助的人間関係論	演習	1						○						
	人間発達援助論	演習	1							○					
	看護初期実習	実習	1			◎									
	看護倫理学	講義	1												
	健康教育指導法	演習	1								○				
	看護の基本的展開	看護過程論	演習	1				○							10単位
		看護観察技術論	演習	1			○								
		症状マネジメント論	演習	2					○						
		基礎看護技術論	演習	2				○							
		基礎看護学臨地実習 I	実習	1				◎							
		基礎看護学臨地実習 II	実習	2					◎						
		研究方法論	演習	1								○			
	小児	小児看護学概論	講義	1					○						5単位
		小児看護援助論	演習	1							○				
小児看護技術論		演習	1								○				
小児看護学臨地実習		実習	2								◎				
母性	母性看護学概論	講義	1					○						5単位	
	母性看護援助論	演習	1							○					
	母性看護技術論	演習	1								○				
	母性看護学臨地実習	実習	2								◎				
成人	成人看護学概論	講義	1				○							8単位	
	成人看護援助論	演習	1				○								
	成人看護技術論	演習	1							○					
	成人看護学臨地実習 I	実習	3					◎							
	成人看護学臨地実習 II	実習	2						◎						
老年	老年看護学概論	講義	1				○							6単位	
	老年看護援助論	演習	1						○						
	老年看護技術論	演習	1								○				
	老年看護学臨地実習 I	実習	1							◎					
精神	精神看護学概論	講義	1				○							5単位	
	精神看護援助論	演習	1						○						
	精神看護技術論	演習	1							○					
	精神看護学臨地実習	実習	2								◎				
在宅	在宅看護学概論	講義	1					○						5単位	
	在宅看護援助論	演習	1					○							
	在宅看護技術論	演習	1							○					
	在宅看護学臨地実習	実習	2								◎				
健康問題への対応	リハビリテーション看護学	演習	1						○					5単位以上	
	がん看護学	演習	1						○						
	認知症ケア	演習	1							○					
	透析ケア	講義		1							○				
	重症集中ケア	講義		1							○				
	救急看護学	講義		1							○				
	放射線医療管理論	講義		1							○				
	ペリネイタルケア	講義		1								○			
	バリアティブケア	講義		1								○			
	寒冷地医療	講義		1								○			
コミュニティケアに関するもの	公衆衛生看護学概論	講義	1						○					2単位以上 (保健師コース 10単位)	
	公衆衛生看護援助論 I	演習	1								○				
	公衆衛生看護援助論 II	演習			1						○				
	公衆衛生看護技術論	演習			1							○			
	ヘルスプロモーション活動論	演習		1								○			
	公衆衛生看護学臨地実習 I	実習				2						◎			
	公衆衛生看護学臨地実習 II	実習				3						◎			
発展・統合に関するもの	看護管理学	演習	1									○		12単位以上	
	看護教育学	講義	1									○			
	卒業研究	演習	4										○		
	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3										◎		
	公衆衛生看護管理論	講義			1								○		
	看護情報学	講義		1									○		
	災害看護学	講義		1									○		
	国際看護学	講義		1									○		
	国際保健学	講義		1									○		
	医療経営学	講義		1									○		
	医療安全管理論	講義		1									○		
	現代専門職論	講義		1									○		
学部連携	学部連携演習	演習	2									○	2単位		

注1) ◎は集中 注2) 単位数 (選択) の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)



2014～2015年度（編入学生は2016～2017年度）以降入学生用

区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数			配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位		
				必修	選択	保健師 コース 必修	1年次		2年次		3年次		4年次				
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
共通教育科目	導入科目	C1A000	スタートアップ演習	演習	2			○									2単位
	文化に 対する 理解	C1A001	哲学と倫理	講義	2			○									4単位 以上
		C1A002	宗教と思想	講義	2				○								
		C1A003	芸術と文化	講義	2				○								
		C2A004	教育を考える	講義	2					○							
		C2A005	生活と文化	講義	2					○							
		C2A006	ジェンダーと文化	講義	2						○						
	人間と 自然に 対する 理解	C1A007	心のしくみ	講義	2				○								4単位 以上
		C1A008	体のしくみ	講義	2			○									
		C1A009	人間関係を考える	講義	2			○									
		C2A010	健康とスポーツ	講義	2					○							
		C2A011	環境を考える	講義	2						○						
		C1A012	自然科学を学ぶ	講義	2			○									
	社会に 対する 理解	C1A013	動物のくらし	講義	2				○								6単位 以上
		C1A014	現代社会と家族	講義	2				○								
		C2A015	現代社会と国際関係	講義	2					○							
		C1A016	現代社会と経済	講義	2				○								
		C1A017	札幌を学ぶ	講義	2			○									
		C2A018	ボランティア活動を考える	講義	2					○							
	外国語	C1A101	英語 I A	演習	1			○									8単位 以上
C1A102		英語 I B	演習	1			○										
C1A103		英語 I C	演習	1			○										
C1A104		英語 II A	演習	1				○									
C1A105		英語 II B	演習	1				○									
C1A106		英語 II C	演習	1				○									
C2A107		実践英語A	演習	1					○								
C2A108		実践英語B	演習	1					○								
C2A109		韓国語	演習	1						○							
C2A110		中国語	演習	1							○						
C2A111		ロシア語	演習	1								○					
コミュニ ケーション ・ 情報技術	C1A112	日本語表現法	演習	1			○									4単位 以上	
	C1A113	プレゼンテーション	演習	1				○									
	C1A114	基礎カウンセリング	演習	1			○										
	C1A115	対人コミュニケーション	演習	1				○									
	C2A116	グループ・ダイナミックス	演習	1					○								
	C1A117	手話	演習	1				○									
	C1A118	情報リテラシー I	演習	1			○										
	C1A119	情報リテラシー II	演習	1				○									
専門基礎科目	人間と命	N1A201	形態機能学 I	演習	2			○								5単位 以上	
		N1A202	形態機能学 II	演習	2			○									
		N2A203	生命科学	講義	1					○							
		N2A204	生命倫理	講義	1					○							
		N2A205	環境保健	講義	1					○							
		N2A206	人間工学	講義	1					○							
	健康と健康 障害と予防	N1A207	薬理学	講義	2				○							12単位	
		N2A208	臨床薬理学	演習	1						○						
		N2A209	臨床栄養学	演習	1					○							
		N1A210	病理病態学	演習	2				○								
		N2A211	疾病治療学概論	演習	1					○							
		N2A212	疾病治療学A	演習	1					○							
		N2A213	疾病治療学B	演習	1					○							
		N2A214	疾病治療学C	演習	1						○						
保健と医 療と福祉	N1A215	感染予防論	講義	2				○							9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)		
	N2A216	公衆衛生学	演習	1					○								
	N2A217	社会福祉学	講義	1					○								
	N2A218	家族社会学	講義	1					○								
	N2A219	チーム医療論	講義	1						○							
	N2A220	感染管理論	講義	1						○							
	N2A221	臨床心理学	講義	1						○							
	N1A222	地域保健学概論	講義	1				○									
	N3A223	保健医療福祉行政論 I	演習	1							○						
	N4A224	保健医療福祉行政論 II	演習	1								○					
保健と医 療と福祉	N3A225	保健統計	講義	2							○				9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)		
	N3A226	疫学 I	講義	1							○						
	N4A227	疫学 II	講義	1								○					
	N2A228	医療情報	演習	1					○								



区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数			配当年次 (◎は集中で開講)								卒業要件単位			
				必修	選択	保健師コース必修	1年次		2年次		3年次		4年次					
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
看護の基礎となるもの	ヒューマンケアの基本	N1A301	看護学原論	講義	1			○									7単位	
		N1A302	看護理論	講義	1				○									
		N2A303	援助の人間関係論	演習	1													
		N1A304	人間発達援助論	演習	1						○							
		N1A305	看護初期実習	実習	1				◎									
		N2A306	看護倫理学	講義	1													
	N3A307	健康教育指導法	演習	1											○			
	看護の基本的展開	N1A308	看護過程論	演習	1					○								10単位
		N1A309	看護観察技術論	演習	1				○									
		N2A310	症状マネジメント論	演習	2						○							
		N1A311	基礎看護技術論	演習	2					○								
		N1A312	基礎看護学臨床実習 I	実習	1					◎								
		N2A313	基礎看護学臨床実習 II	実習	2						◎							
		N3A314	研究方法論	演習	1											○		
		N2A315	小児看護学概論	講義	1							○						
	小児	N3A316	小児看護援助論	演習	1								○				5単位	
		N3A317	小児看護技術論	演習	1									○				
		N3A318	小児看護学臨床実習	実習	2										◎			
		N2A319	母性看護学概論	講義	1							○						
	母性	N3A320	母性看護援助論	演習	1								○				5単位	
		N3A321	母性看護技術論	演習	1									○				
		N3A322	母性看護学臨床実習	実習	2										◎			
		N2A323	成人看護学概論	講義	1						○							
	成人	N2A324	成人看護援助論	演習	1						○						8単位	
		N3A325	成人看護技術論	演習	1								○					
		N2A326	成人看護学臨床実習 I	実習	3							◎						
		N3A327	成人看護学臨床実習 II	実習	2								◎					
		N2A328	老年看護学概論	講義	1						○							
	老年	N2A329	老年看護援助論	演習	1							○					6単位	
		N3A330	老年看護技術論	演習	1									○				
		N3A331	老年看護学臨床実習 I	実習	1								◎					
		N3A332	老年看護学臨床実習 II	実習	2									◎				
		N2A333	精神看護学概論	講義	1						○							
	精神	N2A334	精神看護援助論	演習	1							○					5単位	
		N3A335	精神看護技術論	演習	1								○					
		N3A336	精神看護学臨床実習	実習	2									◎				
N2A337		在宅看護学概論	講義	1							○							
在宅	N2A338	在宅看護援助論	演習	1							○					5単位		
	N3A339	在宅看護技術論	演習	1								○						
	N3A340	在宅看護学臨床実習	実習	2									◎					
	N3A341	リハビリテーション看護学	演習	1								○						
健康問題への対応	N2A342	がん看護学	演習	1							○					5単位以上		
	N3A343	認知症ケア	演習	1								○						
	N3A344	透析ケア	講義		1									○				
	N3A345	重症集中ケア	講義		1									○				
	N3A346	救急看護学	講義		1									○				
	N3A347	放射線医療管理論	講義		1									○				
	N4A348	ペリネイタルケア	講義		1										○			
	N4A349	パリアティブケア	講義		1										○			
	N4A350	寒冷地医療	講義		1										○			
	N2A401	公衆衛生看護学概論	講義	1							○							
コミュニケーションに関するもの	N3A402	公衆衛生看護援助論 I	演習	1									○			2単位以上 (保健師コース 10単位)		
	N3A403	公衆衛生看護援助論 II	演習			1							○					
	N4A404	公衆衛生看護技術論	演習			1								○				
	N4A405	ヘルスプロモーション活動論	演習		1									○				
	N4A406	公衆衛生看護学臨床実習 I	実習			2								◎				
	N4A407	公衆衛生看護学臨床実習 II	実習			3								◎				
	N4A408	看護管理学	演習	1										○				
発展・統合に関するもの	N3A409	看護教育学	講義	1									○			12単位以上		
	N4A410	卒業研究	演習	4										○	○			
	N4A411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3											◎			
	N4A412	公衆衛生看護管理論	講義			1									○			
	N4A413	看護情報学	講義		1									○				
	N4A414	災害看護学	講義		1									○				
	N4A415	国際看護学	講義		1									○				
	N4A416	国際保健学	講義		1									○				
	N4A417	医療経営学	講義		1									○				
	N4A418	医療安全管理論	講義		1									○				
	N4A419	現代専門職論	講義		1									○				
学部連携	N3A420	学部連携演習	演習	2										○		2単位		

注1) ◎は集中 注2) 単位数 (選択) の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)



2016年度（編入学生は2018年度）入学生用

区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数				配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位			
				必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	C1B000	スタートアップ演習	演習	2				○									2単位	
	文化に 対する 理解	C1B001	哲学と倫理	講義	2				○									4単位 以上	
		C1B002	宗教と思想	講義	2					○									
		C1B003	芸術と文化	講義	2						○								
		C2B004	教育を考える	講義	2							○							
		C2B005	生活と文化	講義	2							○							
		C2B006	ジェンダーと文化	講義	2								○						
	人間と 自然に 対する 理解	C1B007	心のしくみ	講義	2						○							4単位 以上	
		C1B008	体のしくみ	講義	2					○									
		C1B009	人間関係を考える	講義	2						○								
		C2B010	健康とスポーツ	講義	2								○						
		C2B011	環境を考える	講義	2							○							
		C1B012	自然科学を学ぶ	講義	2						○								
	社会に 対する 理解	C1B013	動物のくらし	講義	2						○							4単位 以上	
		C1B014	現代社会と家族	講義	2							○							
		C2B015	現代社会と国際関係	講義	2								○						
		C1B016	現代社会と経済	講義	2								○						
		C1B017	札幌を学ぶ	講義	2						○								
		C2B018	ボランティア活動を考える	講義	2								○						
外国語	C1B101	英語 I A	演習	1					○								8単位 以上		
	C1B102	英語 I B	演習	1					○										
	C1B103	英語 I C	演習	1					○										
	C1B104	英語 II A	演習	1						○									
	C1B105	英語 II B	演習	1						○									
	C1B106	英語 II C	演習	1						○									
	C2B107	実践英語A	演習	1							○								
	C2B108	実践英語B	演習	1							○								
	C2B109	韓国語	演習	1								○							
	C2B110	中国語	演習	1								○							
	C2B111	ロシア語	演習	1								○							
	コミュニ ケーション 科目	C1B112	日本語表現法	演習	1					○									4単位 以上
		C1B113	プレゼンテーション	演習	1						○								
C1B114		基礎カウンセリング	演習	1					○										
C1B115		対人コミュニケーション	演習	1						○									
C2B116		グループ・ダイナミクス	演習	1							○								
C1B117		手話	演習	1							○								
C1B118		情報リテラシー I	演習	1					○										
C1B119		情報リテラシー II	演習	1						○									
人間と命	N1B201	形態機能学 I	演習	2					○								5単位 以上		
	N1B202	形態機能学 II	演習	2					○										
	N2B203	生命科学	講義	1							○								
	N2B204	生命倫理	講義	1							○								
	N2B205	環境保健	講義	1							○								
	N2B206	人間工学	講義	1							○								
	健康と健康 障害と予防	N1B207	薬理学	講義	2						○								12単位
		N2B208	臨床薬理学	演習	1								○						
		N2B209	臨床栄養学	演習	1							○							
		N1B210	病理病態学	演習	2						○								
N2B211		疾病治療学概論	演習	1							○								
N2B212		疾病治療学 A	演習	1							○								
N2B213		疾病治療学 B	演習	1							○								
N2B214		疾病治療学 C	演習	1								○							
N1B215		感染予防論	講義	2							○								
保健と医 療と福祉		N2B216	公衆衛生学	演習	1						○							9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)	
	N2B217	社会福祉学	講義	1						○									
	N2B218	家族社会学	講義	1							○								
	N2B219	チーム医療論	講義	1								○							
	N2B220	感染管理論	講義	1								○							
	N2B221	臨床心理学	講義	1								○							
	N1B222	地域保健学概論	講義	1						○									
	N3B223	保健医療福祉行政論 I	演習	1								○							
	N4B224	保健医療福祉行政論 II	演習	1									○						
	N3B225	保健統計	講義	2									○						
	N3B226	疫学 I	講義	1									○						
N4B227	疫学 II	講義	1										○						
N2B228	医療情報	演習	1							○									



区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数				配当年次(◎は集中で開講)								卒業要件単位		
				必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
看護の基礎となるもの	ヒューマンケアの基本	N1B301	看護学原論	講義	1				○									7単位
		N1B302	看護理論	講義	1					○								
		N2B303	援助の人間関係論	演習	1						○							
		N1B304	人間発達援助論	演習	1				○									
		N1B305	看護初期実習	実習	1				◎									
		N2B306	看護倫理学	講義	1						○							
		N3B307	健康教育指導法	演習	1								○					
	看護の基本的展開	N1B308	看護過程論	演習	1					○								10単位
		N1B309	看護観察技術論	演習	1				○									
		N2B310	症状マネジメント論	演習	2					○								
		N1B311	基礎看護技術論	演習	2					○								
		N1B312	基礎看護学臨地実習 I	実習	1					◎								
		N2B313	基礎看護学臨地実習 II	実習	2						◎							
		N3B314	研究方法論	演習	1									○				
小児	N2B315	小児看護学概論	講義	1						○							5単位	
	N3B316	小児看護援助論	演習	1							○							
	N3B317	小児看護技術論	演習	1								○						
	N3B318	小児看護学臨地実習	実習	2								◎						
母性	N2B319	母性看護学概論	講義	1						○							5単位	
	N3B320	母性看護援助論	演習	1							○							
	N3B321	母性看護技術論	演習	1								○						
	N3B322	母性看護学臨地実習	実習	2								◎						
成人	N2B323	成人看護学概論	講義	1					○								8単位	
	N2B324	成人看護援助論	演習	1					○									
	N3B325	成人看護技術論	演習	1							○							
	N2B326	成人看護学臨地実習 I	実習	3						◎								
	N3B327	成人看護学臨地実習 II	実習	2							◎							
老年	N2B328	老年看護学概論	講義	1					○								6単位	
	N2B329	老年看護援助論	演習	1						○								
	N3B330	老年看護技術論	演習	1								○						
	N3B331	老年看護学臨地実習 I	実習	1							◎							
	N3B332	老年看護学臨地実習 II	実習	2							◎							
精神	N2B333	精神看護学概論	講義	1					○								5単位	
	N2B334	精神看護援助論	演習	1						○								
	N3B335	精神看護技術論	演習	1							○							
	N3B336	精神看護学臨地実習	実習	2							◎							
在宅	N2B337	在宅看護学概論	講義	1						○							5単位	
	N2B338	在宅看護援助論	演習	1						○								
	N3B339	在宅看護技術論	演習	1							○							
	N3B340	在宅看護学臨地実習	実習	2							◎							
	N3B341	リハビリテーション看護学	演習	1							○							
健康問題への対応	N2B342	がん看護学	演習	1						○							5単位以上	
	N3B343	認知症ケア	演習	1							○							
	N3B344	透析ケア	講義	1								○						
	N3B345	重症集中ケア	講義	1								○						
	N3B346	救急看護学	講義	1								○						
	N3B347	放射線医療管理論	講義	1								○						
	N4B348	ペリネイタルケア	講義	1									○					
	N4B349	バリアティブケア	講義	1										○				
	N4B350	寒冷地医療	講義	1											○			
	N4B350	寒冷地医療	講義	1												○		
コミュニケイションに関するもの	N2B401	公衆衛生看護学概論	講義	1						○							2単位以上 (保健師コース 10単位)	
	N3B402	公衆衛生看護援助論 I	演習	1								○						
	N3B403	公衆衛生看護援助論 II	演習	1		1						○						
	N4B404	公衆衛生看護技術論	演習	1		1							○					
	N4B405	ヘルスプロモーション活動論	演習	1										○				
	N4B406	公衆衛生看護学臨地実習 I	実習	2		2							◎					
	N4B407	公衆衛生看護学臨地実習 II	実習	3		3							◎					
発展・統合に関するもの	N4B408	看護管理学	演習	1											○		12単位以上	
	N3B409	看護教育学	講義	1										○				
	N4B410	卒業研究	演習	4											○			
	N4B411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3											◎			
	N4B412	公衆衛生看護管理論	講義	1		1									○			
	N4B413	看護情報学	講義	1											○			
	N4B414	災害看護学	講義	1											○			
	N4B415	国際看護学	講義	1											○			
	N4B416	国際保健学	講義	1											○			
	N4B417	医療経営学	講義	1											○			
	N4B418	医療安全管理論	講義	1											○			
	N4B419	現代専門職論	講義	1											○			
	N5B421	地域プロジェクト	演習	2			2	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	N5B423	地域プロジェクト I (基礎編)	演習	2			2	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	N5B424	地域プロジェクト II (応用編)	演習	2			2			○	○	○	○	○	○	○		
	N5B425	地域プロジェクト III (発展編)	演習	2			2				○	○	○	○	○	○		
	学部連携	N2B422	学部連携基礎論	講義	2						○							
N3B420		学部連携演習	演習	2										○				

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。
 注3) 単位数(選択)の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)



2017年度（編入学生は2019年度）以降入学生用

区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数				配当年次（◎は集中で開講）								卒業 要件 単位		
				必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
共通教育科目	導入科目	C1C000	スタートアップ演習	演習	2				○									2単位
	文化に 対する 理解	C1C001	哲学と倫理	講義	2				○									4単位 以上
		C1C002	宗教と思想	講義	2					○								
		C1C003	芸術と文化	講義	2					○								
		C2C004	教育を考える	講義	2						○							
		C2C005	生活と文化	講義	2						○							
		C2C006	ジェンダーと文化	講義	2							○						
	人間と 自然に 対する 理解	C1C007	心のしくみ	講義	2						○							4単位 以上
		C1C008	体のしくみ	講義	2				○									
		C1C009	人間関係を考える	講義	2				○									
		C2C010	健康とスポーツ	講義	2							○						
		C2C011	環境を考える	講義	2						○							
		C1C012	自然科学を学ぶ	講義	2				○									
	社会に 対する 理解	C1C013	動物のくらし	講義	2					○								4単位 以上
		C1C014	現代社会と家族	講義	2						○							
		C2C015	現代社会と国際関係	講義	2							○						
		C1C016	現代社会と経済	講義	2						○							
		C1C017	札幌を学ぶ	講義	2				○									
		C2C018	ボランティア活動を考える	講義	2							○						
外国語	C1C101	英語 I A	演習	1				○									8単位 以上	
	C1C102	英語 I B	演習	1				○										
	C1C103	英語 I C	演習	1				○										
	C1C104	英語 II A	演習	1					○									
	C1C105	英語 II B	演習	1					○									
	C1C106	英語 II C	演習	1					○									
	C2C107	実践英語A	演習	1						○								
	C2C108	実践英語B	演習	1						○								
	C2C109	韓国語	演習	1							○							
	C2C110	中国語	演習	1							○							
	C2C111	ロシア語	演習	1							○							
コミュニ ケーション 科目	C1C112	日本語表現法	演習	1				○									4単位 以上	
	C1C113	プレゼンテーション	演習	1					○									
	C1C114	基礎カウンセリング	演習	1				○										
	C1C115	対人コミュニケーション	演習	1					○									
	C2C116	グループ・ダイナミックス	演習	1						○								
	C1C117	手話	演習	1						○								
	C1C118	情報リテラシー I	演習	1				○										
	C1C119	情報リテラシー II	演習	1					○									
専門基礎科目	人間と命	N1C201	形態機能学 I	演習	2				○								5単位 以上	
		N1C202	形態機能学 II	演習	2				○									
		N2C203	生命科学	講義	1						○							
		N2C204	生命倫理	講義	1						○							
		N2C205	環境保健	講義	1						○							
		N2C206	人間工学	講義	1						○							
	健康と健康 障害と予防	N1C207	薬理学	講義	2					○								12単位
		N2C208	臨床薬理学	演習	1							○						
		N2C209	臨床栄養学	演習	1						○							
		N1C210	病理病態学	演習	2					○								
		N2C211	疾病治療学概論	演習	1						○							
		N2C212	疾病治療学A	演習	1						○							
保健と医 療と福祉	N2C213	疾病治療学B	演習	1						○							9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)	
	N2C214	疾病治療学C	演習	1						○								
	N1C215	感染予防論	講義	2					○									
	N2C216	公衆衛生学	演習	1						○								
	N2C217	社会福祉学	講義	1						○								
	N2C218	家族社会学	講義	1						○								
	N2C219	チーム医療論	講義	1							○							
	N2C220	感染管理論	講義	1							○							
	N2C221	臨床心理学	講義	1							○							
	N1C222	地域保健学概論	講義	1					○									
保健と医 療と福祉	N3C223	保健医療福祉行政論 I	演習	1							○						9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)	
	N4C224	保健医療福祉行政論 II	演習	1								○						
	N3C225	保健統計	講義	2								○						
	N3C226	疫学 I	講義	1								○						
	N4C227	疫学 II	講義	1									○					
	N2C228	医療情報	演習	1							○							



区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数				配当年次(◎は集中で開講)								卒業 要件 単位	
				必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門 教育科目	看護の 基礎となるもの	N1C301	看護学原論	講義	1				○								7単位
		N1C302	看護理論	講義	1					○							
		N2C303	援助的人間関係論	演習	1						○						
		N1C304	人間発達援助論	演習	1				○								
		N1C305	看護初期実習	実習	1				◎								
		N2C306	看護倫理学	講義	1						○						
		N3C307	健康教育指導法	演習	1								○				
	看護の 基本的 展開	N1C308	看護過程論	演習	1					○							10単位
		N1C309	看護観察技術論	演習	1				○								
		N2C310	症状マネジメント論	演習	2						○						
		N1C311	基礎看護技術論	演習	2					○							
		N1C312	基礎看護学臨地実習 I	実習	1					◎							
		N2C313	基礎看護学臨地実習 II	実習	2						◎						
		N3C314	研究方法論	演習	1									○			
	小児	N2C315	小児看護学概論	講義	1						○						5単位
		N3C316	小児看護援助論	演習	1							○					
		N3C317	小児看護技術論	演習	1								○				
		N3C318	小児看護学臨地実習	実習	2								◎				
	母性	N2C319	母性看護学概論	講義	1						○					5単位	
		N3C320	母性看護援助論	演習	1							○					
		N3C321	母性看護技術論	演習	1								○				
		N3C322	母性看護学臨地実習	実習	2								◎				
	成人	N2C323	成人看護学概論	講義	1						○					8単位	
		N2C324	成人看護援助論	演習	1						○						
		N3C325	成人看護技術論	演習	1							○					
		N2C326	成人看護学臨地実習 I	実習	3						◎						
		N3C327	成人看護学臨地実習 II	実習	2							◎					
	老年	N2C328	老年看護学概論	講義	1						○					6単位	
		N2C329	老年看護援助論	演習	1							○					
		N3C330	老年看護技術論	演習	1								○				
		N3C331	老年看護学臨地実習 I	実習	1							◎					
	精神	N2C332	老年看護学臨地実習 II	実習	2							◎				5単位	
		N2C333	精神看護学概論	講義	1						○						
		N2C334	精神看護援助論	演習	1							○					
		N3C335	精神看護技術論	演習	1								○				
		N3C336	精神看護学臨地実習	実習	2							◎					
	在宅	N2C337	在宅看護学概論	講義	1							○				5単位	
		N2C338	在宅看護援助論	演習	1							○					
		N3C339	在宅看護技術論	演習	1								○				
		N3C340	在宅看護学臨地実習	実習	2							◎					
	健康問 題への 対応	N3C341	リハビリテーション看護学	演習	1								○			5単位 以上	
		N2C342	がん看護学	演習	1							○					
		N3C343	認知症ケア	演習	1								○				
		N3C344	透析ケア	講義	1									○			
		N3C345	重症集中ケア	講義	1									○			
N3C346		救急看護学	講義	1									○				
N3C347		放射線医療管理論	講義	1									○				
N4C348		ペリネイタルケア	講義	1										○			
N4C349		パリアティブケア	講義	1										○			
N4C350		寒冷地医療	講義	1										○			
コミュニ ティケア に関する もの	N2C401	公衆衛生看護学概論	講義	1							○				2単位 以上 (保健師 コース 10単位)		
	N3C402	公衆衛生看護援助論 I	演習	1								○					
	N3C403	公衆衛生看護援助論 II	演習	1								○					
	N4C404	公衆衛生看護技術論	演習	1									○				
	N4C405	ヘルスプロモーション活動論	演習	1									○				
	N4C406	公衆衛生看護学臨地実習 I	実習	2									◎				
	N4C407	公衆衛生看護学臨地実習 II	実習	3									◎				
発展・統 合に関す るもの	N4C408	看護管理学	演習	1										○	12単位 以上		
	N3C409	看護教育学	講義	1										○			
	N4C410	卒業研究	演習	4										○			
	N4C411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3										◎			
	N4C412	公衆衛生看護管理論	講義	1										○			
	N4C413	看護情報学	講義	1										○			
	N4C414	災害看護学	講義	1										○			
	N4C415	国際看護学	講義	1										○			
	N4C416	国際保健学	講義	1										○			
	N4C417	医療経営学	講義	1										○			
	N4C418	医療安全管理論	講義	1										○			
	N4C419	現代専門職論	講義	1										○			
	N5C423	地域プロジェクト I (基礎編)	演習	2				○	○	○	○	○	○	○			
	N5C424	地域プロジェクト II (応用編)	演習	2				○	○	○	○	○	○	○			
	N5C425	地域プロジェクト III (発展編)	演習	2				○	○	○	○	○	○	○			
学部連携	N2C422	学部連携基礎論	講義	2						○					4単位		
	N3C420	学部連携演習	演習	2							○						

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。

注3) 単位数(選択)の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)



② 卒業要件

※2009～2011年度（編入学生は2011～2013年度）入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	12	16	28
専門教育科目	94	6	100
(専門基礎科目)	(20)	(2)	(22)
(専門科目)	(74)	(4)	(78)
合 計	106	22	128

※2012～2015年度（編入学生は2014～2017年度）入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	12	16	28
専門教育科目	91	7	98
(専門基礎科目)	(24)	(2)	(26)
(専門科目)	(67)	(5)	(72)
合 計	103	23	126

※2016年度（編入学生は2018年度）以降入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	10	16	26
専門教育科目	93	7	100
(専門基礎科目)	(24)	(2)	(26)
(専門科目)	(69)	(5)	(74)
合 計	103	23	126

3) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
形態機能学Ⅰ	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
形態機能学Ⅱ	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
地域保健学概論	講義・15時間	1年次前期	◎喜多 歳子 本田 光
看護学原論	講義・15時間	1年次前期	◎定廣和香子 猪股千代子
人間発達援助論	演習・30時間	1年次前期	◎小田 和美 荒木 奈緒 松浦 和代 村松 真澄 守村 洋



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
看護初期実習	実習・45時間	1年次前期	◎菅原 美樹 大野 夏代 貝谷 敏子 神島 滋子 藤井 瑞恵 本田 光 三上 智子 村松 真澄 守村 洋 伊東健太郎 工藤 京子 櫻井 繭子 高橋 奈美 武富貴久子 原井 美佳 檜山 明子 矢野祐美子
看護観察技術論	演習・30時間	1年次前期	◎檜山 明子 大野 夏代 武富貴久子 鬼塚 美玲 渋谷 友紀
薬理学	講義・30時間	1年次後期	★松本真知子
病理病態学	演習・60時間	1年次後期	◎★鳥越 俊彦 ★廣橋 良彦 ★塚原 智英 ★金関 貴幸 ★久保 輝文
感染予防論	講義・30時間	1年次後期	★永坂 敦
看護理論	講義・15時間	1年次後期	◎定廣和香子 檜山 明子 渋谷 友紀
看護過程論	演習・30時間	1年次後期	◎武富貴久子 大野 夏代 檜山 明子 渋谷 友紀 ★斉藤 恭子
基礎看護技術論	演習・60時間	1年次後期	◎大野 夏代 樋之津淳子 武富貴久子 檜山 明子 矢野祐美子 渋谷 友紀
基礎看護学臨地実習 I	実習・45時間	1年次後期	◎武富貴久子 定廣和香子 樋之津淳子 大野 夏代 檜山 明子 鬼塚 美玲 柏倉 大作 近藤 圭子 渋谷 友紀 田仲 里江 野呂田美菜子 大友 舞 高橋 葉子 中田亜由美
地域プロジェクト I (基礎編)	演習・60時間	1・2年次通年	◎定廣和香子 菊地ひろみ 大野 夏代 三上 智子 村松 真澄 山本真由美 大淵 一博
生命科学	講義・15時間	2年次前期	★鈴木 健史
生命倫理	講義・15時間	2年次前期	★村上 友一
環境保健	講義・15時間	2年次前期	★齋藤 健
人間工学	講義・15時間	2年次前期	◎檜山 明子 樋之津淳子 ★佐藤 秀一
臨床栄養学	演習・30時間	2年次前期	★高野 良子
疾病治療学概論	演習・30時間	2年次前期	◎★高野 廣子 ★檀上 渉 ★堀口 貴行
疾病治療学A	演習・30時間	2年次前期	◎★和田 典男 他
疾病治療学B	演習・30時間	2年次前期	◎★永坂 敦 他
公衆衛生学	演習・30時間	2年次前期	◎★高橋 恭子 ★廣田 洋子
社会福祉学	講義・15時間	2年次前期	★新田 雅子
家族社会学	講義・15時間	2年次前期	◎丸山 洋平 小田 和美 松浦 和代
医療情報	演習・30時間	2年次前期	◎★小笠原克彦 ★遠藤 晃 ★谷 祐児
症状マネジメント論	演習・60時間	2年次前期	◎藤井 瑞恵 川村三希子 貝谷 敏子 神島 滋子 菅原 美樹 村松 真澄 工藤 京子 柏倉 大作



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
基礎看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	2年次前期	◎大野 夏代 定廣和香子 樋之津淳子 武富貴久子 檜山 明子 石引かずみ 鬼塚 美玲 柏倉 大作 近藤 圭子 渋谷 友紀 田仲 里江 御厩美登里 大友 舞 中田亜由美
成人看護学概論	講義・15時間	2年次前期	◎小田 和美 卯野木 健 川村三希子
成人看護援助論	講義・30時間	2年次前期	◎神島 滋子 小田 和美 貝谷 敏子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 工藤 京子 柏倉 大作
老年看護学概論	講義・15時間	2年次前期	村松 真澄
精神看護学概論	講義・15時間	2年次前期	守村 洋
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎貝谷 敏子 喜多 歳子 原井 美佳 ◎若林 尚樹 安齋 利典 武田 亘明 山田 信博 福田 大年
臨床薬理学	演習・30時間	2年次後期	◎★唯野 貢司 ★後藤 仁和
疾病治療学C	演習・30時間	2年次後期	◎★三澤 一仁 他
チーム医療論	講義・15時間	2年次後期	◎矢野祐美子 猪股千代子
感染管理論	講義・15時間	2年次後期	◎貝谷 敏子 卯野木 健 牧田 靖子 ★土佐理恵子
臨床心理学	講義・15時間	2年次後期	◎守村 洋 ★菊池 浩光
援助の人間関係論	演習・30時間	2年次後期	◎守村 洋 藤井 瑞恵 伊東健太郎 渋谷 友紀
看護倫理学	講義・15時間	2年次後期	◎荒木 奈緒 檜山 明子
小児看護学概論	講義・15時間	2年次後期	松浦 和代
母性看護学概論	講義・15時間	2年次後期	荒木 奈緒
成人看護学臨地実習Ⅰ	実習・ 135時間	2年次後期	◎工藤 京子 卯野木 健 小田 和美 川村三希子 貝谷 敏子 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 鬼塚 美玲 柏倉 大作 近藤 圭子 渋谷 友紀 田仲 里江 野呂田美菜子 大友 舞 高橋 葉子 中田亜由美
老年看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎村松 真澄 原井 美佳 ★前沢 政次
精神看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎伊東健太郎 守村 洋 ★松原 良次 ★松永 力
在宅看護学概論	講義・15時間	2年次後期	菊地ひろみ
在宅看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ ★石崎 剛 ★石谷 夕子 ★松田 諭
がん看護学	演習・30時間	2年次後期	◎川村三希子 松浦 和代 ★松田 夕香
公衆衛生看護学概論	講義・15時間	2年次後期	◎喜多 歳子 本田 光
地域プロジェクトⅡ（応用編）	演習・60時間	2・3・4年 次通年	◎定廣和香子 菊地ひろみ 大野 夏代 三上 智子 村松 真澄 山本真由美 大淵 一博



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
保健医療福祉行政論 I	演習・30時間	3年次前期	◎櫻井 繭子 本田 光 守村 洋 矢野祐美子 近藤 圭子 田仲 里江
保健統計	講義・30時間	3年次前期	◎★片倉 洋子 ★榎 洋一
疫学 I	講義・15時間	3年次前期	喜多 歳子
小児看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎三上 智子 松浦 和代 牧田 靖子 ★佐野 仁美 ★水島 正人
母性看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎山本真由美 石引かずみ ★菅原 照夫
成人看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎柏倉 大作 卯野木 健 小田 和美 川村三希子 貝谷 敏子 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 工藤 京子
成人看護学臨地実習 II	実習・90時間	3年次前期	◎藤井 瑞恵 小田 和美 川村三希子 貝谷 敏子 神島 滋子 菅原 美樹 工藤 京子 柏倉 大作 牧田 靖子
老年看護学臨地実習 I	実習・45時間	3年次前期	◎原井 美佳 村松 真澄 中田亜由美
精神看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎伊東健太郎 守村 洋
精神看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎伊東健太郎 守村 洋 野呂田美菜子
在宅看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎御厩美登里 菊地ひろみ 高橋 奈美 ★鈴木 英樹
在宅看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ 御厩美登里
リハビリテーション看護学	演習・30時間	3年次前期	◎神島 滋子 柏倉 大作 ★山中 康裕 ★石井 陽史
認知症ケア	演習・30時間	3年次前期	◎村松 真澄 原井 美佳
健康教育指導法	演習・30時間	3年次後期	◎田仲 里江 櫻井 繭子 近藤 圭子
研究方法論	演習・30時間	3年次後期	◎貝谷 敏子 神島 滋子 檜山 明子 ★平 紀子
小児看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎牧田 靖子 松浦 和代 三上 智子 ★能登奈々枝 ★田中 純
小児看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎牧田 靖子 松浦 和代 三上 智子
母性看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎石引かずみ 山本真由美
母性看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎山本真由美 渡邊由加利 石引かずみ 大友 舞
老年看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎原井 美佳 村松 真澄
老年看護学臨地実習 II	実習・90時間	3年次後期	◎村松 真澄 原井 美佳 中田亜由美
透析ケア	講義・15時間	3年次後期	◎藤井 瑞恵 ★木村 剛 ★宮腰 麻矢
重症集中ケア	講義・15時間	3年次後期	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★高橋 正浩
救急看護学	講義・15時間	3年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★三上 剛人
放射線医療管理論	講義・15時間	3年次後期	◎★池田 光 ★神島 保
公衆衛生看護援助論 I	演習・30時間	3年次後期	◎櫻井 繭子 本田 光 近藤 圭子 田仲 里江
公衆衛生看護援助論 II	演習・30時間	3年次後期	◎本田 光 櫻井 繭子 近藤 圭子 田仲 里江



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
看護教育学	講義・15時間	3年次後期	◎定廣和香子 武富 貴久子 渋谷 友紀
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎卯野木 健 荒木 奈緒 神島 滋子 本田 光 守村 洋 櫻井 繭子 高橋 奈美 檜山 明子 矢野祐美子 柏倉 大作 田仲 里江 ◎矢部 和夫 齊藤 雅也 山田 良 若林 尚樹 藤木 淳 三谷 篤史 石田 勝也 須之内元洋 福田 大念 金子 晋也 田島 悠史
地域プロジェクトⅢ（発展編）	演習・60時間	3・4年次通年	◎定廣和香子 菊地ひろみ 大野 夏代 三上 智子 村松 真澄 山本真由美 大淵 一博
ペリネイタルケア	講義・15時間	4年次前期	◎三上 智子 渡邊由加利 田仲 里江
パリアティブケア	講義・15時間	4年次前期	◎川村三希子
寒冷地医療	講義・15時間	4年次前期	◎原井 美佳 ★前沢 政次
公衆衛生看護技術論	演習・30時間	4年次前期	◎近藤 圭子 櫻井 繭子 田仲 里江
ヘルスプロモーション活動論	演習・30時間	4年次前期	◎本田 光 櫻井 繭子 近藤 圭子 田仲 里江
公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	実習・90時間	4年次前期	◎櫻井 繭子 喜多 歳子 本田 光 近藤 圭子 田仲 里江
公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	実習・135時間	4年次前期	◎本田 光 喜多 歳子 櫻井 繭子 近藤 圭子 田仲 里江
看護管理学	演習・30時間	4年次前期	◎猪股千代子 矢野祐美子 鬼塚 美玲
看護情報学	講義・15時間	4年次前期	★佐藤ひとみ
災害看護学	講義・15時間	4年次前期	◎矢野 祐美子 櫻井 繭子 田仲 里江 ★浅井 康文
国際看護学	講義・15時間	4年次前期	大野 夏代
国際保健学	講義・15時間	4年次前期	★千葉 逸朗
医療経営学	講義・15時間	4年次前期	◎猪股千代子 矢野祐美子 鬼塚 美玲 ★勝見 真澄
医療安全管理論	講義・15時間	4年次前期	◎猪股千代子 檜山 明子 矢野祐美子 鬼塚 美玲
現代専門職論	講義・15時間	4年次前期	◎樋之津淳子 猪股千代子 ★上田 順子 ★釣部 公映 ★木村 禎 ★田中 聖美
保健医療福祉行政論Ⅱ	演習・30時間	4年次後期	◎本田 光 櫻井 繭子 近藤 圭子 田仲 里江
疫学Ⅱ	講義・15時間	4年次後期	喜多 歳子
ヘルスケアマネジメント実習	実習・135時間	4年次後期	◎矢野祐美子 猪股千代子 大野 夏代 貝谷 敏子 神島 滋子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 三上 智子 村松 真澄 守村 洋 伊東健太郎 工藤 京子 高橋 奈美 武富貴久子 原井 美佳 檜山 明子 鬼塚 美玲
公衆衛生看護管理論	講義・15時間	4年次後期	◎本田 光 喜多 歳子 櫻井 繭子



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
卒業研究	演習・ 120時間	4年次通年	◎神島 滋子 荒木 奈緒 猪股千代子 卯野木 健 小田 和美 川村三希子 菊地ひろみ 喜多 歳子 定廣和香子 樋之津淳子 松浦 和代 大野 夏代 貝谷 敏子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 本田 光 三上 智子 村松 真澄 守村 洋 伊東健太郎 工藤 京子 櫻井 繭子 高橋 奈美 武富貴久子 原井 美佳 檜山 明子 矢野祐美子 山本真由美 石引かずみ 鬼塚 美玲 柏倉 大作 近藤 圭子 渋谷 友紀 田仲 里江 牧田 靖子 御厩美登里

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



4) 実習概要

※機関種別

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
看護初期実習	2019年6月3日～7日	医療機関	116名
		老人福祉センター	83名
		健診センター、その他	50名
基礎看護学臨地実習 I	2019年10月15日～18日	医療機関	328名
基礎看護学臨地実習 II	2019年5月20日～31日	医療機関	810名
成人看護学臨地実習 I	2019年10月28日～11月15日	医療機関	1,027名
老年看護学臨地実習 I	2019年5月13日～17日	老人福祉センター	84名
		介護老人保健施設	84名
		老人クラブ	84名
成人看護学臨地実習 II	2019年6月17日～7月26日	医療機関	793名
精神看護学臨地実習	2019年6月17日～7月26日	医療機関	468名
		社会福祉施設	160名
在宅看護学臨地実習	2019年6月17日～7月26日	医療機関	16名
		訪問看護ステーション	314名
		地域包括支援センター・居宅介護支援事業所	299名
母性看護学臨地実習	2019年11月18日 ～2020年1月31日	医療機関	738名
小児看護学臨地実習	2019年11月18日 ～2020年1月31日	医療機関	502名
		保育所	252名
老年看護学臨地実習 II	2019年11月18日 ～2020年1月31日	医療機関	371名
		介護老人保健施設	203名
公衆衛生看護学臨地実習 I・II	2019年6月10日～7月26日	保健所・保健センター	551名
		事業所	87名
		教育機関	51名
ヘルスケアマネジメント 実習	2019年9月24日～10月11日	医療機関	1,079名
		介護老人保健施設	52名



5 デザイン研究科

1) 2019年度時間割

① 前期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期2年生	博士前期1年生	博士前期1年生
1	9:00 ～ 10:30								コミュニケーション特論
2	10:40 ～ 12:10	環境マネジメント特論		メカトロニクス特論		製品造形特論		景観デザイン特論	国際関係特論
3	13:10 ～ 14:40	環境共生デザイン特論				形状情報処理特論			少子高齢社会特論
4	14:50 ～ 16:20					インタラクティブデザイン特論			連携プロジェクト演習
5	16:30 ～ 18:00	建築計画特論		インターンシップ I (事前講義)	建築構造デザイン特論	地域創成デザイン特別セミナーA			
				インターンシップ II (事前講義)					
6	18:10 ～ 19:40		人間空間デザイン研究法 人間情報デザイン研究法	デザイン特論	メディアプロデュース特論		地域プロジェクト演習	デザイン研究法	
7	19:50 ～ 21:20								

※デザイン特別演習、特別研究、横断型連携特別演習、博士デザイン特別演習および博士特別研究Ⅰ～Ⅲの開講時期は担当教員により異なる。

② 後期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生		博士前期1年生	博士前期1年生
1	9:00 ～ 10:30			建築環境学特論		インタフェースデザイン特論			健康福祉政策特論
2	10:40 ～ 12:10	ビジュアルデザイン特論		製品評価特論		コンピューショナル・アート特論		デザインマネジメント特論	地域経済政策特論
3	13:10 ～ 14:40			認知・感性科学特論		映像デザイン特論		製品デザイン特論	ヒューマニティ特論
4	14:50 ～ 16:20	日本建築史特論			地域ブランド構築特論 ※隔週開講				地域創成デザイン特別セミナーB
5	16:30 ～ 18:00	地域環境評価特論				感性価値特論			
6	18:10 ～ 19:40	現代芸術特論	人間空間デザイン特講 人間情報デザイン特講						
7	19:50 ～ 21:20								



2) カリキュラム

① 授業科目一覧・履修モデル
〈博士前期課程〉

2018年度入学生用

科目区分	授業科目の名称	科目ナンバリング	配当年次(時期)	単位数			空間デザイン分野		製品デザイン分野		コンテンツ・メディアデザイン分野		備考
				必修	選択	自由	建築デザイン	環境デザイン	プロダクトデザイン	インタフェースデザイン	コンテンツ制作	メディア展開	
研究科連携科目	国際関係特論	C5C701	1・2 前期		2								
	少子高齢社会特論	C5C702	1・2 前期		2			△	△				
	健康福祉政策特論	C5C703	1・2 後期		2								
	地域経済政策特論	C5C704	1・2 後期		2		△					△	
	ヒューマニティ特論	C5C705	1・2 後期		2								
	コミュニケーション特論	C5C706	1・2 前期		2					△	△		
	連携プロジェクト演習	C1C701	1 通年		2		△	△	△	△	△	△	
小計(7科目)		—	-	14	-	4	4	4	4	4	4	4単位以上	
基本科目	デザイン特論	D1C801	1 前期	2			◎	◎	◎	◎	◎		
	デザイン研究法	D1C802	1 前期		2			△	△	△	△		
	デザインマネジメント特論	D1C803	1 前期		2		△		△		△		
	小計(3科目)		—	2	4	-	4	4	4	4	4	4	4単位以上
専門教育科目 展開科目	建築計画特論	D5C801	1・2 前期		2		△■						
	建築環境学特論	D5C802	1・2 後期		2		△■						
	建築構造デザイン特論	D5C803	1・2 前期		2		△■						
	日本建築史特論	D5C804	1・2 後期		2		△						
	景観デザイン特論	D5C805	1・2 前期		2			△					
	地域環境評価特論	D5C806	1・2 後期		2			△					
	環境共生デザイン特論	D5C807	1・2 前期		2		△■	△					
	環境マネジメント特論	D5C808	1・2 前期		2			△	△				
	製品造形特論	D5C831	1・2 前期		2				△				
	製品評価特論	D5C832	1・2 後期		2				△	△			
	メカトロニクス特論	D5C833	1・2 前期		2				△	△			
	インタフェースデザイン特論	D5C834	1・2 後期		2					△			
	製品デザイン特論	D5C835	1・2 後期		2				△				
	感性価値特論	D5C836	1・2 後期		2					△			
	認知・感性科学特論	D5C861	1・2 後期		2					△	△		
	インタラクションデザイン特論	D5C862	1・2 前期		2						△	△	
	形状情報処理特論	D5C863	1・2 前期		2						△	△	
	映像デザイン特論	D5C864	1・2 後期		2						△	△	
	ビジュアルデザイン特論	D5C865	1・2 後期		2							△	
	コンピュータショナル・アート特論	D5C866	1・2 後期		2						△		
	現代芸術特論	D5C867	1・2 後期		2							△	
	メディアプロデュース特論	D5C868	1・2 前期		2							△	
	地域ブランド構築特論	D5C869	1・2 後期		2				△			△	
	デザイン特別演習	D1C804	1 前・後	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎	
小計(24科目)		—	2	46	-	12	12	12	12	12	12	12単位以上	
実践科目	地域プロジェクト演習	D2C801	2 前期	2			◎■	◎	◎	◎	◎	◎	
	地域創成デザイン特別セミナーA	D5C891	1・2 前期		2							△	
	地域創成デザイン特別セミナーB	D5C892	1・2 後期		2					△	△		
	インターンシップⅠ	D5C893	1・2 集中		2		△■	△	△				
	インターンシップⅡ	D5C894	1・2 集中			4	△■						
小計(5科目)		—	2	6	4	8	4	4	4	4	4	4単位以上	
修了研究	特別研究	D5C899	1~2 通年	6	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	小計(1科目)		—	6	-	-	6	6	6	6	6	6	6単位
合計(40科目)			—	12	70	4	34	30	30	30	30	30	

◎: 必修科目 △: 推奨される選択科目

■は一級建築士受験の実務経験1年とみなすために必要な指定科目(8科目・18単位からインターンシップⅡを含む16単位以上の履修が必要となります)

※「建築デザイン」履修モデルは一級建築士受験の実務経験1年とみなすために必要な科目の取得を想定しているため、合計単位数が34単位となっています。



2019年度以降入学生用

科目区分	授業科目の名称	科目ナンバリング	配当年次(時期)	単位数			人間空間デザイン分野		人間情報デザイン分野	
				必修	選択	自由	履修モデル名		履修モデル名	
							建築・環境デザイン	地域コミュニケーションデザイン	ものづくりデザイン	情報コミュニケーションデザイン
							研究テーマ例		研究テーマ例	
研究科連携科目	国際関係特論	C5D701	1・2 前		2			△	(△)	
	少子高齢社会特論	C5D702	1・2 前		2		(△)	(△)		
	健康福祉政策特論	C5D703	1・2 後		2					
	地域経済政策特論	C5D704	1・2 後		2		△	(△)		
	ヒューマンディ特論	C5D705	1・2 後		2			(△)	(△)	
	コミュニケーション特論	C5D706	1・2 前		2		(△)	△	(△) △	
	連携プロジェクト演習	C1D701	1 通		2		△	△	△	△
	小計(7科目)		-	-	14	-	4単位以上			
基本科目	デザイン特論	D1D801	1 前	2			◎	◎	◎	◎
	デザイン研究法	D1D802	1 前		2		△	(△)	△	(△)
	デザインマネジメント特論	D1D803	1 後		2		(△)	△	(△)	△
	小計(3科目)		-	2	4	-	4単位以上			
専門教育科目	建築計画特論	D5D801	1・2 前		2		△■	(△)	(△)	
	建築環境学特論	D5D802	1・2 後		2		△■	(△)	(△)	
	建築構造デザイン特論	D5D803	1・2 前		2		△■			
	日本建築史特論	D5D804	1・2 後		2		△			
	景観デザイン特論	D5D805	1・2 前		2		△	(△)		
	地域環境評価特論	D5D806	1・2 後		2		(△)	△		
	環境共生デザイン特論	D5D807	1・2 前		2		△■	(△)		
	環境マネジメント特論	D5D808	1・2 前		2		(△)	△		(△)
	現代芸術特論	D5D809	1・2 後		2		(△)	△		
	メディアプロデュース特論	D5D810	1・2 前		2			△		(△)
	地域ブランド構築特論	D5D811	1・2 後		2			△		
	製品造形特論	D5D841	1・2 前		2				(△)	
	製品評価特論	D5D842	1・2 後		2				△	(△)
	メカトロニクス特論	D5D843	1・2 前		2				△	(△)
	インタフェースデザイン特論	D5D844	1・2 後		2			(△)	△	(△)
	製品デザイン特論	D5D845	1・2 後		2				△	(△)
	感性価値特論	D5D846	1・2 後		2			(△)	(△)	△
	認知・感性科学特論	D5D847	1・2 後		2		(△)		(△)	△
	インタラクションデザイン特論	D5D848	1・2 前		2				△	△
	形状情報処理特論	D5D849	1・2 前		2				(△)	
	映像デザイン特論	D5D850	1・2 後		2				(△)	△
	ビジュアルデザイン特論	D5D851	1・2 後		2					(△)
	コンピュータショナル・アート特論	D5D852	1・2 後		2		(△)		(△)	△
	デザイン特別演習	D1D804	1 前・後	2			◎■	◎	◎	◎
	小計(24科目)		-	2	46	-	12単位以上			
実践科目	地域プロジェクト演習	D2D801	2 前	2			◎■	◎	◎	◎
	地域創成デザイン特別セミナーA	D5D891	1・2 前		2			△		
	地域創成デザイン特別セミナーB	D5D892	1・2 後		2					△
	インターンシップI	D5D893	1・2 集中		2		△■		△	
	インターンシップII	D5D894	1・2 集中		4		△■			
	小計(5科目)		-	2	6	4	4単位以上			
終了研究	特別研究	D5D899	1-2 通	6	-	-	◎	◎	◎	◎
	小計(1科目)		-	6	-	-	6単位			
	合計(40科目)		-	12	70	4	30単位以上			

◎：必修科目 △：推奨される選択科目 (△)：選択科目の組み合わせ候補(研究課題によって選択)
 ■：一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な指定科目(8科目・18単位からインターンシップIIを含む16単位以上の履修が必要となります)
 ※「建築・環境デザイン」履修モデルは一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な科目の取得を想定しているため、合計単位数が34単位となっています。

< 博士後期課程 >

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
基本科目	横断型連携特別演習	1通年		2				○	
	人間空間デザイン研究法	1前期			2		○		
	人間情報デザイン研究法	1前期			2		○		
	小計(3科目)		-	2	4	0			-
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期			2		○		
	人間情報デザイン特講	1後期			2		○		
	博士デザイン特別演習	2前期		2				○	
	小計(3科目)		-	2	4	0			-
研究指導科目	博士特別研究I	1通年		2				○	
	博士特別研究II	2通年		2				○	
	博士特別研究III	3通年		4				○	
	小計(3科目)		-	8	0	0			-
	合計(9科目)		-	12	8	0			-



② 修了要件
 <博士前期課程>

科目区分		修了要件	
研究科連携科目		4単位以上	
専門教育科目	基本科目	4単位以上	
	展開科目	人間空間デザイン分野	12単位以上
		人間情報デザイン分野	
	実践科目	4単位以上	
修了研究	6単位		
合計		30単位以上	

「研究科連携科目」から4単位以上、「基本科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「展開科目」から12単位以上(必修2単位を含む)、「実践科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「特別研究」を6単位、合計30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文等の審査及び最終試験に合格したものに学位を授与する。

<博士後期課程>

科目区分	修了要件
基本科目	4単位以上
展開科目	4単位以上
研究指導科目	8単位以上
合計	16単位以上

「基本科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「展開科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「研究指導科目」から8単位、合計16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格したものに学位を授与する。

3) 教育活動
 <博士前期課程>
 研究科連携科目

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎スーディ神崎和代 石井 雅博 安齋 利典 張 浦華 ★千葉 逸朗
少子高齢社会論	講義・30時間	1・2年次前期	丸山 洋平
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎町田佳世子 石井 雅博 柿山浩一郎 三谷 篤史 山田 信博 片山めぐみ
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村 洋 喜多 歳子 ★大久保一郎
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	★森 邦恵
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	松井 美穂
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎石井 雅博 森 朋子 大島 卓 金 秀敬 ◎喜多 歳子 伊東健太郎 高橋 奈美

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



専門教育科目

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
デザイン特論	講義・30時間	1年次前期	◎齊藤 雅也 安齋 利典 柿山浩一郎 山田 良 若林 尚樹 椎野亜紀夫 張 浦華 藤木 淳 三谷 篤史 森 朋子 山田 信博 大島 卓 片山めぐみ 金 秀敬 松永 康佑
デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎椎野亜紀夫 柿山浩一郎 町田佳世子
デザインマネジメント特論	講義・30時間	1年次後期	◎安齋 利典 ★及川 雅稔 ★近藤 公彦 ★高橋 尚基
建築計画特論	講義・30時間	1・2年次前期	山田 信博
建築環境学特論	講義・30時間	1・2年次後期	齊藤 雅也
建築構造デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	★渡邊 和之
日本建築史特論	講義・30時間	1・2年次後期	羽深 久夫
景観デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	椎野亜紀夫
地域環境評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎矢部 和夫 森 朋子
環境共生デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	山田 良
環境マネジメント特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎片山めぐみ 大島 卓
製品造形特論	講義・30時間	1・2年次前期	★石崎 友紀
製品評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎柿山浩一郎 張 浦華
メカトロニクス特論	講義・30時間	1・2年次前期	三谷 篤史
インタフェースデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	若林 尚樹
製品デザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	安齋 利典
感性価値特論	講義・30時間	1・2年次後期	金 秀敬
認知・感性科学特論	講義・30時間	1・2年次後期	石井 雅博
インタラクションデザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	細谷 多聞
形状情報処理特論	講義・30時間	1・2年次前期	★城間 祥之
映像デザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	松永 康佑
ビジュアルデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	横溝 賢
コンピューショナル・アート特論	講義・30時間	1・2年次後期	藤木 淳
現代芸術特論	講義・30時間	1・2年次後期	上遠野 敏
メディアプロデュース特論	講義・30時間	1・2年次前期	★久保 俊哉
地域ブランド構築特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎★椎名 希美 ★加藤 知恵 ★中山 俊彦 ★旗本 智之 ★水野 雅弘
デザイン特別演習	演習・30時間	1年次 前期・後期	◎石井 雅博 安齋 利典 柿山浩一郎 上遠野 敏 齊藤 雅也 羽深 久夫 細谷 多聞 矢部 和夫 山田 良 若林 尚樹 椎野亜紀夫 張 浦華 藤木 淳 三谷 篤史 森 朋子 山田 信博 大島 卓 片山めぐみ 金 秀敬 松永 康佑



地域プロジェクト演習	演習・30時間	2年次前期	◎石井 雅博 羽深 久夫 三谷 篤史	上遠野 敏 若林 尚樹 金 秀敬	柿山浩一郎 藤木 淳 松永 康佑
地域創成デザイン特別セミナーA	演習・30時間	1・2年次前期	◎羽深 久夫	齊藤 雅也	山田 良
地域創成デザイン特別セミナーB	演習・30時間	1・2年次後期	◎安齋 利典 三谷 篤史	石井 雅博	柿山浩一郎
インターンシップ I	実習・90時間	1・2年次集中	◎齊藤 雅也 森 朋子 片山めぐみ	山田 良 山田 信博	椎野亜紀夫 大島 卓
インターンシップ II	実習・180時間	1・2年次集中	◎羽深 久夫 森 朋子	齊藤 雅也 山田 信博	椎野亜紀夫 大島 卓
特別研究	演習・90時間	1~2年次通年	◎石井 雅博 上遠野 敏 細谷 多聞 椎野亜紀夫 三谷 篤史	安齋 利典 齊藤 雅也 矢部 和夫 張 浦華 山田 信博	柿山浩一郎 羽深 久夫 山田 良 藤木 淳 金 秀敬

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

< 博士後期課程 >

授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員		
人間空間デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎矢部 和夫 椎野亜紀夫	石井 雅博	羽深 久夫
人間情報デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎石井 雅博	細谷 多聞	
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎柿山浩一郎 椎野亜紀夫 山田 信博	齊藤 雅也 藤木 淳	町田佳世子 三谷 篤史
人間空間デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎羽深 久夫 椎野亜紀夫	齊藤 雅也 山田 信博	矢部 和夫 山田 良
人間情報デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎安齋 利典	石井 雅博	細谷 多聞
博士デザイン特別演習	演習・30時間	2年次前期	安齋 利典 齊藤 雅也 矢部 和夫 藤木 淳	石井 雅博 羽深 久夫 山田 良 三谷 篤史	柿山浩一郎 細谷 多聞 椎野亜紀夫 山田 信博
博士特別研究 I	演習・30時間	1年次通年	安齋 利典 齊藤 雅也 矢部 和夫 藤木 淳	石井 雅博 羽深 久夫 山田 良 三谷 篤史	柿山浩一郎 細谷 多聞 椎野亜紀夫 山田 信博
博士特別研究 II	演習・30時間	2年次通年	安齋 利典 齊藤 雅也 矢部 和夫 藤木 淳	石井 雅博 羽深 久夫 山田 良 三谷 篤史	柿山浩一郎 細谷 多聞 椎野亜紀夫 山田 信博
博士特別研究 III	演習・60時間	3年次通年	安齋 利典 齊藤 雅也 矢部 和夫 藤木 淳	石井 雅博 羽深 久夫 山田 良 三谷 篤史	柿山浩一郎 細谷 多聞 椎野亜紀夫 山田 信博



6 看護学研究科

1) 2019年度時間割

<博士前期課程>

①1年次

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ~ 10:30						
2	10:40 ~ 12:10						
3	13:10 ~ 14:40						
4	14:50 ~ 16:20	看護理論特論	看護コンサル テーション特論	看護研究法特論	寒冷地生活支援 看護学特論 がん看護・緩和 ケア特論	看護専門職教育特論 在宅看護学特論C 小児看護学特論A	小児看護学特論E クリティカルケア 看護学特論 がん看護学援助特論 精神看護学特論C
5	16:30 ~ 18:00	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論A 看護技術学特論Ⅰ 看護教育・看護 マネジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論A・B 地域看護学特論 小児看護学特論B 母性看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論B 看護技術学特論Ⅱ 看護教育学特論 看護マネジメント 学特論	看護管理学特論	家族看護学特論 小児看護学特論C がん薬物療法看護 特論 精神看護学特論D	看護倫理学特論	継続教育特論
		急性期看護学特論					
6	18:10 ~ 19:40	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論A 看護技術学特論Ⅰ 看護教育・看護 マネジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論A・B 地域看護学特論 小児看護学特論B 母性看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論B 看護技術学特論Ⅱ 看護教育学特論 看護マネジメント 学特論	看護研究法特論	寒冷地生活支援 看護学特論 小児看護学特論C がん看護・緩和 ケア特論	看護専門職教育特論 在宅看護学特論C 小児看護学特論A	小児看護学特論E クリティカルケア 看護学特論 がん看護学援助特論 精神看護学特論C
7	19:50 ~ 21:20	看護理論特論	看護コンサル テーション特論	看護管理学特論	家族看護学特論 がん薬物療法看護 特論 精神看護学特論D	看護倫理学特論	継続教育特論

※ 「特別研究」及び「課題研究」は、指導教員ごとに開講する。

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。



木		金		土		
前期	後期	前期	後期	前期	後期	
				コミュニケーション特論	健康福祉政策特論	
				国際関係特論	地域経済政策特論	
				少子高齢社会特論	ヒューマニティ特論	
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習A 看護技術学演習 I 看護教育・看護マ ネジメント学演習	老年看護学演習 在宅看護学演習 地域看護学演習 小児看護学演習A 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 看護技術学演習 II 看護教育学演習 看護マネジメント 学演習		アドバンスト・ フィジカルアセス メント論	連携プロジェクト演習		
		フィジカルアセスメント論				
		臨床哲学特論 病態生理学特論	臨床薬理学特論 急性期病態管理学特論			がん病態治療特論
				小児看護学演習B		
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習A 看護技術学演習 I 看護教育・看護マ ネジメント学演習	老年看護学演習 在宅看護学演習 地域看護学演習 小児看護学演習A 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 看護技術学演習 II 看護教育学演習 看護マネジメント 学演習	臨床哲学特論 病態生理学特論	臨床薬理学特論 急性期病態管理学特論			
			アドバンスト・ フィジカルアセス メント論			
		フィジカルアセスメント論				



②2年次

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ～ 10:30						
2	10:40 ～ 12:10						
3	13:10 ～ 14:40						
4	14:50 ～ 16:20					小児看護学特論D	
5	16:30 ～ 18:00	老年看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 慢性期看護学特論 看護技術学特論Ⅱ 看護教育学特論 看護マネジメント学特論		在宅看護学特論D 慢性期精神看護学特論	慢性期精神看護学演習	在宅看護学特論E	
		クリティカルケア看護学演習Ⅰ		がん看護・緩和ケア演習	がん薬物療法看護学演習	クリティカルケア看護学演習Ⅱ	
6	18:10 ～ 19:40	老年看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 慢性期看護学特論 看護技術学特論Ⅱ 看護教育学特論 看護マネジメント学特論		在宅看護学特論D 慢性期精神看護学特論	慢性期精神看護学演習	小児看護学特論D	
		クリティカルケア看護学演習Ⅰ		がん看護・緩和ケア演習	がん薬物療法看護学演習	クリティカルケア看護学演習Ⅱ	
7	19:50 ～ 21:20					在宅看護学特論E	

※ 「特別研究」及び「課題研究」は、指導教員ごとに開講する。

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。



木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
				コミュニケーション特論	健康福祉政策特論
				国際関係特論	地域経済政策特論
				少子高齢社会特論	ヒューマニティ特論
老年看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 精神看護学演習B 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習					
			急性期病態管理学特論	小児看護学演習B がん看護学演習Ⅱ	
老年看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 精神看護学演習B 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習			急性期病態管理学特論		



< 博士後期課程 >

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ∟ 10:30						
2	10:40 ∟ 12:10						
3	13:10 ∟ 14:40						
4	14:50 ∟ 16:20			後期特別研究 I II III			
5	16:30 ∟ 18:00			(横断型連携特別演習)			
6	18:10 ∟ 19:40			後期特別研究 I II III			
7	19:50 ∟ 21:20			(横断型連携特別演習)			

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合があります。

※ 「後期特別研究 I II III」は、教員と学生が協議の上で授業時間帯を確定する。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。

	木		金		土	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
看護学特講					横断型連携特別演習	
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習						
看護学特講						
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習						



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

<博士前期課程>

2017年度以前入学生用

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
研究科連携科目	C5A701	国際関係特論	1・2 前		2		○			4単位以上
	C5A702	少子高齢社会特論	1・2 前		2		○			
	C5A703	健康福祉政策特論	1・2 後		2		○			
	C5A704	地域経済政策特論	1・2 後		2		○			
	C5A705	ヒューマニティ特論	1・2 後		2		○			
	C5A706	コミュニケーション特論	1・2 前		2		○			
	C1A701	連携プロジェクト演習	1 通		2			○		
専 門 基 礎 科 目	N1A801	看護理論特論	1 前	2			○			8単位以上
	N1A802	看護研究法特論	1 前	2			○			
	N1A803	看護倫理学特論	1 前		2		○			
	N1A804	看護管理学特論	1 前		2		○			
	N1A805	臨床哲学特論	1 前		2		○			
	N1A806	看護コンサルテーション特論	1 後		2		○			
	N1A807	看護専門職教育特論	1 前		2		○			
	N1A808	継続教育特論	1 後		2		○			
	N1A809	寒冷地生活支援看護学特論	1 後		2		○			
	N1A810	家族看護学特論	1 後		2		○			
専 門 実 践 科 目	N1A821	地域生活看護学特論	1 前		2		○			1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者16単位以上)
	N5A821	老年看護学特論	1・2 後		2		○			
	N5A822	在宅看護学特論	1・2 後		2		○			
	N5A823	地域看護学特論	1・2 後		2		○			
	N1A822	地域生活看護学演習	1 通		2			○		
	N5A824	老年看護学演習	1・2 通		2			○		
	N5A825	在宅看護学演習	1・2 通		2			○		
	N5A826	地域看護学演習	1・2 通		2			○		
	N1A831	母子看護学特論	1 前		2		○			
	N5A831	母子看護学特論	1・2 後		2		○			
	N1A832	小児看護学特論A	1 前		2		○			
	N1A833	小児看護学特論B	1 後		2		○			
	N1A834	小児看護学特論C	1 後		1		○			
	N2A831	小児看護学特論D	2 前		1		○			
	N1A835	母子看護学演習	1 通		2			○		
	N5A832	母子看護学演習	1・2 通		2			○		
	N1A836	小児看護学演習A	1 通		2			○		
	N5A833	小児看護学演習B	1・2 通		2			○		
	N5A834	小児看護学実習 I	1・2 通		4				○	
	N5A835	小児看護学実習 II	1・2 通		2				○	
専 門 教 育 科 目	N1A841	成人看護学特論	1 前		2		○			1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者16単位以上)
	N5A841	急性期看護学特論	1・2 後		2		○			
	N5A842	慢性期看護学特論	1・2 後		2		○			
	N5A843	がん看護学特論	1・2 後		2		○			
	N5A844	急性期病態管理学特論	1・2 後		2		○			
	N1A842	クリティカルケア看護学特論	1 前		1		○			
	N1A843	がん看護学・緩和ケア特論	1 前		1		○			
	N1A844	がん看護学・緩和ケア援助特論	1 後		1		○			
	N1A845	腫瘍学特論	1 前		2		○			
	N1A846	病態治療特論	1 後		2		○			
専 門 教 育 科 目	N1A847	成人看護学演習	1 通		2			○		1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者16単位以上)
	N5A845	急性期看護学演習	1・2 通		2			○		
	N1A848	アドバンスト・フィジカルアセスメント演習	1 前		1			○		
	N1A849	クリティカルケア看護学演習	1 通		2			○		
	N5A846	慢性期看護学演習	1・2 通		2			○		
	N5A847	がん看護学演習 I	1・2 通		2			○		
	N2A841	がん看護学演習 II	2 通		2			○		
	N5A848	急性期看護学実習	1・2 通		6				○	
	N1A850	がん看護学実習 I	1 後		2				○	
	N2A842	がん看護学実習 II	2 通		4				○	
専 門 教 育 科 目	N1A861	精神看護学特論 I	1 前		2		○			1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者16単位以上)
	N5A861	精神看護学特論 II	1・2 後		2		○			
	N5A862	精神看護学特論 III	1・2 前		2		○			
	N5A863	精神看護学特論 IV	1・2 前		1		○			
	N1A862	精神看護学特論 V	1 後		2		○			
	N2A861	精神看護学特論 VI	2 前		2		○			
	N1A863	精神看護学演習 I	1 通		2			○		
	N5A864	精神看護学演習 II	1・2 通		2			○		
	N5A865	精神看護学演習 III	1・2 通		2			○		
	N1A864	クリティカル精神看護学演習	1 後		1			○		
専 門 教 育 科 目	N2A862	リハビリテーション精神看護学演習	2 前		1			○		1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者16単位以上)
	N1A865	精神看護学実習 I	1 後		2				○	
	N2A863	精神看護学実習 II	2 通		4				○	
	N1A871	看護技術学特論 I	1 前		2		○			
	N5A871	看護技術学特論 II	1・2 後		2		○			
	N1A872	看護技術学演習 I	1 通		2			○		
	N5A872	看護技術学演習 II	1・2 通		2			○		
	N1A881	看護教育・看護マネジメント学特論	1 前		2		○			
	N5A881	看護教育学特論	1・2 後		2		○			
	N5A882	看護マネジメント学特論	1・2 後		2		○			
専 門 教 育 科 目	N1A882	看護教育・看護マネジメント学演習	1 通		2			○		1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者16単位以上)
	N5A883	看護教育学演習	1・2 通		2			○		
	N5A884	看護マネジメント学演習	1・2 通		2			○		
	N5A891	特別研究	1~2 通		8			○		
	N5A892	課題研究	1~2 通		4			○		



2018年度以降入学生用

科目区分	科目 ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
研究科連携科目	C5B701	国際関係特論	1・2 前		2			○		4単位以上
	C5B702	少子高齢社会特論	1・2 前		2			○		
	C5B703	健康福祉政策特論	1・2 後		2			○		
	C5B704	地域経済政策特論	1・2 後		2			○		
	C5B705	ヒューマノディ特論	1・2 後		2			○		
	C5B706	コミュニケーション特論	1・2 前		2			○		
	C1B701	連携プロジェクト演習	1 通		2				○	
専 門 基 礎 科 目	N1B801	看護理論特論	1 前	2				○		8単位以上 (専門看護師認定希望者14単位以上)
	N1B802	看護研究法特論	1 前	2				○		
	N1B803	看護倫理学特論	1 前		2			○		
	N1B804	看護管理学特論	1 前		2			○		
	N1B805	臨床哲学特論	1 前		2			○		
	N1B806	看護コンサルテーション特論	1 後		2			○		
	N1B807	看護専門職教育特論	1 前		2			○		
	N1B808	継続教育特論	1 後		2			○		
	N1B809	寒冷地生活支援看護学特論	1 後		2			○		
	N1B810	家族看護学特論	1 後		2			○		
	N1B811	フィジカルアセスメント論	1 通		2			○		
	N1B812	病態生理学特論	1 前		2			○		
	N1B813	臨床薬理学特論	1 後		2			○		
専 門 実 践 科 目	N1B821	地域生活看護学特論	1 前		2			○		1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N5B821	老年看護学特論	1・2 後		2			○		
	N1B822	在宅看護学特論A	1 後		1			○		
	N1B823	在宅看護学特論B	1 後		1			○		
	N1B824	在宅看護学特論C	1 前		2			○		
	N2B821	在宅看護学特論D	2 前		2			○		
	N2B822	在宅看護学特論E	2 前		2			○		
	N5B822	地域看護学特論	1・2 後		2			○		
	N1B825	地域生活看護学演習	1 通		2				○	
	N5B823	老年看護学演習	1・2 通		2				○	
	N1B826	在宅看護学演習	1 通		2				○	
	N5B824	地域看護学演習	1・2 通		2				○	
	N1B827	高度在宅看護学実習 I	1 後		2				○	
	N2B823	高度在宅看護学実習 II	2 通		3				○	
	N2B824	高度在宅看護学実習 III	2 通		3				○	
	N2B825	高度在宅看護学実習 IV	2 通		3				○	
	N1B831	母子看護学特論	1 前		2			○		
	N5B831	母性看護学特論	1・2 後		2			○		
	N1B832	小児看護学特論A	1 前		2			○		
	N1B833	小児看護学特論B	1 後		2			○		
	N1B834	小児看護学特論C	1 後		1			○		
	N2B831	小児看護学特論D	2 前		1			○		
	N1B835	小児看護学特論E	1 後		2			○		
	N1B836	母子看護学演習	1 通		2				○	
	N5B832	母性看護学演習	1・2 通		2				○	
N1B837	小児看護学演習A	1 通		2				○		
N5B833	小児看護学演習B	1・2 通		2				○		
N1B838	高度小児看護学実習 I	1 後		2				○		
N2B832	高度小児看護学実習 II	2 通		4				○		
N2B833	高度小児看護学実習 III	2 通		4				○		
専 門 教 育 科 目	N1B841	成人看護学特論	1 前		2			○		1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N1B842	急性期看護学特論	1 通		2			○		
	N5B841	慢性期看護学特論	1・2 後		2			○		
	N1B843	がん看護学特論	1 後		2			○		
	N5B842	急性期病態管理学特論	1・2 後		2			○		
	N1B844	クリティカルケア看護学特論	1 後		2			○		
	N1B845	アドバンスト・フィジカルアセスメント論	1 後		2			○		
	N1B846	がん看護学援助特論	1 後		2			○		
	N1B847	がん薬物療法看護学特論	1 後		2			○		
	N1B848	がん看護・緩和ケア特論	1 後		2			○		
	N1B849	がん病態治療特論	1 後		2			○		
	N1B850	成人看護学演習	1 通		2				○	
	N5B843	急性期看護学演習	1・2 通		2				○	
	N2B841	クリティカルケア看護学演習 I	2 通		2				○	
	N2B842	クリティカルケア看護学演習 II	2 通		2				○	
	N5B844	慢性期看護学演習	1・2 通		2				○	
	N2B843	がん薬物療法看護学演習	2 通		2				○	
	N2B844	がん看護・緩和ケア演習	2 通		2				○	
	N1B851	高度急性期看護学実習 I	1 後		3				○	
	N2B845	高度急性期看護学実習 II	2 通		3				○	
N2B846	高度急性期看護学実習 III	2 通		2				○		
N2B847	高度急性期看護学実習 IV	2 通		2				○		
N1B852	高度がん看護学実習 I	1 後		2				○		
N2B848	高度がん看護学実習 II	2 通		4				○		
N2B849	高度がん看護学実習 III	2 通		4				○		
専 門 教 育 科 目	N1B861	精神看護学特論A	1 前		2			○		1つの領域から8単位以上 専門看護師認定希望者22単位以上
	N1B862	精神看護学特論B	1 後		2			○		
	N1B863	精神看護学特論C	1 後		2			○		
	N1B864	精神看護学特論D	1 後		2			○		
	N2B861	慢性期精神看護学特論	2 前		1			○		
	N1B865	精神看護学演習A	1 通		2				○	
	N2B862	精神看護学演習B	2 通		2				○	
	N2B863	慢性期精神看護学演習	2 後		1				○	
	N1B866	高度精神看護学実習 I	1 後		2				○	
	N1B867	高度精神看護学実習 II	1 後		2				○	
	N2B864	高度精神看護学実習 III	2 通		4				○	
	N2B865	高度精神看護学実習 IV	2 通		4				○	
	N1B871	看護技術学特論 I	1 前		2				○	
	N5B871	看護技術学特論 II	1・2 後		2				○	
	N1B872	看護技術学演習 I	1 通		2				○	
	N5B872	看護技術学演習 II	1・2 通		2				○	
	看護教育・管理領域	N1B881	看護教育・看護マネジメント学特論	1 前		2			○	
N5B881		看護教育学特論	1・2 後		2			○		
N5B882		看護マネジメント学特論	1・2 後		2			○		
N1B882		看護教育・看護マネジメント学演習	1 通		2				○	
N5B883		看護教育学演習	1・2 通		2				○	
N5B884		看護マネジメント学演習	1・2 通		2				○	
研究	N5B891	特別研究	1~2 通		8					8単位 (専門看護師認定希望者4単位)
	N5B892	課題研究	1~2 通		4					



＜博士後期課程＞

科目区分	科目 ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
連携科目 博士後期	N1A901	横断型連携特別演習	1 通	2				○		2単位
博士後期専門科目	N1A911	看護学特講	1 前	2			○			4単位以上
	N1A912	看護技術学特別演習	1 通		2			○		
	N1A913	実践看護学特別演習	1 通		2			○		
	N1A914	機能看護学特別演習	1 通		2			○		
博士後期 研究指導科目	N1A921	後期特別研究Ⅰ	1 通	2				○		8単位
	N2A921	後期特別研究Ⅱ	2 通	2				○		
	N3A921	後期特別研究Ⅲ	3 通	4				○		

② 修了要件

＜博士前期課程＞

※修士論文コース

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	20	—	24
専門基礎科目	4	4	—	8
専門科目	—	16	—	16
選択する領域・分野から	—	8	—	8
研究	—	8	—	8
合計	4	26	—	30

※専門看護師コース

(2017年度以前入学生)

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	24	—	28
専門基礎科目	4	4	—	8
専門科目	—	20	—	20
選択する領域・分野から	—	16	—	16
研究	—	4	—	4
合計	4	30	—	34



(2018年度以降入学生)

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	36	—	40
専門基礎科目	4	10	—	14
専門科目	—	26	—	26
選択する領域・分野から	—	22	—	22
研究	—	4	—	4
合計	4	42	—	46

<博士後期課程>

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
博士後期連携科目	2	—	—	2
博士後期専門科目	2	2	—	4
博士後期研究指導科目	8	—	—	8
合計	12	2	—	14

3) 教育活動

<博士前期課程>

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎★スーディ神崎和代 安齋 利典 石井 雅博 張 浦華 ★千葉 逸朗
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	丸山 洋平
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村 洋 喜多 歳子 ★大久保一郎
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	★森 邦恵
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	松井 美穂
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎町田佳世子 石井 雅博 柿山浩一郎 三谷 篤史 山田 信博 片山めぐみ
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎喜多 歳子 伊東健太郎 高橋 奈美 石井 雅博 森 朋子 大島 卓 金 秀敬
看護理論特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 小田 和美 川村三希子 菅原 美樹 大野 夏代 ★山内まゆみ
看護研究法特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 菊地ひろみ 貝谷 敏子
看護倫理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎川村三希子 荒木 奈緒 ★古都 昌子
看護管理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎猪股千代子 ★勝見 真澄
臨床哲学特論	講義・30時間	1年次前期	★尾形 敬次
看護コンサルテーション特論	講義・30時間	1年次後期	◎猪股千代子 牧田 靖子 ★藤野 智子 ★葛西 陽子



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
看護専門職教育特論	講義・30時間	1年次前期	定廣和香子
継続教育特論	講義・30時間	1年次後期	★古都 昌子 ★舟島なをみ ★中山登志子
寒冷地生活支援看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎村松 真澄 ★池田 貴夫 ★前沢 政次 ★鈴木 英樹
家族看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎小田 和美 菊地ひろみ ★柳原 清子 ★吉川由希子
フィジカルアセスメント論	講義・30時間	1年次通年	◎菅原 美樹 三上 智子 ★羽賀 将衛 ★石川 幸司 ★牧野 夏子
病態生理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎★齋藤 重幸 卯野木 健 貝谷 敏子 神島 滋子 藤井 瑞恵
臨床薬理学特論	講義・30時間	1年次後期	◎★齋藤 浩司 松浦 和代 川村三希子 菊地ひろみ 守村 洋
地域生活看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎菊地ひろみ 喜多 歳子 村松 真澄
老年看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎村松 真澄 ★樋渡ひとみ ★大久保抄織
在宅看護学特論A	講義・15時間	1年次後期	◎菊地ひろみ ★石崎 剛
在宅看護学特論B	講義・15時間	1年次後期	◎菊地ひろみ
在宅看護学特論C	講義・30時間	1年次前期	◎菊地ひろみ ★鈴木眞一郎 ★吉崎 秀夫 ★土島 智幸 ★西川 就 ★矢崎 一雄 ★今井 浩平
在宅看護学特論D	講義・30時間	2年次後期	◎菊地ひろみ 村松 真澄 ★鈴木 英樹
在宅看護学特論E	講義・30時間	2年次後期	菊地ひろみ
地域看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	喜多 歳子
地域生活看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎村松 真澄 菊地ひろみ 喜多 歳子 本田 光 高橋 奈美 ★平原 優美
老年看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎村松 真澄 原井 美佳
在宅看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美 ★平原 優美 ★門脇 陸子
地域看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎本田 光 喜多 歳子
高度在宅看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ
高度在宅看護学実習Ⅱ	実習・135時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
高度在宅看護学実習Ⅲ	実習・135時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
高度在宅看護学実習Ⅳ	実習・90時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
母子看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 荒木 奈緒
母性看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	荒木 奈緒
小児看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	松浦 和代
小児看護学特論B	講義・30時間	1年次後期	松浦 和代
小児看護学特論C	講義・15時間	1年次後期	松浦 和代
小児看護学特論D	講義・15時間	2年次前期	松浦 和代
小児看護学特論E	講義・30時間	1年次後期	◎松浦 和代 牧田 靖子



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
母子看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎松浦 和代 荒木 奈緒 渡邊由加利 三上 智子 ★山内 豊明
母性看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎荒木 奈緒 渡邊由加利
小児看護学演習A	演習・60時間	1年次通年	◎松浦 和代 三上 智子 牧田 靖子
小児看護学演習B	演習・60時間	1・2年次通年	◎三上 智子 松浦 和代
高度小児看護学実習 I	実習・90時間	1年次後期	◎松浦 和代 三上 智子
高度小児看護学実習 II	実習・180時間	2年次通年	◎三上 智子 松浦 和代
高度小児看護学実習 III	実習・180時間	2年次通年	◎三上 智子 松浦 和代
成人看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎小田 和美 卯野木 健 川村三希子
急性期看護学特論	講義・30時間	1年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹
慢性期看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	小田 和美
がん看護特論	講義・30時間	1年次後期	川村三希子
急性期病態管理学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎★七戸 康夫 卯野木 健 ★佐藤 朝之 ★上村 修二
クリティカルケア看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎卯野木 健 菅原 美樹
アドバンスト・フィジカルアセスメント論	講義・30時間	1年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 神島 滋子 ★小川 謙 ★木村 禎
がん看護学援助特論	講義・30時間	1年次後期	◎川村三希子 ★荒尾 晴恵
がん薬物療法看護特論	講義・30時間	1年次後期	◎川村三希子 ★石岡 明子
がん看護・緩和ケア特論	講義・30時間	1年次後期	川村三希子
がん病態治療特論	講義・30時間	1年次後期	◎★小林 正伸 川村三希子 ★福原 敬 ★鈴木恵士郎
成人看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎小田 和美 貝谷 敏子 神島 滋子 藤井 瑞恵 ★山内 豊明
急性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎菅原 美樹 卯野木 健 神島 滋子 ★平尾 明美 ★藤野 智子
クリティカルケア看護学演習 I	演習・60時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★伊藤 伸子
クリティカルケア看護学演習 II	演習・60時間	2年次通年	◎菅原 美樹 卯野木 健 神島 滋子 ★平尾 明美
慢性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎小田 和美 貝谷 敏子 藤井 瑞恵
がん薬物療法看護演習	演習・60時間	2年次通年	◎川村三希子 ★小野 聡子 ★石岡 明子 ★齋 若菜
がん看護・緩和ケア演習	演習・60時間	2年次通年	◎川村三希子 ★内海 明美 ★田中いづみ
高度急性期看護学実習 I	実習・135時間	1年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★藤野 智子 ★小川 謙
高度急性期看護学実習 II	実習・135時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★藤野 智子 ★小川 謙
高度急性期看護学実習 III	実習・90時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★小川 謙
高度急性期看護学実習 IV	実習・90時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★小川 謙
高度がん看護学実習 I	実習・90時間	1年次後期	◎川村三希子



授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員
高度がん看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	◎川村三希子
高度がん看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	◎川村三希子
精神看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	◎守村 洋 ★山本 勝則
精神看護学特論B	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋 ★吉野 淳一
精神看護学特論C	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋 ★齊藤 浩司 ★吉野 淳一
精神看護学特論D	講義・30時間	1年次後期	◎★山本 勝則 守村 洋
慢性期精神看護学特論	講義・15時間	2年次前期	◎★山本 勝則 守村 洋
精神看護学演習A	演習・60時間	1年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎
精神看護学演習B	演習・60時間	2年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎
慢性期精神看護学演習	演習・30時間	2年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅱ	実習・90時間	1年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎 ★中村 創
高度精神看護学実習Ⅳ	実習・90時間	2年次通年	◎伊東健太郎 守村 洋
看護技術学特論Ⅰ	講義・30時間	1年次前期	樋之津淳子
看護技術学特論Ⅱ	講義・30時間	1・2年次後期	◎樋之津淳子 大野 夏代
看護技術学演習Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津淳子 大野 夏代 ★山内 豊明
看護技術学演習Ⅱ	演習・60時間	1・2年次通年	◎大野 夏代 樋之津淳子
看護教育・マネジメント学特論	講義・30時間	1年次前期	◎定廣和香子 猪股千代子
看護教育学特論	講義・30時間	1・2年次後期	定廣和香子
看護マネジメント学特論	講義・30時間	1・2年次後期	猪股千代子
看護教育・看護マネジメント学演習	演習・60時間	1年次通年	◎定廣和香子 猪股千代子
看護教育学演習	演習・60時間	1・2年次通年	定廣和香子
看護マネジメント学演習	演習・60時間	1・2年次通年	猪股千代子
特別研究	演習・240時間	1～2年次通年	◎樋之津淳子 荒木 奈緒 猪股千代子 卯野木 健 小田 和美 川村三希子 菊地ひろみ 喜多 歳子 定廣和香子 松浦 和代 貝谷 敏子 神島 滋子 菅原 美樹 村松 真澄 守村 洋 大野 夏代 藤井 瑞恵 本田 光 渡邊由加利 原井 美佳
課題研究	演習・120時間	1～2年次通年	◎樋之津淳子 卯野木 健 川村三希子 菊地ひろみ 松浦 和代 菅原 美樹 守村 洋

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



< 博士後期課程 >

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎樋之津淳子 荒木 奈緒 川村三希子 菊地ひろみ 喜多 歳子 定廣和香子 松浦 和代
看護学特講	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 卯野木 健 喜多 歳子 ★真田 弘美 ★スーディ神崎和代
看護技術学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津淳子 村松 真澄
実践看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎松浦 和代 荒木 奈緒 卯野木 健 川村三希子 菊地ひろみ 村松 真澄 守村 洋
機能看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎定廣和香子 喜多 歳子
後期特別研究Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津淳子 卯野木 健 川村三希子 菊地ひろみ 喜多 歳子 定廣和香子 松浦 和代 村松 真澄 守村 洋
後期特別研究Ⅱ	演習・60時間	2年次通年	◎樋之津淳子 卯野木 健 川村三希子 菊地ひろみ 喜多 歳子 定廣和香子 松浦 和代 村松 真澄 守村 洋
後期特別研究Ⅲ	演習・120時間	3年次通年	◎樋之津淳子 中村 恵子 卯野木 健 川村三希子 菊地ひろみ 喜多 歳子 定廣和香子 松浦 和代 村松 真澄 守村 洋

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



7 助産学専攻科

1) 2019年度時間割

① 前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ～ 10:30	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
2	10:40 ～ 12:10	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
3	13:10 ～ 14:40	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論		助産管理論	
4	14:50 ～ 16:20	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論			
5	16:30 ～ 18:00			地域母子保健論							

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。

② 後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ～ 10:30	助産学演習									
2	10:40 ～ 12:10	助産学演習									
3	13:10 ～ 14:40	助産学課題研究									
4	14:50 ～ 16:20	助産学課題研究									
5	16:30 ～ 18:00										

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

区分	授業科目の名称	授業形態	単位数 (全科目：必修)
基礎助産学	助産学総論	講義	2
	周産期医学論	講義	2
	乳幼児支援論	講義	2
	妊娠期助産診断・技術学	演習	1
	分娩期助産診断・技術学	演習	2
	産褥期助産診断・技術学	演習	1
実践助産学	助産学フィールド演習	演習	1
	周産期ハイリスク援助論	演習	1
	地域母子保健論	講義	1
	助産管理論	講義	1
	助産学実習Ⅰ	実習	3
	助産学実習Ⅱ	実習	3
	助産学実習Ⅲ	実習	3
	助産学実習Ⅳ	実習	2
	助産学実習Ⅴ	実習	1
統合助産学	助産学演習	演習	2
	助産学課題研究	演習	2
合計			30

② 修了要件

30単位（全科目必修）

3) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
助産学総論	講義・30時間	前期	◎荒木 奈緒
周産期医学論	講義・30時間	前期	◎山本真由美 黒田 紀子 森川 由紀 ★高野 良子 ★唯野 貢司 ★西 基 ★森川 守 ★渡利 道子 ★津村 宣彦
乳幼児支援論	講義・30時間	前期	◎渡邊由加利 黒田 紀子 ★小林 正樹 ★渡邊 大地
妊娠期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎黒田 紀子 石引かずみ
分娩期助産診断・技術学	演習・60時間	前期	◎森川 由紀 渡邊由加利 黒田 紀子 山本真由美 石引かずみ ★森川 守
産褥期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎山本真由美 森川 由紀
助産学フィールド演習	演習・30時間	前期	◎石引かずみ 黒田 紀子



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
周産期ハイリスク援助論	演習・30時間	前期	◎★平山 恵美 ★荒木 英司 ★鈴木 伸和 ★木島 弘道 ★佐野 敬夫 ★野呂 歩 ★塩野 展子 ★山田 俊 ★石田 桐代 ★城戸真紗美
地域母子保健論	講義・15時間	前期	◎荒木 奈緒 渡邊由加利 大野 夏代 ★阿部位江子
助産管理論	講義・15時間	前期	◎荒木 奈緒 ★水野 栄子 ★宮下美代子 ★加藤 葉子
助産学実習 I	実習・135時間	通年	◎渡邊由加利 荒木 奈緒 黒田 紀子 森川 由紀 山本真由美 石引かずみ 大友 舞
助産学実習 II	実習・135時間	通年	◎森川 由紀 荒木 奈緒 渡邊由加利 黒田 紀子 山本真由美 石引かずみ 大友 舞
助産学実習 III	実習・135時間	通年	◎黒田 紀子 荒木 奈緒 渡邊由加利 森川 由紀 山本真由美 石引かずみ 大友 舞
助産学実習 IV	実習・90時間	後期	◎荒木 奈緒 渡邊由加利 黒田 紀子 森川 由紀 山本真由美 石引かずみ 大友 舞
助産学実習 V	実習・45時間	後期	◎山本真由美 荒木 奈緒 渡邊由加利 黒田 紀子 森川 由紀 石引かずみ 大友 舞
助産学演習	演習・60時間	通年	◎荒木 奈緒 渡邊由加利 黒田 紀子 森川 由紀 山本真由美 石引かずみ 羽深 久夫 金子 晋也 ★渡利 道子 ★森川 守
助産学課題研究	演習・60時間	通年	◎荒木 奈緒 渡邊由加利 黒田 紀子 森川 由紀

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

4) 実習概要

(単位：名)

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
助産学実習	2019年6月24日～2020年1月23日	医療機関	917
	2019年9月5日～11月22日	母子健康センター	20



8 デザインと看護の連携教育

「デザイン」・「看護」という、異なる学部の学生たちが、共に学ぶことが札幌市立大学の特色である。常識にとらわれない多彩なカリキュラムと自由な雰囲気での授業で、地域社会に根ざした豊かな人間性と柔軟な感性を育む。

1年次前期「スタートアップ演習」（共通教育科目）では、「デザインと看護の連携」をテーマに、大講義室での合同講義や少人数編成によるグループ活動、地域調査を通じ、主体的に勉学・研究を進めるための基礎的な学習方法や課題解決の手法などを学ぶ。また、調査・分析プロジェクトを通じ、地域社会に対する関心や貢献の姿勢を育てる。

令和元年度（2019年度）「スタートアップ演習」

テーマ	チーム名
お悩み解決ジュース～令和初の野菜ジュースを目指して～	なまら令和
青空病院	BSH
移動型果樹園	元気なコンタクトレン's
真駒内駅周辺の再開発ー子供と地域住民の憩いの場を目指してー	160.2
生命の洗濯 ～いやしは足元から～	☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆(ナインティーンスターズ)
集客力のある温泉	進撃のマルヤマン
kenketsugram #献血行ってきた	GTO
最強の小児病棟つくってみた。 ～緑豊かな公園を添えて～	ムロツヨシファン倶楽部
理想の芸森	チーム芸森 lovers(仮)
ナイチンゲールの看護覚え書きで学ぶ 生活のすゝめ	PINK THUNDER

2年次前期「学部連携基礎論」（専門教育科目）では、札幌市の各地域の特徴と課題をそれぞれの専門的視点から分析し、課題発見のプロセスや、相互の専門性や異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を学び、3年次の学部連携演習に備える。

授業の前半では、地域についての基礎知識を学ぶ他、交換授業においてデザイン学部・看護学部の学生がお互いの学問領域の基礎や実践方法など相互の専門性を理解する。後半では、札幌市南区の各地域について特徴や課題把握、課題解決方法をグループごとに討議し、成果発表を行う。

3年次後期「学部連携演習」（専門教育科目）では、スタートアップ演習から2年を経て、基本的な専門教育の上に、相互の専門性を尊重し合い、それぞれがデザイン・看護の専門家として積極的に取り組む姿勢を身につける。両学部生を少人数グループに編成し、デザイン・看護相互に関わりのあるテーマや課題を、札幌市南区の地域に見出し、相互の学生が共同・協力しながら、課題発見・解決に取り組む。



令和元年度（2019年度）「学部連携演習」

地区	テーマ	チーム名
真駒内	みんなminna を知ってミーナ 真駒内地区の多世代交流の可能性	BOTAMOCHI
	ハナゾのパン～移動式パン屋の誘致～	OHAGI
芸術の森	興味の森—芸術の森のブランド化計画—	たけのこ
	[芸術を探して]	きのこ
澄川	生活世界の中に在る魅力を再発見できる、地域マップ「Smeets」の提案	マップチーム
	コミュニティどうしのつながりを広げる、交流拠点スペース「hidamari」の提案	多世代交流チーム
藻岩下	藻岩下防災教育 その2：ワークショップ	ちょき
	藻岩下防災教育	ぐー
藻岩	人との繋がりが継続できる空間づくり 藻岩マップ・マガジン『MO.』	Essential
	人との繋がりが継続できる空間づくり 『パステル in リーバルタット』	Jel'aime
南沢	みなみさわ もりもりプロジェクト	グッともりもりみなみさわ
	公園の新しい形～もりもりよりみち公園～	チョ～もりもりみなみさわ
石山	石山地区の魅力で子育て支援	イシヤマダイスキ（仮）倶楽部
	男性高齢者が集まる場所「大学」。実現化へ…	シルバー石山
藤野	持続的な世代間交流を目指して 大学生とおはなししよう会	ふじマローラA
	ふじのわくわくフェスタ	ふじマローラB
簾舞	人をつなぐ灯り～地域間交流を目的としたワークショップの提案～	KAJITSU☆CLUB
	簾舞地区の果物とワインを用いたイベントの考案	ショウコウシュ
定山溪	定山溪地区における新しい温泉施設の提案	ゴールデン・トルネード・ドン
	定山溪地区を「健康への関心が高い地域」としてブランディングする	ゴールデン・マウンテン・ドン



III 研究活動

1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
中島 秀之	看護とデザインとAIの融合
細谷 多聞	視覚的環境情報の電子化とその活用に関する研究
石井 雅博	視覚認知と運動制御に関する研究
上遠野 敏	現代美術創作研究
安齋 利典	1) HCD（人間中心設計）とデザインマネジメントの教育展開に関する研究 2) 観察を基にした発想とデザイン思考の関係に関する研究 3) デザインの英語表現に関する研究
齊藤 雅也	ヒトの想像温度の形成に関する実験検証
羽深 久夫	①北海道における歴史的建造物の保存・再生・活用 ②米国・東欧・北欧及び東アジア（中国・韓国・台湾）における歴史的建造物（とくに木造建築）の保存・再生・活用 ③日本および世界における医療施設・福祉施設の調査 ④世界の高等教育機関における建築教育調査と相互交流
町田 佳世子	定性的データに対する定量的解析の検討
矢部 和夫	地域の湿原やその他の生態系における生物多様性の保全・再生と創出に関する研究
若林 尚樹	視覚的対話における主観的印象評価の研究
柿山 浩一郎	3Dプリンタを用いた設計図作図手法教育の為の補助ツールの活用
山田 良	公共空間のデザインに関する研究
椎野 亜紀夫	地域資源を活用した初等教育活動の実践と評価
武田 亘明	クリエイティブ人材育成のための実践的学びのデザイン
張 浦華	a.陶芸装飾技法の研究制作 b.作品制作
藤木 淳	粒子モデルと反応拡散系の融合に基づく生命表現の創発
丸山 洋平	人口移動を考慮した実質的親子同居傾向の地域差
松井 美穂	アメリカ南部文学研究、アメリカ女性文学研究
三谷 篤史	口腔ケアシミュレータの改良および実験
森 朋子	被災した文化遺産地域の復興に係る計画手法に関する研究
山田 信博	公的賃貸住宅団地の経年空間変化に関する研究
小林 重人	マイクロ・メゾ・マクロループの枠組みに基づいたソーシャルデザインに関する研究
横溝 賢	共創が生まれる過程におけるデザイン知の働き
石田 勝也	サウンドアンドビジュアルを使用した空間的創造性の構築
大島 卓	歴史的農畜産業施設の空間特性及び形成過程の解明
大淵 一博	タブレット型端末を活用した看護OSCE 運営・評価支援システムの運用と検証
片山 めぐみ	社会福祉分野におけるコミュニティデザインの役割
金 秀敬	カタチの類似性と連続性に着目したデザイン指標に関する研究
小宮 加容子	ユニバーサルな遊びのデザインに関する研究



教員名	研究課題
須之内 元洋	持続的な地域文化資源活用のためのデジタルアーカイブ基盤構築にむけたリサーチと制度設計
福田 大年	身の回りのモノ・コト・ヒトとの関わり合いによる協創を促進するための手技法構築の基礎的研究
松永 康佑	菱形充填図形に関する6視点からの認知の違いを利用したコンテンツ制作
金子 晋也	米国における木造建築に関する研究
田島 悠史	文化芸術活動の地域差～道内外の比較を通して～
矢久保 空遥	聴覚的「柔らかさ」と視覚的「柔らかさ」の比較

看護学部

教員名	研究課題
樋之津 淳子	大学と医療施設の協働による看護師の継続教育の効果
松浦 和代	モンゴル国におけるICT活用による保護者向け自己学習教材「先天性股関節脱臼の予防ケア」の制作とその評価
川村 三希子	外来通院中の高齢がん患者が痛みを医療者と共有するための方法の検討
中村 恵子	①大学院における高度実践看護に関する研究（継続） ②看護コンソーシアム構築に関する研究（継続）
荒木 奈緒	胎児異常を診断された女性の子どもを産み育てていくための支援方法の開発
猪股 千代子	自然治癒力を惹起させる日本型健康増進コミュニティネットワークの設計に関する研究
卯野木 健	①集中治療室における人工呼吸患者に対する身体拘束と組織的因子に関する検討 ②計画外抜管と死亡率に関するSystematic Review
小田 和美	慢性期看護に携わる熟練看護師の療養支援の実践知の可視化に関する研究（継続）
菊地 ひろみ	在宅看護分野における新人看護師教育体制づくりの取り組み
喜多 歳子	子どもの貧困対策に関する保健師活動の質的研究
定廣 和香子	FD（ファカルティ・ディベロップメント）研修の過程評価視点-看護学分野-
大野 夏代	①国際的活動な人材育成に関する研究 ②触れることにより実施する人の力を引き出す事象に関する研究 ③病院と大学の協働による継続教育について
貝谷 敏子	介護老人福祉施設における効率的な褥瘡管理体制の構築と検証
神島 滋子	ナースコールおよび電子カルテデータの2次利用にみる病棟の忙しさの客観的評価の検討
菅原 美樹	デルファイ調査によるクリティカルケア看護専門看護師の直接ケアコンピテンシーに関する研究
藤井 瑞恵	看護コンソーシアム構築を目指した大学と医療施設の協働による事業の実施と効果検証
本田 光	乳幼児を持つ母親の地域との関係性構築支援のための尺度開発
三上 智子	モンゴル国における先天性股関節脱臼予防育児指導のための教材開発とその評価
村松 真澄	地域高齢者が健康茶話会に期待することに関するニーズ基礎調査
守村 洋	メンタルヘルスに関する研究（主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究）
渡邊 由加利	1. 妊娠期にある女性のwell-being尺度の開発 2. 分娩におけるOSCEの評価基準の検討
伊東 健太郎	精神看護学シミュレーション教育-模擬患者養成の検討-
工藤 京子	被災地におけるパステルアートの癒し効果について
黒田 紀子	NICUに入院する児の両親が在宅移行を決断した背景の因子探索



教員名	研究課題
櫻井 繭子	産業保健活動の連携システム構築に関する研究
高橋 奈美	ALSの発症により生じる家族の関係性の変化
武富 貴久子	卒前卒後の看護教育をシームレスにつなぐ試み
原井 美佳	寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発
檜山 明子	転倒リスクアセスメントの客観的評価指標の検討
森川 由紀	①生殖補助医療を受けている女性への支援 ②遠隔授業による中堅看護師研修の充実化
矢野 祐美子	北海道の道央圏外の看護管理者のための継続学習ネットワーク構築と効果検証
山本 真由美	混合病棟における周産期の安全と質保証を担保するための助産師と看護師の協働の検討
石引 かずみ	助産学専攻科におけるプロジェクト学習の効果と課題
柏倉 大作	1) 主観的チームワーク調査票日本語版の妥当性の検証 2) Webアプリを用いた双方向授業の実践能力への影響
近藤 圭子	地域住民における地域医療に対する思いの実態把握
田仲 里江	子どもの貧困対策における保健師活動の体系化に関する研究
牧田 靖子	北海道における乳幼児の「窒息」による事故の実態と事故予防策
御厩 美登里	北海道内での訪問看護業務中の交通事故に関する調査
鬼塚 美玲	日本における自然災害発生時の災害看護活動の実際と課題
渋谷 友紀	看護師養成所におけるケーススタディの現状と課題
野呂田美菜子	精神看護学シミュレーション教育を受けることで看護学生が感じたやりがい
大友 舞	妊娠初期の女性の口腔保健に関する研究
高橋 葉子	NICUに勤務する看護職の看護技術について
中田 亜由美	多世代支援型のケアリングコミュニティ形成支援に関する基礎研究



2 学内公募研究課題一覧

学術奨励研究

教員名	研究課題
森 朋子	平取町二風谷における集落の景観形成に関する研究
檜山 明子	看護師の転倒予防教育プログラム開発に向けた転倒予防看護実践評価尺度の開発
藤木 淳	装着型汎用発電モジュールインタフェースの基礎研究
鬼塚 美玲	日本における自然災害時の災害看護に関する文献レビュー
田島 悠史	地域の文化芸術事業における、カルチャーアントレプレナー集団の成長に関する研究
近藤 圭子	過疎地域における住民の地域医療への意識の実態把握

共同研究

教員名	研究課題
◎中島 秀之、川村 三希子、 齊藤 雅也、羽深 久夫、 細谷 多聞、神島 滋子、 武田 亘明、張 浦華、 村松 真澄、大島 卓、 須之内 元洋、武富 貴久子、 鬼塚 美玲	D×Nによる理想の病院デザイン
◎齊藤 雅也、藤木 淳、 丸山 洋平、鬼塚 美玲、 柏倉 大作	個人の心理・生理状態に合わせて熱的な快をもたらす「脳波連動型 熱伝導モジュール」の開発
◎椎野 亜紀夫、森 朋子、 近藤 圭子	実効性の高い地域保健活動の展開に向けた空間情報プラットフォームの構築
◎渋谷 友紀、安齋 利典	看護学校カリキュラムにおけるケース・スタディの実態分析 一人間中心設計プロセスを応用した授業の提案を目指してー
◎定廣 和香子、山田 良	空間インスタレーションによるArt in Hospital 《風の家》の効果と課題 ー効果指標の探求ー
◎山田 良	産業遺産を活かした広場のデザインに関する基礎的研究 ーノルウェー、ノットオーデン市、肥料工場および発電所跡の活用事例調査を通じてー
◎山田 信博、本田 光	集約化計画団地における福祉支援の研究 ー団地内に設置する地域の福祉拠点についてー
◎金子 晋也、羽深 久夫、 山田 良	北方圏の情報・福祉社会にみる高度職業人育成のための教育プログラムに関する研究 ーロバニエミ市・ヘルシンキ市・タリン市・サンクトペテルブルグ市・札幌市の比較研究ー
◎菊地 ひろみ、神島 滋子、 村松 真澄、柏倉 大作、 近藤 圭子	食の地産地消を通して地域高齢者の健康支援を展開していくための基礎調査
◎金 秀敬、三谷 篤史、 森 朋子	遠隔コミュニケーションツールの活用による遠隔ワークショップの実施と教育効果の検証

◎印：代表者



田村ICT基金

教員名	研究課題
◎田島 悠史	メディアアート技術の地域社会への還元方法の提案

◎印：代表者

採択状況

学術奨励研究		共同研究		田村ICT基金		合計	
応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
6	6	12	10	1	1	19	17



3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況

科学研究費助成事業（科研費）

研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
荒木 奈緒	胎児異常を診断された妊婦の子どもを産み育てていくための支援体制の構築	基盤研究（C）	1,255,242
藤木 淳	非現実的な実写映像生成のための方法論の研究	若手研究（A）	4,160,000
貝谷 敏子	介護保険施設における効率性の高い褥瘡管理体制の構築と評価	基盤研究（C）	672,160
小林 重人	地域の居場所における利用者の協力的行動の発生と拡大メカニズムの解明	若手研究（B）	2,990,000
松永 康佑	顔の三次元データ活用のための顔認識手法の研究	基盤研究（C）	650,000
福田 大年	協創促進手法「クルクルスケッチ」のプロセスのデジタル化とその応用に関する研究	基盤研究（C）	1,170,000
若林 尚樹	体験の共有のための図的表現による視覚的対話手法の開発	基盤研究（C）	1,430,000
村松 真澄	高齢者の口腔看護データベースシステムの開発に関する基礎研究	基盤研究（B）	4,420,000
原井 美佳	後期高齢者の女性の尿失禁リスク要因解明と対処行動促進に関する研究	基盤研究（C）	910,000
工藤 京子	北海道の中高層住宅で暮らす避難行動要支援者の安全な在宅避難生活システムの確立	基盤研究（C）	390,000
川村 三希子	認知症を伴う高齢がん患者の疼痛マネジメント教育プログラム・看護師用の開発	基盤研究（C）	650,000
菊地 ひろみ	医療依存度の高い在宅療養者の生活再構築におけるレジリエンスの概念化と看護支援	基盤研究（C）	520,000
喜多 歳子	子どもの貧困対策における保健師活動の体系化に関する質的研究	基盤研究（C）	910,000
中田 亜由美	傾聴、聞き書きによる高齢者相互の健康支援基盤構築に関するアクションリサーチ	若手研究（B）	650,000
金子 晋也	北海道沿岸部の近代木造建築に関する研究	基盤研究（C）	1,040,000
三谷 篤史	看護基礎技術教育のための食事介護シミュレーションモデルの開発	基盤研究（B）	5,070,000
檜山 明子	転倒予防を目的とした看護師用身体認識誤差測定法の開発	基盤研究（C）	1,560,000
定廣 和香子	看護学教育のための「FD研修過程評価スケール」の開発と有効性検証	基盤研究（C）	780,000
三上 智子	小児看護OSCEの体系化に向けたプロジェクトとネットワークの再構築	基盤研究（C）	1,040,000
須之内 元洋	多様な環境音のためのマルチスケールフラクタル次元音響特徴量の開発と応用手法の確立	基盤研究（C）	910,000
武富 貴久子	EBN実践に向けた教育・学習モデルの開発：理論－実践ギャップの概念構造に着目して	若手研究	1,560,000
大島 卓	「生活表現」としての農畜産業の景観価値解明と持続可能性	若手研究	1,170,000
松井 美穂	カーソン・マッカーズとグローバル・ポリティクス	基盤研究（C）	520,000
山田 信博	集約化計画団地における住民コミュニティ支援の研究	基盤研究（C）	1,170,000
齊藤 雅也	地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断	基盤研究（C）	1,040,000

研究代表者	研究課題	研究種目	金額 (円)
小林 重人	シビックテックコミュニティ内外における協働の発生・促進メカニズムに関する研究	基盤研究 (C)	4,160,000
矢野 祐美子	北海道の道央圏外の看護管理者のための継続学習ネットワーク構築と効果検証	基盤研究 (C)	650,000
卯野木 健	日本における集中治療後症候群の実態とリスク因子の解明	基盤研究 (C)	1,560,000
貝谷 敏子	高齢者の脆弱な皮膚に対する効率性の高いスキンケアマネジメント方法の構築	基盤研究 (C)	650,000
本田 光	子育てママの地域とのつながりを育むロボットアプリの開発及びその効果と課題の検証	基盤研究 (C)	1,300,000
矢部 和夫	泥炭採掘跡地の再湿潤化による群落、水質、および温室効果気体生成の初期変遷の追跡	基盤研究 (C)	1,820,000
石田 勝也	海洋環境情報の簡易取得システムの構築とその公共空間への応用	基盤研究 (C)	2,600,000
金 秀敬	「甘さ」に着目したマルチモーダル知覚情報の「干渉構造」解明に関する実証研究	若手研究	1,560,000
山田 良	国際協奏型プロジェクトによる空間的療養効果の高いアートインホスピタルモデルの開発	挑戦的研究 (萌芽)	1,820,000

※課題番号順

受託研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額 (円)
矢部 和夫	キウシト湿原保全基礎研究	登別市	200,000
中島 秀之	AIを活用した公共事業の最適化に関する研究	札幌市 (まちづくり政策局)	33,000,000
柿山 浩一郎	園内の注意喚起・禁止サインのデザイン研究	札幌市 (環境局)	700,000
大島 卓	北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究	札幌市 (環境局)	400,000
矢部 和夫	「動物園の森」を活用した効果的な環境教育の場の創造に関する研究	札幌市 (環境局)	400,000
中島 秀之	札幌市ごみ収集可視化基礎調査業務	札幌市 (まちづくり政策局)	3,905,000

共同研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額 (円)
丸山 洋平	高浜町の人口動態分析と将来人口推計	福井県大飯群高浜町	947,160
高橋 尚人	深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究	(株)メイセイ・エンジニアリング	800,000
高橋 尚人	作業用機械の知能化による新しい製品・価値の創出	(株)本田技術研究所	1,500,000
高橋 尚人	ニューラルネットワークによるチ・カ・ホ人流推定・予測モデルシステムの構築	札幌市 (まちづくり政策局)	2,200,000
高橋 尚人	札幌市における観光MaaSビジネス創出の可能性に関する研究	(株)ドーコン	900,000
高橋 尚人	気象情報とAI学習による防災・生活情報の研究開発	(一財)日本気象協会	0
高橋 尚人	構造物に負の影響を与えない凍結防止剤の研究 (その3)	中日本高速道路(株)	135,000



4 寄附金の受入状況

教員名	寄附目的	寄附元	金額（円）
	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	JA北海道厚生連 札幌厚生病院	210,000
羽深 久夫	建築歴史意匠研究の充実発展のため	(株)シビテック	300,000
	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	(医)萬田記念病院	60,000

5 その他研究助成

教員名	研究課題	助成元	金額（円）
羽深 久夫	北海道における明治以降の北陸地方の民家の歴史的展開	(公財)トランスコスモス財団	993,000
小宮 加容子	森林の循環利用を学ぶためのカードゲーム開発	(公財)中山隼雄科学技術文化財団 (A)	250,000
藤木 淳	外部電源不要・不特定交換型ソーシャル音楽システムの制作	(公財)中山隼雄科学技術文化財団 (B)	700,000
川村 三希子	ちえのわ～街なかカフェ～がんと暮らしの知恵いろいろ	(公財)笹川保健財団	200,000

6 海外出張記録

期間	教員名	目的国	目的
2019年4月24日 ～5月2日	張 浦華	アメリカ合衆国	「アート・イン・ザ・ガーデン」シリーズ展「northern lights: Ceramic Art from Hokkaido Returns」に参加
2019年5月9日 ～20日	石田 勝也	ポーランド	Space Moere Project 作品展示及びライブコーディングパフォーマンス
2019年5月27日 ～31日	山田 良	ノルウェー	ノートオッデン パブリックアートプロジェクト現地調査および打ち合わせ
2019年6月5日 ～10日	細谷 多聞	アメリカ合衆国	札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年記念訪問
2019年6月5日 ～10日	松浦 和代	アメリカ合衆国	札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年記念訪問
2019年6月11日 ～14日	町田 佳世子	中華人民共和国	The 16th International Pragmatics Conference にてポスター発表 (https://pragmatics.international/page/HongKong)
2019年6月26日 ～7月2日	喜多 歳子	シンガポール	International Council of Nurses Congress 2019 発表・参加
2019年6月26日 ～7月2日	松浦 和代	シンガポール	学会発表
2019年6月30日 ～7月4日	丸山 洋平	イギリス	10th International Conference on Population Geographiesでの研究報告
2019年7月2日 ～8日	須之内 元洋	イタリア、エストニア	Venice Biennale視察、創造産業拠点視察



期間	教員名	目的国	目的
2019年7月22日 ～27日	檜山 明子	インドネシア	The 8th International Conference on Social Science and Businessでの発表のため
2019年7月31日 ～8月7日	森 朋子	オーストリア	Studio Habitat, Environment & Conservation の Carl Pruscha教授へのヒアリングおよび主要都市視察
2019年8月17日 ～25日	中田 亜由美	デンマーク	医療福祉視察
2019年8月18日 ～24日	檜山 明子	イギリス	NWC 2019 4th Nursing World Conferenceでの発表、意見交換会参加
2019年8月23日 ～31日	松井 美穂	アメリカ合衆国	デューク大学図書館で文献資料調査
2019年8月27日 ～9月2日	中島 秀之	フィジー	PRICAI (環太平洋人工知能国際学会)
2019年9月2日 ～7日	安齋 利典	イギリス	IASDR 2019 参加
2019年9月3日 ～9日	原井 美佳	スウェーデン、 ベルギー	ICS 2019 (International Continence Society) 参加、演題発表、Erasmus Hospital視察
2019年9月8日 ～13日	中島 秀之	メキシコ	第4回日墨学長会議
2019年9月10日 ～18日	金 秀敬	ロシア連邦	検証実験
2019年9月11日 ～18日	齊藤 雅也	ベトナム	打ち合わせ、ベトナム農家建築の想像温度調査
2019年9月12日 ～19日	須之内 元洋	アメリカ合衆国	SCU-PNCA国際交流ワークショップ
2019年9月12日 ～19日	石田 勝也	アメリカ合衆国	SCU-PNCA国際交流ワークショップ
2019年9月15日 ～19日	菊地 ひろみ	台湾	短期研修プログラム 引率
2019年9月17日 ～23日	卯野木 健	中華人民共和国	短期研修プログラム 引率
2019年10月8日 ～12日	森 朋子	マレーシア	2019年アジア文化的景観連合 (ACLA) 会議出席
2019年10月14日 ～21日	山田 良	ロシア連邦	建築および広場のデザイン 事例調査とデザイン指導
2019年10月28日 ～11月3日	張 浦華	台湾	展覧会「玩美元素－重複x秩序」にて作品発表及び講演を行う、台中技術大学デザイン学院交流訪問、第一屆臺灣國際茶碗節見学
2019年10月30日 ～11月4日	山田 良	ノルウェー	共同研究の会議および広場のデザインに関する現地調査
2019年11月4日 ～10日	金子 晋也	フィンランド	デザイン学部と看護学部のカリキュラムに関する調査
2019年11月4日 ～8日	羽深 久夫	フィンランド	フィンランドにおける古民家の保存と活用の調査研究



期間	教員名	目的国	目的
2019年11月4日 ～8日	渡邊 由加利	フィンランド	看護教育、助産師教育カリキュラムの把握と育児支援・オープンダイアログによる支援についての大学での教育内容の調査
2019年11月15日 ～22日	松永 康佑	オーストラリア	SIGGRAPH ASIA 2019に参加しポスター発表を行うため
2019年11月15日 ～22日	藤木 淳	オーストラリア	sigraph asia 2019学会参加
2019年11月17日 ～23日	羽深 久夫	ロシア、 フィンランド	ロシアとフィンランドの民家の保存と活用の調査研究
2019年11月30日 ～12月2日	中島 秀之	台湾	台湾国立台中科技大学100周年記念式典、学生座談会
2020年1月8日 ～12日	本田 光	タイ	第23回東アジア看護学フォーラム (EAFONS)
2020年1月8日 ～12日	村松 真澄	タイ	EAFONS 2020 conference
2020年1月9日 ～13日	近藤 圭子	タイ	23rd East Asian Forum of Nursing scholarsでの演題発表のため
2020年1月12日 ～17日	高橋 尚人	アメリカ合衆国	Transportation Research Board (TRB) 99th Annual Meeting 出席
2020年2月12日 ～19日	三谷 篤史	フィンランド	ワークショップの打ち合わせおよび見学・調査
2020年2月12日 ～19日	森 朋子	フィンランド	ヘルシンキ市内視察、ラップランド大学とのWS
2020年2月13日 ～19日	金 秀敬	フィンランド	国際共同研究
2020年2月23日 ～28日	高橋 尚人	オーストリア	観光MaaS調査



IV 社会活動

1 地域貢献諸活動

1) 受託研究一覧

研究課題	期間	概要	委託者
キウシト湿原保全基礎研究	2019年5月17日～ 2020年3月6日	キウシト湿原のミズゴケ属再生試験区にオオミズゴケとワラミズゴケを移植し、成長を追跡した。	登別市
AIを活用した公共事業の最適化に関する研究	2019年5月24日～ 2020年3月31日	AI技術を活用してごみ収集および除排雪を効率化するため、データ分析、課題抽出を実施した。 ごみ収集については、日報データ等から現状を把握し、適用するシステムを選定した。 除排雪については、過去7年分の排雪日報データを分析。受入先の雪堆積場・融雪施設を決定する際に、一元的に最適なマッチングを行うことで、作業を効率化できる可能性が示唆された。	札幌市 (まちづくり 政策局)
園内の注意喚起・禁止サインのデザイン研究	2019年7月9日～ 2020年2月29日	円山動物園で多世代・多国籍の来園者に「フラッシュ禁止」等の注意喚起をするため、実効性のあるサインのデザインを検討した。 レンチキュラーレンズ（見る角度を変えると異なる画像が提示される）サイン等を制作、寒帯館への実験的設置を行い、来園者インタビュー調査で効果を確認した。 また、園内サインのみで禁止行為を減らすことには限界があるとの認識に至り、トータルデザイン（方針）を提案した。	札幌市 (環境局)
北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究	2019年7月9日～ 2020年2月29日	円山動物園の「北海道ゾーン（仮称）」整備に向けて、以下を実施した。 ・景観要素を把握するための実地調査と記録 ・導入検討種の生息域にみられる景観的特徴の考察 ・上記の情報に基づくランドデザイン検討	札幌市 (環境局)
「動物園の森」を活用した効果的な環境教育の場の創造に関する研究	2019年7月9日～ 2020年2月29日	円山動物園の「動物園の森」の群落管理に利用するため、相対光量子量と土壌含水率を場所ごとに計測、比較分析した。	札幌市 (環境局)
札幌市ごみ収集可視化基礎調査業務	2019年12月13日～ 2020年3月31日	ごみ収集車の経路と積載量を随時把握するため、①ごみ収集の作業環境に耐えられる堅牢さ②作業を阻害しない③作業員による機器操作が不要—という要件を満たす機器を選定し、ごみ収集車のデータ収集システムを構築した。 ごみ収集作業の最適化に向けたAIによる基礎分析として、仮想の道路ネットワークを対象にマルチエージェントシミュレーションを実施した。	札幌市 (まちづくり 政策局)



2) 共同研究（学外との連携）一覧

研究課題	期間	概要	委託者
高浜町の人口動態分析と将来人口推計	2019年4月1日～ 2020年3月16日	高浜町から提供された人口データ等を用い、高浜町の家族形成の特徴、特に単身赴任者（有配偶単身者）の量的把握と居住分布を分析。単身赴任者が多い地区に対して、複数の仮定を置いた将来人口推計を実施した。	福井県大飯郡高浜町
深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究	2019年11月13日～ 2020年3月31日	ドライアイスペレットをコンクリートにぶつけて得られた衝撃音のスペクトルデータから、深層学習を用いてコンクリート構造物が健全であるか否かを判別する非破壊検査方法の開発に取り組んだ。	㈱メイセイ・エンジニアリング
作業用機械の知能化による新しい製品・価値の創出	2019年12月13日～ 2020年3月31日	除雪機等の作業用機械の知能化により、降雪地域の冬の困りごと解決に貢献する製品・価値を創出するため、調査および関連研究者との意見交換等を行った。高齢化や作業事故の発生状況から、除雪機械の高度化、作業の省力化へのニーズが高いことを確認した。	㈱本田技術研究所
ニューラルネットワークによるチ・カ・ホ人流推定・予測モデルシステムの構築	2020年2月3日～ 2020年3月25日	札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）に設置している人流センサーから収集した通行量データを有効活用するため、ニューラルネットワークを用いて通過人数を推定・予測するモデルシステムを構築した。	札幌市（まちづくり政策局）
札幌市における観光MaaSビジネス創出の可能性に関する研究	2020年2月10日～ 2020年3月31日	「札幌市ICT活用プラットフォーム」を活用したMaaS（Mobility as a Service）の実現に向け、国外のMaaS動向を調査した。文献調査に加え、オーストリア・ウィーン市で行われたMaaSパイロットプロジェクトを調査し、札幌での観光MaaS実現に向け、参考事例として活用可能であると確認した。	㈱ドーコン
気象情報とAI学習による防災・生活情報の研究開発	2020年2月18日～ 2022年10月31日	2020年度継続中	(一財)日本気象協会
構造物に負の影響を与えない凍結防止剤の研究（その3）	2020年2月25日～ 2020年9月30日	2020年度継続中	中日本高速道路㈱

3) 地域連携研究センターへの協力依頼一覧

事業名	依頼元	担当教員
オーラルケア啓発学習プログラムの開発・効果検証・評価の協力	(公財)ライオン歯科衛生研究所	福田 大年
子ども食堂における多世代交流のまちづくり	札幌藤野多世代交流ラボWAO!	片山 めぐみ
広報さっぽろ南区版表紙デザイン事業	札幌市（南区）	大淵 一博
社会資源の見える化による福祉のまちづくり	北広島市にし高齢者支援センター	片山 めぐみ
三吉神社例大祭	札幌大通まちづくり㈱	上遠野 敏



事業名	依頼元	担当教員
サッポロフラワーカーペット2019	SAPPOROフラワーカーペット実行委員会	上遠野 敏
円山動物園の印象マップによる行動分析とその活用	札幌市（環境局）	若林 尚樹
南区オリジナルうちわの制作事業	札幌市（南区）	大淵 一博
カラフルブレインアートフェス2019	発達障がい理解促進委員会	田島 悠史
もりの仲間のさわやかクラブ	芸術の森地区社会福祉協議会	村松 真澄
もりの仲間のさわやかクラブ	芸術の森地区社会福祉協議会	三上 智子 武富 貴久子 山本 真由美
「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」の表紙デザイン制作について	札幌市（まちづくり政策局）	福田 大年
札幌市グリーティングカード作成事業	札幌市（総務局）	大淵 一博
ZEB/ZEH時代のライフスタイル研究	三菱電機(株) デザイン研究所	安齋 利典 柿山 浩一郎 金 秀敬
第12回すみかわ健康フェア	澄川地区社会福祉協議会	近藤 圭子
みなみ・こそだてフェスタ！～なつまつり2019～	札幌市南区保育・子育て支援センター	若林 尚樹 小宮 加容子 大島 卓
オリジナルプレートづくり	(福)宏友会	小宮 加容子
航空機のより快適でスムーズな利用のためのサービスデザイン	(株)AIRDO	安齋 利典 若林 尚樹
Audio-Technica/no maps アナログ・ワークショップ	(株)オーディオテクニカ	安齋 利典 若林 尚樹
株式会社AIRDO CIマニュアルVer.3改定	(株)AIRDO	安齋 利典 若林 尚樹
厚真町復興PR事業	厚真町	安齋 利典 福田 大年
インバウンド向けお土産関連新商材開発プロジェクト	凸版印刷(株) 北海道事業部	柿山 浩一郎
第10回ミニ大通お散歩まつり	ミニ大通お散歩まつり実行委員会	村松 真澄
エコバッグデザインの制作	ごみ減量実践活動ネットワーク	福田 大年
南区健康寿命延伸Event 健活デー	札幌市（南区）	櫻井 繭子 山本 真由美 村松 真澄
あけぼのテラス	あけぼの団地らしい未来の暮らしをつくるプロジェクト事務局	本田 光
円山動物園PR事業（オリジナルデザイン入園券）	札幌市（環境局）	福田 大年
円山動物園PR事業（オリジナルマップ）	札幌市（環境局）	福田 大年
円山動物園PR事業（オリジナルPR動画）	札幌市（環境局）	若林 尚樹 福田 大年
手造通（てあるとお）プロジェクト2019	札幌市（西区）	山田 良
第25回 芸術の森地区文化祭	芸術の森地区連合会	羽深 久夫
ショップバックデザインコンペ	(株)土屋ホームトピア	上遠野 敏



事業名	依頼元	担当教員
「やさしーる」デザイン	(特非) 北のユニバーサルデザイン協議会	柿山 浩一郎
北海道バリアフリーマップのデザイン	(特非) 北のユニバーサルデザイン協議会	柿山 浩一郎
No Maps 2019 Conference 北海道をどう変える？ 業界ごとのイノベーションを考える	(公社) Web広告研究会 イノベーション委員会	安齋 利典 若林 尚樹
藻岩地区健康づくりふれあい交流会	藻岩地区社会福祉協議会 健康づくり推進会 札幌市（南区）	高橋 奈美
けんこうフェスタ2019inちゅうおう	札幌市（中央区）	柏倉 大作 丸山 洋平
コロコロホタテ パッケージデザイン募集	丸本本間水産(株)	矢久保 空遥
南区の魅力をPRする啓発品製作事業	札幌市（南区）	大淵 一博
UXデザインワークショップ	東京エレクトロン(株)	安齋 利典 柿山 浩一郎
藻岩下元気ハツラツ健康まつり	藻岩下地区社会福祉協議会	山本 真由美
冬の「雪あかり」イベントPRチラシの製作事業	札幌市（南区）	大淵 一博
「第71回さっぽろ雪まつりつどーむ会場」と連携した南区PR事業	札幌市（南区）	大淵 一博
商品パッケージのデザイン及びブランディング開発	(特非) ステップバイステップ	若林 尚樹
令和2年度の教室計画のためのデータ分析	(一財) さっぽろ健康スポーツ財団	丸山 洋平
札幌交響楽団演奏会 広報宣伝用ロゴ制作	(公財) 札幌交響楽団	福田 大年



4) 高大連携

① デザイン学部 第13回高大連携公開講座

開催日	高校名	参加生徒数	タイトル	担当教員
2019年9月22日	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌開成中等教育学校	29名	体験しよう「サウンド・ビジュアライゼーション」	藤木 淳

② 看護学部 高大連携講座

開催日・期間	高校名	受講生徒数	受講科目名	担当教員
2019年4月8日～ 2019年12月5日	市立札幌新川高等学校 市立札幌旭丘高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌大通高等学校 市立札幌開成中等教育学校	7名	看護学原論 (講義・15時間)	◎定廣 和香子 猪股 千代子
		5名	地域保健学概論 (講義・15時間)	◎喜多 歳子 本田 光
		6名	人間発達援助論 (演習・30時間)	◎小田 和美 松浦 和代 荒木 奈緒 村松 真澄 守村 洋
		7名	チーム医療論 (講義・15時間)	◎矢野 祐美子 猪股 千代子
		7名	国際看護学 (講義・15時間)	◎大野 夏代

③ 看護学部 模擬授業

開催日・期間	高校名	受講生徒数	受講科目名	担当教員
2019年9月23日	市立札幌新川高等学校 市立札幌旭丘高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌平岸高等学校	81名	ナイチンゲールとヘンダーソンから学ぶ看護師の役割	猪股 千代子
			手と目で看(み)る看護の観察技術	樋之津 淳子

5) 高校出前講義

デザイン学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
2019年10月17日	北海道大麻高等学校	世界遺産と都市計画学 ―地域の歴史・文化を活かしたまちづくりへ―	森 朋子
2019年10月17日	北星学園女子中学高等学校	遊びのデザイン ワクワクを生み出すデザイン	小宮 加容子
2019年11月7日	市立札幌新川高等学校	デザインとは何か	矢久保 空遥



開催日	高校名	テーマ	担当教員
2019年11月12日	市立札幌旭丘高等学校	デザインを学問として学ぶと◎◎な人材になれます	柿山 浩一郎
2019年11月15日	北海道苫小牧東高等学校	私達の世界はメディアにあふれている -媒介としてのメディア-	石田 勝也
2019年11月28日 2019年12月5日 2019年12月12日 2019年12月19日	北海道札幌手稲高等学校	デザイン・アートのアプローチで、新しい 価値交換やおカネの仕組みを考えてみよ う！	須之内 元洋

看護学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
2019年6月26日	北海道札幌厚別高等学校	あなたも「ゲートキーパー」になりませんか？ —身近に悩んでいる人がいたら、出来ることから始めよう—	守村 洋
2019年8月30日	市立札幌新川高等学校	家庭看護・医療	喜多 歳子
2019年10月25日	市立札幌藻岩高等学校	地域を看護する公衆衛生看護学	櫻井 繭子
2019年11月6日	市立札幌清田高等学校	メンタルヘルスと発達	守村 洋
2019年11月7日	市立札幌新川高等学校	研究が語る「看護師が行う看護」	定廣 和香子

6) その他の地域貢献諸活動

デザイン学部

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
齊藤 雅也	「ほろかないいきいき健康塾」講座 講師（住まいの熱環境）	幌加内町（保健福祉課）、札幌市立大学	8名	2019年11月2日
	防災訓練支援	札幌市南区真駒内地区連合町内会	1名	2019年11月16日 ～17日
	防災訓練支援	北海道（総務部危機対策局）、北見市	1名	2020年1月25日 ～26日
	セイヨウオオマルハナバチ（外来種）の拡散防止運動に関わる動画公開（第8回 CISEサイエンスフェスティバル in チ・カ・ホ）	一般社団法人ちせ、北海道セイヨウオオマルハナバチ対策推進協議会、北海道生物多様性保全課	10名	2020年1月9日、 10日
町田 佳世子	BPW札幌クラブ副会長としてSDGsのジェンダー平等実現に向けた研究会の企画・運営に参加	認定NPO法人日本BPW連合会/BPW札幌クラブ		2019年10月5日
	札幌クラブ副会長として女性の社会参画支援の会の運営に参加	BPW札幌クラブ		2019年4月1日 ～2020年3月31日
若林 尚樹	みなみ・こそだてフェスタ！～なつまつり2019～、若林、小宮、大島、2019年7月～2019年7月	札幌市こども未来局子育て支援部南区保育・子育て支援センター	33名	2019年7月27日
小林 重人	体験学習講座「カードゲームで学ぶお金のしくみ」の実施	能美市立寺井中学校	なし	2019年7月9日



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
張 浦華	札幌大通りギャラリー美術館で行われた作品展のためのハガキのデザイン	北海道陶芸会		2019年11月5日 ～10日
丸山 洋平	「けんこうフェスタ2019inちゅうおう」での札幌市立大学の展示	居住と食から健康を考える（ポスター展示）、深呼吸でリラックス（脳波測定）、札幌市中央区保健福祉部健康・子ども課	1名	2019年9月28日
横溝 賢	石へのいしき展	横溝研究室＋札幌市立大学大学院生	11名	2020年2月28日
石田 勝也	みすまい雪あかり2020	簾舞まちづくりセンター	2名	2020年2月8日
大島 卓	「みなみ・こそだてフェスタ」への大学演習成果ポスターの出展	南区保育・子育て支援センター（ちあふる・みなみ）	32名	2019年7月27日
大淵 一博	南区PRグッズ（ランチマット）制作	札幌市南区役所	1名	2019年11月
	南区雪あかりフライヤー制作		44名	2019年12月
	南区PRグッズ（LEDライト、ミニサコッシュ、ポストイット）制作		3名	2020年1月
	さっぽろ雪まつり南区ブース展示パネル制作		3名	2020年1月
	「いきいき健康塾ほろかない」（体組成測定データ管理システム構築）	幌加内町保険福祉課		2019年11月3日
片山 めぐみ	子ども食堂事業企画および助成申請等の指導	札幌藤野多世代交流ラボWAO!	なし	通年
	高齢者交流拠点事業企画の指導	NPO法人ゆとりの	なし	通年
	コミュニティレストラン事業企画、広報活動の支援	風のごはんや	なし	通年
金 秀敬	デザインマインドについて講演	北海道中小企業家同友会産学官連携研究会	44名	2019年8月7日
小宮 加容子	ワークショップ「つくろう!てのひらたからばこ」の実施	つくろう!てのひらたからばこ、キッズデザイン協議会	7名	2019年11月16日
	オリジナルプレートづくりワークショップの実施	ごはんをもっとおいしく食べよう!オリジナルプレートづくり、社会福祉法人 宏友会	5名	2019年7月28日
須之内 元洋	団体実施ワークショップの告知・推薦など	SMF 札幌メディアアートフォーラム		
金子 晋也	COCまちの先生継続事業のサポート	くらしラボまこまない		2019年4月～5月
	市立札幌開成中等教育学校の課題（「自分の住んでいる地域について調べる」）の取材に協力	市立札幌開成中等教育学校		2020年8月9日
矢久保 空遥	店頭エクステリアデザイン、メニューデザイン	居酒屋柔		



看護学部

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
荒木 奈緒	全国交流会支援、家族相談	表皮水疱症友の会 Debra Japan		2019年12月21日 ～22日
	活動支援、家族相談	北海道ターナー症候群家族会		2019年10月6日
川村 三希子	街なかちえのわカフェ がんの暮らしと知恵いろいろ	NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会		2019年9月
	リンパ浮腫研修会	NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会		2019年8月
	街なかちえのわカフェ がんの暮らしと知恵いろいろ	NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会		2019年9月
	リンパ浮腫研修会	NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会		2019年8月
菊地 ひろみ	幹事	札幌ホスピス緩和ケアネットワーク		2019年4月1日 ～2020年3月31日
	そうえん健康茶話会講師	桑園交流ネットワーク		2019年10月28日
	新人訪問ナース応援イベント「君こそスターだ」開催	「新人訪問ナースを応援する会」		2019年6月29日
	まちの健康応援室ボランティア	札幌市立大学	6名程度	2019年4月13日、 5月18日、6月8日、 7月13日、8月2日、 9月14日、9月14日、 10月26日、11月9日、 12月14日、2020年 1月25日、2月8日
大野 夏代	医療通訳養成研修講師、医療通訳実務、国際クッキング通訳	特定非営利活動法人エスニコ		2019年4月6日、 4月27日、6月1日、 6月8日、8月10日、 8月17日、8月24日、 9月7日、9月21日
貝谷 敏子	外部倫理審査委員	札幌医科大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究審査委員会委員		2020年3月10日
	運営ボランティア	第29回小児看護学会		2019年8月3日・4日
神島 滋子	出版予定の著書の構成などの相談（編集についての相談を3回にわたってうける。メール、対面を含む）	脳外傷友の会コロポックル		2020年2月～3月
藤井 瑞恵	公開講座開催支援 「腎臓病移植市民公開講座フォーラムin北海道」	北海道腎臓病患者協議会	10名	2020年10月27日
本田 光	真駒内キャンパス内設置の「まちの健康応援室」にボランティアとして協力	地域連携研究センター、まちの健康応援室	2名	2019年7月20日
村松 真澄	第10回の企画運営実施について参加した。学生が実施したのは「がんと口腔ケアの講和」	ミニ大通りお散歩祭り実行委員会	19名	2019年9月8日
	地域歯科医師会とコラボで粘膜ケアの体験を実施した。	南区役所、南区健康まつり	5名	2019年9月25日



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
村松 真澄	オーラルフレイルのパネル展示や粘膜ケアの実施	芸森地区社会福祉協議会、森の仲間のさわやかくらぶ	4名	2019年8月29日
	サンカレッジにて「口腔の健康」講和	社会福祉法人愛全会、特別養護老人ホームサンダレス		2019年9月30日
	健康講和「食べることについて」を2か月に1回医療専門職によって実施している	桑園医療ケアプロジェクト	10名	2019年6月1日、7月13日、9月7日、11月2日、2月1日
	高齢者サロンくわーる広場の立ち上げ、エコカフェ祭り	高齢者サロン6回、健康相談1回、桑園交流ネットワーク	7名	2019年6月3日、9月2日、9月9日、10月5日
伊東 健太郎	札幌市民を対象に、血圧測定、体組成測定などを行う。また、心の相談、健康相談を行った	札幌市立大学地域連携課、まちの健康応援室		2019年5月、6月、7月、10月、11月、2020年2月
	精神障害者、知的障害者と「介護」について検討した	放課後デイサービスぼっけ		2019年10月23日、11月21日
	精神に障害をもつ当事者同士が当事者研究を行い交流した	ぼれぼれ		2020年1月16日
工藤 京子	幹事として役員会出席、医療講演会の企画と運営、会報誌発行の補助	北海道難病連、低肺の会/呼吸リハビリ教室参加		2020年6月9日
	胆振東部地震の被災地の避難所や仮設住宅で足湯と手もみケアを実施(6回)	北海道足湯隊(むかわ町)運営		2020年8月10日
	被災地のお寺や住民の家でパステルアート講座を企画・開催した(2回)	パステルアート講座、足湯活動企画運営		2020年9月8日
		北海道低肺の会日帰り研修会運営(駒岡保養所)		2020年9月9日
		北海道低肺の会三水サロン運営(交流会)		2020年9月18日
		北海道足湯隊(むかわ町)企画運営		2020年9月28日
		北海道足湯隊(むかわ町)企画運営		2020年10月20日
		北海道足湯隊定期ミーティング		2020年10月23日
		パステルアート講座、足湯活動企画運営		2020年11月16日
		北海道足湯隊(厚真町)運営	2名	2020年12月14日
		北海道足湯隊(むかわ町)企画運営	1名	2020年12月15日
		北海道足湯隊定期ミーティング		2020年12月18日
	北海道足湯隊定期ミーティング		2020年1月21日	
	北海道足湯隊(むかわ町)企画運営		2020年1月22日	



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
高橋 奈美	健康相談、健康測定（参加者100名）藻岩地区健康ふれあい交流会			2019年10月30日
山本 真由美	助産師、看護師として対象者への健康相談	1か月1～2回、不定期に活動		2019年4月16日 ～2020年2月8日
	学生とともに骨密度の測定および健康相談		3名	2020年8月29日
	学生とともに骨密度の測定および健康相談		2名	2020年9月25日
近藤 圭子	桑園地区の地域行事への学生ボランティア協力の引率・支援			2020年8月24日
	すみかわ健康フェア			2020年9月9日
渋谷 友紀	北海道看護教育施設協議会総会において看護研究の教育の実態調査について発表			2020年6月14日
	札幌サンタファン事務局員として、企画運営に携わった		7名	2019年6月 ～2020年3月
田仲 里江	桑園地区の地域行事への学生ボランティア協力の引率・支援		10名	2019年12月14日
牧田 靖子	北大共用試験臨床実習後OSCE医療面接模擬患者			2019年10月5日
	札幌サンタファン人工呼吸器の子どもを市電に乗せてクリスマス会を行う		4名	2019年11月30日
	定期的に月1回真駒内キャンパスで健診業務		2名	9回実施
	研究活動支援			3回実施
大友 舞	オープンキャンパス来場者に対し、手作りのオレンジリボンを配布するための取り組みを支援した		10名	2019年6月15日 1日間



7) マスメディアへの掲載

デザイン学部

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
中島 秀之	OBSERVER「AI研究で力を入れるべき分野」取材	医薬経済	2019年9月1日
	「NoMaps2019」関連で自動運転車などモビリティの実証実験についての取材	STV「どさんこワイド」	2019年10月15日
	神戸新聞 特別別刷り版「AIと歩む」取材	神戸新聞	2019年10月27日
	「情報化貢献個人経産大臣表彰」取材	経済産業新報	2019年11月1日
	(一社)北海道開発技術センター「dec monthly」巻頭インタビュー	「dec monthly」	2019年12月1日
齊藤 雅也	特集 北の建築－温熱環境と建築の機能性「北の住まい」からこれからの建築を考える	(公社)日本建築士連合会 会誌「建築士」2019年5月号 pp.14-15	2019年5月1日
	特集 北の建築－温熱環境と建築の機能性「不快でない」時間・空間を創る 放射(表面温度)をベースにした熱環境デザイン	(公社)日本建築士連合会 会誌「建築士」2019年5月号 pp.28-33	2019年5月1日
	広瀬謙二建築展SH+ 第二回 レポート 建築環境学の教員として	如学会NEWS 2020春号	2020年3月19日
若林 尚樹	アナログってなんだろうーデジタルネイティブ世代に伝えたいアナログ音楽の魅力(企業web)	株式会社オーディオテクニカ	2019年12月3日
張 浦華	「玩美元素－重複x秩序」特展－従日式茶碗中映現侘寂美學	桃園市政府文化局 小冊、HP	2019年9月9日
藤木 淳	NewテクノマートSO(創) Vol.30号掲載	雑誌	2019年1月
	一般社団法人産学連携推進協会最新メルマガ22号掲載	メーリングリスト	2019年1月
	デザイナーズFILE 2019(カラース編集ボードデジタル出版)	書籍	2019年3月
丸山 洋平	新聞記事「生活多様化－対応した制度を」	読売新聞	2019年6月25日
横溝 賢	青森市浪岡地区商店街オリジナルデザイン包装紙の完成ニュース	津軽新報	2019年4月2日
	下北ジオパークPR オリジナルラッピングバスお披露目	デーリー東北	2019年5月8日
	下北ジオパークPR オリジナルラッピングバスお披露目	東奥日報	2019年5月10日
大島 卓	広域型産学官連携プロジェクト「日本の空港と空旅のミライをデザインする」サマーキャンプ2019	BS東京「羽田土曜会」の番組内スポット	2019年10月5日
大淵 一博	高校生・大学生が南区の魅力をPR!	広報さっぽろ南区版2019年7月号	2019年7月1日
	赤井川村生活支援体制整備事業ロゴデザイン	赤井川村地域支え合い情報誌 いろどり第2号, 第3号	2019年4月、7月
	広報さっぽろ南区版ヘッダデザイン	広報さっぽろ南区版2019年4月号～2020年3月号	毎月1日
	「第71回さっぽろ雪まつりつどーむ会場」で南区をPR	南区Webページ	2020年2月4日
	札幌に世界から年賀状	読売新聞	2020年2月7日



教員名	内容	掲載媒体	掲載日
片山 めぐみ	「観光マップ完成 大学生の感性生かす 町内公共施設に2000部配布」	苫小牧民報	2019年4月23日
	幸せの『仕掛け学』連載	週間介護新聞	2019年6月 ～2020年1月（毎週）
	「大学生運営 浦臼に憩いの古民家カフェ」	北海道新聞	2019年8月21日
	「藤野の母親たちが月1回食堂～食卓囲み住民交流」	北海道新聞	2019年12月5日
	「人生100年、楽しいことや空間共有して幸せに～講演会『令和の幸せ論～肩ひじ張らない地域貢献』より」	北海道新聞	2020年1月5日
金 秀敬	中小企業家しんぶん	新聞	2019年9月15日
小宮 加容子	三角山放送局「飛び出せ車いす（第一火曜日、12:00～13:00）」番組担当	ラジオ番組	月1回×12回
須之内 元洋	最先端の作品保存紹介	福島民報 10面	2019年12月3日
金子 晋也	『Architekton北海道』誌のpp8～11に研究室紹介が掲載	『Architekton北海道』	2020年1月24日
矢久保 空遥	みんテレ	UHB	2019年4月16日
	ご当地おじさんはんこ ペタンと13人 農家、宿、食堂…地域で活躍 北海道	日本農業新聞	2019年9月3日
	週間！なるほどニッポン「北海道の名物おじさん13人がハンコに！若い女性に大人気！？」	ニッポン放送	2019年9月29日
	「おじさんハンコ」～なぜ北海道の女性に大人気なのか？	エキサイトニュース	2019年10月25日

看護学部

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
菊地 ひろみ	代表を務める「新人訪問ナースを応援する会」の活動紹介，新人訪問ナース応援イベント	北海道新聞	2019年6月26日
	学生が企画実施する「みんなで楽しくふまねっと」の活動紹介	NPO法人ふまねっと広報誌	2019年9月1日
村松 真澄	日本口腔看護研究会北海道：最期まで食べられる口づくりを実践を交えて学ぶ	地域介護経営	2019年7月11日
	南区健康祭りで南区歯科医師会とコラボレーションして口腔の健康の啓発活動	札幌市南区歯科医師会	2020年3月1日
	「ホームホスピスの始まり、現在、そしてこれから、」小規模ケアホームのケアを考える会	ベストナース	2019年9月1日
中田 亜由美	「陽だまり」に寄せて，びょういんあーとぷるじえくと19-21展（第14回）単著	「Vol.2-陽だまり」展パンフレット	2019年12月1日



2 公開講座開催実績

1) 札幌市立大学主催

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2019年4月7日	ロボットづくり講習会（初級編1）	三谷 篤史（デザイン学部 准教授）	3
2019年4月21日	ロボットづくり講習会（初級編2）	三谷 篤史（デザイン学部 准教授）	14
2019年4月16日	まちの健康応援室ミニ出張講座① 「産後の身体をケアする体操」	森川 由紀（看護学部 講師）	4
2019年5月19日	ロボットづくり講習会（中級編）	三谷 篤史（デザイン学部 准教授）	17
2019年6月7日	まちの健康応援室ミニ出張講座② 「産後の心と体のケア」	大友 舞（看護学部 助手）	11
2019年6月14日	英国の口腔ケア視察報告会	村松 真澄（看護学部 准教授） 藤井 瑞恵（看護学部 准教授） 三谷 篤史（デザイン学部 准教授） 山口 撰崇（北海道医療大学歯学部）	12
2019年6月16日	ロボットづくり講習会 （中級編WRO2019大会向け）	三谷 篤史（デザイン学部 准教授）	7
2019年6月29日	メカトロ教室「走れ！ロボットカー！」	三谷 篤史（デザイン学部 准教授） 梶原 秀一（室蘭工業大学 准教授） 江丸 真紀（北海道大学 准教授）	22
2019年7月4日	看護師のための英会話研修（初級） ～外国人患者さんと英語で話してみよう～	大野 夏代（看護学部 准教授） シルベスター 典子（北海道大野記念 病院 看護師） 大野 修（桑の実会） 尾田 マリナ（姿勢改善工房 店長）	15
2019年7月12日	AIとロボットの未来	中島 秀之（札幌市立大学 学長） 石黒 浩（大阪大学 名誉教授） 松尾 豊（東京大学大学院 教授） 松原 仁（公立はこだて未来大学 教授）	233
2019年7月14日、 15日	ロボットづくり講習会 （上級編WRO2019大会向け）	三谷 篤史（デザイン学部 准教授）	8
2019年7月20日	研究の二刀流シリーズ① 昆虫のデザイン～虫たちの「形態は機能に従う」～	酒井 正幸（札幌市立大学 名誉教 授）	23
2019年7月27日、 28日	ロボットづくり講習会～WRO2019札幌大会 7/27試走会、7/28大会	三谷 篤史（デザイン学部 准教授）	21
2019年8月2日	まちの健康応援室ミニ出張講座③ 「初めてのお子さんおよび2人目以降のお子さんとの生活について」	山本 真由美（看護学部 講師）	4
2019年8月10日	Connekid in そらのガーデン2019 「はっぱっぱ」	小宮 加容子（デザイン学部 講師）	489
2019年8月22日	「気持ち良い体験」をしよう ～呼吸法・マッサージによる医療者のセルフ ケアのススメ～	大野 夏代（看護学部 准教授） 新関 幸子（天使大学 助教）	17
2019年8月24日	第12回まちの小さな音楽会 「オカリナ・サマー・コンサート」	上村 理恵（オカリナ演奏家） 奥村 香織（ピアノ講師） 安東 智子（オカリナ演奏者）	75



開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2019年8月31日	研究の二刀流シリーズ② アーチェリーと道具のデザイン	細谷 多聞 (デザイン学部 教授)	7
2019年9月14日	クリエイティブコーディングサミット札幌 2019	田島 悠史 (デザイン学部 助教) 小原 丈 (TDSW主催) 津久井 勝也 (株ピクチャーエレメン ト) 鳴海 侑希 (TDSW主催)	17
2019年9月21日	研究の二刀流シリーズ③ ギター音楽のデザイン	中原 宏 (札幌市立大学 名誉教 授)	31
2019年9月28日	研究の二刀流シリーズ④ 音の形とデザイン	矢久保 空遥 (デザイン学部 助教)	16
2019年10月5日	研究の二刀流シリーズ⑤ アイスホッケーと建築環境デザイン	齊藤 雅也 (デザイン学部 教授)	22
2019年10月12日	第13回まちの小さな音楽会 「オカリナ・読み聞かせ・コスモス・コン サート」	上村 理恵 (オカリナ演奏家) 奥村 香織 (ピアノ講師) 平岸小学校図書ボランティア読み聞か せ班	78
2019年10月12日	元自衛官の大学教員が教える！ 「震災時にすべきこと」講座	西村 悠 (横浜商科大学・宝塚大学 非常勤講師)	8
2019年10月13日	マイコンレーサー講習会 (入門編)	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	3
2019年10月17日	デザイン思考ワークショップ (Step1 共感)	安齋 利典 (デザイン学部 教授) 若林 尚樹 (デザイン学部 教授)	9
2019年10月20日	マイコンレーサー講習会 (アドバンス編)	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	4
2019年10月24日	デザイン思考ワークショップ (Step2 問題定 義)	安齋 利典 (デザイン学部 教授) 若林 尚樹 (デザイン学部 教授)	9
2019年10月30日	まちの健康応援室ミニ出張講座④ 「子どもの健康生活についてかんがえよ う！」	牧田 靖子 (看護学部 助教)	5
2019年10月31日	デザイン思考ワークショップ (Step3 創造)	安齋 利典 (デザイン学部 教授) 若林 尚樹 (デザイン学部 教授)	8
2019年11月9日	訪問看護スキルアップ講座2019 訪問看護のフィジカルアセスメント～お腹を 診る看る～	吉崎 秀之 (医療法人せせらぎ理事 長、札幌在宅クリニックそよ風院長)	59
2019年11月14日	デザイン思考ワークショップ (Step4 プロトタイプ)	安齋 利典 (デザイン学部 教授) 若林 尚樹 (デザイン学部 教授)	7
2019年11月16日、 11月17日	マイコンレーサー講習会 (第5回マイコンレーサー北海道大会) 11/16試走会、11/17大会	三谷 篤史 (デザイン学部 准教授)	12
2019年11月21日	デザイン思考ワークショップ (Step5 テスト、まとめ)	安齋 利典 (デザイン学部 教授) 若林 尚樹 (デザイン学部 教授)	8
2019年11月28日	ナースだって癒されたい ～自分を大切にする心のケア体験研修～	猪股 千代子 (看護学部 教授) 鬼塚 美玲 (看護学部 助教) 小端 裕美 (北大通こころのクリニッ ク看護師) 大瀧 真美 (桑園メンタルクリニック 看護師)	21
2019年12月17日	まちの健康応援室ミニ出張講座⑤ 「次の出産に向けての心と身体の準備につい て」	森川 由紀 (看護学部 講師)	3



開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2019年12月21日	第14回まちの小さな音楽会 「ギター・クリスマス・コンサート」	渋谷 環 (渋谷ギター音楽院主宰) 皆川 勝美 (渋谷ギター音楽院講師)	164
2020年1月29日	メディア・アートに学ぶナラティブの表現	須之内元洋 (デザイン学部 講師) Nina Fischer (映像作家) Maroan el Sani (映像作家)	88
2020年2月13日	まちの健康応援室ミニ出張講座⑥ 「産後のおっぱいケア (卒乳も含めて)」	石引 かずみ (看護学部 助教)	8

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、4講座を中止とした。

2) 共催講座：「さっぽろ市民カレッジ」連携講座

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2019年6月27日	さっぽろ市民カレッジ2019春・夏期講座 障がいのある子どもの発達段階に応じた子育て	羽深 久夫 (デザイン学部 教授) 勝見 馥 (社会福祉法人藻岩この実会 ほっと相談センター管理者)	5
2019年7月1日、 2日	さっぽろ市民カレッジ2019春・夏期講座 大通公園の歴史を巡りながら歩こう	羽深 久夫 (デザイン学部 教授) 松岡 洋一 (札幌市市民文化局文化部 文化財課 文化財保護指導員)	19
2019年7月20日	さっぽろ市民カレッジ2019春・夏期講座 障がいのある子どもを育てるあなたへ	羽深 久夫 (デザイン学部 教授) 勝見 馥 (社会福祉法人藻岩この実会 ほっと相談センター管理者)	6
2019年9月3日、 10日	さっぽろ市民カレッジ2019秋期講座 創成川東地区の歴史の足跡を巡る ～札幌の文化財をたどる<秋>～	羽深 久夫 (デザイン学部 教授) 松岡 洋一 (札幌市市民文化局文化部 文化財課 文化財保護指導員)	48
2019年9月19日、 26日	さっぽろ市民カレッジ2019秋期講座 収蔵庫&「奇蹟の芸術都市バルセロナ展」 ダブルツアー	平井 菊花 (札幌芸術の森美術館学芸員) コーディネーター/羽深 久夫 (デザイン学部 教授)	11
2019年11月13日、 11月19日	さっぽろ市民カレッジ2019秋期講座 現代美術の見方と展覧会の作り方 ～球体のパレット展で現代美術を楽しく分かりやすく解説!～	津田 しおり (札幌芸術の森美術館学芸員補) 岩崎 直人 (本郷新記念札幌彫刻美術館 学芸員) コーディネーター/羽深 久夫 (デザイン学部 教授)	8
2019年11月16日	さっぽろ市民カレッジ2019秋期講座 ～障がいのある子どもの子育て～ 小中学校での一番良い学習の道づくり	勝見 馥 (社会福祉法人藻岩この実会 ほっと相談センター管理者) コーディネーター/羽深 久夫 (デザイン学部 教授)	21
2019年12月14日	さっぽろ市民カレッジ2019秋期講座 ～障がいのある子どもの子育て～ より良い放課後等デイサービス利用の仕方	勝見 馥 (社会福祉法人藻岩この実会 ほっと相談センター管理者) コーディネーター/羽深 久夫 (デザイン学部 教授)	19
2020年1月18日	さっぽろ市民カレッジ2020冬期講座 ～障がいのある子どもの子育て～ 高等学校、その後の“働く”を知る	勝見 馥 (社会福祉法人藻岩この実会 ほっと相談センター管理者) コーディネーター/羽深 久夫 (デザイン学部 教授)	39



開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2020年2月8日	さっぽろ市民カレッジ2020冬期講座 ～障がいのある子どもの子育て～ 成人後の社会生活から考える子育て	勝見 馥 (社会福祉法人藻岩この実 会 ほっと相談センター管理者) コーディネーター/羽深 久夫 (デザ イン学部 教授)	24

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、1講座を中止とした。

3) 共催講座：「知活（ちいき）ゼミナール」

開催日	タイトル	講師・企画	受講者数(名)
2019年10月12日	札幌市立大学・道総研共同セミナー 『知（ち）活（いき）ゼミナール2019』 体験型知活ゼミナール ・ゲーム「P055E5510N」（札幌市立大学） ・ユニバーサルデザイン製品（札幌市立大学） ・測定器機の展示と体験（道総研）	藤木 淳（デザイン学部 准教授） 小宮 加容子（デザイン学部 講師）	74



3 国・自治体審議会等への就任状況

デザイン学部

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
中島 秀之	日本学術会議連携会員／委員	日本学術会議事務局
	(大)宮城大学評価委員会／委員長	宮城県
	「AI白書編集委員会」／委員長	(独)情報処理推進
	「次世代人工知能・ロボット中核技術開発」／採択委員	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発 (NEDO)
	特定非営利活動法人産学連携推進機構／理事	特定非営利活動法人産学連携推進機構
	札幌国際芸術祭実行委員会／委員 (副会長)	札幌国際芸術祭実行委員会
	(大)会津大学参与会／参与	(大)会津大学
	(公財)本田財団／理事	(公財)本田財団
	「人口知能に関する技術調査とビッグデータへの応用研究」／客員主管研究員	国立研究開発法人理化学研究
	(一社)社会システムデザインセンター／構成員	日本ビジネスシステムズ(株)
	未来社会創造事業 研究開発運営会議／委員	国立研究開発法人科学技術振興機構
	未踏事業審査委員会／委員	(独)情報処理推進機構
	(大)はこだて未来大学／特任教授	(大)はこだて未来大学
	(大)はこだて未来大学未来A I 研究センター／顧問	(大)はこだて未来大学
	(株)未来シェア／取締役会長	(株)未来シェア
	「Sapporo AI Lab」／エグゼクティブ・アドバイザー	Sapporo AI Lab
	HPCI計画推進委員会ポスト「京」重点課題推進ワーキンググループ萌芽的課題サブワーキンググループ／委員	文部科学省研究振興局
	国立障害者リハビリテーションセンター研究所評価委員会／委員	国立障害者リハビリテーションセンター
	「ICT・アナリティクス・サービス分科会」／委員	(公財)未来工学研究所
	「NoMaps実行委員会」／顧問	NoMaps実行委員会
	「第8回星新一賞」／最終審査委員	星新一賞実行委員会
	「札幌市内における観光MaaS検討有識者会議」／委員	札幌市 (経済観光局)
	「健康脆弱化予知予防研究」／客員主管研究員	国立研究開発法人理化学研究所
	本田賞／選考委員	(公財)本田財団
	「人と共に進化する次世代人工知能に関する技術開発事業に係る採択審査委員会」／NEDO技術委員	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
	細谷 多聞	令和元年度魅力ある個店創出推進事業企画競争実施委員会／委員
令和元年度コンテンツ活用促進事業費補助金審査委員会／審査委員		(一財)さっぽろ産業振興財団
石井 雅博	数理・データサイエンス教育／客員教授	(大)北海道大学 数理・データサイエンス教育研究センター



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
上遠野 敏	札幌市屋外広告物審議会／委員	札幌市（建設局）
	「アートボックス2020」／審査委員	札幌駅総合開発株
	SIAF2020／キュレトリアルアドバイザー	札幌国際芸術祭実行委員会
齊藤 雅也	NPO法人パッシブシステム研究会／顧問	NPO法人パッシブシステム研究会
	日本建築学会／協力委員	(社)日本建築学会
	札幌市中高層建築物紛争調整委員会／委員	札幌市（都市局）
	BIS認定事業に係る試験講習委員会／委員	(社)北海道建築技術協会
	平成31年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（木材利用による業務用施設の断熱性能効果検証事業）に係る審査委員会／委員	(公財)北海道環境財団
	空気調和・衛生工学会北海道支部／幹事構成員	空気調和・衛生工学会北海道支部
	建築部プロポーザル選定委員会／委員	札幌市（都市局）
羽深 久夫	北海道建築審査会／委員	北海道（建設部住宅局）
	「北海道史編さん委員会」／専門委員	北海道（総務部法務・法人局）
	北海道文化財保護審議会／委員	北海道教育委員会
	北海道建設部建築局総合評価検討会／委員	北海道（建設部建設局）
	札幌芸術の森運営協議会／委員	(公財)札幌市芸術文化財団
	「喜茂別町民間賃貸住宅建設促進事業公募型プロポーザル選定委員会／委員	喜茂別町
	札幌市保養センター駒岡運営協議会／委員	札幌市保養センター駒岡
	トランスコスモス株／顧問	トランスコスモス株
	令和元年度北海道赤レンガ建築賞審査委員会／委員	北海道赤レンガ建築賞実行委員会
	(編)藻岩この実会／理事	(編)藻岩この実会
	芸術の森地区文化祭・実行委員会／委員	芸術の森地区連合会
	札幌市芸術文化財団芸術の森事業部 美術館専門委員会／委員	(公財)札幌市芸術文化財団
町田 佳世子	北海道立近代美術館協議会／委員（非常勤特別職）	北海道立近代美術館
	(一財)札幌市水道サービス協会／評議員	(一財)札幌市水道サービス協会
矢部 和夫	タンチョウも住めるまちづくり検討協議会／委員	(公財)日本生態系協会
	日本湿地学会／編集委員長	日本湿地学会
	美唄市宮島沼の水環境の保全と再生に関する検討会議／委員	美唄市
	成東・東金食虫植物群落保護検討委員会作業部会／委員	山武市教育委員会 成東・東金食虫植物群落保護検討委員会
	美々川自然再生技術検討懇談会アクションプログラムワーキンググループ／委員	北海道胆振総合振興局
	美々川環境整備事業にかかる美々川及びウトナイ湖周辺の環境変化要因とその対策についての指導助言／専門員	北海道（建設部）
	「石狩川下流幌向地区自然再生調査検討業務」／アドバイザー	(株)ドーコン



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
矢部 和夫	日本造園学会北海道支部／運営委員	日本造園学会北海道支部
	札幌芸術の森運営協議会／委員	(公財)札幌市芸術文化財団
	平成31年度環境に配慮した再生可能エネルギー導入検討に向けた植生調査植生図作成委託業務に係る北海道ブロック調査会議（北海道ブロック1）／委員	(株)地域環境計画
	「平成31年度環境に配慮した再生可能エネルギー導入検討に向けた植生調査植生図作成委託業務のうち、植生図作成業務に係るブロック調査会議（北海道ブロック2）」／委員	(株)エコニクス
	きたひろしま総合運動公園線の整備／アドバイザー	北広島市（企画財務部）
	「美々川（特対）改修工事自然再生検討業務」／アドバイザー	(株)ドーコン
山田 良	「500m美術館専門委員会」／委員	札幌市（市民文化局）
	「第4回手造通クラフト作品コンテスト」／審査委員長	札幌市（西区役所）
若林 尚樹	ADADA JAPAN／理事	ADADA JAPAN
	教育推進委員会／委員長、協会委員	(公財)画像情報教育振興協会
	札幌市心のバリアフリー推進マーク選考委員会／委員	札幌市（保健福祉局）
	戦略的情報通信研究開発推進事業／専門評価委員	総務省（国際戦略局）
椎野 亜紀夫	北海道土地利用審査会／委員	北海道（総合政策部政策局）
	北海道国土利用計画審議会／委員	北海道（総合政策部政策局）
	札幌市都市計画審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	岩見沢市都市計画審議会／委員	岩見沢市（建設部都市計画課）
	北広島市都市公園の基準等に関する懇談会／委員	北広島市（企画財政部）
	日本造園学会北海道支部／副支部長	日本造園学会北海道支部
武田 亘明	いじめ問題調査委員会／委員	当別町教育委員会
	小中一貫教育推進懇談会／アドバイザー	当別町教育委員会
	第14期北海道生涯学習審議会／委員	北海道（教育庁生涯学習推進局）
	北海道地域学校協働活動推進会議兼コミュニティ・スクール連絡協議会／構成員	北海道（教育庁学校教育局）
張 浦華	札幌家庭裁判所／家事調停委員	札幌家庭裁判所
丸山 洋平	人口移動調査／研究プロジェクト委員	国立社会保障・人口問題研究所
	「神奈川県人口推計・分析共同研究会」／客員研究員	(一社)政策人口研究所
	「特別区における小地域人口・世帯分析及び壮年期単身者の現状と課題（基礎調査）研究会／研究員	特別区長会調査研究機構
三谷 篤史	2019年度厚生労働省委託事業（日本作業療法士協会受託）介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会／委員	(一社)日本作業療法士協会
森 朋子	国指定史跡越中五箇山相倉集落及び越中五箇山菅沼集落にかかる保存活用計画策定委員会／委員	南砺市（ブランド戦略部）
	「ネパールの被災文化遺産保護に関する技術的支援事業」におけるカトマンズ盆地内歴史的集落の保全と復興に向けた調査及び検討業務の推進／共同研究者	(独)国立文化財機構 東京文化財研究所



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
森 朋子	平取町文化的景観に関する有識者・学識者意見交換会／委員	平取町
	「都心部における地下歩行ネットワーク検討委員会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	札幌市屋外広告物審議会／委員	札幌市（建設局）
山田 信博	札幌市広告／アドバイザー	札幌市（建設局）
	「令和元年度新たな活動の場創設支援事業審査委員会／委員	札幌市（市民文化局）
石田 勝也	SIAFラボ／プロジェクトディレクター	札幌国際芸術祭実行委員会
大島 卓	日本造園学会北海道支部／運営委員	日本造園学会北海道支部
片山 めぐみ	札幌市緑の審議会／委員	札幌市（建設局）
	安平町未来創生委員会／アドバイザー	安平町（企画財政課）
	札幌市動物愛護管理推進協議会／委員	札幌市（保健福祉局）
	石狩市空家等対策協議会／委員	石狩市（建設水道部）
	札幌市景観審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	札幌市開発審査会／委員	札幌市（都市局）
	真駒内駅前地区まちづくり検討委員会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	北5西1・西2地区基本構想に係る有識者会議／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	北海道住宅対策審議会／委員	北海道（建設部住宅局）
	平成31年度町内会加入促進啓発事業企画競争実施委員会／委員	札幌市（市民文化局）
	令和元年度 次期中期計画策定に伴う市民意見聴取業務「企画競争実施委員会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	二段階一般競争入札／審査委員	北海道（財務局）
国有財産北海道地方審議会／委員	北海道（財務局）	
小宮 加容子	2019年度 厚生労働省委託事業（日本作業療法士協会受託）介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会／委員	(一社)日本作業療法士協会
	ペレット・薪ストーブのある住宅・店舗デザインコンクール／審査員	北海道（水産林務部林務局）
福田 大年	日本デザイン学会／代議員	(一社)日本デザイン学会
	教材掲載用の問題作成、吟味及び監修や教材に関わる資料／アドバイザー	(株)ベネッセコーポレーション
	「札幌スタイル認証委員会」／委員長	札幌市（経済観光局）
	とくとく検診PRポスターの図案選考会／選考委員	札幌市（保健福祉局）
	「食のまち・さっぽろフェストinチ・カ・ホ2020企画運営業務企画競争実施委員会」／委員	札幌市（保健所）
松永 康佑	ADADA JAPAN／理事	ADADA JAPAN



看護学部

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
樋之津 淳子	北海道公立大学法人札幌医科大学附属病院 看護部長 選考会議／委員	(大)札幌医科大学附属病院
松浦 和代	令和元年度 林業成長産業化総合対策補助金（木材需要の創出・輸出力強化対策）（民間部門主導の木造公共建築物等整備推進事業のうち各業界分野における民間部門主導の木造公共建築物等整備推進）「医療・福祉施設木材利用促進検討委員会」／委員	(一社)木を活かす建築推進協議会
	ノーステック財団「医療機関ニーズ対応型開発補助事業」／審査委員	(公財)北海道科学技術総合振興センター
	博士論文審査委員会／委員	(大)札幌医科大学
中村 恵子	専門看護師認定実行委員会（急性・重症患者看護）／委員	(公社)日本看護協会
	札幌市救急業務検討委員会／委員	札幌市
	プロトコール専門委員会／委員	札幌市保健福祉局
卯野木 健	センター調査<C0097>個別調査部会／部会員	(一社)日本医療安全調査機構
喜多 歳子	科学研究費委員会／専門委員	(独)日本学術振興会
	一般社団法人全国保健師教育機関協議会 北海道・東北ブロック／委員長	(一社)全国保健師教育機関協議会
	北海道建築審査会／委員	北海道
	科学研究費委員会／専門委員	(独)日本学術振興会
定廣 和香子	特別研究員等審査委員会／専門委員	(独)日本学術振興会
貝谷 敏子	札幌医科大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究審査委員会／委員	(大)札幌医科大学
菅原 美樹	認定看護師認定実行委員会（救急看護）／委員	(公社)日本看護協会
	認定看護師認定委員会／委員	(公社)日本看護協会
村松 真澄	旭川口腔ケア普及研究会／幹事	上川中部地域歯科保健推進協議会
守村 洋	札幌市社会福祉総合センター管理運営委員会／委員	札幌市社会福祉総合センター
高橋 奈美	日本専門看護師協議会／編集委員	日本専門看護師協議会
山本 真由美	北海道看護協会札幌第1支部／助産師職能委員	(公社)北海道看護協会

その他

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
高橋 尚人	札幌市ICT活用戦略検討有識者会議／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	「札幌市内における観光MaaS検討有識者会議」／委員	札幌市（経済観光局）



4 専門職支援・セミナー講師等

1) 専門職支援

① 認定看護管理者教育課程サードレベル

2019年度受講者23名（修了者23名）

開催期間	教科目/時間	単元	講義・演習・実習（時間数）	講師
第Ⅰ期（13日間） 2019年8月27日 ～9月11日 第Ⅱ期（14日間） 2019年11月5日 ～11月22日 第Ⅲ期（10日間） 2020年1月7日 ～1月22日	ヘルスケアシステム論Ⅲ/36時間	社会保障制度・政策の動向	講義（6）	★大久保 一郎
		看護制度・政策の動向	講義（9）	★齋藤 訓子
		ヘルスケアサービスの創造	講義（9）	★松下 博宣
			講義（3）	★相内 俊一
			講義（3）	★土井 正子
		小論文プレゼンテーション	演習（3）	★勝見 真澄 ★佐藤 ひとみ 猪股 千代子 矢野 祐美子
	組織管理論Ⅲ/24時間	組織デザインと組織運営	講義（6）	★永池 京子
			講義（3）	★牧野 憲一
			講義（3）	★深澤 優子
		グループワーク（6）	★勝見 真澄 ★佐藤 ひとみ 猪股 千代子 矢野 祐美子	
	組織における倫理	講義（6）	★田中 かおり ★近藤 ときえ	
	人材管理Ⅲ/18時間	社会システムと労務管理	講義（3）	★和田 昌代
			講義（3）	★榎引 久丸
		看護管理者の育成	講義（6）	★樋口 春美
		特別講義	講義（3）	★中村 恵子
	資源管理Ⅲ/36時間	経営戦略	講義（6）	★高橋 泰
			講義（6）	★工藤 高
		グループワーク（6）	★勝見 真澄 ★佐藤 ひとみ 猪股 千代子 矢野 祐美子	
		財務管理	講義（6）	★渡邊 寧子
		講義（6）	★前田 誠	
		組織的情報管理	講義（3）	★良村 貞子
講義（3）	★島井 健一郎			



第Ⅰ期（13日間） 2019年8月27日 ～9月11日 第Ⅱ期（14日間） 2019年11月5日 ～11月22日 第Ⅲ期（10日間） 2020年1月7日 ～1月22日	質管理Ⅲ/30時間 組織の安全管理	経営と質管理	講義（6）	★須田 倫子	
			講義（3）	★坂上 真弓	
			講義（3）	★近藤 とさえ	
		グループワーク（9）	★勝見 真澄 ★佐藤 ひとみ 猪股 千代子 矢野 祐美子		
			講義（3）	★平岡 康子	
			講義（3）	★勝見 真澄	
	統合演習Ⅲ/45時間	第Ⅰ期演習	演習（6）	★勝見 真澄 ★工藤 昭子 ★坂上 真弓 ★佐藤 ひとみ ★須田 倫子 ★執賀 愛子 ★土井 正子 ★仁木 恵美子 猪股 千代子 矢野 祐美子	
				演習（6）	★勝見 真澄 ★佐藤 ひとみ ★高橋 久美子 ★田所 亮一 ★田中 いずみ ★中野 和美 ★萩原 直美 猪股 千代子 矢野 祐美子
		統合演習	演習（15）	★伊藤 リカ ★勝見 真澄 ★加藤 久美子 ★近藤 とさえ ★齋藤 香奈恵 ★佐藤 ひとみ ★渋谷 洋子 ★中山 日登美 ★的場 由紀子 ★山谷 敦子 猪股 千代子 矢野 祐美子	
				実習（18）	★勝見 真澄 ★佐藤 ひとみ 猪股 千代子 矢野 祐美子
				実習	★勝見 真澄 ★佐藤 ひとみ 猪股 千代子 矢野 祐美子

★印：非常勤講師等



2) セミナー講師等

① デザイン学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
中島 秀之	2019年4月15日	「AI」／講師	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部
	2019年6月4日	社員総会記念講演会／講師	(株)日本総合経営協会
	2019年7月16日	「人工知能の現在と社会の未来」／講師	司法研修所
	2019年7月17日	「ポスト人間中心時代を見据えた日本における モビリティ社会の未来構想」／講師	(株)富士通総研
	2019年7月25日	「AIで拓く福祉の未来」／講師	(福)札幌市社会福祉協議会
	2019年7月28日	「WileyResearchSeminarJapan2019」／講師	ワイリー・ジャパン(株)
	2019年8月3日	「MOT実践エグゼクティブ・スクール2019」 ／講師	(一社)日本MOT振興協会
	2019年8月22日	「AIの地平を拓く」／講師	(公財)栢森情報科学振興財団
	2019年9月6日	CEDEC2019／講師	(一社)コンピュータエンターテ インメント協会
	2019年9月17日	「AIの今後のビジネスでの利用動向とそれを 踏まえた人材育成の勘所」／講師	(一社)コンピュータソフトウェ ア協会
	2019年10月1日	「AIの過去と未来」／講師	名古屋工業大学NITech AI研 究センター
	2019年10月17日	「イノベーターは育てられるか?～イノベ ーターを生み出す教育論」／講師	NoMaps実行委員会
	2019年11月1日	名工大テクノフェア2019／講師	(大)名古屋工業大学
	2019年11月5日	「人工知能研究の現状と社会のデザイン」／講 師	本田技研工業(株)
	2019年11月17日	「AIは生活していない」の意味について／講 師	日本言語学会
	2019年11月17日	「AIによって揺さぶられる言語理論・意味論の 観点から」／講師	名古屋学院大学
	2019年11月25日	「AI等先端科学技術の可能性」／講師	北海道公安委員会
	2019年12月7日	「Society5.1の作り方」／講師	広島工業大学
	2019年12月18日	ムーンショット国際シンポジウム／講師	国立研究開発法人科学技術 振興機構
	2020年1月27日	「AI入門-仕事や職場はどう変わるの だろう?」／講師	札幌高等裁判所
2020年2月5日	TECH Biz EXPO2020併催展「ロボットシン ポジウム2020名古屋」／講師	名古屋国際見本市委員会	
安齋 利典	2019年7月12日	北海道PMセミナー／講師	特別非営利活動法人 日本プ ロジェクトマネジメント協 会
	2019年10月10日	観光商材開発支援事業における「専門家個別相 談会」／専門家	札幌市(経済観光局)
	2019年11月28日	「デザインと創造的思考～問題発見・課題解決 のデザインプロセス～」／講師	(一社)北海道中小企業家同友会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
齊藤 雅也	2019年10月6日、7日	令和元年度北海道旭川西高等学校「2019HOKKAIDOサイエンスセミナーⅢ」及び「SS特別講座」／講師	北海道旭川西高等学校
	2020年2月17日	東神楽町複合施設整備事業に係る講評会／講師	東神楽町
羽深 久夫	2019年6月27日、7月1日、2日、20日	「さっぽろ市民カレッジ2019春・夏期講座」／コーディネーター	札幌市（生涯学習センター）
	2019年8月2日	豊平館開催講座／講師	㈱NTTファシリティーズ北海道
	2019年9月3日、10日、19日、26日、11月13日、16日、19日、12月14日	「さっぽろ市民カレッジ2019秋期講座」／講師	札幌市（生涯学習センター）
	2020年1月18日、2月8日、3月10日、17日	「さっぽろ市民カレッジ2020冬期講座」／コーディネーター・講師	札幌市（生涯学習センター）
矢部 和夫	2019年6月25日	「円山地区の外来種問題」／講師	札幌市立宮の森中学校
若林 尚樹	2019年11月19日	「ものづくりブラッシュアップセミナー」／講師	(一社)札幌市手をつなぐ育成会
椎野 亜紀夫	2019年9月5日	地域の公園からUDを考える／講師	札幌市立常盤小学校
武田 亘明	2019年8月17日	令和元年度 青陵会石狩支部 夏季研修会／講師	青陵会石狩支部
	2019年12月7日	日高教育振興会研修会／講師	日高教育振興会
丸山 洋平	2019年10月17日	「知る・語る 地域創生と学校の魅力向上」／講師	北海道（総合政策部地域振興監）
	2020年1月30日	第24回厚生政策セミナー／講師	国立社会保障・人口問題研究所
三谷 篤史	2019年9月14日	日本口腔看護研究会 第6回北海道地区セミナー／講師	日本口腔看護研究会
片山 めぐみ	2019年5月14日	我が事・丸ごとを楽しむ地域の支え合いの居場所づくり／講師	札幌市在宅福祉活動団体連絡会
	2019年6月26日	「区役所待合ホール等の改修ワークショップ研修会」／講師	札幌市（西区役所）
	2019年10月31日、11月16日、22日	アクティブシニア等活躍支援事業委託業務の運営／講師	㈱北海道二十一世紀総合研究所
金 秀敬	2019年8月7日	デザインマインドについて／講師	(一社)北海道中小企業家同友会 産学官連携研究会HoPE
福田 大年	2019年7月19日	「ものづくりブラッシュアップセミナー」／講師	(一社)札幌市手をつなぐ育成会
	2019年8月7日	衛生データ解析技術研究会 第24回技術セミナー／講師	(地)山口県産業技術センター
松永 康佑	2019年12月10日	「身体運動のCG表現」／講師	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	2020年3月28日	「樺太アイヌ古式舞踊の再現」／講師	北海道教育大学岩見沢校
矢久保 空遥	2019年6月19日	観光商材開発支援事業／講師	札幌市（経済観光局）



② 看護学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
樋之津 淳子	2019年9月21日	『看護薬理学カンファレンス2019in札幌』の座長	宮崎大学医学部看護学科
川村 三希子	2018年7月1日 ～2019年8月31日	日本緩和医療学会の北海道支部大会長	日本緩和医療学会北海道支部
中村 恵子	2019年9月24日 ～2020年3月31日	2019年度後期非常勤講師「教育評価」	天使大学
荒木 奈緒	2019年4月1日 ～2020年3月31日	出生前診断に関する相談員（産婦人科外来）及び臨床看護研究支援スタッフ育成のための研修会の講師	NTT東日本札幌病院
	2019年5月18日	北海道中央労災病院看護研究研修会の講師	(独)労働者健康安全機構 北海道中央労災病院
	2019年6月1日	北海道看護協会苫小牧支部看護研修会の講師	北海道看護協会苫小牧支部
	2019年8月31日	「難治性皮膚ケア学習会」の講師	NPO法人表皮水疱症友の会 DebRA Japan
	2019年11月2日	2019年度北海道看護協会苫小牧支部看護研究発表会の講評者	北海道看護協会苫小牧支部
卯野木 健	2019年6月13日	第11回九州・沖縄地区クリティカルケア看護セミナーの講師	九州・沖縄地区クリティカルケア看護研究会
	2019年6月15日	第15回日本クリティカルケア看護学会学術集会の座長	第15回日本クリティカルケア看護学会学術集会
	2019年6月15日	第15回日本クリティカルケア看護学会学術集会 ランチョンセミナー2の座長	アバノス・メディカル・ジャパン・インク
	2019年7月5日	手稲溪仁会病院看護部企画研修～看護実践におけるデータの扱い方～の講師	手稲溪仁会病院
	2019年8月17日	「第16回JSEPTIC看護部会セミナー」の講師	(株)日本集中治療教育研究会
	2019年8月24日	日本緩和医療学会第2回北海道支部学術大会の講師	(株)日本緩和医療学会第2回北海道支部学術大会
	2019年10月13日	日本集中治療医学会北海道支部会主催 「重症患者管理のための看護セミナー2019 初級編」の講師	(一社)日本集中治療医学会北海道支部
	2019年10月13日	「看護師のための重症患者管理セミナー」の講師	(一社)日本集中治療医学会北海道支部
	2019年12月7日	パラマウントベッド・クリティカルケアセミナーの講演	パラマウントベッド(株)
小田 和美	2019年5月31日、 6月28日	JA北海道厚生連帯広厚生病院 ラダー教育企画 研究研修会の講師	JA北海道厚生連帯広厚生病院
菊地 ひろみ	2019年6月10日 (講義) 2019年7月1日 ～2020年3月31日 (研究指導)	院内看護職員研修「看護研究」に係る看護研究導入講義の講師及び看護研究導入指導	JA北海道厚生連札幌厚生病院
喜多 歳子	2019年4月1日 ～2020年3月31日	環境健康科学研究教育センターの招へい教員	(大)北海道大学環境健康科学研究教育センター
	2019年12月14日	令和元年度全国保健師長会北海道ブロック研修の講演	北海道保健師関係団体連絡会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
定廣 和香子	2019年4月1日 ～8月31日	2019年度前期非常勤講師「看護教育学」	天使大学
	2019年6月18日、 25日、7月10日	「2019年度北海道専任教員養成講習会」の講師 「看護論」「看護論演習」	(公)北海道看護協会
	2019年10月1日 ～2020年3月31日	2019年度名寄市立大学後期非常勤講師「看護教育学」	名寄市立大学
大野 夏代	2019年5月12日、 6月30日、9月15日	エスニコ医療通訳養成コースの講師	(株)エスニコ
	2019年9月1日 ～2020年3月31日	2019年度後期非常勤講師「国際医療援助論」	天使大学
	2019年9月14日	日本国際看護学会第3回学術集会の座長	日本国際看護学会第3回学術集会
	2019年10月1日 ～2020年3月30日	2019年度後期非常勤講師「国際看護論」	札幌保健医療大学
貝谷 敏子	2019年5月26日	第28回日本創傷・オストミー・失禁管理学会 学術集会モーニングセミナーの座長	日本シグマックス(株)
神島 滋子	2019年11月10日	NPO法人日本リハビリテーション看護学会第 31回学術大会「ワークショップⅡ」のファシリ テーター	NPO法人日本リハビリテー ション看護学会第31回学術 大会
	2019年11月23日	第9回日本リハビリテーション栄養学会学術集 会における看護師セッションの講師	第9回日本リハビリテーショ ン栄養学会学術集会
	2019年12月14日	2019年度済生会小樽病院看護部「看護研究発 表会」の座長	済生会小樽病院看護部
菅原 美樹	2019年6月15日	第15回日本クリティカルケア看護学会学術集 会の座長	第15回日本クリティカルケ ア看護学会学術集会
	2019年11月6日 ～2021年開催の第 23回学術集会の終 了の時まで	第23回日本救急看護学会学術集会の会長	(一財)日本救急看護学会
藤井 瑞恵	2019年4月1日 ～2020年3月31日	札幌医科大学訪問研究員の受入れ(依頼)	札幌医科大学
	2019年10月5日	「第4回北海道CKD地域交流研究会」の講演	協和キリン(株)札幌支店
本田 光	2019年4月1日 ～30日	平成31年度非常勤講師の委嘱「地域生活支援 技術論」	北海道大学医学部
	2019年4月1日 ～7月31日	平成31年度非常勤講師の委嘱「地域健康組織 活動論」	北海道大学大学院保健科学 院
	2019年10月1日 ～2020年2月29日	平成31年度非常勤講師の委嘱「社会と健康 Ⅲ」	北海道大学大学院保健科学 院
	2019年10月1日 ～2020年3月31日	放送大学非常勤講師(面接授業担当)の委嘱 「地域の絆を育む看護学」	放送大学学園
	2019年12月6日	令和元年度第2回新任保健師学習会の講師	札幌市新任保健師学習会
	2020年3月6日	市立札幌みなみの杜高等支援学校 2学年教科 「保健」の講師	市立札幌みなみの杜高等支 援学校
三上 智子	2019年7月23日	健康講話の講師「高校生としての性への対応に ついて」	市立札幌平岸高等学校



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
村松 真澄	2019年6月30日、 7月28日	「日本口腔看護研究会 北海道 口腔ケア実践 セミナーin札幌」の講師	日本口腔看護研究会
	2019年8月4日	第17回日本口腔ケア協会学術大会 シンポジウムⅡ：『多職種間連携に向けた卒前教育を考える』座長及びシンポジスト	第17回日本口腔ケア協会学術大会
	2019年9月7日	第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会の一般口演座長	第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
	2019年9月14日	日本口腔看護研究会 第6回北海道地区セミナーの講演及び座長	日本口腔看護研究会
	2019年9月21日	『看護薬理学カンファレンス2020in札幌』の講演	宮崎大学医学部看護学科
	2019年9月30日	講演会『口腔ケアの重要性』～誤嚥性肺炎との関係性～の講師	(福)愛全会 高齢者総合福祉施設サン・グレイス
	2019年10月7日	札幌医学技術福祉歯科専門学校 歯科衛生士科の非常勤講師「看護概論」	(学)西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校
	2019年12月4日	札幌東徳洲会病院「看護師が行う一般的な口腔ケア」の講師	(医)徳洲会 札幌東徳洲会病院
	2020年2月9日	「運動指導従事者研修」の講師	(財)人さっぽろ健康スポーツ財団 札幌市健康づくりセンター
	2020年3月10日 ～12日	第9回ハワイ国際交流セミナー&視察研修のセミナー講師	高知大学医学部付属病院がん治療センター 高知大学医学部医療学講座医療管理学分野
	2020年3月14日	第38回北海道医療大学歯学会学術大会特別講演会の講師	北海道医療大学歯学会
守村 洋	2019年6月20日、 10月15日、 2020年1月16日	令和元年度「生活支援員登録に向けた研修・説明会」の講師	(福)札幌市社会福祉協議会
	2019年7月29日	平成31年度札幌市教育センター専門研修（教養研修）の講師	札幌市
	2019年8月9日	「精神科訪問看護基本療養指導に係る研修 研修会」の講師	(公)北海道看護協会
	2019年10月31日	令和元年度釧路保健所自殺未遂者支援研修会の講師	北海道釧路総合振興局
	2020年3月10日、 12日	令和元年度 日常生活自立支援事業「生活支援員現任者研修会」の講師	(福)札幌市社会福祉協議会
渡邊 由加利	2019年4月1日 ～2020年3月31日	平成31年度桶谷式母乳育児推進協会本部セミナーにおける北海道ブロック看護研究発表アドバイザー	(社)桶谷式母乳育児推進協会
黒田 紀子	2019年7月1日 ～2020年3月31日	院内看護職員研修「看護研究」に係る看護研究導入指導	JA北海道厚生連札幌厚生病院
	2019年8月1日 ～10月31日	令和元年度非常勤講師の委嘱「乳幼児支援論」	北海道大学大学院保健科学院
高橋 奈美	2019年10月16日	札幌ALS地域医療連携講演会の基調講演演者	田辺三菱製薬(株)北海道支店



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
武富 貴久子	2019年4月1日 ～2020年3月31日	客員研究員としての研究活動	北海道大学大学院医学研究院
	2019年7月20日 ～2020年2月14日 全7回	看護研究指導と看護研究研修会の講師「看護研究の実際」	砂川市立病院
	2019年9月12日	看護研究グループへのアドバイス	町立中標津病院
	2019年9月14日、 10月5日	標準模擬患者指導教員	北海道大学医学研究院
原井 美佳	2019年7月29日、 11月14日	JA北海道厚生連帯広厚生病院 ラダー教育企画 研究研修会の講師	JA北海道厚生連帯広厚生病院
檜山 明子	2019年6月10日、 7月8日、8月8日	札幌北楡病院 看護研究研修会の講師	(医)北楡会 札幌北楡病院
	2019年6月18日、 26日、7月3日、 10日、12日、19日	「2019年度北海道専任教員養成講習会」の講師 「看護論」「看護論演習」	(社)北海道看護協会
森川 由紀	2019年10月5日	第49回北海道母性衛生学会総会並びに学術講演会の座長	第49回北海道母性衛生学会
矢野 祐美子	2020年1月28日	苫小牧市立病院「実習指導者研修Ⅰ・プリセプター研修Ⅰ」の講師	苫小牧市立病院
鬼塚 美玲	2019年7月1日 ～2020年3月31日	院内看護職員研修「看護研究」に係る看護研究導入指導	JA北海道厚生連札幌厚生病院
野呂田美菜子	2019年7月29日	平成31年度札幌市教育センター専門研修（教養研修）の講師	札幌市



5 国際交流実績

年月日	内容	
2019年6月5日 ～10日	派遣	札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年記念訪問団派遣事業にデザイン学部長・看護学部長が参加。PNCA訪問
2019年8月10日 ～17日	受入	日台国際交流デザインワークショップ2019を開催 参加大学：札幌市立大学学生7名、教員4名 札幌大谷大学学生2名、教員2名 華梵大学学生8名、教員1名 台中科技大学学生8名、教員2名 雲林科技大学学生8名、教員2名
2019年8月19日 ～30日	派遣	台中科技大学の2019夏季短期中国語コース及び台湾文化体験キャンプにデザイン学部学生1名参加
2019年9月12日 ～19日	派遣	PNCAとの「SCU-PNCA 異文化理解と制作活動を通じた国際交流ワークショップ」にデザイン学部学生5名、教員2名が参加
2019年9月13日	協定	PNCAと学術交流協定調印
2019年9月15日 ～9月19日	派遣	台中科技大学に看護学部学生5名、教員1名、国際交流コーディネーター1名を短期研修に派遣
2019年9月17日 ～23日	派遣	承德医学院に看護学研究科院大学生4名、教員1名を派遣した。
2019年10月1日 ～2020年3月31日	受入	台中科技大学から特別聴講学生1名を受入
2019年10月28日 ～11月3日	派遣共催	デザイン学部教員が台中科技大学と合同展示会開催及び台中科技大学視察
2019年11月30日 ～12月2日	派遣	台中科技大学の100年記念式典に学長参加。情報管理及び物流学部学生と懇談。
2020年2月3日	受入	台中科技大学学長他9名が来学。看護学部ならびに学長から老年看護、情報管理について情報提供。
2020年2月13日 ～18日	派遣	ラップランド大学にデザイン学部学生3名、教員1名を派遣（ワークショップ参加・視察）



6 サテライトキャンパスの利用状況

利用目的	利用件数
セミナー	9
会議	※内訳 会議（学内者のみ）37 産学連携・会議（学外者を含む）74 111
学会	227
その他	0
合計	347



V キャリア支援活動

1 デザイン学部

1) 概要

デザイン学部キャリア支援委員会は、デザイン学部の学生を対象としたキャリア支援の取り組みを図る目的で2008年4月に設立された。本委員会は、定例会議（毎月1回程度）において学生の支援方法及び企業へのPR・求人開拓活動などを協議し、コース毎の独自企画と連携しながら運営を行った。

同時に開設されたキャリア支援室では、教職員による就職相談体制を整えるとともに、専門の就職相談員1名を配置し、きめ細かな個別指導を行っている。また、後援会の支援による就職活動支援、および卒業生の協力によるOB・OGイベントの定期的な開催などの取り組みを行っている。活動実績の詳細については下記のとおりである。

学部4年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導（就職相談、面接・履歴書・ES対策など）（2019年4月～） ・学内企業説明会（随時） ・求人情報の提供（随時）
学部3年生への支援 大学院1年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアガイダンス（2019年4月～2019年6月） ・OB・OGイベントの開催（2019年4月～2019年7月） ・デザイン学部専門教育科目「キャリアデザイン」（2019年9月～2020年1月） ・就職活動ハンドブックの配布（2019年4月） ・進路希望調査（2019年9月） ・ビジネスEXPO見学会の開催（2019年11月） ・学内業界セミナー（2019年10月～2020年3月） ・求人情報の提供（随時） ・インターンシップ・企業実習情報の提供（随時）
学部2・3年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・スケッチ講習会（2019年11月） ・ワークショップ型インターンシップ体験（2019年12月）
後援会からの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬面接（2019年4月、2020年1月～2月） ・エントリーシート個別相談会（2019年11月） ・履歴書用証明写真撮影補助（2019年11月～）

2) 支援体制

デザイン学部のキャリア支援は、本委員会の委員、2コース（旧カリキュラムにおいては4コース）のゼミ担当教員及び事務局（学生課キャリア支援担当、就職相談員）が行っている。主な役割分担として、事業の企画・運営は本委員会の委員が、就職先の開拓は全教員及びキャリア支援担当が、学生相談のうち専門分野に関わることはキャリア支援室の就職相談員及びキャリア支援担当がそれぞれ行っている。



3) 就職・進学結果

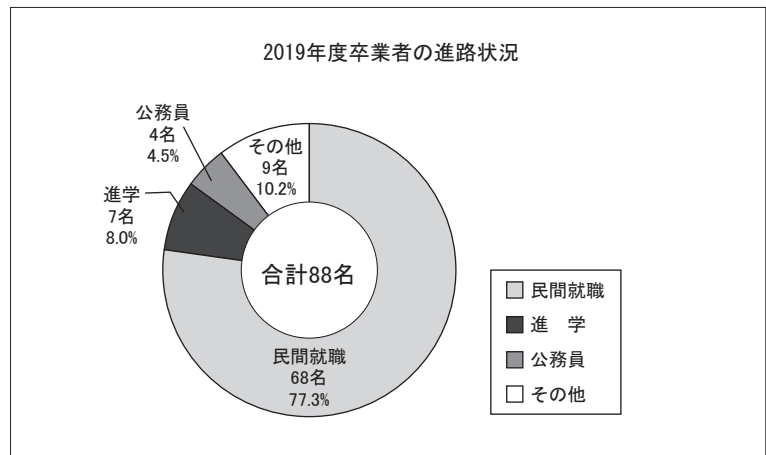
(11期生) 2020年3月卒業生

就職先	■建設業 (株)NTTファシリティーズ北海道/(株)ジョンソンホームズ/(株)創建舎/大和ハウス工業(株)/中井聖建設(株)/(株)パウハウス丸栄/豊栄建設(株)/ミサワホーム北海道(株)/(株)ヨシザワ建築構造設計/(株)ロゴスホーム
	■製造業 極東高分子(株)/クリナップ(株)/山藤三陽印刷(株)/総合商研(株)/東洋印刷(株)/ナトコ(株)/(株)プリプレス・センター/北海道森紙業(株)/本田技研工業(株)/(株)ロイズコンフェクト
	■情報通信業 (放送・ゲームソフト・インターネット関連・映像制作等) (株)Olivier/(株)Plott/(株)アシスト北海道/(株)ウツワニウム/エイチ・テー・ビー映像(株)/エヌディーキューブ(株)/(株)オートクチュール/(株)協和エクシオ/クオン(株)/(株)スクランブル/(株)タノシナル/トランスコスモス(株)/(株)フォーラムエイト/フラワーヒルズ(株)/(株)北海道日立システムズ/(株)ユーイー/(株)ワンズ・ファーム
	■運輸業 北海道旅客鉄道株(株)
	■卸売業・小売業 岩崎電子(株)/エルム楽器(株)/(株)ガモウ北海道/(株)札幌丸井三越/(株)仙台三越/(有)東光プロズ/(株)フジワラ
	■不動産業 (株)オープンハウス
	■専門・技術サービス業 (デザイン業・広告業等) (株)KITABA/(株)Zenn/(株)オプト/さくら構造(株)/札幌駅前通まちづくり(株)/(株)ズコーシャ/(株)ディー・サイン/日香化成(株)/フリーランス (イラストレーター) /フリーランス (デザイナー)
	■飲食サービス業 (株)ベッパーフードサービス/自営業 (コミュニティカフェ)
	■教育・学習支援業 (公財)さっぽろ青少年女性活動協会
	■医療業 岡田眼科
■その他のサービス業 ANA大阪空港(株)/(株)ぜん/(株)ネイビーズ・クリエイション/(株)乃村工藝社/ヒビノメディアテクニカル(株)	
■公務 札幌市役所 (技術職：建築、技術職：造園) /北海道 (一般行政技術職：建築、教育行政職)	
進学先	札幌市立大学大学院

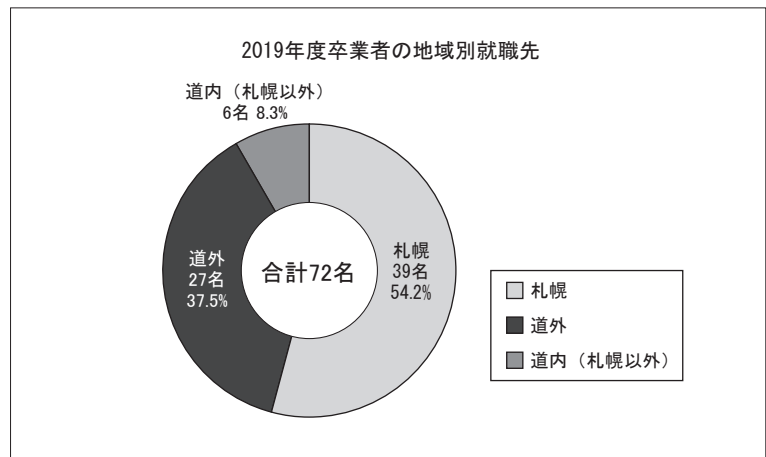


① (11期生) デザイン学部 2019年度卒業生 就職状況 (2020年7月1日現在)

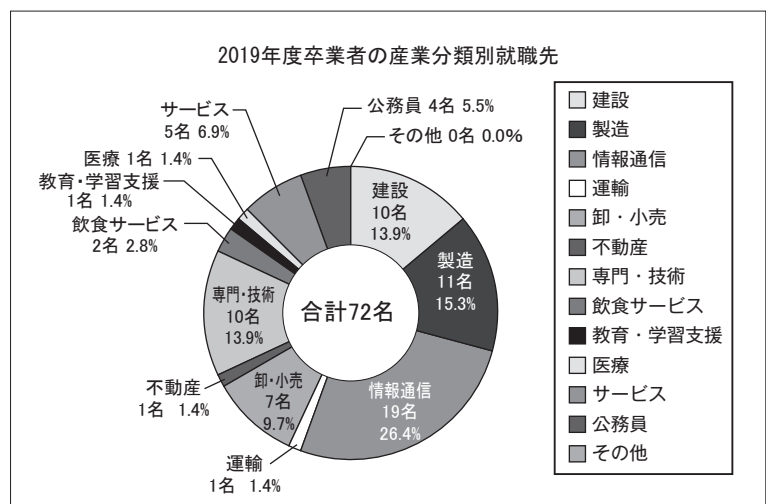
進路状況	人数(名)	割合(%)
民間就職	68	77.3
進学	7	8.0
公務員	4	4.5
その他	9	10.2
合計	88	—



地域別就職先	人数(名)	割合(%)
札幌	39	54.2
道外	27	37.5
道内 (札幌以外)	6	8.3
合計	72	—



産業分類	人数(名)	割合(%)
建設	10	13.9
製造	11	15.3
情報通信	19	26.4
運輸	1	1.4
卸・小売	7	9.7
不動産	1	1.4
専門・技術	10	13.9
飲食サービス	2	2.8
教育・学習支援	1	1.4
医療	1	1.4
サービス	5	6.9
公務員	4	5.5
その他	0	0.0
合計	72	—





②内定先の内訳（市内35社39名、道内6社6名、道外26社27名）

コース		道内企業（札幌市内含む）	道外企業
旧カリキュラム	市内	岩崎電子㈱〔卸・小売：販売職〕 ㈱スクランブル〔情報通信：映像編集職〕 北海道〔公務：建築職〕	㈱オプト〔専門・技術：総合職〕 ㈱協和エクシオ 〔情報通信：システムソリューション〕 クオン㈱〔情報通信：総合職〕
	道内		
人間空間	市内	㈱KITABA〔専門・技術：総合職〕 ㈱NTTファシリティーズ北海道〔建設：FM職〕 ㈱Zenn〔専門・技術：デザイナー〕 ㈱ガモウ北海道〔卸・小売：総合職〕 さくら構造㈱〔専門・技術：設計職〕 札幌駅前通まちづくり㈱〔専門・技術：総合職〕 札幌市〔公務：建築職〕 札幌市〔公務：造園職〕 ㈱ジョンソンホームズ〔建設：施工監理職〕 中井聖建設㈱〔建設：施工監理職〕 豊栄建設㈱〔建設：インテリアデザイナー〕 ミサワホーム北海道㈱〔建設：設計職〕 ㈱ユーイー〔情報通信：総合職〕 ㈱ロイズコンフェクト〔製造：総合職〕	ANA大阪空港㈱ 〔サービス：グランドハンドリング〕 ㈱オートクチュール〔情報通信：デザイナー〕 ㈱オープンハウス〔不動産：設計職〕 クリナップ㈱〔製造：ショールーム職〕 ㈱ぜん〔サービス：インストラクター〕 ㈱仙台三越〔卸・小売：総合職〕 ㈱創建舎〔建設：設計職〕 ㈱ディー・サイン 〔専門・技術：ディレクション職〕 大和ハウス工業㈱〔建設：設計職〕 トランスコスモス㈱〔情報通信：設計職〕 トランスコスモス㈱〔情報通信：設計職〕 ㈱乃村工藝社〔サービス：ディレクター〕 ㈱バウハウス丸栄〔建設：企画・デザイン職〕 ヒビノメディアテクニカル㈱ 〔サービス：プランナー〕 ㈱フォーラムエイト〔情報通信：総合職〕 ㈱フジワラ〔卸・小売：営業職〕 ㈱ヨシザワ建築構造設計〔建設：意匠設計〕
	道内	㈱ズコーシャ〔専門・技術：技術総合職〕 ㈱ロゴスホーム〔建設：設計職〕 自営業（コミュニティカフェ） 〔飲食・宿泊：飲食店主〕	
人間情報	市内	㈱Olivier〔情報通信：SE〕 ㈱アシスト北海道〔情報通信：営業職〕 ㈱ウツワニウム〔情報通信：エディター〕 エイチ・テー・ビー映像㈱〔情報通信：AD職〕 エヌディーキューブ㈱〔情報通信：プランナー〕 エルム楽器㈱〔卸・小売：営業職〕 〔公財〕さっぽろ青少年女性活動協会 〔教育・学習支援：指導員〕 ㈱札幌丸井三越〔卸・小売：販売職〕 山藤三陽印刷㈱〔製造：デザイナー〕 総合商研㈱〔製造：制作職〕 日香化成㈱〔専門・技術：研究開発〕 ㈱ネイビーズ・クリエイション 〔サービス：総合職〕 フラワーヒルズ㈱〔情報通信：SE〕 ㈱プリプレス・センター〔製造：デザイナー〕 ㈱プリプレス・センター〔製造：デザイナー〕 北海道〔公務：教育行政職〕 ㈱北海道日立システムズ〔情報通信：SE〕 北海道旅客鉄道株㈱〔運輸・郵便：運転士〕 ㈱ワNZ・ファーム〔情報通信：デザイナー〕 ㈱ワNZ・ファーム〔情報通信：デザイナー〕 フリーランス〔専門・技術：デザイナー〕 フリーランス〔専門・技術：イラストレーター〕	㈱Plott〔情報通信：エディター〕 岡田眼科〔医療・福祉：総合職〕 ㈱タノシナル〔情報通信：プランナー〕 〔有〕東光プロズ〔卸・小売：デザイナー〕 ナトコ㈱〔製造：デザイナー〕 ㈱ペッパーフードサービス〔飲食・宿泊：総合職〕 本田技研工業㈱〔製造：デジタルモデラー〕
	道内	極東高分子㈱〔製造：技術系〕 東洋印刷㈱〔製造：制作職〕 北海道森紙業㈱〔製造：事務職〕	
小計		41社 45名	26社 27名
合計			67社 72名



③進学状況（大学院12名、その他2名）

コース	進学先	
旧コース	大学院	札幌市立大学大学院 1名
	研究生	
	その他	
人間空間	大学院	札幌市立大学大学院 4名
	研究生	
	その他	
人間情報	大学院	札幌市立大学大学院 2名
	研究生	
	その他	
合計	大学院 7名 研究生 0名 その他 0名	



2 看護学部（助産学専攻科含む）

1) 概要

看護学部キャリア支援委員会は、学生の進路相談や就職活動、国家試験への支援だけでなく、就職後の支援も視野に入れ、学生を支援する体制を整えている。

看護学部における支援体制には、①進路相談、②就職活動支援、③国家資格試験対策、④卒業後のキャリア支援の4つの取組を軸に、次のような活動の企画・運営を行っている。①看護学部キャリア支援相談室の管理・運営、②進路希望調査の実施、③看護学部キャリア支援・進路活動ガイダンスの実施、④各種就職・進学説明会の開催、⑤国家試験自主ゼミの組織化、⑥国家試験受験に向けたガイダンスの実施。

学生のニーズ調査に基づき、経験豊富な看護管理者を模擬面接官として招聘した「模擬面接プログラム」を実施し、参加学生から好評価を得ている。

また、卒業生を対象としたシャトル研修を実施し、卒後のキャリア支援を行った。

これらの活動が学生のニーズに合う内容であること及び学生の将来に有用な指針を示すものであることを念頭に、進路希望調査の結果など学生の声を重視し、計画立案に反映させながら支援を行っている。

2) 支援体制

看護学部キャリア支援委員9名により、次の表のとおり年間活動計画及び進路相談などを行った。また、学生による国家試験対策自主ゼミグループを組織し、自主ゼミリーダー会議を定期的に開催した。

月	4年次生、助産学専攻科生	3年次生
4月	前期ガイダンス	
	キャリアハンドブック配布（専攻科生） 進路希望調査	キャリアハンドブック配布（編入生）
5月	模擬面接（10日間）	
6月		
7月		
8月	再学修セミナー（5回） 模試①（看護師）	
9月	後期ガイダンス	
	模試②（保健師）	進路活動ガイダンス 特別講義（就職活動への心構え）
10月	模試③（看護師） 模試④（助産師） シャトル研修（札幌、卒業生（卒後6ヶ月））	国家試験対策自主ゼミ結成
11月	模試⑤（保健師） 国家試験説明会	
12月		
1月	模試⑥（看護師） 模試⑦（助産師） 模試⑧（保健師）	
2月	国家試験受験事前説明会 スキルアップトレーニング（※新型コロナウイルス対応のため日程縮小）	学内キャリア説明会（※新型コロナウイルス対応のため開催中止） 低学年用国家試験模試
3月	特別講義（就労支援）（※新型コロナウイルス対応のため開催中止） 卒業・修了前ガイダンス	



3) 就職・進学結果

① 進路状況

(単位：名)

	卒業者数	就職希望者数 (a)	進学者数	就職者数 (b)	内定率 (%) (b/a)
看護学部	86	77	8	73	94.8
助産学専攻科	10	10	0	10	100.0

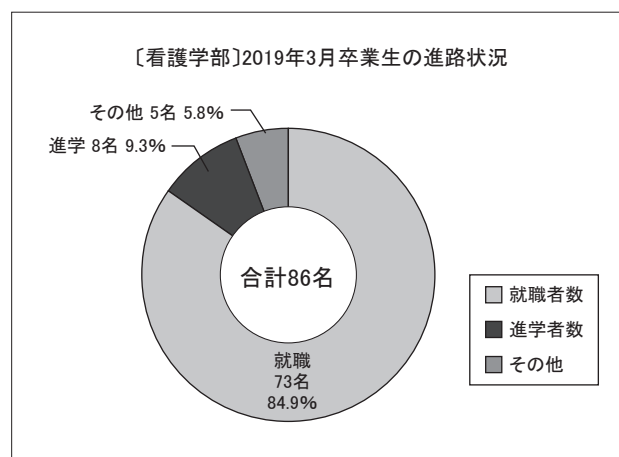
② 就職者の職種

(単位：名)

看護師	66
保健師	6
助産師	10
その他	1
合計	83

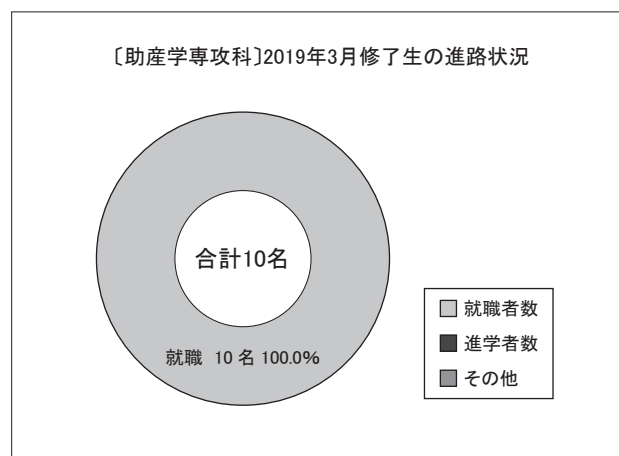
2019年3月卒業生・修了生
看護学部

進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	73	84.9
進学	8	9.3
その他	5	5.8
合計	86	—



助産学専攻科

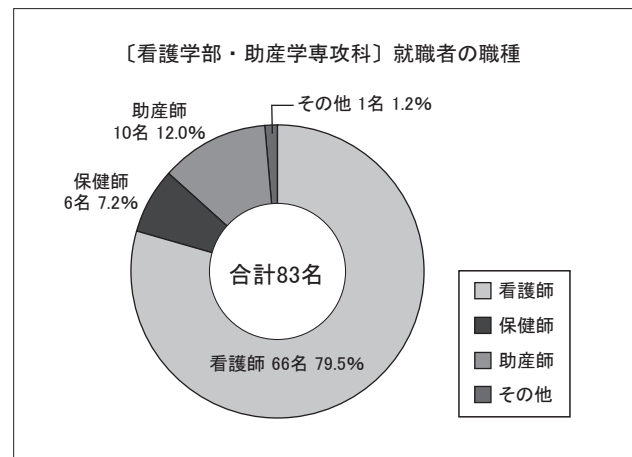
進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	10	100.0
進学	0	0.0
その他	0	0.0
合計	10	—





看護学部・助産学専攻科

産業分類	人数(名)	割合(%)
看護師	66	79.5
保健師	6	7.2
助産師	10	12.0
その他	1	1.2
合計	83	—



4) 国家試験の結果

(単位：名)

	出願者数	受験者数	合格者数	合格率(%)
看護師	82	82	79	96.3
保健師	29	29	26	89.6
助産師	10	10	10	100.0



3 デザイン研究科

1) 就職・進学結果

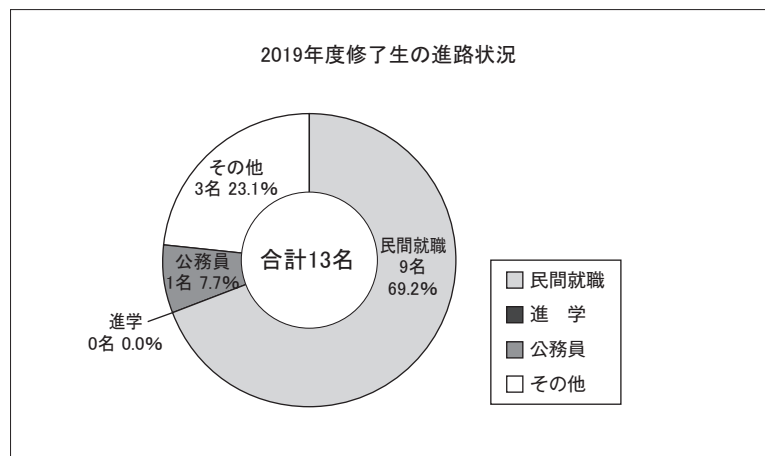
(9期生) 博士前期課程 2019年度修了生

就職先	■建設業 岩田地崎建設(株)
	■情報通信業 (株)グラフィニカ
	■卸売業・小売業 マース ジャパン リミテッド
	■専門・技術サービス業 (株)石本建築事務所/(株)一寸房/(株)グレイ美術
	■その他のサービス業 (株)アウトソーシングテクノロジー/(株)スペース
	■公務 北海道 (技術職：建築)
	■その他 起業

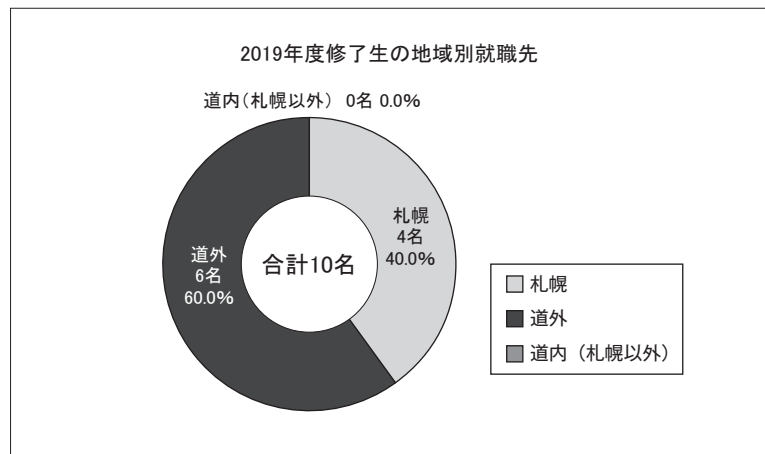


① (9期生) デザイン研究科博士前期課程 2019年度修了者 就職状況

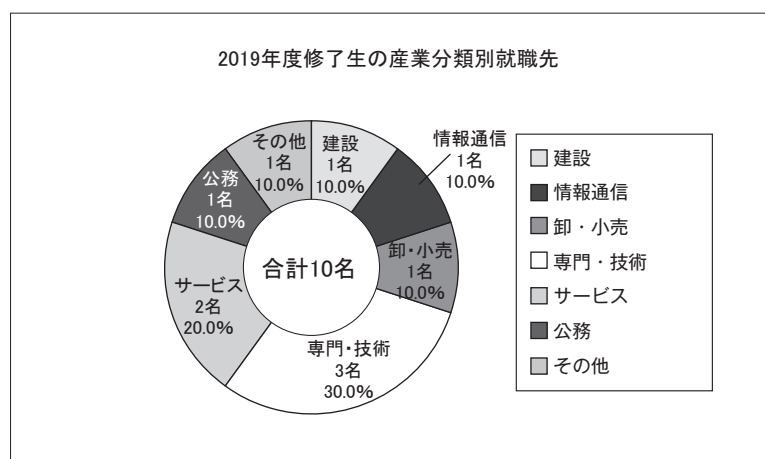
進路状況	人数(名)	割合(%)
民間就職	9	69.2
進学	0	0.0
公務員	1	7.7
その他	3	23.1
合計	13	—



地域別就職先	人数(名)	割合(%)
札幌	4	40.0
道外	6	60.0
道内(札幌以外)	0	0.0
合計	10	—



産業分類	人数(名)	割合(%)
建設	1	10.0
情報通信	1	10.0
卸・小売	1	10.0
専門・技術	3	30.0
サービス	2	20.0
公務	1	10.0
その他	1	10.0
合計	10	—





②進路状況

(9期生) 博士前期課程 2019年度修了者

(単位:名)

	修了生数①	1. 就職希望		就職者(起業含)※1		2. 進学希望		3. その他 ⑥※2
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤※3	
人数	13	12	1	10	1	0	0	1
割合	100.0%	92.3%	8.3%	83.3%	10.0%	0.0%	0.0%	7.7%
	①÷①	②÷①		③÷②		④÷①	⑤÷④	⑥÷①

(6期生) 博士後期課程 2019年度修了者

(単位:名)

	修了生数①	1. 就職希望		就職者(起業含)※1		2. 進学希望		3. その他 ⑥※2
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤※3	
人数	4	0	0	0	0	0	0	4
割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	①÷①	②÷①		③÷②		④÷①	⑤÷④	⑥÷①

(備考)

※1: 就職希望者に対する就職者の割合

※2: 就職希望・進学希望以外の者(社会人学生、アルバイト・公務員浪人、将来的な就職に関する進路選択をしたもの等)

※3: 進学希望者に対する進学先決定者の割合

③内定先の内訳(市内4社4名、道外6社6名)

コース	道内企業(札幌市内含む)		道外企業
デザイン専攻	市内	㈱一寸房〔専門・技術:設計職〕 岩田地崎建設㈱〔建設:施工監理〕 北海道〔公務:建築職〕 起業〔その他〕	㈱アウトソーシングテクノロジー 〔サービス:技術職〕 ㈱石本建築事務所〔専門・技術:設計職〕 ㈱グラフィニカ〔情報通信:エンジニア〕 ㈱グレイ美術〔専門・技術:美術〕 ㈱スペース〔サービス:設計職〕 マース ジャパン リミテッド〔卸・小売:総合職〕
	道内		
小計	4社 4名		6社 6名
合計	10社 10名		

④進学状況(大学院0名)

課程	進学先		小計(名)	
デザイン研究科博士前期課程	大学院		0	
	研究生		0	
	その他		0	
合計	大学院博士後期課程 0名	研究生 0名	その他 0名	0



VI 令和2年度入学者選抜結果

1 デザイン学部・看護学部

1) 入学者選抜要項

① アドミッション・ポリシー

【全学部共通アドミッション・ポリシー】

本学は、教育研究上の理念、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、以下の方針を定め、入学者を受け入れます。

<求める学生像>

- 1 人間重視を理解し、自身の専門性を生かして未来を創造しようとする姿勢をもつ人
- 2 人々の幸福や地域社会の持続的な発展に貢献しようとする意志をもつ人
そのため、本学は、高等学校等における基礎学力、課外活動等によって培われた協調性及び責任感のある人を求めています。入学者には、日ごろから、生命、人間及びその生活に興味・関心をもち、地域社会が抱える課題の発見や解決に向けて、日々の学修の中で幅広い知識・思考力・表現力を身につけるとともに、多様な人々と協同するためのコミュニケーション能力を備え、学ぶ意欲があることが求められます。

<入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めため、一般選抜、特別選抜及び3年次編入学で行う。
- 2 入学者に求める基礎学力の水準は、大学入試センター試験の成績、調査書等で測る。
- 3 各学部が求める論理的思考力、文章表現力等は、個別学力検査の小論文で測る。
- 4 専門分野への関心、学習意欲、目的意識、社会性等は個別学力検査の面接で測る。

<入学者選抜方法>

- 1 学部ごとに大学入試センター試験及び個別学力検査の配点を定め、受験生の合計得点を算出する。
- 2 個別学力検査の面接結果は、点数化せず、判定資料とする。同様に、調査書等の提出書類も判定資料とする。
- 3 入学者の選抜は、受験生の合計得点及び判定資料の内容を総合的に判定して行う。

【デザイン学部アドミッション・ポリシー】

<求める学生像>

- 1 人間重視の姿勢をもち、デザインを通して社会に貢献しようとする姿勢をもつ人
- 2 豊かな感性と見識をもって、主体的かつ協同して未来のデザインを創造することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域活性化のリーダーとして文化・産業の発展に寄与する意志をもつ人

これらの学生像は、高等学校等における次のような学習により導かれるものです。

- ・「国語」及び「英語」において、基本的な読解力とコミュニケーション力を身につけること。
- ・「数学」及び「理科」において、論理的思考力や、自然科学に対する教養を身につけること。
- ・「社会」において、人間と社会の諸問題に関心をもつこと。
- ・「芸術（美術・音楽等）」や課外活動等において、美や文化を理解する感性を育むこと。

<入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めため、一般選抜、特別選抜（推薦入学・社会人・私費外国人留学生）及び3年次編入学で行う。
- 2 入学者に求める基礎学力の水準は、大学入試センター試験、個別学力検査の成績及び調査書



等で測る。

- 3 実社会への興味・関心、論理的思考力、文章表現力等は、個別学力検査の小論文で測る。
- 4 観察力、発想力、描画構成力、表現力等は、個別学力検査の実技で測る。
- 5 専門分野への関心、学習意欲、目的意識、社会性等は、面接で測る。
- 6 3年次編入学では、課題解決型の論述能力を小論文で測り、デザイン専門教育で必要とされる英語力を英語の試験で測る。また、学修・研究成果、学修意欲、人物、適性等を面接・口頭試問で測る。

<入学者選抜方法>

- 1 一般選抜は、分離分割方式の「前期日程」と「後期日程」試験を実施する。
- 2 一般選抜「前期日程」は、大学入試センター試験（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）と個別学力検査（小論文又は実技）により行う。配点割合は、大学入試センター試験を8、個別学力検査を3とする。
- 3 一般選抜「後期日程」は、大学入試センター試験（国語、数学、外国語）と個別学力検査（小論文又は実技）により行う。配点割合は、大学入試センター試験を6、個別学力検査を5とする。
- 4 一般選抜の小論文と実技は、選択制とする。ただし、配点割合は同等とする。
- 5 特別選抜（推薦入学・社会人・私費外国人留学生）は、個別学力検査の小論文又は実技、及び面接により行う。小論文と実技は、選択制とする。ただし、評価割合は同等とする。また、面接は点数化しない。
- 6 調査書等は、総合判定資料として活用する。
- 7 3年次編入学は、小論文、英語、面接・口頭試問により行う。小論文、英語、面接・口頭試問の配点割合は、同等とする。

【看護学部アドミッション・ポリシー】

<求める学生像>

- 1 人々の健康・心・暮らしに関心をもち、生命の尊厳を理解しようとする姿勢をもつ人
- 2 豊かな感性と探究心をもって、柔軟に物事を考え、自主的に学修できる人
- 3 他者と協調し、信頼関係を築くことができ、積極的に地域に貢献する意志をもつ人

このため看護学部では、高等学校等における「国語」「英語」「数学」「理科」などの基礎的な学力及び課外活動等によって培われた協調性や責任感のある人を求めています。

<入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、一般選抜、特別選抜（推薦入学・社会人）及び3年次編入学で行う。
- 2 入学者に求める基礎学力の水準は、大学入試センター試験、面接等の個別学力検査及び調査書で測る。
- 3 読解力、論理的思考力、文章表現力、専門分野への関心、学習意欲、目的意識、社会性等は、個別学力検査で測る。

<入学者選抜方法>

- 1 面接を用いる選抜方法では、結果を点数化しない。また、調査書等の提出書類の内容は、面接結果とともに選抜の総合的な判定資料とする。
- 2 一般選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査（面接）及び調査書等の提出書類の内容に基づき行う。
- 3 特別選抜
 - (1) 推薦入学の選抜は、個別学力検査（小論文、面接）及び調査書等の提出書類の内容に基づき行う。
 - (2) 社会人の選抜は、個別学力検査（総合問題、面接）及び提出書類の内容に基づき行う。



- 4 3年次編入学の選抜は、個別学力検査（論述試験、面接）及び提出書類の内容に基づき行う。

② 令和2年度入学者選抜概要

入学定員・募集人員

(単位：名)

学部・学科名	入学定員	募集人員				
		一般選抜		特別選抜		
		前期日程	後期日程	推薦入学	社会人	私費外国人留学生
デザイン学部 デザイン学科	85	59	14	12	若干名	若干名
看護学部 看護学科	80	48	—	32	若干名	—

選抜日程

選抜区分		出願期間	試験日	合格発表等
特別選抜	推薦入学 社会人	2019年11月1日～6日	2019年11月23日	2019年12月9日 【入学手続期間】 2019年12月9日～16日
	私費外国人留学生（※）	2020年1月27日 ～2月5日	2020年2月25日	2020年3月6日 【入学手続期間】 2020年3月6日～13日
一般選抜	前期日程	2020年1月27日 ～2月5日	2020年2月25日	2020年3月6日 【入学手続期間】 2020年3月6日～13日
	後期日程（※）	2020年1月27日 ～2月5日	2020年3月12日	2020年3月23日 【入学手続期間】 2020年3月23日～27日

（※）は、デザイン学部のみ実施

試験会場

学部・学科名	試験会場
デザイン学部デザイン学科	芸術の森キャンパス
看護学部看護学科	桑園キャンパス



選抜方法

選抜区分		学部・学科名	選抜方法
特別選抜	推薦入学	デザイン学部 デザイン学科	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」（いずれかを選択）、面接及び調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
		看護学部 看護学科	小論文（看護を学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力を見る。）、面接及び調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	社会人	デザイン学部 デザイン学科	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」（いずれかを選択）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
		看護学部 看護学科	総合問題（国語、英語、自然科学、論述）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	私費外国人留学生	デザイン学部 デザイン学科	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」（いずれかを選択）、面接、日本留学試験（EJU）及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
一般選抜	デザイン学部 デザイン学科	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力検査等の成績並びに調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。	
	看護学部 看護学科		

一般選抜試験の大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目

学部・学科名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等
		教科	科目名等	科目名等
デザイン学部 デザイン学科	前期日程	国語	「国」（古文・漢文を含む。）	「小論文（課題解決型の論述問題）」又は「実技（鉛筆デッサン）」のいずれかを選択
		地歴公民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」「現社」「倫理」「政・経」「倫理、政・経」から1科目	
		数学	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」の2科目	
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目もしくは「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目	
		外国語	「英」（筆記及びリスニング）	
	後期日程	国語	「国」（古文・漢文を含む。）	
		数学	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」の2科目	
看護学部 看護学科	前期日程	外国語	「英」（筆記及びリスニング）	面接
		国語	「国」（古文・漢文を含む。）	
		数学	「数Ⅰ・数A」	
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目もしくは「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目	
外国語	「英」（筆記及びリスニング）			



注1) 【デザイン学部（前期日程）】

- ・ 地歴・公民について、2科目選択した場合は、第1解答科目を合否判定に利用します。
- ・ 理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）と「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）の両方を選択した場合は、「基礎を付した科目」の得点を利用します。
「基礎を付していない科目」のみを選択した場合は、1科目の得点（2科目選択した場合は第1解答科目の得点）を利用します。

注2) 【看護学部（前期日程）】

- ・ 理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）と「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）の両方を選択した場合には、「基礎を付した科目」の得点を利用します。

注3) 【全試験区分共通】

- ・ 外国語について、「英語」の筆記及びリスニングの合計得点を利用します。いずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格はありません。ただし、大学入試センター試験の受験上の配慮において、リスニングを免除された者を除きます。

③ 令和2年度3年次編入学者選抜概要

募集人員

(単位：名)

学部・学科名等	募集人員
デザイン学部デザイン学科	10
看護学部看護学科	10

選抜日程・試験会場

学部・学科名	出願期間	試験日	試験会場	合格発表
デザイン学部 デザイン学科	2019年6月21日 ～28日	2019年7月20日	芸術の森キャンパス	2019年8月1日
看護学部 看護学科	2019年8月7日 ～13日	2019年9月7日	桑園キャンパス	2019年9月24日

選抜方法

学部・学科名	選抜方法
デザイン学部 デザイン学科	入学者の選抜は、本学が実施する小論文（課題解決型の論述問題、図式化、箇条書などを含む。）、英語、面接・試問及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学部 看護学科	入学者の選抜は、本学が実施する論述試験、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。



2) 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン学部

(単位：名)

選抜区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	前期日程	59	122	116	62	59
	後期日程	14	143	47	19	18
特別選抜	推薦入学	12	40	40	14	14
	社会人	若干名	0	0	0	0
	私費外国人留学生	若干名	2	2	0	0

看護学部

(単位：名)

選抜区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	前期日程	48	92	89	48	48
特別選抜	推薦入学	32	89	89	32	32
	社会人	若干名	8	8	3	3

b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	91	48	35	8	21	70
看護学部	83	37	41	5	6	77
合計	174	85	76	13	27	147

② 編入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

(単位：名)

学部		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
デザイン学部	人間空間デザイン	10	10	10	5	5
	人間情報デザイン		7	7	3	3
	計	10	17	17	8	8
看護学部		10	9	9	4	3



b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	8	3	1	4	3	5
看護学部	3	2	1	0	0	3
合計	11	5	2	4	3	8



2 デザイン研究科・看護学研究科

1) 博士前期課程

i 入学者選抜要項

① アドミッションポリシー

【デザイン研究科博士前期課程】

本課程は、地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業・芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜デザイン研究科博士前期課程の求める学生像＞

- 1 デザインに関する基礎知識を備え、豊かな感性と深い見識を持ち、人間重視の視点からデザインの発展に寄与できる人
- 2 各種のデザインを統合し、先導的なプロジェクトを主体的・戦略的に展開することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域を創成していくリーダーとして文化・産業の発展に貢献する意思を持った人

【看護学研究科】

本課程では、広い視野に立って看護学の基盤を学修した個々人の専門性及び学識を深めつつ、看護学の発展、様々な形態での看護の実践及び幅広く地域社会に貢献できる高度で専門的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜看護学研究科博士前期課程が求める学生像＞

- 1 看護学の基礎知識と総合的な学力を有し、豊かな人間性と高い探究心を持って、自主的・意欲的に看護実践の向上に寄与できる人
- 2 柔軟で論理的な思考を持って保健・医療・福祉の諸問題に積極的に取り組み、問題解決に向けた研究を遂行できる人
- 3 高い倫理観を有し、地域社会や国際社会に貢献する意志と責任感を持った人

② 令和2年度入学者選抜概要

募集人員

(単位：名)

研究科・専攻名	推薦選抜	一般選抜	特別選抜 (社会人)	特別選抜 (私費外国人留学生)
デザイン研究科 デザイン専攻	9	9	若干名	若干名
看護学研究科 看護学専攻	18 (一般選抜、特別選抜を含む)			

※デザイン研究科の特別選抜（社会人・私費外国人留学生）の若干名は、入学定員18名に含む。



選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	2019年6月21日 ～28日	2019年7月20日	2019年8月1日 【入学手続期間】 2019年8月1日～7日
	一般選抜	2019年8月30日 ～9月6日	2019年9月28日	2019年10月15日 【入学手続期間】 2019年10月15日～23日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	2020年1月31日 ～2月7日	2020年2月29日	2020年3月11日 【入学手続期間】 2020年3月11日～17日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	2019年8月20日 ～26日	2019年9月28日	2019年10月15日 【入学手続期間】 2019年10月15日～23日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	2020年1月7日 ～14日	2020年2月8日	2020年2月26日 【入学手続期間】 2020年2月26日～3月4日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス

選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	本学大学院が実施する面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	一般選抜	本学大学院が実施する学力検査（専門科目の筆記試験）、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。 ※英語はTOEICのスコアにより評価する。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	本学大学院が実施する学力検査（専門科目の筆記試験）、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	本学大学院が実施する筆記試験（英語、専門科目）、面接（口頭試問含む）及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	



ii 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン研究科【第1次・第2次募集合計】

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦選抜	9	3	3	3	3
一般選抜	9	10	10	7	6
特別選抜	社会人	若干名	1	1	1
	私費外国人留学生	若干名	13	13	7

看護学研究科【第1次・第2次募集合計】

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
一般選抜	18	4	4	3	3	
特別選抜		社会人	19	18	15	15
特別選抜		私費外国人留学生	0	0	0	0

b. 入学者の内訳

(単位：名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	17	17	0	0	8	9
看護学研究科	18	16	1	1	7	11
合計	35	33	1	1	15	20

2) 博士後期課程

i 入学者選抜要項

① アドミッションポリシー

【デザイン研究科博士後期課程】

＜教育研究の理念＞

本課程は、人間重視を根幹とした高度な教育・研究を実践し、「知と創造の拠点」として地域からの負託に応え、高度の専門知識・技術を基盤に地域社会の発展に寄与します。さらに、高度で先進的な教育・研究の中核機関として機能し、新たな理論構築や技術開発に独創的に取り組み、新たな社会価値の創造を図ることが教育研究の理念です。

＜教育研究の目的＞

本課程は、地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から幅広く発見するとともに、高度な教育・研究の成果を通じて、その解決策を見出し、より豊かな人間生活や地域社会の実現に貢献できる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜デザイン研究科博士後期課程の求める学生像＞

1 柔軟な思考と独創的な視点に立って地域課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて



- 旺盛な探究心を持って自立した研究を遂行できる人
- 2 豊かな感性と深い見識を持ち、高度な教育・研究による成果をもとにデザインの発展に貢献しようとする意識を有する人
 - 3 既成の概念にとらわれず、自立して独自のデザイン理論構築や技術開発に取り組み、新たな社会価値の創造を目指す意欲と実行力を有する人

【看護学研究科博士後期課程】

本課程では、高度な学識と豊かな実践経験を基礎に様々な看護現象の分析や評価を行い、その研究成果をもとに将来を見据えた看護の枠組みを再構築し、システム開発などを行うことができる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜看護学研究科博士後期課程が求める学生像＞

- 1 柔軟な思考と独創的な視点に立って、看護を軸とした諸課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した教育・研究を遂行できる人
- 2 保健医療福祉分野における新たな理論構築や技術開発等を通じて、より質の高い看護サービスのあり方を探求する意欲を有する人
- 3 卓越した看護知識と高い倫理観に基づく実践能力を有し、教育・管理能力の研鑽に励み、将来を見据えた保健医療福祉分野の指導者となりうる人

② 令和2年度入学者選抜概要

募集人員 (単位：名)

研究科・専攻名	一般選抜
デザイン研究科 デザイン専攻	3
看護学研究科 看護学専攻	3

選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	2020年1月31日 ～2月7日	2020年2月29日	2020年3月11日 【入学手続期間】 2020年3月11日～17日
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	2020年1月7日 ～14日	2020年2月8日	2020年2月26日 【入学手続期間】 2020年2月26日～3月4日

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス



選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	本学大学院が実施する面接（研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	本学大学院が実施する筆記試験（英語）、面接（研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

ii 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン研究科

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	4	4	3	3

看護学研究科

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	10	10	5	5

b. 入学者の内訳

(単位：名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	3	1	1	1	2	1
看護学研究科	5	3	1	1	1	4
合計	8	4	2	2	3	5

3 助産学専攻科

1) 入学者選抜要項

① アドミッションポリシー

本専攻科は、看護学を基盤に、助産に関する幅広く高度な知識と正確な技術を育み、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目的としています。

これらの目的を達成するために、本専攻科が求める学生像は次のとおりです。

＜助産学専攻科が求める学生像＞

- 1 「生命の誕生」に、責任を持って真摯に向き合える誠実で優しい人
- 2 看護学を基盤に、倫理観を持ち、主体的に「助産学」を積み重ねることができる人
- 3 広い視野で現代社会をとらえ、母子保健を取り巻くさまざまな課題の解決を追求できる人



② 令和2年度入学者選抜概要

募集人員 (単位：名)

専攻科名	募集人員
助産学専攻科	10

選抜日程

出願期間	試験日	合格発表等
2019年8月7日 ～13日	2019年9月7日	2019年9月24日 【入学手続期間】 2019年9月24日～10月1日

試験会場

専攻科名	試験会場
助産学専攻科	桑園キャンパス

選抜方法

専攻科名	選抜方法
助産学専攻科	入学者の選抜は、本学専攻科が実施する筆記試験（専門科目（看護学一般）、小論文）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

2) 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況 (単位：名)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
10	12	12	10	10

b. 入学者の内訳 (単位：名)

入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
	道内		道外	男	女
	札幌市内	札幌市外			
10	6	3	1	—	10



VI 附属図書館

1 概要

1) 施設規模

芸術の森キャンパス図書館 延べ床面積／1,480㎡
 桑園キャンパス図書館 延べ床面積／519㎡

2) 図書・雑誌・視聴覚資料・電子ジャーナル所蔵数

(2020年3月31日現在)

図書館の名称	図書の冊数				雑誌の種数		
	和書	洋書	視聴覚資料	計	和雑誌	洋雑誌	電子 ジャーナル
芸術の森 キャンパス図書館	74,492	9,925	3,595	88,012	389	57	0
桑園 キャンパス図書館	40,309	1,911	1,280	43,500	428	10	15
合計	114,801	11,836	4,875	131,512	817	67	15

3) 2019年度年間受入状況

区分		和	洋	計	
芸術の森 キャンパス 図書館	図書 (冊)	購入	1,465	67	1,532
		寄贈	381	201	582
		計	1,846	268	2,114
	雑誌 (種)	購入	29	2	31
		寄贈	48	0	48
		計	77	2	79
桑園 キャンパス 図書館	図書 (冊)	購入	1,253	35	1,288
		寄贈	93	1	94
		計	1,346	36	1,382
	雑誌 (種)	購入	66	2	68
		寄贈	64	1	65
		計	130	3	133



2 利用状況

1) 開館時間・休館日

開館時間	平 日：午前9時～午後10時 土曜日：午前10時～午後4時 大学の長期休業期間中：午前9時～午後5時（平日）
休 館 日	日曜・祝日・年末年始

2) 利用資格

18歳以上の方

3) 貸出冊数・期間

利用者	貸出冊数	貸出期間
学部生 (科目等履修生を含む)	10冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間
教職員	無制限	図書：2ヶ月間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間
市民等学外者	3冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可）

4) 年間利用者数・貸出冊数等

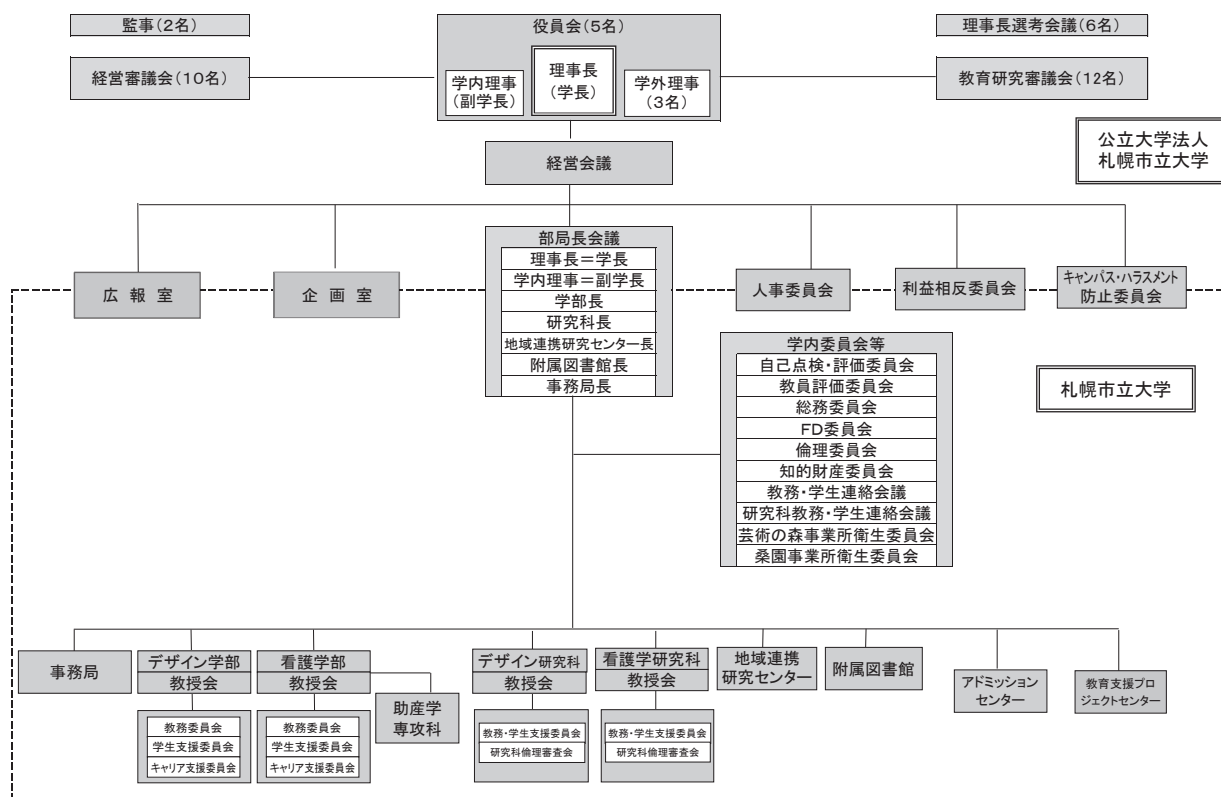
図書館の 名称	利用者	開館 日数	入館 者数	貸出 人数	貸出 冊数	ILL件数	
						受付	依頼
芸術の森 キャンパス図書館	学生・ 教職員	245	7,488	2,196	5,149	13	127
	市民等 学外者	245	1,158	480	1,028	-	-
桑 園 キャンパス図書館	学生・ 教職員	247	21,052	3,999	9,070	216	529
	市民等 学外者	247	1,446	385	849	-	-
合計		—	33,144	7,060	16,097	229	656

ILL：Inter-Library Loan（相互貸借）



VIII 法人・学内運営の概要

1 2019年度 公立大学法人札幌市立大学 組織図



2 役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第1回	公立大学法人札幌市立大学政府調達協定実施規程及び政府調達苦情検討委員会設置規程の制定について	公立大学法人札幌市立大学特任教員に関する規程の改正について	公立大学法人札幌市立大学政府調達協定実施規程及び政府調達苦情検討委員会設置規程の制定について
第2回	(1) 平成30年度決算及び事業報告について (2) 平成30年度計画の実績報告について (3) 高等教育の就学支援新制度に係る機関申請について	(1) 平成30年度計画の実績報告について (2) 高等教育の就学支援新制度に係る機関申請について	(1) 平成30年度決算及び事業報告について (2) 平成30年度計画の実績報告について
第3回	2020年度予算編成方針について	(1) アドミッション・ポリシーの改正について (2) 2021年度以降入学者選抜試験の変更について (3) 看護学研究科博士前期課程の私費外国人留学生特別選抜の出願資格変更について (4) 公立大学法人札幌市立大学名誉教授称号授与について (5) 教員の再任について	(1) 2020年度予算編成方針について (2) アドミッション・ポリシーの改正について (3) 2021年度以降入学者選抜試験の変更について (4) 看護学研究科博士前期課程の私費外国人留学生特別選抜の出願資格変更について



回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第4回	公立大学法人札幌市立大学教職員の給与に関する規程の一部を改正する規程案について	(1) 再入学に関する規則等の改正について (2) 部局長人事について (3) 高等教育の修学支援新制度に係る本学の対応について	公立大学法人札幌市立大学教職員の給与に関する規程の一部を改正する規程案について
第5回	(1) 2020年度計画及び予算について (2) 研究費関連規程の改正について (3) 授業料及び入学料の免除等に関する規程等の改正等について (4) 非常勤職員等に係る規程類の改正について (5) 「情報基盤センター」の設置について	(1) 2020年度計画及び予算について (2) 学則の改正について (3) 研究費関連規程の改正について (4) 授業料及び入学料の免除等に関する規程等の改正等について (5) 教員選考細則の改正について (6) 「情報基盤センター」の設置について	役員の兼業について
第6回			2020年度計画及び予算について

3 役員会及び審議会委員名簿（2019年4月1日現在）

1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	学長
理事（常勤）	樋之津 淳子	副学長
理事（非常勤）	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事（非常勤）	山岸 正美	株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ 取締役会長
理事（非常勤）	橋本 道政	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
監事（非常勤）	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	谷口 雅子	谷口雅子公認会計士事務所（札幌市任命）

2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	
理事	樋之津 淳子	
理事	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事	橋本 道政	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
事務局長	小野 聡	
学外委員	酒井 裕司	一般財団法人さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	花井 秀勝	フュージョン株式会社 代表取締役会長
学外委員	廣田 恭一	札幌商工会議所 専務理事
学外委員	町野 和夫	北海道大学大学院経済学研究院 教授
学外委員	丸山 知子	学校法人札幌青葉学園北海道看護専門学校 校長



3) 教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
学 長	中島 秀之	
理 事	樋之津 淳子	
理 事	山岸 正美	株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ 取締役会長
デザイン学部長	細谷 多聞	
看護学部長	松浦 和代	
デザイン研究科長	石井 雅博	
附属研究所長	上遠野 敏	
附属図書館長	川村 三希子	
事務局 長	小野 聡	
学 外 委 員	池田 官司	札幌市教育委員会委員
学 外 委 員	石垣 靖子	北海道医療大学 名誉教授
学 外 委 員	上田 順子	公益社団法人北海道看護協会 会長

4 経営会議

2019年度は11回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

5 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月5日	(1) 研究倫理審査要領の改正について
第2回	5月8日	(1) アドミッション・ポリシーの見直しについて (2) 学部共通教育科目の見直しについて
第3回	6月11日	(1) 平成30年度決算について (2) 平成30年度計画の実績報告に係る自己点検・評価結果について (3) 高等教育の就学支援新制度に係る機関申請について (4) PNCAとの学术交流協定の調印について (5) 台中科技大学との学术交流協定の調印について (6) 看護学研究科倫理審査会規程改正について
第4回	7月3日	(1) SCUの将来計画 (2019/6) 理事長として
第5回	7月22日	(1) 平成30事業年度の実績報告に係るヒアリング回答 (案) について
第6回	9月4日	(1) 公益財団法人札幌市芸術文化財団との協定書調印について (2) アドミッション・ポリシーの改正について (3) 2021年度以降入学者 デザイン学部入学者選抜試験の変更について (4) デザイン研究科倫理審査会規程の改正について
第7回	10月2日	(1) 2021年度以降入学者 入学者選抜試験の変更について (2) 看護学研究科博士前期課程の私費外国人留学生特別選抜の出願資格変更について
第8回	11月6日	(1) 修学支援新制度に係る入学科の取扱いについて (2) 再入学に関する規則等の改正について (3) 清華大学美術学院との学術協定調印について



回数	開催日	議題
第9回	12月4日	(1) 2020年度入学式及び卒業式・修了式の日程について (2) ポストCOC+事業への参加について
第10回	1月9日	(1) 2021年度以降入学者のデザイン学部・看護学部入学者選抜試験に係る公表内容の変更(大学入学共通テストの記述式問題取扱い)について (2) 学生支援の方針(案)について (3) ポストCOC+事業への不参加について
第11回	1月22日	(1) 札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会への参加について
第12回	2月10日	(1) 教員選考に関する改善策等について (2) 倫理審査要領の改定について
第13回	2月27日	(1) 新型コロナウイルスへの対応について
第14回	3月4日	(1) 2020年度計画について (2) 研究費関連規程の改正について (3) 授業料及び入学料の免除等に関する規程等の改正について (4) 学則の改正について (5) デザイン学部カリキュラムポリシー及びデザイン研究科履修等に関する規則の改正について (6) 非常勤職員等に係る規定類の改正について (7) ハゲタカジャーナル等に係わる年報の削除について

6 企画室

企画室は、全学ポリシーの策定に関すること、教育改革に関することについて企画・立案し、経営会議へ提案する組織である。2019年度については検討事案が発生しなかったことから、会議の開催はなかった。

7 広報室

広報室は、主に広報戦略の推進に関する事項等を所管している。2019年度の会議の開催数は10回であった。

主な活動として、2020年度版大学パンフレットの発行及び2021年度版大学パンフレットの検討・制作のほか、大学公式ウェブサイトの管理・更新を行った。また、北海道新聞への広告掲載や札幌駅前通地下歩行空間北大通交差点広場における大学紹介を目的とした「札幌市立大学展ーデザインと看護でつくる未来ー」の開催等のメディア展開を行った。

8 教授会

1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、2019年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、2019年度に臨時教授会1回を含む13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広



く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

教授会終了後には、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、2019年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、デザイン研究科博士後期課程に関する事項について審議するため、博士後期課程会議（研究科教授会代議員会）を10回開催した。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、2019年度に臨時教授会3回を含む15回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

9 地域連携研究センター

運営会議（計12回）の開催に加え、地域・産学連携部門、国際交流部門、まこまないキャンパス班の3セクションに構成員を配置し、公開講座、地域貢献事業、産学連携事業、国際交流活動、知的財産管理、研究活動推進に関する活動、まこまないキャンパスに係わる事業を実施した。主な活動内容は以下のとおりである。

＜公開講座＞

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした16コース39コマの講座を、延べ1,562名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として10コマ200名が受講した。さらに、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活ゼミナール」を開催。「体験型知活ゼミナール」を74名が受講した。

また、公開講座の体系として設定している大項目「一般市民向け」「専門職向け」、中項目「デザイン分野」「看護分野」「学際分野」、小項目「デザイン学部2コース」「看護学部9領域」「共通教育」における実施状況を把握しながら企画運営を行った。

＜地域・産学連携＞

地域からの協力要請に対して、教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動への協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学官金連携のきっかけを探るために、「ものづくりテクノフェア」、「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、SCU産学官金研究交流会の開催や、北海道立総合研究機構への視察交流会を開催し、更なるネットワークづくりを図った。

＜国際交流＞

国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、下記の通り推進した。

「学生の国際化」

本学で主催した日台デザイン合同ワークショップに本学学生7名ならびに教員4名が参加した。このワークショップには台湾の華梵大学、台中科技大学、雲林科技大学の学生に加えて、札幌大谷大学の学生も参加し、有益な交流を図ることができた。また、承德医学院へ看護学研究科院生4名を派遣した他、看護学部生5名を初めて台中科技大学へ派遣した。

台中科技大学とは学生交流協定を調印し、後期に特別聴講生1名を本学に受け入れた。

デザイン学部の学生4名が、アメリカ・ポートランド市にあるPacific Northwest College of Art



(PNCA) を訪問し、ワークショップを行い、その成果として作成した映像を、地下歩行空間にて公表した。

提携校ではないが、アメリカのサヴァナ州立大学の学生11名が本学を視察した。食堂での昼食時や講義見学時に学生交流があり、本学学生にとっても有益であった。

「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表あるいは、国際学会誌への投稿を促進する補助制度を実施した。

ラップランド大学とは、共同研究の一環として遠隔システムを活用しつつ、国際ワークショップを実践した。加えて直接フィンランドを訪問し、ラップランド大学関係者と意見交換を行った。

「提携校との交流の活性化」

華梵大学、台中科技大学、承德医学院大学と学生の相互派遣を実施した。

清華大学美術学院とは、学術交流協定を更新し、引き続き、交流を図ることとした。

また、PNCAと学術交流協定を調印した。

台中科技大学とは2018年度の学術交流協定締結に加え、学生交流協定を調印し、特別聴講生を受け入れた。加えて、夏季短期研修への看護学部生の派遣、学長の台中科技大学創立100周年記念式典への学長の参列、台中科技大学学長他9名がAIや高齢者看護に関する意見交換のために来学するなど、活発な交流を行った。

「海外とのネットワーク化」

Pacific Northwest Collage of Art (PNCA) と学術交流協定を調印した他、清華大学美術学院との学術交流協定を更新した。また、台中科技大学とは、学生交流協定を調印した。

<知的財産>

学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。「産学連携知的財産アドバイザー派遣プログラム（工業所有権情報・研修館主催）」に採択され、当該事業から派遣される知的財産アドバイザーの支援を受け、特許出願2件、商標登録出願1件、プログラムの著作権登録申請1件を行ったほか、イノベーションジャパンへの知的財産シーズ出展などの活動を行った。また、「北東北ものづくりプロジェクト形成ネットワーク」に参画し、一般財団法人工業所有権協力センター（IPCC）の助成を受け、ネットワーク会議（2回）開催、知的財産研修会（1回）開催、SCU産学官金研究交流会への参加などの活動を行った。

<研究推進>

地域や産業界等から依頼された受託研究6件、共同研究7件、寄附金3件の受入れを行ったほか、前年度に改善した学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金）制度を実施した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を企画・実施した。

10 附属図書館

2019年度は全11回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館予算、データベース・電子ジャーナル・購読雑誌の契約検討、機関リポジトリへの修士論文等の登録申請方法、除却等であった。

SCUジャーナル編集ワーキングでは、研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第13巻」を2019年7月に発行した。また、第14巻発行に向けて、投稿論文の査読を行った。4件受理。

この他、芸術の森キャンパスライブラリーでは、札幌芸術の森美術館との連動企画展を開催（1月27日～2月28日）した。



11 アドミッションセンター

アドミッションセンターは、2019年度に10回の会議を開催し、前年度の入試結果の分析、新入試制度への対応の検討、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会、高校訪問及び中学生向け広報活動等を企画・実施した。

12 キャリア支援センター

キャリア支援センターは、両学部に関係するキャリア支援に係る改善・充実を目的として、2008年4月に設置された。両学部のキャリア支援委員会においては、各学部の特性や特徴及び社会情勢に応じたキャリア支援を行った。

13 教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に関するプロジェクト等を所管しており、「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」を設け、各部門において活動を行った。

14 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、2019年度は8回開催した。

2019年度の主な活動として、平成30年度計画の実績報告書（案）の作成を行ったほか、2019年度計画に係る半期の取組状況の進捗管理や大学評価（認証評価）結果に係る対応等についての履行状況等の点検を行った。

2) 教員評価委員会

2019年度は3回の委員会のほか、ワーキングや専門部会を開催し、各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた記入要領及び申告書様式等の検証を行った。

評価結果については、2019年度末に任期満了を迎える教員の再任審査に活用した。

3) 総務委員会

2019年度は12回の委員会を開催した。

委員会では、基幹ネットワークシステムの更新、学生を対象とした安否確認訓練、札幌市立病院との合同災害訓練等の検討を行い実施した。

また、昨年を引き続き、学内の防災訓練、夏季及び冬季の節電対策についても実施した。

4) FD委員会

FD委員会は、2019年度に12回開催し、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、他部署からの企画も含め学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を行ったほか、授業評価アンケートの集計結果に対する教員所見のとりまとめを行った。



5) 倫理委員会

倫理委員会では、申請された研究計画の倫理的配慮が充分であるか否かについて、人権擁護の観点に基づき審査を行っている。

2019年度は、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計11回開催）。

2012年度から始めた審査方法として、審査資料の事前確認を行い、申請者へ委員のコメントを送付し、最終版の申請書及び資料の提出を委員会開催までに求めている。この審査方法の採用により、審査時間の短縮化、審査申請から研究開始までの迅速化を図っていたが、2019年度は更に迅速審査を含めて効率化ならびに迅速化を図るための審査方法について検討した。2020年度から新様式、新審査フローを導入する。

年間の審査申請総数は47件であったが7件の申請取下げならびに差戻しがあり、最終的に承認したのは40件であり、1回当たり平均3.6件の審査を実施した。

審査結果は2018年度の検討の結果を受けて、2019年4月より「承認」、「条件付承認」、「再提出」、「不承認」「非該当」のいずれかで判定した。

審査の社会的透明性及び客観性を担保すると同時に、申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、2011年度から継続して弁護士1名に外部委員として委嘱し、委員会を組織している。

2014年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）に基づき、2015年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置した。この指針において、倫理審査委員会の成立要件として、構成員は「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、この特別審査部門の外部委員として、前述の弁護士に加え、医師1名を追加で委嘱した（2019年度は、特別審査部門の開催は0回）。

6) 利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動において大学と教職員等が利益相反の疑いを持たれることを防ぎ、大学の社会的信頼の維持を目的として、2016年度に設置された。

2019年度は該当する案件がなかったことから委員会は開催しなかった。

7) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、2019年度に10回開催し、共通教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議した。また、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。

8) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、2019年度に6回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項及び学生生活に関する事項等について審議した。



15 構成員名簿

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎中島 秀之 樋之津 淳子 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 事務局長
	部局長会議	◎中島 秀之 樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 上遠野 敏 川村 三希子 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長 附属図書館長 事務局長
	企画室	樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 小野 聡	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	広報室	細谷 多聞 小田 和美 安齋 利典 本田 光 石田 勝也 福田 大年 原井 美佳 森川 由紀 ◎小野 聡	デザイン学部長 看護学部教授 デザイン学部教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局長
	人事委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	キャンパス・ハラスメント防 止委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	地域連携研究センター	◎上遠野 敏 菊地 ひろみ 武田 亘明 張 浦華 丸山 洋平 大野 夏代	地域連携研究センター長 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授



区分	委員会等	委員・構成員		
		教職員名	所属・職位等	
	地域連携研究センター	貝谷 敏子 三上 智子 金 秀敬 武富 貴久子 山本 真由美 田島 悠史 金子 晋也 柏倉 大作 阿部 大 上田 理子	看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 デザイン学部助教 デザイン学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局地域連携課長	
	図書館	◎川村 三希子 若林 尚樹 松井 美穂 森 朋子 松永 康佑 伊東 健太郎 黒田 紀子 檜山 明子 上田 理子	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局地域連携課長	
	教育支援プロジェクトセンター	◎樋之津 淳子 猪股 千代子 阿部 大	副学長 兼 看護学研究科長 看護学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長	
	アドミッションセンター	◎細谷 多聞 松浦 和代 羽深 久夫 守村 洋 渡邊 由加利 大淵 一博 小宮 加容子 須之内 元洋 櫻井 繭子 矢野 祐美子 阿部 大 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局学生課長 事務局桑園担当課長	
学内委員会	常置委員会	自己点検・評価委員会	樋之津 淳子 細谷 多聞 ◎松浦 和代 石井 雅博 川村 三希子 柿山 浩一郎 阿部 大	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 附属図書館長 デザイン学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学内委員会	常置委員会	教員評価委員会	◎樋之津 淳子 細谷 多聞 松浦 和代 石井 雅博 齊藤 雅也 定廣 和香子 小野 聡 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局長
		総務委員会	若林 尚樹 定廣 和香子 山田 信博 大淵 一博 工藤 京子 山本 真由美 ◎小野 聡 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局長
		FD委員会	上遠野 敏 ◎猪股 千代子 三谷 篤史 石田 勝也 櫻井 繭子 牧田 靖子 福原 啓祐 布廣 成規 地域連携研究センター長 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部助教 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
		倫理委員会	◎川村 三希子 荒木 奈緒 矢部 和夫 山田 信博 村松 真澄 松永 康佑 上田 理子 附属図書館長 助産学専攻科長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看事務局地域連携課長
		利益相反委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 小野 聡 理事長 副学長 兼 看護学研究科長 事務局長
		知的財産委員会	◎上遠野 敏 菊地 ひろみ 武田 亘明 貝谷 敏子 阿部 大 上田 理子 地域連携研究センター長 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局地域連携課長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
連絡調整会議	学部間 教務・学生連絡会議	細谷 多聞 ◎松浦 和代 羽深 久夫 町田 佳世子 矢部 和夫 小田 和美 喜多 歳子 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	研究科間 研究科教務・学生連絡会議	樋之津 淳子 ◎石井 雅博 齊藤 雅也 猪股 千代子 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
衛生委員会	芸術の森事業所衛生委員会	金 秀敬 ◎阿部 大 安藤 貴之 廣瀬 瑞絵	デザイン学部講師 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局総務課庶務係員 保健室保健管理員
	桑園事業所衛生委員会	近藤 圭子 田仲 里江 ◎阿部 大 佐々木 亜矢子	看護学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 桑園事務室学生支援係員
学部委員会	デザイン学部 教務委員会	◎矢部 和夫 柿山 浩一郎 山田 良 藤木 淳 丸山 洋平 石田 勝也 片山 めぐみ	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師
	デザイン学部 学生支援委員会	◎羽深 久夫 若林 尚樹 張 浦華 松井 美穂 森 朋子 大島 卓 金 秀敬	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師
	デザイン学部 キャリア支援委員会	◎安齋 利典 椎野 亜紀夫 三谷 篤史 須之内 元洋 福田 大年 金子 晋也 矢久保 空遥	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教 デザイン学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学部委員会	看護学部	教務委員会	荒木 奈緒 ◎喜多 歳子 卯野木 健 貝谷 敏子 伊東 健太郎 工藤 京子 黒田 紀子 高橋 奈美 武富 貴久子 檜山 明子 矢野 祐美子 牧田 靖子 鬼塚 美玲 渋谷 友紀 大友 舞 助産学専攻科長 看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手
		学生支援委員会	◎小田 和美 大野 夏代 藤井 瑞恵 本田 光 三上 智子 守村 洋 森川 由紀 田仲 里江 御厩 美登里 中田 亜由美 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手
		キャリア支援委員会	◎菊地 ひろみ 神島 滋子 菅原 美樹 原井 美佳 石引 かずみ 柏倉 大作 近藤 圭子 高橋 葉子 野呂田 美菜子 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手 看護学部助手
研究科委員会	デザイン研究科	教務・学生支援委員会	◎齊藤 雅也 安齋 利典 町田 佳世子 椎野 亜紀夫 藤木 淳 片山 めぐみ 金 秀敬 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師
		研究科倫理審査会	◎矢部 和夫 三谷 篤史 山田 信博 阿部 大 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
研究科委員会	看護学研究科	教務・学生支援委員会	◎猪股 千代子 神島 滋子 菅原 美樹 渡邊 由加利 高橋 奈美	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師
		研究科倫理審査会	◎卯野木 健 藤井 瑞恵 村松 真澄 阿部 大	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長

◎印：所管部局長等



16 FD・SD活動

FD活動 年間活動概要（学内研修会）

（単位：名）

全学FD	研修会名	場所	参加者数
8月27日	2019札幌市立大学研究交流会		75
9月17日	情報セキュリティ対策について		101
9月18日	現代の学生理解		69
9月26日	“倫理的”に研究を遂行するとは～具体的な研究例から考えてみよう～		53
1月15日	粗悪学術誌 ハゲタカジャーナルについて		79

（単位：名）

デザイン学部・ 研究科FD	研修会名	場所	参加者数
6月19日	授業評価アンケート分析よりみた授業改善方策の検討		33
10月16日	デザイン総合実習Ⅲの教育内容		37
11月20日	2018年度サバティカル研修の成果報告		28
1月22日	『学習評価の基本』での研修内容の全体共有		34
2月20日	アクティブラーニング授業のための学習評価		9

（単位：名）

看護学部・ 研究科FD	研修会名	場所	参加者数
10月16日	2019年度国際交流事業の成果報告と課題		34
10月21日	効率的に研究を進めるために－便利なソフトの活用方法		30
12月29日	2018年度サバティカル研修の実施報告		30
2月13日	アクティブ・ラーニンググループ学習を効果的に導入する－		30
2月19日	看護学教育ワークショップ報告		41



SD活動 年間活動概要

(単位：名)

SD	研修名	形態	受講者数
4月18日	障害者差別解消法に関する研修 (e-learning)	札幌市立大学	19
6月18日	ハラスメント防止研修	学外	1
6月21日	説明力UPセミナー	学外	1
6月26日	ビジネスで役立つ問題解決講座	学外	1
6月26日	契約事務研修	学外	1
7月2日	ハラスメント防止研修会	学外	3
7月4日	タイムマネジメント研修	学外	2
7月9日	伝わるビジネス文書・使える報連相	学外	1
7月9日	第9回C-Learningセミナー「教学部門のための業務改善」	学外	1
7月10日	中堅社員研修	学外	1
7月17日	メンター研修	学外	1
7月17日	公立大学職員セミナー	学外	1
7月23日	プレゼンテーション研修	学外	1
8月8日	リーダー・管理職に求められるマネジメントスキル研修	学外	1
8月9日	評価者研修	学外	1
8月23日	第1回教務事務セミナー	学外	2
8月26日	職務分析・職務評価セミナー	学外	1
9月17日	情報セキュリティ対策について	札幌市立大学	101
9月26日	生産性とモチベーションを上げる「働き方改革」講座	学外	1
9月26日	“倫理的”に研究を遂行するとは～具体的な研究例から考えてみよう～	札幌市立大学	53
10月3日	大学等CSIRT研修 (応用編)	学外	1
10月28日	待ったなし！パート・有期雇用・派遣労働者の同一労働同一賃金	学外	3
10月29日	会計年度任用職員制度説明会	学外	2
11月13日	職場のハラスメント対策セミナー	学外	1
12月6日	新人・若手育成セミナー イマドキ世代に“きく”育て方とは	学外	1
12月9日	管理職向け 職場のリスクマネジメント力向上セミナー	学外	1
12月9日	第2回教務事務セミナー	学外	2
1月14日	障害者差別解消法を学ぶ！	札幌市	1
2月4日	SD研修報告会	札幌市立大学	7
2月10日	新型コロナウイルスに係る対応について	札幌市立大学	13
2月13日	「令和2年分」の年末調整が大幅変更！～基礎控除・給与所得控除の改正ポイントと、年末調整業務を大幅削減できるクラウド活用術	学外	1
2月13日	残業抑制・生産性向上・労基法対策を叶える今すぐ真似したい勤怠管理システムの賢い使い方	学外	1
3月6日	労働者派遣法説明会	学外	1



IX 資料

1 2019年度計画

I 教育に関する目標を達成するための措置

1 専門職業人の育成に関する目標を達成するための措置

【項目番号1】

- 両学部の学生が協働して地域課題に取り組み、それぞれの専門性を理解しながら異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する2年次前期開講科目「学部連携基礎論」、その基礎を踏まえて課題解決プロセスを習得する3年次後期開講科目「学部連携演習」等の地域志向科目を、シラバスに基づき着実に実施する。

- 「学部連携演習」の成果について、卒業時の教育評価アンケートを基に経年的な検証を行う。

〔指標〕 卒業時に地域の課題発見、解決提案する能力が身に付いたと認識した学生の割合：65%

【項目番号2】

- 共通教育科目の外国語科目により基礎的な外国語力を養うとともに、特に英語については新入生に対するTOEIC¹試験を実施する。

- 既存の科目において、国際的な共通性と多様性への理解を深めるための内容を充実する。

〔指標〕 TOEIC受験率（1年次）：100%

〔指標〕 卒業時に国際的な文化の理解を深めたと認識した学生の割合：60%

【項目番号3】

- 〔デザイン学部〕カリキュラムを着実に運用するとともに、特に3年次前期開講科目「デザイン総合実習Ⅲ」において専門コース間による連携授業を実施し、互いの専門性を客観的に理解させるとともに、専門職業人としてのデザイン、コミュニケーション等の実践能力を養う。

〔指標〕 卒業時に社会で活用できるデザイン、コミュニケーション等の実践能力向上を認識した学生の割合：60%

【項目番号4】 【重点取組項目】

- 〔デザイン学部〕3年次後期開講科目「デザイン総合実習Ⅳ」において企業や外部機関と連携した授業を実施し、専門職業人として地域や仕事の現場で活躍できる実践能力を養う。

〔指標〕 専門科目における企業等連携課題の実施：2件

【項目番号5】 【重点取組項目】

- 〔看護学部・助産学専攻科〕OSCE²やシミュレーターを用いた実践型教育を効果的に実施し、看護実践能力及び助産実践能力の向上を図る。

〔指標〕 〔看護学部〕卒業時の看護実践能力の達成度：7.5（10段階自己評価）

〔指標〕 〔助産学専攻科〕修了時の助産実践能力の到達度：6.5（10段階自己評価）

【項目番号6】

- 〔看護学部〕道内の保健医療機関との関係構築を通じて、臨地教員³が関わる授業を積極的に行い、実際の臨床現場の理解を促す。

〔指標〕 専門科目における臨地教員の活用：29科目

【項目番号7】

- 〔大学院博士前期課程〕実践的な演習・実習に加えて、研究指導教員による専門的な研究指導を行い、地域や仕事の現場を先導できる課題解決能力やマネジメント能力等を養う。

〔指標〕 〔デザイン研究科〕修了時における在学中の教育に対する総合的満足度（直近3年間平均）：80%（5段階自己評価）

1 TOEIC (Test of English for International Communication)

国際コミュニケーション英語能力テスト。英語を母語としない者向けの試験で、日本では一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会が実施している。

2 OSCE (Objective Structured Clinical Examination)

客観的臨床能力試験。ペーパーテストによる知識重視の教育ではなく、判断力・技術力・マナーなど実際の現場で必要とされる臨床技能の習得を適正に評価する。

3 臨地教員

医療機関等から招き、実際の現場の実践的能力を教授する現役の看護師・保健師・助産師等



〔指標〕 [看護学研究科] 修了時における在学中の教育に対する総合的満足度（直近3年間平均）：90%（4段階自己評価）

【項目番号8】

- ・ [大学院博士後期課程] 1年次の研究計画書の立案・審査、2年次の公開発表会、3年次の学位審査を通して、自立かつ計画的に研究活動を進める能力を養う。また、研究指導教員による専門的な研究指導に加え、他の教員の助言・指導を通して学生の幅広い視野を養う。

〔指標〕 博士後期課程研究計画書審査：3件

2 学生に対する支援に関する目標を達成するための措置

【項目番号9】

- ・ [デザイン学部] キャリアガイダンスを開催するとともに、キャリア教育科目「キャリアデザイン」「インターンシップ」を開講する。また、キャリア支援室において進路希望に対応したサポートを行う。
- ・ [看護学部] キャリアガイダンスを開催するとともに、国家試験対策を含めたキャリア支援対策講座を計画的に実施する。また、キャリア支援相談室において学生の要望に応じた進路支援を随時行う。

〔指標〕 [デザイン学部] 就職内定率（直近3年間平均）：93%

〔指標〕 [デザイン学部] キャリアガイダンスの開催：10回

〔指標〕 [看護学部] 就職内定率（直近3年間平均）：97%

〔指標〕 [看護学部] キャリア支援対策講座の開催：8回

【項目番号10】

- ・ 授業料減額免除の制度により、家計基準及び成績基準に該当する者に対し、経済的な支援を実施する。

〔指標〕 経済的理由による退学者：なし

【項目番号11】

- ・ 「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づき、芸術の森キャンパスのD棟に多目的トイレを設置する。
- ・ 「障害者差別解消法」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」について、教職員や学生に対する啓発・研修等を実施する。

〔指標〕 「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づくバリアフリー⁴工事の計画的な執行

〔指標〕 「障害者差別解消法」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」についての教職員及び学生への周知：1回

【項目番号12】

- ・ 学生のメンタルヘルスに対する教職員の理解を深めるため、研修会等を実施する。
- ・ 本学のメンター⁵制度を理解し効果的なメンター活動につなげるため、新任教員に対するガイダンスを実施する。

〔指標〕 学生のメンタルヘルスに関する教職員向け研修の実施：1回

〔指標〕 新任教員に対するメンターガイダンスの実施：1回

【項目番号13】

- ・ 留学生の日本語能力の向上を目的として、デザイン研究科の両学期において日本語講座を開講し、受講者アンケート等により効果検証を行う。

〔指標〕 日本語能力の向上に役立ったと認識した留学生の割合：80%

II 研究に関する目標を達成するための措置

1 特色のある活発な研究の推進に関する目標を達成するための措置

【項目番号14】 【重点取組項目】

4 バリアフリー

高齢者や障がい者など社会的弱者が、社会生活の上で支障となる物理的・社会的・制度的・心理的など全ての障壁を除去すること。

5 メンター

学生に対して学業上の問題だけではなく生活面においても助言や支援を行う者。一人の教員が学生を個別に担当し、定期的・継続的に対話を行い、気軽に相談できるようにしている。



- ・ 学内の競争的資金⁶である共同研究費を通じて、デザイン・看護の両分野の連携や外部機関との連携による研究課題に対して重点的に支援する。
〔指標〕 デザインと看護の両分野の連携による研究：6件
【項目番号15】
- ・ 学内の競争的資金である学術奨励研究費や共同研究費において、超高齢社会への対応、地域コミュニティの再生、地域産業の振興など、北海道や札幌などの地域特性・地域課題等に関する研究を推進する。
〔指標〕 地域特性や地域課題等に関する研究：15件
【項目番号16】
- ・ [デザイン学部] 3年次後期開講科目「デザイン総合実習Ⅳ」等における企業や外部機関と連携した取組から、社会において有用性の高い研究を推進するための課題を抽出する。
〔指標〕 企業や外部機関との連携による課題研究：1件
2 研究機関としての地位の向上に関する目標を達成するための措置
【項目番号17】
- ・ e-Rad（府省共通研究開発管理システム）を中心とした様々な外部資金の募集情報を定期的に周知する。
- ・ 科学研究費助成事業⁷への効果的な申請支援策を展開し、申請を積極的に行う。
〔指標〕 教員向け情報提供：3回
〔指標〕 科学研究費助成事業への新規申請：対象教員⁸の50%
【項目番号18】
- ・ 学術奨励研究費の「国際学会・国際展示会等発表者補助」「学術論文掲載料等補助」を運用し、教員の研究成果について国内外へ積極的に発表する。
〔指標〕 国際学会・国際展示における研究成果の発表：11件

Ⅲ 地域貢献に関する目標を達成するための措置

1 地域産業及び地域医療への貢献に関する目標を達成するための措置

- 【項目番号19】 【重点取組項目】
- ・ 産業界及び保健・医療・福祉業界等とのネットワークや展示会への出展などを通じて、地域産学連携協力依頼⁹の制度を周知するとともに、外部機関との契約支援や研究成果の知財化支援¹⁰等の体制を充実し、産学連携活動の増進を図る。
〔指標〕 産業界及び保健・医療・福祉業界等からの地域産学連携協力依頼の受諾：8件
【項目番号20】
- ・ [デザイン学部] キャリアガイダンスの一環として開催する異業種公開座談会や学内企業セミナーにおいて、北海道・札幌市内の企業担当者を招き、求人の紹介や個別相談等を通して、当該企業の情報を提供する。
- ・ [デザイン学部] キャリア教育科目「インターンシップ」において、北海道・札幌市内の企業等へ学生を派遣する。
- ・ [看護学部] 道内の医療機関や市町村（保健師）の採用担当者、当該医療機関等に勤める卒業生が参加するキャリア説明会を開催し、直接情報を得られる機会を提供する。
〔指標〕 [デザイン学部] 専門教育科目「インターンシップ」において道内企業への理解が深まっ

6 競争的資金

研究課題を公募の上、複数の者による客観的かつ厳正な審査を経て優れた課題を採択し、研究者に配分する研究資金

7 科学研究費助成事業

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会が実施する助成事業。全ての分野にわたり基礎から応用までのあらゆる学術研究を段階に発展させることを目的に競争的資金を助成する。

8 対象教員

休職者や定年退職予定者等を除いた科学研究費補助事業に応募資格のある専任教員。なお、第三期中期計画期間の最終年度である平成35年度までに、在籍した教員総数の90%の申請を目指す予定である。

9 地域産学連携協力依頼

地域や企業等が研究や地域貢献活動等について本学に協力を求める依頼

10 知財化支援

特許権や商標権など知的財産の権利化に向けて行う支援



たと認識した学生の割合：60%

〔指標〕 [看護学部] 就職希望先の道内医療機関等に対する理解が深まったと認識した学生の割合：80%

〔項目番号21〕

- ・ 地元企業等の競争力強化や地域の専門職の資質向上等に寄与する公開講座を開催する。

〔指標〕 職業人向け公開講座の開催：8件

〔項目番号22〕

- ・ [看護学部] 市内の病院等が参加する看護コンソーシアム¹¹の会議を定期的に行い、看護職のスキル向上やキャリア形成に関する課題を共有するとともに、連携しながら必要な研修を企画、実施する。

〔指標〕 看護コンソーシアムの研修において、スキル向上やキャリアの育成に効果を感じた受講生の割合：80%

2 地域社会への貢献に関する目標を達成するための措置

〔項目番号23〕

- ・ 市民がより良い生活を送るための新しい知見を獲得できるような生涯学習の機会提供や健康寿命の延伸等をテーマとした市民向け公開講座を開催する。
- ・ 公開講座受講者を対象にアンケートを実施し、講座内容の妥当性を確認する。

〔指標〕 公開講座の開催（職業人向けを除く。）：25件

〔指標〕 公開講座の受講（職業人向けを除く。）：630人

〔指標〕 公開講座の受講者満足度（職業人向けを除く。）：4.5（5段階評価）

〔項目番号24〕

- ・ 札幌市の各部局に対して受託研究・共同研究や地域産学連携協力依頼の制度等の活用を周知するとともに、市の課題解決に向けた提案や市の事業・施策の推進に係る依頼を積極的に受け入れる。

〔指標〕 札幌市からの受託研究・共同研究依頼及び地域産学連携協力依頼の受諾：20件

〔項目番号25〕

- ・ 公式ウェブサイトにおける行政との連携事例の公開や、「研究・活動事例集」及び「教員研究紹介」の活用により、道内市町村へ広報活動を行うとともに、道内市町村の振興・活性化に資する地域産学連携協力依頼を積極的に受け入れる。

〔指標〕 行政からの地域産学連携協力依頼の受諾：15件

IV 教育・研究・地域貢献の取組を推進する大学運営に関する目標を達成するための措置

1 教育・研究・地域貢献の取組を推進する連携・国際化・情報発信に関する目標を達成するための措置

〔項目番号26〕

- ・ サテライトキャンパスの利便性を有効活用し、市民や外部機関、他大学、行政等との連携を促進する。

〔指標〕 外部機関や他大学等との連携の場としてのサテライトキャンパスの利用：2,500人

〔項目番号27〕

- ・ 同窓会との連携により社会で活躍している卒業生・修了生の講演会等を開催し、同窓の絆を深めるとともに在学生の就業意欲向上等を図る。

〔指標〕 卒業生・修了生による講演会等の開催：1回

〔指標〕 卒業生・修了生による講演会への参加：20人/回

〔項目番号28〕

- ・ 海外提携校（承德医学院、清華大学美術学院、華梵大学、ラップランド大学）との交流活動を実施するとともに、他の海外校とも連携し、教職員及び学生の国際交流の機会を充実する。

〔指標〕 教職員・学生の派遣と受入：60人

〔指標〕 海外提携校との交流活動：提携校ごと1件

11 看護コンソーシアム

本学を拠点として医療機関等と連携し、社会ニーズに対応できる看護システムの構築や看護の質を保証することなどを目指す共同体



項目番号29

- ・ 本学の特長である「D×N（デザインと看護の連携）」の取組を中心に、公式ウェブサイトやマスメディア等を通じて、受験生や保護者、市民や企業などステークホルダーごとに戦略的かつ効果的な広報活動を展開する。

〔指標〕 公式ウェブサイトへのアクセス：305,000件

〔指標〕 プレスリリースの実施：10回

項目番号30

- ・ デザイン及び看護関連の学術情報を収集し、図書館機能を充実させる。
- ・ 学生向けの文献検索ガイダンスを実施し、修学・研究の円滑な遂行を支援する。
- ・ 機関リポジトリ¹²を活用して、紀要や博士論文など、教員や学生の研究成果を学外に公表する。

〔指標〕 書籍、資料の購入：2,000冊

〔指標〕 文献検索ガイダンスの受講：延べ250人

〔指標〕 機関リポジトリによる研究論文等の公表：11件

項目番号31

- ・ 本学の活動内容について高校生や保護者の理解を深めるため、オープンキャンパス¹³の開催、進学相談会及び出前授業等への参加など多様な機会を設けるとともに、高校教員を対象とする大学説明会を開催する。また、前年度までの出願状況、入学後の成績及び入学者アンケート等の結果を分析し、必要に応じて各種広報活動の内容や参加に係る見直しを行う。

〔指標〕 オープンキャンパスの開催：各キャンパス2回

〔指標〕 オープンキャンパスにおいて本学への理解が深まったと回答した参加者の割合：70%

〔指標〕 進学相談会及び出前授業等への参加：50件

〔指標〕 高校教員説明会の開催：各キャンパス1回

2 大学運営の改善・効率化に関する目標を達成するための措置

項目番号32 【重点取組項目】

- ・ 学内委員会等による定例的な各種会議の開催回数を見直し、運営効率化を図る。
- ・ 事務局において、定例業務の更なる見直し・改善により効率化を図るなど、職員の超過勤務時間の縮減に取り組む。
- ・ 全教職員に対して有給休暇の取得を啓発し、ワーク・ライフ・バランス¹⁴の向上に取り組む。特に休暇取得率が低い教員に対して、機会をとらえて休暇取得を促す。
- ・ 働き方改革関連法の施行に基づき、教職員の出退勤の管理体制等を見直す。

〔指標〕 学内委員会等が開催する各種会議：400回以下

〔指標〕 全教職員の有給休暇取得率：40%

項目番号33

- ・ 教員の定員計画及び「本学が求める教員像」に基づき、退職者の補充など適切な教員採用を行う。

〔指標〕 定員計画及び「本学が求める教員像」に基づく教員の採用

項目番号34

- ・ 適切に教員評価を実施するとともに、評価項目や配点などの検証及び評価結果の活用に向け、必要に応じて制度や運用の見直し・改善を行う。

〔指標〕 教員評価項目や配点の検証・見直し：1回

12 機関リポジトリ

研究成果の論文など、大学・研究機関とその構成員による知的生産物を電子的な形態で保存・管理し、原則的に無償で公開・発信するために構築されたインターネット上のシステム

13 オープンキャンパス

大学が施設内を公開し、特に入学を希望する者や考慮している者に対して大学への理解・関心を深めてもらうことを目的に開催する入学促進イベント

14 ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和。やりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活等においても多様な生き方が選択・実現できること。



項目番号35

- ・ 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、FD¹⁵研修会を実施するとともに、学外で開催される研修会の情報を適切に提供する。

〔指標〕 教育改善に資するFD研修の実施：7回

〔指標〕 教育改善に資するFD研修の受講：延べ200人

項目番号36

- ・ 職員が多彩な研修を受講できるよう研修機会を充実し、職員の能力向上を図る。
- ・ 適切な人事異動を実施し、大学運営に求められる様々な知識・経験の蓄積を図る。

〔指標〕 職員を対象としたSD¹⁶研修への派遣：15回/年

〔指標〕 職員を対象としたSD研修の受講：延べ35人/年

〔指標〕 SD研修報告会の実施：1回/年

3 自己点検・評価の実施・公表に関する目標を達成するための措置

項目番号37

- ・ 平成30年度の業務実績や2019年度計画の進捗状況について、PDCAサイクル¹⁷による自己点検・評価を適切に実施するとともに、札幌市地方独立行政法人評価委員会や認証評価¹⁸機関等の評価結果を踏まえ、随時改善を図り、その結果を公式ウェブサイト等により公表する。

〔指標〕 年度計画に係る自己点検・評価の実施：半期ごと

項目番号38

- ・ 2020年度計画の策定に当たり、前年度の実績見込みを参考に可能な限り各項目に適切な成果指標を設定する。

〔指標〕 年度計画のうち「教育」「研究」「地域貢献」に関する目標の全項目に成果指標を設定

4 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

項目番号39

- ・ 受託研究・共同研究・寄附金による成果事例を公式ウェブサイトで紹介するとともに、産学官金のマッチング等を趣旨とした展示会において「研究・活動事例集」や「教員研究紹介」のほか大学グッズを配布するなど、自主財源の充実に向けたPR活動を積極的に行う。

〔指標〕 受託研究・共同研究の受入：15件

項目番号40

- ・ 戦略的な経費の確保に向け、管理的経費（消耗品費、備品購入費、印刷製本費、光熱水費等）の削減を図る。
- ・ 決算見込みを基に、適正な予算の執行管理を行う。

〔指標〕 一般管理費の節減額：170万円

5 その他業務運営の適切な遂行に関する目標を達成するための措置

項目番号41

- ・ 保全計画に基づき、芸術の森キャンパスのエントランス棟及びD・E棟屋上・外壁保全工事、エントランス棟・D・G・H棟衛生設備更新工事实施設計を適正に実施する。
- ・ 「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づき、芸術の森キャンパスのD棟に多目的トイレを設置する。（項目番号11再掲）
- ・ 大学内の要修繕箇所のリストを更新し、緊急度や予算の執行状況を踏まえ、順次可能なものから速やかに修繕等を実施する。

〔指標〕 保全計画及び「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づく計画的な執行

15 FD (Faculty Development)

教員を対象に、授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な研修等の取組

16 SD (Staff Development)

職員を対象に、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な研修等の取組

17 PDCA サイクル

計画 (plan)、実施 (do)、検証 (check)、改善 (act) のサイクルを確実かつ継続的に繰り返すことにより、レベルアップを図ること。

18 認証評価

学校教育法に基づき、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価。大学の教育研究等の総合的な状況について、7年以内ごとに受けることが義務付けられている。



項目番号42

- ・ 安全管理の徹底について、研修等の機会を通じて災害や感染症など有事の際の危機管理マニュアル等を周知する。
- ・ 防災訓練の実施を通じて全学的な危機管理体制の検証・見直しを行い、学生や教職員等の安全を確保する体制を強化するとともに、2018年9月に発生した胆振東部地震を踏まえ、現在検討を進めている施設設備関係の耐震化や、対策本部体制等のマニュアルの見直しといった災害対応策について可能なものから整備を進めていく。

〔指標〕 リスク管理に関する研修の実施：1回

〔指標〕 防災訓練の実施：2回

項目番号43

- ・ 施設管理支援システム（CAFM）を活用し施設でのエネルギー使用状況を把握するとともに、学生や教職員へ節電等の意識啓発及び省エネルギー対策に取り組む。

〔指標〕 電気使用量：1,650千kWh以下

〔指標〕 ガス使用量：426千m³以下

〔指標〕 水道使用量：9千m³以下

項目番号44

- ・ 個人情報の保護・管理に係る研修を行う。
- ・ 関係法令及び情報セキュリティポリシー等を周知するとともに、遵守状況に関する定期的な点検を実施する。

〔指標〕 情報セキュリティに関する研修の実施：1回

〔指標〕 情報セキュリティに関する研修の受講：全教職員

項目番号45

- ・ コンプライアンス¹⁹に係る研修を行う。
- ・ 教育・研究・地域貢献・大学運営のあらゆる場面において、関係法令及び学内規則等を遵守するよう周知する。

〔指標〕 コンプライアンスに関する研修の実施：1回

〔指標〕 コンプライアンスに関する研修の受講：全教職員

項目番号46

- ・ 新任教員全員及び新規に研究費に関わる業務に着任した職員に対し、研究倫理教育の受講を促す。
- ・ 利益相反²⁰に係わる申請に基づき、適切な管理を行う。

〔指標〕 研究倫理教育の受講：対象者²¹全員

項目番号47

- ・ 2020年度から実施する本学の入学者選抜試験（2021年度入試）について、既に予告・公表した内容に基づき、具体的な試験実施の方法等の検討を行う。
- ・ アドミッション・ポリシーの見直しを行う。

〔指標〕 新テスト（大学入学共通テスト）に対応した2021年度入試に係る情報の公表

〔指標〕 アドミッション・ポリシーの見直し

V 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

別紙参照

VI 短期借入金の限度額

1 短期借入金の限度額

19 コンプライアンス

法令等を遵守することは元より、社会規範に反することなく高い倫理観に基づき務めを果たすこと。

20 利益相反

外部との経済的な利益関係等により、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は、第三者から懸念が表明されかねない事態

21 対象者

新任教員、新規に研究費の執行管理や研究倫理を担当する職員、研究倫理教育受講後5年を経た教員及び担当職員



2億円

2 想定される理由

運営費交付金の受入遅延及び事故の発生等により、緊急に必要となる対策費として借り入れることが想定される。

VII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし。

VIII 剰余金の使途

決算において地方独立行政法人法第40条第1項に規定する残余が発生した場合、教育研究の質の向上及び組織運営の改善その他札幌市が大学の運営上必要と認めた経費に充てる。

IX 施設及び設備に関する計画

1 施設整備

- ・ 芸術の森キャンパスD・E・エントランス棟外壁ほか保全工事

予算額：162,826千円

- ・ 芸術の森キャンパスD・G・H・エントランス棟ほか衛生設備更新工事实施設計

予算額：5,174千円

2 キャンパスの活用等に関するプラン

- ・ 芸術の森キャンパスD棟多目的トイレ設置工事

予算額：8,000千円

- ・ 芸術の森キャンパス図書館棟冷房設備設置工事

予算額：14,000千円

- ・ 桑園キャンパス管理実習棟2階学生ラウンジ冷房設備設置工事

予算額：1,600千円

(注) 金額については見込みであり、上記のほか、業務の実施状況に応じた施設・設備の改善や、老朽度合いに応じた改修等を追加することもあり得る。

X 人事に関する計画

1 教職員の採用

- ・ 教員の定員計画及び「本学が求める教員像」に基づき、退職者の補充など適切な教員採用を行う。(再掲)
- ・ 職員については、定年退職等の時期に基づき、計画的な採用を行う。

2 教職員の育成

- ・ 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、FD研修会を実施するとともに、学外で開催される研修会の情報を適切に提供する。(再掲)
- ・ 職員が多彩な研修を受講できるよう研修機会を充実し、職員の能力向上を図る。(再掲)
- ・ 適切な人事異動を実施し、大学運営に求められる様々な知識・経験の蓄積を図る。(再掲)

3 ワーク・ライフ・バランスの向上

- ・ 学内委員会等による定例的な各種会議の開催回数を見直し、運営効率化を図る。(再掲)
- ・ 事務局において、定例業務の更なる見直し・改善により効率化を図るなど、職員の超過勤務時間の縮減に取り組む。(再掲)
- ・ 全教職員に対して有給休暇の取得を啓発し、ワーク・ライフ・バランスの向上に取り組む。特に休暇取得率が低い教員に対して、機会をとりえて休暇取得を促す。(再掲)
- ・ 働き方改革関連法の施行に基づき、教職員の出退勤の管理体制を見直す。(再掲)



別紙 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1. 予算 (単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	1,620
施設整備費補助金	168
授業料等収入	451
受託研究等収入及び寄附金収入	64
その他収入	28
目的積立金取崩	61
計	2,392
支出	
教育研究経費	454
受託研究等経費及び寄附金事業費等	64
人件費	1,345
一般管理費	361
施設整備費	168
計	2,392



2. 収支計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	
経常費用	2,273
教育研究経費	418
受託研究等費	60
人件費	1,345
一般管理費	332
財務費用	2
減価償却費	116
収益の部	
経常収益	2,212
運営費交付金収益	1,599
授業料等収益	478
受託研究等収益	60
寄付金収益	4
資産見返運営費交付金戻入	33
資産見返寄附金戻入	3
資産見返物品受贈額戻入	7
資産見返補助金戻入	0
雑益	28
その他収益	28
純利益（純損失）	△61
目的積立金取崩益	61
総利益（総損失）	0

3. 資金計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	2,632
業務活動による支出	2,114
投資活動による支出	189
財務活動による支出	90
翌年度への繰越金	239
資金収入	2,632
業務活動による収入	2,163
運営費交付金による収入	1,620
授業料及び入学金検定料による収入	451
受託研究等による収入	60
寄付金による収入	4
その他収入	28
投資活動による収入	168
施設費による収入	168
前年度よりの繰越金	301



2 2019年度 決算報告書

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,620	1,620	-	
施設整備費補助金	168	152	△ 16	(注1)
授業料等収入	451	456	5	
受託研究等収入及び寄附金収入	64	47	△ 17	(注2)
その他収入	28	24	△ 4	
目的積立金取崩	61	61	-	
計	2,392	2,360	△ 32	
支出				
教育研究経費	454	422	△ 32	(注3)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	64	45	△ 19	(注2)
人件費	1,345	1,297	△ 48	(注3)
一般管理費	361	360	△ 1	
施設整備費	168	152	△ 16	(注1)
計	2,392	2,276	△ 116	
収入-支出	-	84	84	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 工事方法の見直しにより、工期が短縮されたため契約額が減少しました。
(注2) 受託研究の契約額が減少しました。
(注3) 教員の欠員により、減少しました。



3 教職員数 (2020年3月31日現在)

1) 学部別教員数 (単位:名)

学 長	1
副 学 長	1
デ ザ イ ン 学 部	34
看 護 学 部	42
合計	78

2) 職位別教員数 (単位:名)

		教授 (特任教授を含む)	准教授	講師	助教	助手	計	非常勤講師
デザイン学部	男	11	8	7	3	0	29	25
	女	1	3	2	0	0	6	14
看護学部	男	1	2	1	1	0	5	41
	女	10	7	10	7	4	38	25
合計		23	20	20	11	4	78	105

3) 職員数 (単位:名)

	事務系	教務系	技術・技能系	医療系	その他	計
男	21	2	0	0	0	23
女	23	2	0	0	0	25
合計	44	4	0	0	0	48

4 管理職一覧表 (2020年3月31日現在)

役職名	教職名
学長	中島 秀之
副学長兼看護学部長	樋之津 淳子
デザイン学部長	細谷 多聞
看護学研究科長	松浦 和代
デザイン研究科長	石井 雅博
地域連携研究センター長	上遠野 敏
附属図書館長	川村 三希子
事務局長	小野 聡
事務局次長兼桑園事務室長	阿部 大
事務局総務課長	檜森 広一
事務局地域連携課長	上田 理子
事務局学生課長	福原 啓祐
事務局桑園担当課長	布廣 成規



5 学生定員及び学生数 (2019年5月1日現在)

1) 学生定員 (単位:名)

学部	入学定員	3年次編入学定員	総定員
デザイン学部	85	10	360
看護学部	80	10	340
合計	165	20	700

2) 学生数 (単位:名)

学部	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン学部	1学年	23	65	88
	2学年	19	73	92
	3学年	25	62	87
	4学年	32	74	106
看護学部	1学年	6	77	83
	2学年	5	79	84
	3学年	5	83	88
	4学年	9	84	93
助産学専攻科		0	10	10
合計		124	607	731

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士前期課程	1学年	12	9	21
	2学年	8	10	18
看護学研究科 博士前期課程	1学年	3	3	6
	2学年	7	13	20
合計		30	35	65

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士後期課程	1学年	2	0	2
	2学年	0	0	0
	3学年	5	3	8
看護学研究科 博士後期課程	1学年	2	2	4
	2学年	1	2	3
	3学年	0	4	4
合計		10	11	21



3) 科目等履修生・聴講生・研究生 (単位：名)

学部	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン学部	2	0	0	2
看護学部	0	0	0	0
合計	2	0	0	2

研究科	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン研究科	0	0	16	16
看護学研究科	2	0	1	3
合計	2	0	17	19

6 授業料等

(単位：円)

区分	検定料	入学料		授業料
		札幌市内居住者	札幌市外居住者	
学部生	17,000	141,000	282,000	535,800
科目等履修生・聴講生	9,800	14,100	28,200	1単位につき 14,800
研究生	9,800	42,300	84,600	月額29,700

7 奨学金貸与・授業料減免実施状況 (2020年3月31日現在)

奨学金利用状況

(単位：名)

学年	日本学生支援機構			その他	計
	給付型	第1種	第2種		
学部1年生	6	44	41	2	93
学部2年生	5	54	33	6	98
学部3年生	1	49	28	3	81
学部4年生	-	51	34	2	87
助産学専攻科	-	-	4	4	8
研究科(博士前期)1年生	-	3	2	-	5
研究科(博士前期)2年生	-	5	4	2	11
研究科(博士後期)1年生	-	1	-	-	1
研究科(博士後期)2年生	-	-	-	-	0
研究科(博士後期)3年生	-	-	-	-	0
合計	12	207	146	19	384



授業料減免実施状況

(単位：名)

学年	学期	全額減免者	半額減免者	学長の定める額 免除者	計
学部1年生	前期	-	6	7	13
	後期	-	12	3	15
学部2年生	前期	-	18	2	20
	後期	-	16	4	20
学部3年生	前期	-	22	9	31
	後期	-	26	8	34
学部4年生	前期	1	22	4	27
	後期	-	24	2	26
助産学専攻科	前期	-	-	-	0
	後期	-	-	-	0
研究科（博士前期） 1年生	前期	-	2	1	3
	後期	-	3	-	3
研究科（博士前期） 2年生	前期	-	5	-	5
	後期	-	4	-	4
合計	前期	1	75	23	99
	後期	0	85	17	102



8 学生の入選・受賞（デザイン学部）

入選・受賞 年月	氏名	タイトル及び入賞・受賞の別	主催者
2019年6月	【グッドプレゼンテーション賞】佐藤祐衣、佐野萌夏、本間しおり（デザイン学部3年）	「日本デザイン学会第66回春季研究発表大会」にてグッドプレゼンテーション賞を受賞	日本デザイン学会
2019年11月	【優秀賞】三河侑矢、佐藤あみか、佐野弥詩、中者睦望、樋口涼佳子（デザイン学部3年）	「日本デザイン学会令和元年度秋季企画大会」の学生プロポジションにおいて、優秀賞を受賞	日本デザイン学会
2019年11月	【入選】三河侑矢、高田若葉、松村一希（デザイン学部3年）	「ISCA (International Students Creative Award) 2019」デジタルコンテンツ部門に入選	一般社団法人ナレッジキャピタル
2019年12月	【北のデザイン賞】足立岬（デザイン学部4年）、【社長特別賞】藤田花南（デザイン学部3年）	「ショップバッグデザインコンペ」にて北のデザイン賞、社長特別賞を受賞	株式会社土屋ホームトピア
2019年12月	【入賞】中原ひかり（デザイン学部3年）	「Asia Digital Art Award FUKUOKA 2019」に入賞	2019アジアデジタルアート大賞展実行委員会
2020年3月	【優秀賞】守屋 杏（デザイン学部3年）	JRタワー「アートボックス2020」にて優秀賞を受賞（最年少）	札幌駅総合開発株式会社



9 学生の課外活動

	公認団体	主な入選・受賞等
1	バスケットボール部	
2	軽音楽部「halo」	
3	美術部「noumenon」	
4	YOSAKOIソーラン部「～真花～」	6/5～6/9「第28回YOSAKOIソーラン祭り」 敢闘賞（4位/12チーム）
5	グラフィックデザイン部「chips」	
6	服飾制作部「Alice」	
7	写真映像部「SEED」	
8	演劇部「デンコラ」	6/16「札幌学生対校演劇祭」 役者賞・舞台 技術賞・審査員賞・一般審査賞・最優秀賞
9	茶道部「Cha部」	
10	バレーボール部	
11	絵本ボランティアサークル「しゃぼん玉」	
12	フットサルサークル「SCUギャラクシー」	
13	創作活動サークル「創-KIZ-」	
14	ダンスサークル「VOLUME」	
15	カレー研究サークル「SCUカレー研究会」	
16	スポーツサークル「すぼさ」	
17	アウトドアサークル「PEAK」	
18	アルティメットサークル「Fly☆Fly」	
19	バドミントンサークル	
20	吹奏楽サークル「芸術の森 音楽隊」	
21	国際協力／ボランティアを考える会「AMIGO」	
22	地域交流ボランティア同好会「act」	
23	備災同好会「EZO学さいぼー」	
24	SCUスイーツ同好会「スイ研」	
25	総合スポーツ同好会「Force」	
26	アナログゲーム同好会「OFF」	
27	ものづくり組（もの組）	
28	SCUトレーニング同好会「金肉」	
29	ふまねっと同好会「COC STUDENTPLAZA」	
30	日本語デザイン研究会「しろ」	
31	合唱同好会「Forte」	
32	球技同好会「Mt.」	
33	手芸同好会「もふもふ」	
34	団地同好会「団地さーくる」	



10 後援会

後援会（2007年2月発足）は、学生の福利厚生推進等、学生生活の充実に向けて必要な支援を行い、教育目的の達成に寄与することを目的として活動している。

2019年度

役員	(会 長) 宮浦 哲也 (副会長) 勝俣 信俊 (理 事) 河波 秀旭、江渡 政恵、川嶋 嘉史、高野 祐子、 石井 敏三、近 圭司、木下 健二、若本 彩子、 (監 事) 宇佐美 晴己、橋本 和幸
主な事業	・課外活動（部活動、大学祭、地域ボランティア活動等）支援 ・就職対策（就職試験対策、写真撮影補助、資格取得支援、国家試験対策） ・後援会報「SSA News」発行
後援会費	40,000円（ただし、編入学生は20,000円、助産学専攻科生は10,000円）

11 教育・研究刊行物一覧

発行年月	名称
2019年4月	2019年度学生生活ハンドブック
2019年5月	2020大学案内
2019年5月	令和2年度デザイン学部3年次編入学学生募集要項
2019年5月	令和2年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 推薦選抜）
2019年5月	令和2年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 一般選抜・特別選抜）
2019年5月	令和2年度入学学生選抜要項（デザイン学部・看護学部）
2019年6月	令和2年度看護学部3年次編入学学生募集要項
2019年6月	令和2年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程）
2019年6月	令和2年度学生募集要項（助産学専攻科）
2019年6月	令和2年度学生募集要項（デザイン研究科 博士後期課程）
2019年7月	令和2年度学生募集要項（看護学研究科 博士後期課程）
2019年7月	SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING2019 札幌市立大学研究論文集第13巻第1号
2019年8月	令和2年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 特別選抜）
2019年10月	令和2年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 一般選抜）
2019年10月	令和2年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 第2次募集）
2019年11月	令和2年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程 第2次募集）
2020年1月	札幌市立大学附属図書館ニュースレターのほほん第13号
2020年2月	デザイン学部・デザイン研究科卒業修了研究展（2020 図録）
2020年3月	2019年度札幌市立大学看護学部キャリア支援委員会活動報告書
2020年3月	札幌市立大学後援会 会報2019（SSA NEWS）
2020年3月	2020年度履修要項<履修の手引き>デザイン学部・看護学部



12 施設

1) 校地・校舎、講義室・演習室等の面積

(2020年3月31日現在)

区分	校地・校舎		講義室・演習室等	
	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	総数	面積 (㎡)
芸術の森キャンパス	167,617	23,087	50	5,689
桑園キャンパス	18,152	12,367	30	3,132
合計	185,769	35,454	80	8,821
サテライトキャンパス	178	178	2	152
まこまないキャンパス	764.43	764.43	6	485

2) 芸術の森キャンパス・桑園キャンパス・サテライトキャンパス・まこまないキャンパス

(施設配置図・校舎配置図)

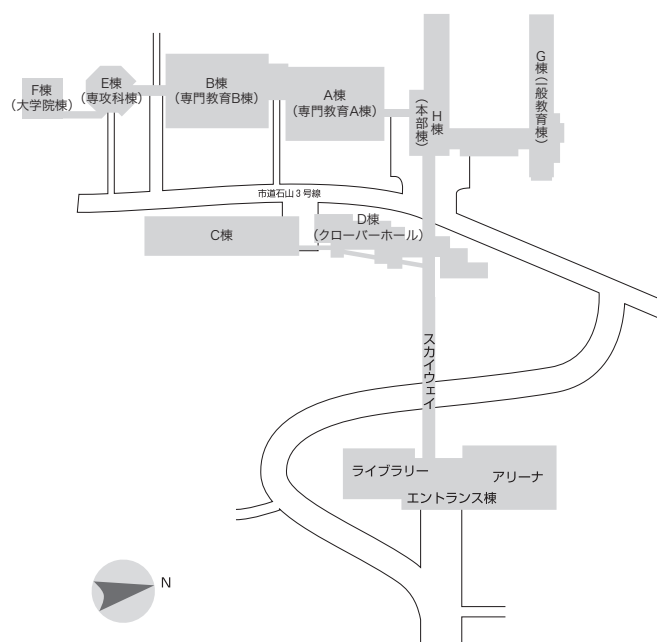
芸術の森キャンパス

〒005-0864

北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 (代)

FAX : 011-592-2369



●桑園キャンパス

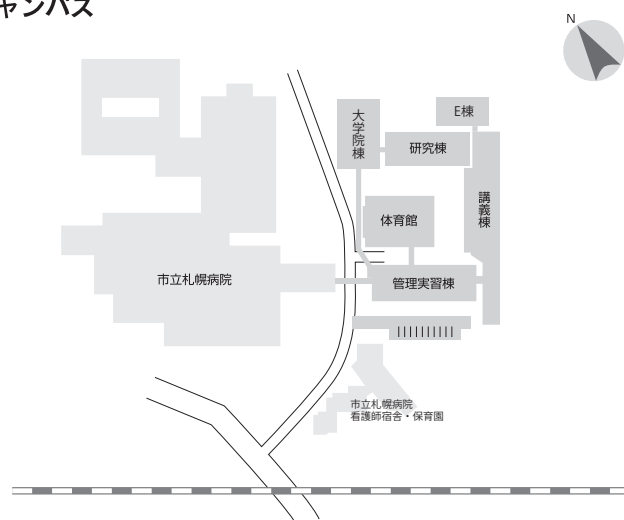
桑園キャンパス

〒060-0001

北海道札幌市中央区北11条西13丁目

TEL : 011-726-2500 (代)

FAX : 011-726-2506





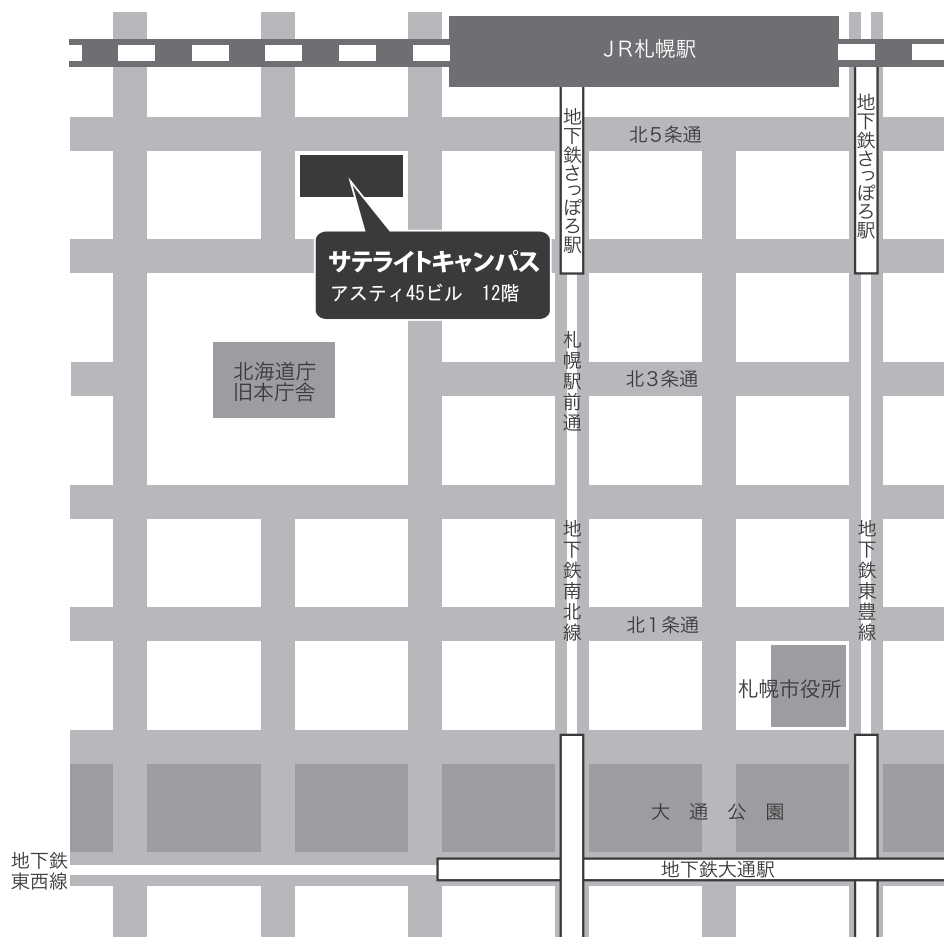
サテライトキャンパス

〒060-0004

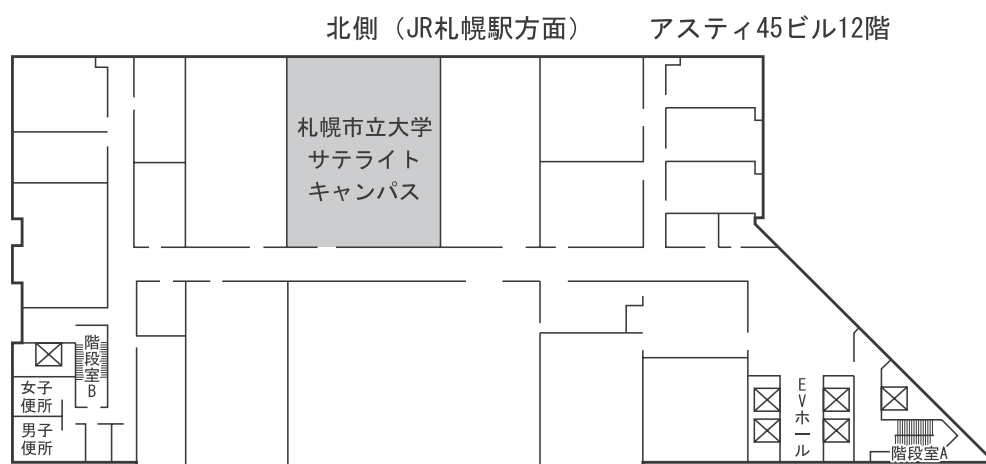
北海道札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階

TEL : 011-218-7500 (代)

FAX : 011-218-7507



〈施設平面図〉





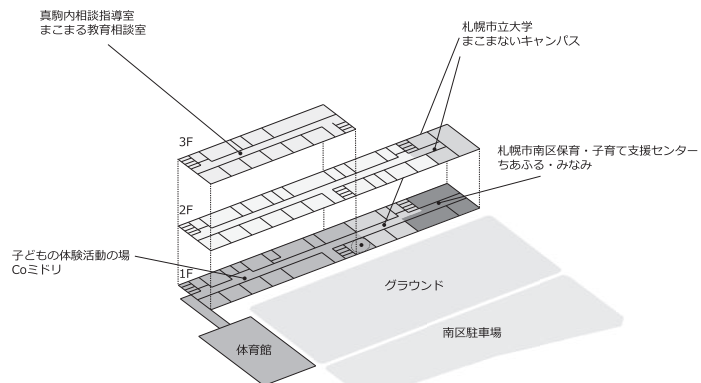
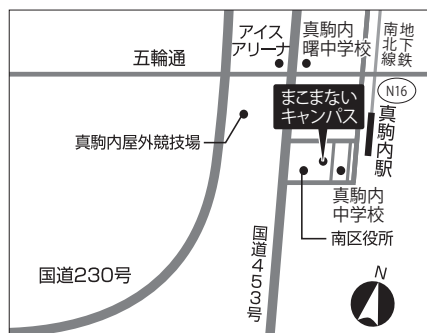
まこまないキャンパス

〒005-0014

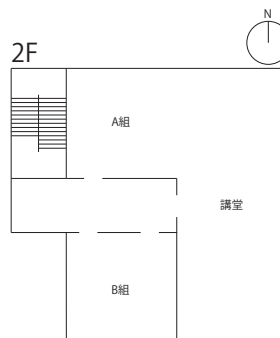
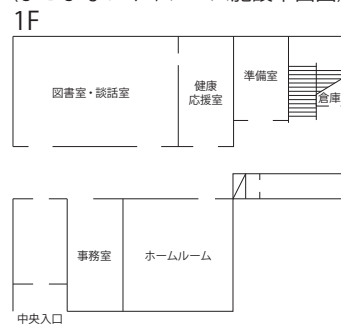
北海道札幌市南区真駒内幸町2丁目2-2まこまる（旧真駒内緑小学校）内

TEL：011-596-6675

FAX：011-596-6676

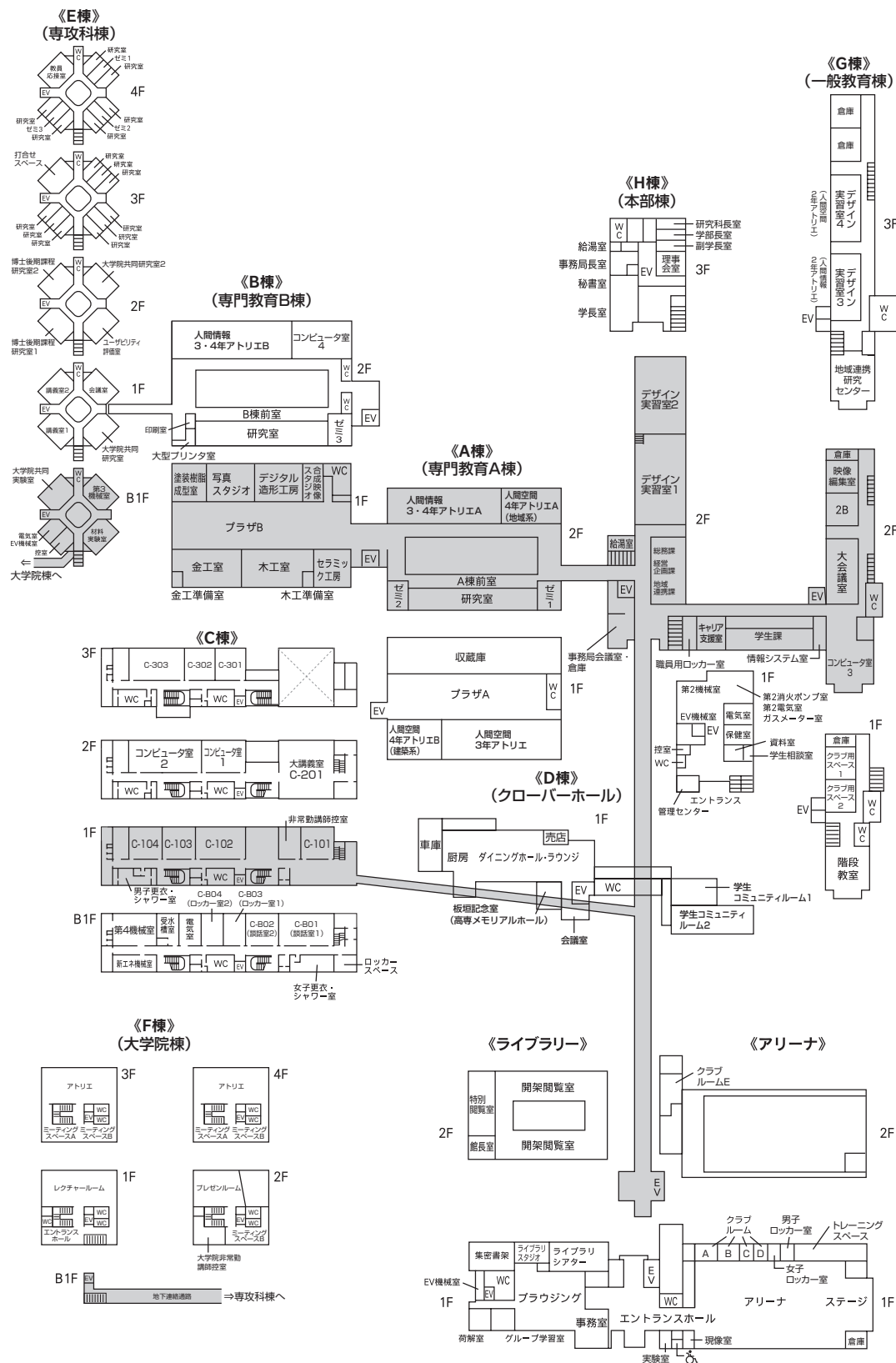


〈まこまないキャンパス施設平面図〉



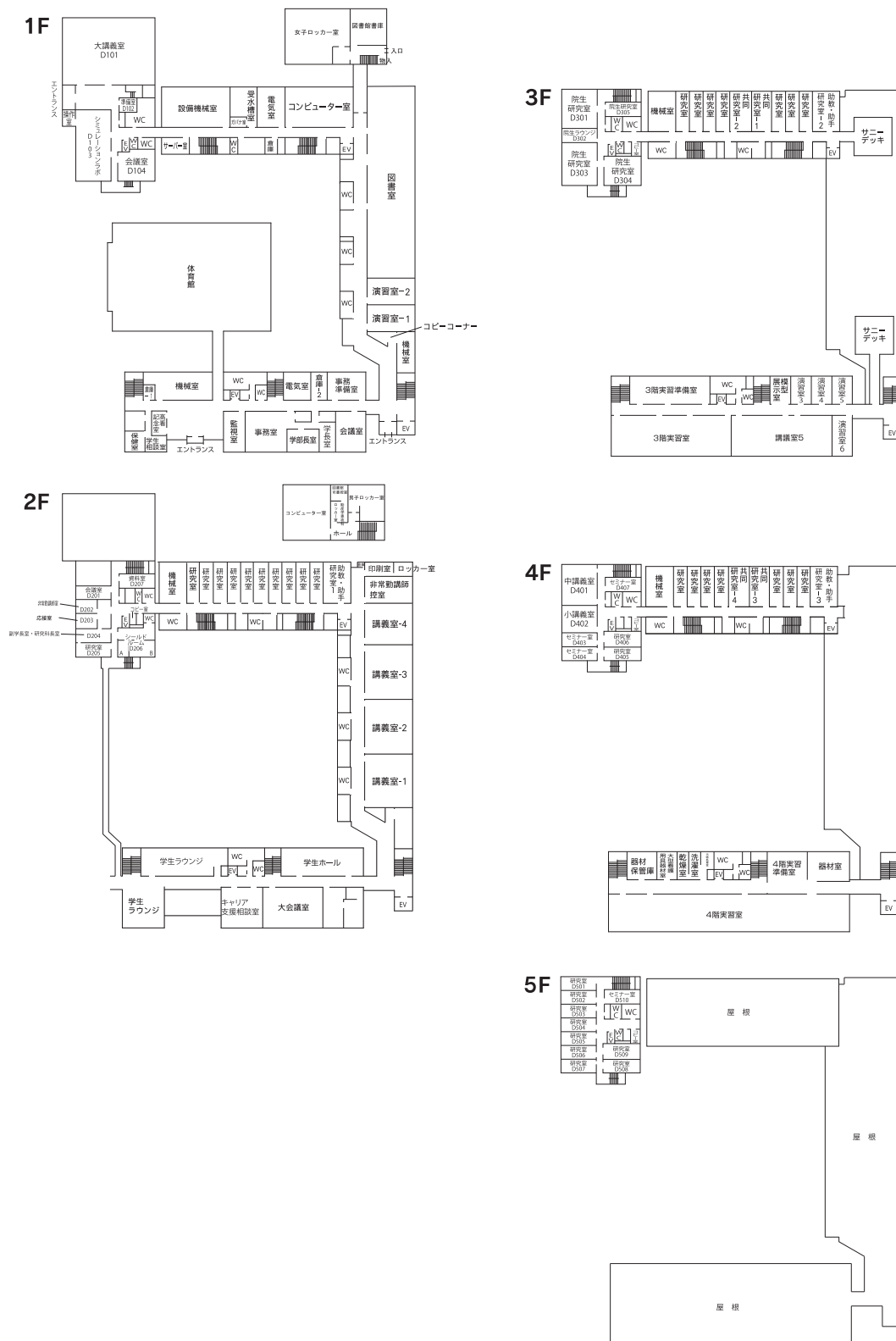


芸術の森キャンパス(校舎配置図)





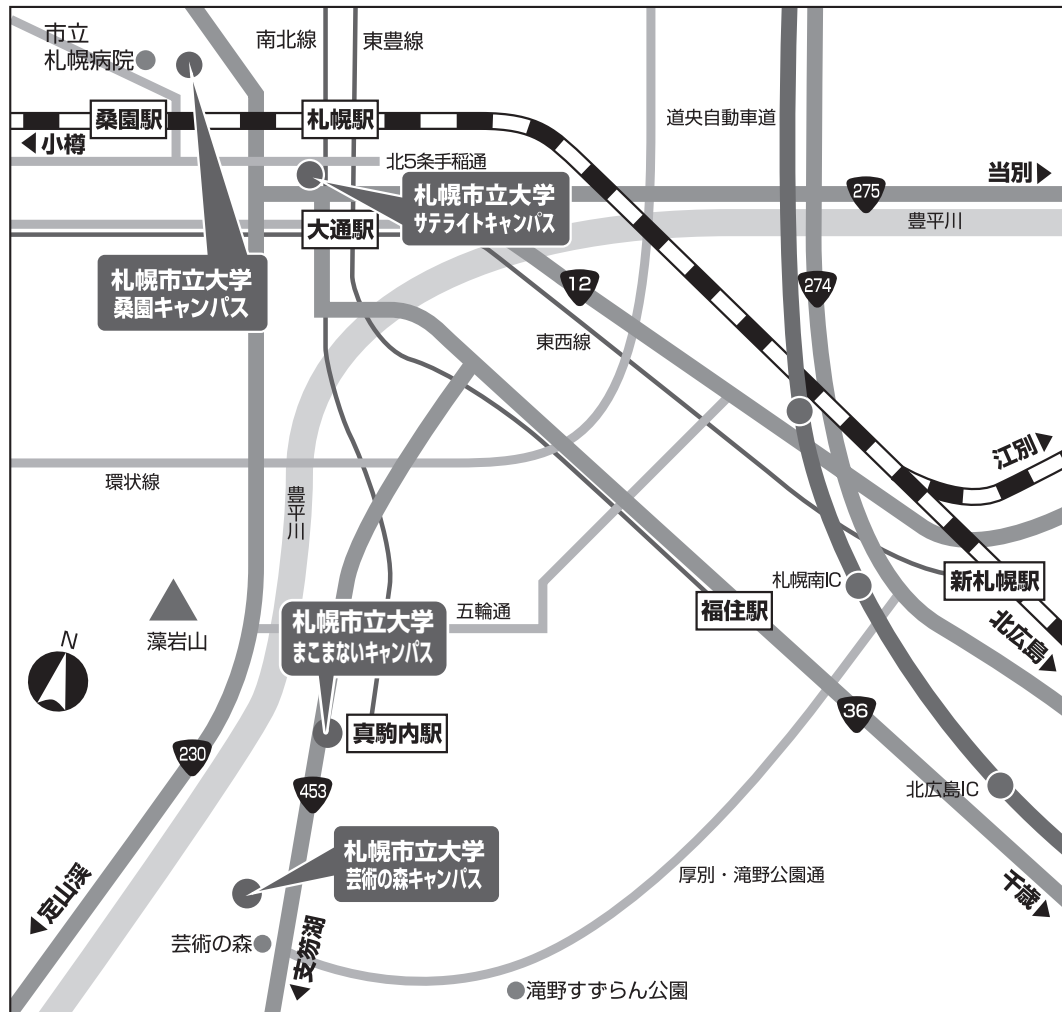
桑園キャンパス〈校舎配置図〉



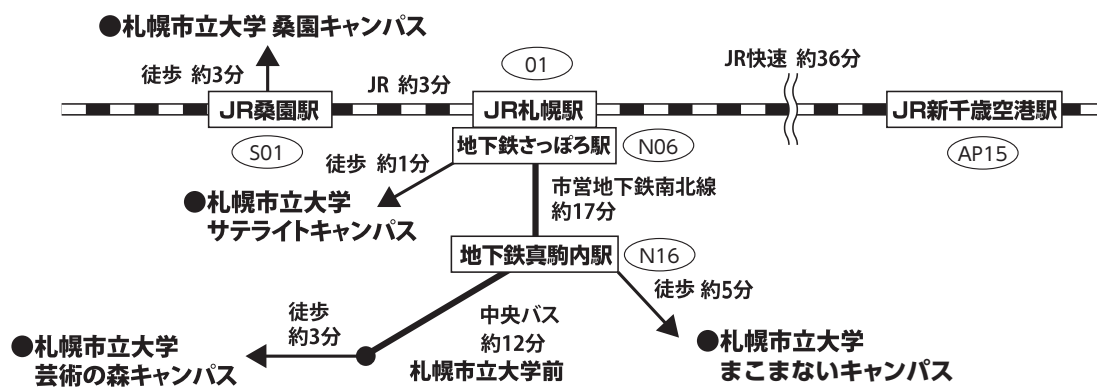


13 大学へのアクセス

1) アクセスマップ



2) 交通案内





14 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』

作詞: 後藤優太・首藤翠 (デザイン学部 第4期生)
作曲: 堀 彩菜 (デザイン学部 第3期生)

力強く風が吹き抜ける
新たな希望をたずさえて
さあ飛び出そう
翼広げて
光の指す方へと

ともに笑いともに競った仲間たち
これからは別々の道を往く
強い風に吹かれ
立ち止まりかけても
恐れず歩き続けて

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
同じ空の下には今も
走り続ける仲間がいるだろう

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
あの地平の彼方にはきっと
君の染める世界がある

僕らには導く能力(ちから)がある
僕らには差し伸べる精神(こころ)がある
その壁の向こうにはきっと
君を待つ世界がある

『みらいの手』

公立大学法人 札幌市立大学 大学歌

作詞: 後藤 優太・首藤 翠
作曲: 堀 彩菜

The musical score is presented in two columns. The left column contains the vocal line and piano accompaniment for the first two verses. The right column contains the piano accompaniment for the first two verses and the vocal line for the third verse. The score includes various musical notations such as treble and bass clefs, time signatures, and dynamic markings like 'mf' and 'f'. Section markers A, B, and C are placed above the corresponding parts of the score. The lyrics are written in Japanese below the vocal lines.



X 教員一覧

1 教員一覧

デザイン学部		看護学部	
職位・コース	教員名	職位・領域	教員名
学長	中島 秀之	教授・基礎	樋之津 淳子
教授・人間情報	細谷 多聞	教授・小児	松浦 和代
教授・人間情報	石井 雅博	教授・母性	荒木 奈緒
教授・人間空間	上遠野 敏	教授・成人	川村 三希子
教授・人間情報	安齋 利典	特任教授・成人	中村 恵子
教授・人間情報	柿山 浩一郎	教授・管理	猪股 千代子
教授・人間空間	齊藤 雅也	教授・成人	卯野木 健
教授・人間空間	羽深 久夫	教授・成人	小田 和美
教授・共通教育	町田 佳世子	教授・在宅	菊地 ひろみ
教授・人間空間	矢部 和夫	教授・地域	喜多 歳子
教授・人間空間	山田 良	教授・基礎	定廣 和香子
教授・人間情報	若林 尚樹	准教授・基礎	大野 夏代
准教授・人間空間	小林 重人	准教授・成人	貝谷 敏子
准教授・人間空間	椎野 亜紀夫	准教授・成人	神島 滋子
准教授・人間空間	武田 亘明	准教授・成人	菅原 美樹
准教授・人間情報	張 浦華	准教授・成人	藤井 瑞恵
准教授・人間情報	藤木 淳	准教授・地域	本田 光
准教授・共通教育	松井 美穂	准教授・小児	三上 智子
准教授・共通教育	丸山 洋平	准教授・老年	村松 真澄
准教授・人間情報	三谷 篤史	准教授・精神	守村 洋
准教授・人間空間	森 朋子	准教授・母性	渡邊 由加利
准教授・人間空間	山田 信博	講師・精神	伊東 健太郎
准教授・人間情報	横溝 賢	講師・成人	工藤 京子
講師・人間空間	石田 勝也	講師・母性	黒田 紀子
講師・人間空間	大島 卓	講師・地域	櫻井 繭子
講師・人間情報	大淵 一博	講師・在宅	高橋 奈美
講師・人間空間	片山 めぐみ	講師・基礎	武富 貴久子
講師・人間情報	金 秀敬	講師・老年	原井 美佳
講師・人間空間	小宮 加容子	講師・基礎	檜山 明子
講師・人間空間	須之内 元洋	講師・母性	森川 由紀
講師・人間情報	福田 大年	講師・管理	矢野 祐美子
講師・人間情報	松永 康佑	講師・母性	山本 真由美
助教・人間空間	金子 晋也	助教・母性	石引 かずみ
助教・人間空間	田島 悠史	助教・管理	鬼塚 美玲
助教・人間情報	矢久保 空遥	助教・成人	柏倉 大作
		助教・地域	近藤 圭子
		助教・基礎	渋谷 友紀
		助教・地域	田仲 里江
		助教・小児	牧田 靖子
		助教・在宅	御厩 美登里
		助手・母性	大友 舞
		助手・基礎	高橋 葉子
		助手・老年	中田 亜由美
		助手・精神	野呂田美菜子

※教員一覧の記載内容は教員の申告に基づく



2 教員業績一覧

デザイン学部

中島 秀之

＜著書＞1.スマートモビリティ革命—未来型AI公共交通サービスSAVS（編著、2019年2月、公立はこだて未来大学出版会）／2.AI事典 第3版（編著、2019年12月、近代科学社）

＜所属学会・研究会＞人工知能学会／情報処理学会／日本認知科学会／PRICAI／サービス学会／日本ソフトウェア科学会／観光情報学会／日本工学アカデミー会員

＜講演会・講習会活動＞公立はこだて未来大学 特別講演会「人工知能とは何かを改めて考える」（2019年7月）／名古屋工業大学 NITech AI研究センター「人工知能技術戦略コンソーシアム」講演（2019年10月）／「No Maps 2019」セッション登壇「イノベーターは育てられるか？～革新者を生み出す教育論」他（2019年10月）／名古屋工業大学「名工大テクノフェア2019」特別講演「AI技術の活かし方」（2019年11月）／広島工業大学 公開シンポジウム「Society5.0時代の波に乗ろう～超スマート社会を迎える一人ひとりの課題～」講演（2019年12月）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞講演「建設コンサルタンツ協会北海道支部総会」（2019年4月）／講演「一般社団法人日本電気協会 第98回社員総会」（2019年6月）／講演「令和元年度基盤研究会2(人工知能と経済・法)」講演と意見交換「人工知能の現在と社会の未来」（2019年7月、司法研修所）／講演「BMWフューチャーダイアログプログラム」（2019年7月、(株)富士通総研）／講演「第62回大都市社会福祉施設協議会」（2019年7月）／講演「Wiley Research Seminar Japan2019」（2019年7月）／技術指導「トヨタ技術会 技術者の一日」（2019年7月、トヨタ自動車株式会社）／講演「MOT実践エグゼクティブ・スクール2019」（2019年8月、(社)日本MOT振興協会）／講演「第19回Kフォーラム AIの地平を拓く」（2019年8月、(公財)栢森情報科学振興財団）／講演「CEDEC2019」（2019年9月、(社)コンピュータエンターテインメント協会）／講演「次世代AI人材育成訓練プログラム」先端技術視察（2019年9月、(社)コンピュータソフトウェア協会）／講演「集中経営フォーラム」（2019年11月、本田技研工業株式会社）／講演「日本語学会大会(第159回)」（2019年11月）／講演「北海道内公安委員会連絡協議会定例総会」（2019年11月）／文科省 戦略的創造研究推進事業令和2年度戦略目標の検討に関するワークショップ「人間中心社会におけるAIの信頼性を支える基盤技術」（2019年12月、(国研)科学技術振興機構）／講演「ムーンショット国際シンポジウム」（2019年12月、(国研)科学技術振興機構）／講演「令和元年度札幌高等裁判所管内一般職員オープンセミナー」（2020年1月、札幌高等裁判所事務局）／講演「ロボットシンポジウム2020名古屋」（2020年2月、名古屋国際見本委員会事務局）／連携会員（日本学術会議）／「AI白書2020」編集委員、執筆、対談インタビュー（(独)情報処理推進機構）／未踏事業審査委員会委員（(独)情報処理推進機構）／大学機関別認証評価委員会専門委員（(独)大学改革支援・学位授与機構）／「次世代人工知能・ロボット中核技術開発」採択委員（(国研)NEDO）／理事（(特非)産学連携推進機構）／理事（(公財)本田財団）／本田賞選考委員（(公財)本田財団）／分科会委員（(公財)未来工学研究所）／「情報システム本部研究開発部門計算工学応用開発ユニット」客員主管研究員（(国研)理化学研究所）／未来社会創造事業研究開発運営会議委員（(国研)科学技術振興機構）／国立障害者リハビリテーションセンター研究所評価委員会委員（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）／公立はこだて未来大学特任教授（公立はこだて未来大学）／公立はこだて未来大学未来AI研究センター顧問（公立はこだて未来大学）／公立大学法人会津大学参与会参与（公立大学法人会津大学）／副代表理事（(社)社会システムデザインセンター）／取締役会長（株式会社未来シェア）／「Sapporo AI Lab」エグゼクティブ・アドバイザー（(公財)さっぽろ産業振興財団）／NoMaPs 実行委員会顧問（NoMaPs 実行委員会）／札幌国際芸術祭実行委員会副会長（札幌国際芸術祭実行委員会事務局）

細谷 多聞

＜学会座長就任状況＞日本デザイン学会第66回大会（2019年6月、日本デザイン学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学研究作品集／札幌市立大学研究論文集／2.第66回デザイン学会春季研究発表大会

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（学会理事）



＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会

石井 雅博

＜学会発表＞1.胸元で色布を置かれた顔の選好判断分布（共同、映像情報メディア学会研究会、2020年2月）

＜国際会議での発表＞1.Change in Posture and Body Sway by Looking Down(共同、15th Asia-Pacific Conference on Vision 2019年7月)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本デザイン学会／2.日本バーチャルリアリティ学会／3.日本基礎心理学会

＜学会役員就任状況＞電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会（顧問）／日本バーチャルリアリティ学会（VR心理学研究委員会 委員、ハプティクス研究会 委員）／日本視覚学会（世話人）

＜学術集会運営＞電子情報通信学会

＜所属学会・研究会＞Vision Sciences Society／日本視覚学会／日本感性工学会／日本バーチャルリアリティ学会／芸術科学会／映像情報メディア学会／電子情報通信学会／情報処理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞幹事（視覚科学技術コンソーシアム）

安齋 利典

＜著書＞1.デザイン科学事典（共著、2019年10月、丸善出版）

＜国際会議での発表＞1.Proposed Revision of Airline Corporate Identity Manual:Creating a design that communicates a corporate philosophy formed at inception to an internal and external audience through regional university-industry collaboration（共同、International Congress of International Association of Societies of Design Research (IASDR)、2019年9月）

＜学会発表＞1.視覚的対話手法を用いた食体験の共有の試み（共同、日本デザイン学会、2019年6月）／2.付箋を使った手法の試行に関する研究（単独、日本デザイン学会、2019年6月）／3.ショップモビリティの研究（共同、日本デザイン学会、2019年6月）／4.人間中心設計視点によるIoT機能を持つプロジェクターデザインの研究（共同、日本デザイン学会、2019年6月）／5.Development and evaluation of teaching materials on the prevention of DDH for childcare in Mongolia（共同、International Council of Nurses、2019年6月）／6.デザイン視点からのICT活用による教材制作とその評価（共同、日本小児看護学会、2019年8月）／7.札幌/北海道の美味しいデザイン（単独、日本デザイン学会、2019年10月）

＜学会座長就任状況＞日本デザイン学会第66回大会（2019年6月、日本デザイン学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.IASDR2019（IASDR）／2.芸術工学会誌（芸術工学会）

＜学会役員就任状況＞芸術工学会（理事）

＜学術集会運営＞芸術工学会 2019年度 秋期大会（芸術工学会）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／芸術工学会／道具学会

＜講演会・講習会活動＞マネジメントシステムの活用とその展開（2019年7月、日本プロジェクトマネジメント協会）／デザインと創造的思考（2019年11月、北海道中小企業家同友会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞CIマニュアルVer.3改定（2019年7～10月、株式会社AIRDO）／航空機により快適でスムーズな利用のためのサービスデザイン（2019年7～2018年3月、株式会社AIRDO）／Audio-Technica/NoMaps アナログ・ワークショップ（2019年8～12月、株式会社オーディオテクニカ）／観光商材開発支援事業 専門家による相談会（2019年10月、札幌市経済観光局）／NoMaps 2019 Conference 北海道をどう変える？業界ごとのイノベーションを考える（2019年10月、JAA(日本アドバタイザーズ協会) Web広告研究会）／UXセミナー&ワークショップ2019（2019年10～11月、東京エレクトロン株式会社）

柿山 浩一郎

＜学会座長就任状況＞日本デザイン学会（2019年6月、日本デザイン学会 第66回春期大会「形態、構成」において座長を務める）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学研究（2件、日本デザイン学会）／2.日本感性工学会論文誌（2件、日本感性工学会）



＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（梗概集編集委員会、委員）／日本デザイン学会（研究推進委員会、委員）／日本デザイン学会（評議委員）／日本デザイン学会（特設理事）／日本感性工学会（評議委員）／日本感性工学会（理事）／日本感性工学会（論文審査委員会、委員）／日本感性工学会（北海道支部、支部長）／日本感性工学会（感性インタラクシオン研究部会 部会長）

＜学術集会運営＞北海道支部 第7回学生会（日本感性工学会 北海道支部 2019年11月2日）／感性フォーラム札幌2020（日本感性工学会 感性インタラクシオン研究部会、あいまいと感性研究部会 2020年2月15日）

＜所属学会・研究会＞日本感性工学会／日本デザイン学会／日本教育工学会

＜講演会・講習会活動＞UXデザインワークショップ「第1回「車に対する価値観の想像を通じたメンタルモデルの理解」」（2019年10月30日、札幌市立大学 安齋・柿山研究室、東京エレクトロン）／UXデザインワークショップ「第4回「車の機能分類を通じたメンタルモデルの理解」」（2019年12月19日、札幌市立大学 安齋・柿山研究室、東京エレクトロン）

齊藤 雅也

＜学術論文＞1.ビジネスホテル客室への内窓導入後の熱環境と宿泊客の暖房使用実態（共著、2019年12月、日本建築学会環境系論文集、第84巻、第766号、pp.1077-1084）

＜学会発表＞1.双曲放物屋根をもつ木造オフィスの冬季の室内気候デザイン 床下ころがし・埋込配管併用の暖房システムを事例として（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集No.92、札幌市立大学、pp.177-178、2019年6月）／2.夏季の熱的履歴を考慮した冷放射エクセルギーが想像温度に与える影響 札幌・熊本の通風室・冷房室での被験者実験（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集No.92、札幌市立大学、pp.203-206、2019年6月）／3.ベトナム北部集落における伝統的住居の住まい方の現状 その1 調査地および調査の概要（共同、日本建築学会大会（北陸）学術講演会（建築計画）、金沢工業大学、pp.1391-1392、2019年9月）／4.ベトナム北部集落における伝統的住居の住まい方の現状 その2 住まい方の特徴と変化（共同、日本建築学会大会（北陸）学術講演会（建築計画）、金沢工業大学、pp.1393-1394、2019年9月）／5.ビジネスホテル客室への内窓導入後の熱環境と宿泊客の暖房使用実態（共同、日本建築学会大会（北陸）学術講演会（建築計画）、金沢工業大学、pp.201-202、2019年9月）／6.夏季の室内での想像温度・寒暑感の変化と熱的履歴の関係 一札幌・熊本の通風室・冷房室での被験者実験一（共同、日本建築学会大会（北陸）学術講演会（環境工学Ⅱ）、金沢工業大学、pp.229-230、2019年9月）／7.ヒトの想像温度と季節感の地域特性 その1. 想像温度と季節感（共同、日本建築学会大会（北陸）学術講演会（環境工学Ⅱ）、金沢工業大学、pp.225-226、2019年9月）／8.ヒトの想像温度と季節感の地域特性 その2. 札幌・熊本の「季節のにおい」・「季節の音」（共同、日本建築学会大会（北陸）学術講演会（環境工学Ⅱ）、金沢工業大学、pp.227-228、2019年9月）／9.札幌市円山動物園 北海道ゾーンのサーマルランドスケープデザイン（共同、日本建築学会大会（北陸）建築デザイン発表会、金沢工業大学、pp.232-233、2019年9月）／10.ベトナム農村民家の夏季の熱環境と住まい手の感覚・行動に関する研究 その1（共同、日本太陽エネルギー学会講演論文集 2019、pp.246-249、リンクステーションホール青森、2019年10月）／11.ベトナム農村民家の夏季の熱環境と住まい手の感覚・行動に関する研究 その2（共同、日本太陽エネルギー学会講演論文集 2019、pp.250-253、リンクステーションホール青森、2019年10月）／12.夏季の気候特性や熱的履歴が想像温度に与える影響 ～札幌・福山・熊本における被験者実験～（共同、日本太陽エネルギー学会講演論文集 2019、pp.254-257、リンクステーションホール青森、2019年10月）／13.居住者の温熱感覚と熱中症危険度の認識に関する実態調査 ～夏季における北海道と新潟を事例として～（共同、日本太陽エネルギー学会講演論文集 2019、pp.258-261、リンクステーションホール青森、2019年10月）／14.室内熱環境における「温度想像力」養成に関する研究 ～札幌における夏季と秋季の被験者実験～（共同、日本感性工学会感性フォーラム札幌2020論文集 2020、pp.1-2、札幌市立大学サテライトキャンパス、2020年2月）／15.室内熱環境における「温度想像力」養成に関する研究 ～福山における夏季・秋季調査～（共同、2019年度日本建築学会中国支部研究発表会、pp.365-368、広島工業大学、2020年2月）／16.室内熱環境における「温度想像力」養成に関する研究 ～札幌・福山・熊本における夏季と秋季の被験者実験～（共同、2019年度第59回日本建築学会九州支部研究発表会、pp.257-260、熊本大学、2020年3月）

＜学会座長就任状況＞一般社団法人 日本建築学会（大会学術講演会（2回（金沢工業大学））／日本太



陽エネルギー学会（1回（リンクステーションホール青森））

＜論文査読・学会抄録査読＞1.一般社団法人 日本建築学会（環境系論文集 2本）／2.エネルギー・環境学会（論文集 1本）

＜学会役員就任状況＞一般社団法人 日本建築学会（地球環境委員会 環境ライフスタイル普及小委員会・幹事（～2021年3月））／公益社団法人空気調和・衛生工学会（本部 代議員（～2021年3月））

＜学術集会運営＞日本建築学会北海道支部研究発表会（日本建築学会北海道支部研究発表会実行委員会（2019年6月））

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／空気調和・衛生工学会／日本太陽エネルギー学会／日本デザイン学会／日本感性工学会／Low-Ex Net.(International Low Exergy Network)／PLEA(Passive and Low Energy Architecture)／日本公衆衛生学会／日本看護科学学会

＜講演会・講習会活動＞HOKKAIDOサイエンスセミナー for Students III「ペットボトルハウスで考える住まいの温・涼デザイン」（2019年10月6日、旭川西高等学校）／スーパーサイエンスハイスクール「SSH特別実験」「ペットボトルハウスで考える住まいの温・涼デザイン」（2019年10月7日、日本科学技術振興財団、旭川西高等学校）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護臨床分野に対しての室内温熱環境デザイン面に関する学術的支援（2019年5月27日、北のケア環境研究会）／特別会員（学術的支援）（2019年6月8日、特定非営利活動法人 外断熱推進会議（EiPC））／北海道建築賞 作品審査（2019年8月20日～21日、日本建築学会北海道支部）／平成29年度 BIS養成講習会（養成講習会 講師）「開口部の計画、防暑計画」（2019年12月16日、北海道建築技術協会）／卒業設計審査（ゲストクリティーク）（2020年2月10日、北海道科学大学）／在宅医療従事者への建築環境学レクチャー（2020年2月22日、オレンジホームケアクリニック）／Low Exergy System（低エクセルギー利用システム）研究会（毎月1回（2月、3月はCOVID-19により未開催）、LEXS研究会）

町田 佳世子

＜学術論文＞1.精神看護学におけるシミュレーション演習による看護学生の学びの広がり：テキストマイニングを用いた学生のメモの計量的分析から（共著、2019年4月、滋賀医科大学雑誌、第32巻、第2号、pp.1-7）／2.質的研究におけるテキストマイニング活用の利点と留意点－活用研究の検討と頻出単語の特徴をもとに（単著、2019年7月、札幌市立大学研究論文集、第13巻、第1号、pp.47-53）

＜国際会議での発表＞1.Advantages of conducting both qualitative and quantitative analyses on qualitative data in pragmatic research（共同、16th International Pragmatics Conference (Hong Kong)、2019年6月13日）／2.The changing viewpoint of nursing students on simulated nurse-patient conversations（共同、16th International Pragmatics Conference (Hong Kong)、2019年6月13日）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.獨協大学外国語教育研究所紀要2019年第8号（1件、獨協大学）

＜学会役員就任状況＞大学英語教育学会(JACET)北海道支部（研究企画委員）

＜所属学会・研究会＞日本コミュニケーション学会／JACET大学英語教育学会／International Pragmatics Association／日本質的心理学会／全日本博物館学会／産業・組織心理学会／日本語用論学会

＜講演会・講習会活動＞1.札幌医科大学保健医療学部 保健医療総論における講演「人をつなぐ私たちの営み－コミュニケーションについて考える」（2019年4月8日、札幌医科大学保健医療学部）／2.動物園における「ふれあい活動」勉強会における講師、パネリスト「プロデューサーとしての役割への期待」（2019年12月9日、帝京科学大学アニマルサイエンス学科）／3.株式会社アイティ・コミュニケーションズ 新入職員研修「フレッシュマン コミュニケーションセミナー」（2020年4月2日、株式会社アイティ・コミュニケーションズ）

山田 良

＜学術論文＞1.インスタレーションによるアート・イン・ホスピタル（Art in Hospital）の普及－札幌市をフィールドとしたアクションリサーチを通して－（共著、2020年3月、アートミーツケア学会オンラインジャーナル、Vol.11/2020、pp.01-30）

＜作品発表＞1.ホスピタルアート・風の家・製鉄記念室蘭病院（招待・依頼作品）（単独、2019年6



月、北海道室蘭市) / 2. Nottoden Public Art Project設計 (招待・依頼作品) (単独、2019年8月、ノルウェー、ノットオーデン市) / 3. Murgia, Puglia, Italy Project設計 (招待・依頼作品) (単独、2020年3月、イタリア、プーリア州 Murgia landscape, central region of Puglia)

<学会発表> 1. 「空間インスタレーションによるArt in Hospital —《風の家/Breathing House》in 北海道—」 (共同、(社)アートミーツケア学会 全国大会 (近畿大学)、2019年11月)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 環境芸術 (2019年度は3件、環境芸術学会 (学会誌委員: 現在に至る))

<学会役員就任状況> 環境芸術学会 (理事、査読委員 (現在に至る)) / 環境芸術学会 (北海道支部 支部長 (現在に至る)) / 日本建築学会 (北海道支部 設計競技審査委員会主査 (現在に至る))

<所属学会・研究会> 日本バーチャルリアリティ学会 / 感性工学会

<講演会・講習会活動> 関口勇揮記念美術館 屋外展 (2019年7月) / ロシア国立建築藝術大学 公開講座「Ryo Yamada Recent Works」 (2019年10月、ロシア国立建築藝術大学 (会場: ノボシビルスク)) / 北海道インテリアコーディネーター協会 講演「Ryo Yamada Recent Works」 (2020年1月、北海道インテリアコーディネーター協会)

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 豊平川ウォーターガーデン アートプロジェクト (仮) (2020年1月、札幌大通まちづくり会社)

若林 尚樹

<国際会議での発表> 1. Proposed Revision of Airline Corporate Identity Manual: Creating a design that communicates a corporate philosophy formed at inception to an internal and external audience through regional university-industry collaboration (審査付き) (共同、International Association of Societies of Design Research Conference 2019 P.1-P.13、2019年9月 (Manchester, UK))

<学会発表> 1. 展示施設における展示に対する印象の変化の分析 (共同、デザイン学会第66回春期発表大会 (愛知県名古屋市)、2019年6月) / 2. 来園者の主観評価に基づく動物園の評価マップ分析 - 来園者のグループ属性による比較 - (共同、デザイン学会第66回春期発表大会 (愛知県名古屋市)、2019年6月) / 3. 動物園における観覧経路と主観評価との関係 (共同、デザイン学会第66回春期発表大会 (愛知県名古屋市)、2019年6月) / 4. 視覚的対話手法による体験の可視化と体験印象マップの分析 (共同、デザイン学会第66回春期発表大会 (愛知県名古屋市)、2019年6月) / 5. 来館者向けプログラムの調査分析から考えるワークショップでの学び (共同、デザイン学会第66回春期発表大会 (愛知県名古屋市)、2019年6月) / 6. 視覚的対話手法を用いた食体験の共有の試み (共同、デザイン学会第66回春期発表大会 (愛知県名古屋市)、2019年6月) / 7. 食の情緒的価値の再認識に関する研究 (共同、デザイン学会第66回春期発表大会 (愛知県名古屋市)、2019年6月) / 8. プログラムの調査分析から考える学びの視点 (共同、第60回日本動物園水族館教育研究会 (千葉県柏市)、2019年12月)

<学会座長就任状況> 第66回デザイン学会春季研究発表大会 (2019年6月、日本デザイン学会) / 感性フォーラム札幌2020 (2020年2月、日本感性工学会北海道支部)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 芸術科学会論文誌 (1件、芸術科学会)

<学会役員就任状況> 日本デザイン学会 (子どものためのデザイン部会 幹事)

<所属学会・研究会> 日本デザイン学会 / こども環境学会 / 感性工学会 / 芸術科学会 / 動物園水族館教育研究会 / アジアデジタルアートアンドデザイン学会

<講演会・講習会活動> No Maps 2019 北海道をどう変える? 業界ごとのイノベーションを考える (2019年10月17日、Web広告研究会 イノベーション委員会) / ブラッシュアップセミナー「つくってみようシンボルマーク」 (2019年11月19日、札幌市てをつなぐ会) / ACUまなびシェア キッズワークショップ2019「この耳、だれの耳? 動物バイザーを作ろう!」 (2020年7月6日、7日、株式会社クレオテック) / ズウのはなしをしよう耳みみ、どんな耳 (2020年10月12日、円山動物園) / この耳、だれの耳? 動物バイザーを作ろう! (2020年11月9日、金沢動物園)

<専門職者・企業・展覧会等への支援> Webデザイナーテキストブック編集委員長、Webデザイナー検定委員「Webデザイナーテキストブック編集委員長」 (2019年4月~2020年3月、画像情報教育印稿協会) / 上野動物園Zooスクール「動物園のお仕事体験」 (2019年7月6日、7日、上野動物園) / 株式会社AIRDO CIマニュアルVer.3改定 (2019年8月~10月、株式会社AIRDO) / 2019年10月19日、20日に実施の「アナログってなんだろう?」の企画運営実施 (2019年10月19日、20日、株式会社オー



ディオテクニカ) / 円山動物園北極熊館のPR動画の企画、公開 (2020年2月~3月、円山動物園) / 商品パッケージのデザイン及びブランディング開発 (2020年3月~、ス特定非営利活動法人 ステップバイステップ)

小林 重人

<学術論文> 1. Historical Transition of Community Currencies in Japan (共著、2020年3月、International Journal of Community Currency Research, (24, 1 1-10.)

<著書> 1. How Can We Ensure Middle School Students Acquire Economic Thinking?—Developing and Evaluating an Analog Game Involving Smartphones Simulated with LEGO Blocks (共著、2019年10月、Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning. Translational Systems Sciences, Springer (18, 147-156))

<国際会議での発表> 1. A Comparative Study of the Behavior and Evaluation of Analog and Digital Community Currency: Research using Gaming Simulation (共同、Proc. The 50th Conference of the International Simulation and Gaming Association (645-653)、2019年8月、ポーランド・ワルシャワ) / 2. Development of Digital Community Currency for Enhancing Contribution Consciousness to Local Community (共同、Proc. 5th Biennial RAMICS International Congress in Japan (1095-1096)、2019年9月、高山) / 3. Gaming Simulation Analysis on the User Selection of Community Currency (共同、Proc. 5th Biennial RAMICS International Congress in Japan (1093-1094)、2019年9月、高山) / 4. デジタル決済がもたらす人間と貨幣の主客に関する技術哲学的検討 (共同、Proc. 5th Biennial RAMICS International Congress in Japan (340-354)、2019年9月、高山) / 5. Relationship between the Philosophy of the Community Currency Issuing Organization and the Issuing Form: Analysis of a Questionnaire Survey in Japan (共同、Proc. 5th Biennial RAMICS International Congress in Japan (615-637)、2019年9月、高山)

<学会発表> 1. お金の役割を学習できるカードゲームの改良と実践—小学生と中学生を対象とした金融教育 (共著、日本シミュレーション&ゲーミング学会 全国大会論文報告集、2019年春号、108-111、2019、2019年5月)

<学会座長就任状況> RAMICS 2019 Hida-Takayama (2019年9月、Research Association on Monetary Innovation and Community and Complementary Currency Systems)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 経済社会学会年報 (1件、経済社会学会) / 2. シミュレーション&ゲーミング (1件、日本シミュレーション&ゲーミング学会) / 3. International Journal of Community Currency Research (2件、Research Association on Monetary Innovation and Community and Complementary Currency Systems) / 4. SCUジャーナル (1件、札幌市立大学) / 5. 知識共創 (2件、知識共創フォーラム) / 6. RAMICS 2019 Hida-Takayama (10件、5th Biennial RAMICS International Congress in Japan)

<学会役員就任状況> 日本シミュレーション&ゲーミング学会 (学術委員会、理事) / 進化経済学会 北海道・東北部会 (事務局長)

<学術集会運営> RAMICS 2019 Hida-Takayama (Research Association on Monetary Innovation and Community and Complementary Currency Systems) / 日本シミュレーション&ゲーミング学会 春季及び秋季全国大会 (日本シミュレーション&ゲーミング学会)

<所属学会・研究会> 情報処理学会 / 進化経済学会 / 地域活性学会 / 社会・経済システム学会 / 日本シミュレーション&ゲーミング学会 / 経済社会学会 / 経済教育学会

<講演会・講習会活動> 第71回J-BEANSセミナー「地域への愛着と貢献意識を高める仕組みづくり」 (2019年6月20日、北陸先端科学技術大学院大学) / 能美市立寺井中学校体験学習講座「カードゲームで学ぶお金のしくみ」 (2019年7月、能美市立寺井中学校)

椎野 亜紀夫

<学術論文> 1. 保育施設の園外活動による都市公園利用様態と利用者属性との関係性 (単著、2019年5月ランドスケープ研究、Vol.82、No.5、pp.487-492) / 2. まちづくり市民活動団体の構成員の担う役割と参加動機の関係性 (共著、2019年7月日本建築学会計画系論文集、第84巻、第761号、pp.1613-1623)



＜国際会議での発表＞1. Analysis of children's future map drawings in Sapporo City (単独、The 29th International Cartographic Conference、2019年7月)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. ランドスケープ研究 (3件、日本造園学会) / 2. ランドスケープ研究 (オンライン論文集) (7件、日本造園学会) / 3. 日本都市計画学会学術研究論文集 (3件、日本都市計画学会) / 4. 日本建築学会計画系論文集 (2件、日本建築学会) / 5. 日本建築学会技術報告集 (1件、日本建築学会) / 6. こども環境学研究 (2件、こども環境学会)

＜学会役員就任状況＞日本造園学会 (北海道支部副支部長)

＜学術集会運営＞日本造園学会北海道支部大会 (日本造園学会)

＜所属学会・研究会＞日本造園学会 / 日本都市計画学会 / 日本建築学会 / こども環境学会

＜講演会・講習会活動＞札幌市立常盤小学校への出前授業 (4年生、総合的な学習の時間) 「札幌市の都市公園について」 (2019年9月5日、札幌市立常盤小学校長)

武田 亘明

＜学術論文＞1. グローバル循環型人材育成プログラムの開発 (共著、2019年7月、日本教育工学会研報告集、JSET19-3、pp.35-40)

＜学会座長就任状況＞第45回 全日本教育工学研究協議会 全国大会島根大会 (2019年10月18、19日、分科会「教科指導におけるICT活用」座長)

＜学会役員就任状況＞日本教育工学協会 (理事) / 教育とコンピュータ利用研究会 (副会長・北海道支部長)

＜所属学会・研究会＞情報処理学会 / 日本教育工学会 / 日本教育工学協会 / 北海道中国哲学会 / 教育とコンピュータ利用研究会

＜講演会・講習会活動＞「社会イノベーションとこれからの学びのあり方」 (2019年12月7日、日高教育振興会主催 令和元年度日高教育振興会研修会 基調講演 (北海道日高管内の校長、教頭、教員、教育委員など対象講演会))

張 浦華

＜作品発表＞1. さざ波 (審査有り) (単独、2019年4月27日～5月27日、ポートランド市 日本庭園美術館) / 2. 祭 (審査有り) (単独、2019年4月27日～5月27日、ポートランド市 日本庭園展) / 3. 銀線上のホリホック (花器・生け花) (単独、2019年7月28日～、オンライン展) / 4. RED MOON TEA BOWL (単独、2019年9月28日～10月4日、Kyoto University of Art & Design Gallery Aube) / 5. FUSION WATER and EARTH TEA BOWL (単独、2019年10月18日～23日)、DREAM GALLERY at DREAM FOREST ART CENTER) / 6. 抹茶茶碗19点 (審査有り) (単独、2019年10月26日～23日、桃園市A8 ART CENTER) / 7. 引力 (3足茶碗) 5点 (審査有り) (単独、2019年10月26日～23日、桃園市A8 ART CENTER) / 8. 秋意 (審査有り) (単独、2019年10月26日～23日、桃園市A8 ART CENTER) / 9. 胡桃鉢 (単独、2019年10月25日～2020年1月14日、北星信用金庫 ウィンドウギャラリー) / 10. 緑色四角花瓶 (単独、2019年10月25日～2020年1月14日、北星信用金庫 ウィンドウギャラリー) / 11. 金彩皿 (単独、2019年10月25日～2020年1月14日、北星信用金庫 ウィンドウギャラリー) / 12. 花器 (汐音) (単独、2019年11月5日～10日、ギャラリー大通美術館) / 13. 黒月 (茶碗) (単独、2019年11月5日～10日、ギャラリー大通美術館) / 14. 凧 (茶碗) (単独、2019年11月5日～10日、ギャラリー大通美術館) / 15. 天河 (茶碗) (単独、2019年11月5日～10日、ギャラリー大通美術館) / 16. 梨地茶碗 (単独、2019年11月5日～10日、ギャラリー大通美術館) / 17. 赤帯ある茶碗 (単独、2019年11月5日～10日、ギャラリー大通美術館) / 18. 青帯ある茶碗 (単独、2019年11月5日～10日、ギャラリー大通美術館) / 19. 三足茶碗 (単独、2019年11月5日～10日、ギャラリー大通美術館) / 20. DANCE of the WIND TEA BOWL (単独、2019年12月3日～10日、Tianjin Academy of Fine Arts Gallery) / 21. TRACES of WAVES TEA BOWL (単独、2019年12月23日～28日、Taipei, NTNU Teh-Chun Gallery)

＜国際会議での発表＞1. 抹茶茶碗に映る日本の美意識」 (審査付論文) (単独、桃園市A8 ART CENTER、2019年11月)

＜学会発表＞1. セラミックデザインにおける釉薬研究とデザイン制作 (単独、SCU産学官金研究交流会、2019年11月27日) / 2. センサーを用いた円山動物園内の注意喚起・禁止サインに関する提案 (共



同、感性フォーラム札幌2020、2020年2月15日)

<所属学会・研究会>日本デザイン学会／日本感性工学会／北海道陶芸会

<講演会・講習会活動>台北桃園市A8 ART CENTERで開催された「玩美元素-重複×秩序」展にて招待講演を行った。「抹茶茶碗に映る日本の美意識」(2019年11月1日)

<専門職者・企業・展覧会等への支援>札幌大通りギャラリー美術館で行われた作品展のためのハガキのデザイン(2019年7月、北海道陶芸会)／ANBD2019年展について、中国大陸、台湾ANBD協会との連絡調整翻訳などを行った。(ANBD)

藤木 淳

<学術論文>1.回転する鏡による視覚効果の検討—残像と反射の融合による新規的質感表現のための基礎実験—(単著、2019年8月、SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING 2020 札幌市立大学論文集)

<国際会議での発表>1.Sence of non-presence:Visualization of invisible presence (ACM SIGGRAPH Asia 2019 (アジア最大のCG・インタラクションに関する国際学会)、2019年11月)

<学会発表>1.「荒木なびき」表現に着目した三次元CGにおける非写実的頭髪表現手法の開発(共同、Visual Computing 2019 (国内最大のCG学会)、2019年6月)／2.電気不要!視る方向で色が変わる立体構造(単独、イノベーション・ジャパン2019、2019年8月)／3.単語の構成文字に対する人間の認知特性に着目したアナログゲームデザイン(共同、Entertainment Computing 2019、2019年9月)／4.情報とダメージの駆け引きを基軸とするゲームシステムデザイン(共同、Entertainment Computing 2019、2019年9月)／5.人間の認知負荷に着目した、ゲームの難易度に応じたレベル生成アルゴリズムの開発に向けて(共同、芸術工学会 2019年度 秋期大会、2019年10月)／6.人間の振る舞いに着目した音声アシストに対するコミュニケーションの円滑化(共同、芸術工学会 2019年度 秋期大会、2019年10月)／7.磁性流体を用いた動物的表現の検討(共同、芸術工学会 2019年度 秋期大会、2019年10月)／8.「P055E55510N」(単独、札幌市立大学・道総研研究活動展『知ち活いきゼミナール(体験型)、2019年10月)／9.発電をデザインする—楽しむ発電、身に着ける発電—(単独、SCU産学官金研究交流会、2019年11月27日)／10.フラッグクエスト(単独、東京藝術大学 芸術情報センターオープンラボ「装置とは限らない」展、2019年12月)／11.「ぐるぐるぴた」展(単独、サッポロチカホ、2019年12月)／12.モナリザ.jpg:画像圧縮技術の提示を目的とした作品制作(共同、感性フォーラム札幌2020、2020年2月)／13.知識・経験が遊びの判断基準に及ぼす効果の検証(共同、感性フォーラム札幌2020、2020年2月)／14.異なる物質に対する蟻の行動の違いの考察—蟻をメディアとした造形表現手法の確立に向けて—(共同、感性フォーラム札幌2020、2020年2月)／15.ボードゲームにおける年齢とゲームデザインの関係性の分析(共同、感性フォーラム札幌2020、2020年2月)／16.外部電源不要・不特定交換型ソーシャル音楽システムの検討(共同、感性フォーラム札幌2020、2020年2月)／17.引っ張る動作に着目したゲームデザインの検討(共同、感性フォーラム札幌2020、2020年2月)／18.観念的タイムマシンの制作(共同、感性フォーラム札幌2020、2020年2月)／19.視線カスケード現象を応用した、鑑賞者の感情を効果的に引き出すキャラクターの運動マッチングシステムの提案(共同、感性フォーラム札幌2020、2020年2月)

<論文査読・学会抄録査読>1.Asia Digital and Design Association論文誌(1件、Asia Digital and Design Association)／2.日本バーチャルリアリティ学会論文誌(2件、日本バーチャルリアリティ学会)／3.画像電子学会誌(1件、画像電子学会)／4.SIGGRAPH 2014 Technical Papers(2件、ACM SIGGRAPH)／5.芸術科学会論文誌(1件、芸術科学会)

<学術集会運営>日本バーチャルリアリティ学会2021年全国大会(日本バーチャルリアリティ学会)

<所属学会・研究会>日本バーチャルリアリティ学会／感性工学会

<講演会・講習会活動>発電をデザインする—楽しむ発電、身に着ける発電—(2019年11月27日、SCU産学官金研究交流会)

松井 美穂

<著書>1.『比喩—英米文学の視点から』(共著、2019年5月、英宝社、pp.211-226)／2.“Ride to Harlem, Alligator, Jackson, Mississippi”——ユードラ・ウェルティとパワーハウス(単著、2020年3月、日本アメリカ文学会北海道支部学会誌『北海道アメリカ文学』、第36号、pp.2-3, pp.37-55)



＜学会発表＞1. “Ride to Harlem, Alligator, Jackson, Mississippi” ——ユードラ・ウェルティとパワーハウス（シンポジウム司会と講演）（単独、日本アメリカ文学会第29回北海道支部大会（於：北海学園大学）シンポジウム『他者と／を生きるーアメリカ文学と人種』、2019年12月）

＜学会役員就任状況＞日本アメリカ文学会北海道支部（幹事）／日本英文学会北海道支部（理事、企画委員）

＜所属学会・研究会＞日本英文学会／日本英文学会北海道支部／日本アメリカ文学会／日本ウィリアム・フォークナー協会／Carson McCullers Society／アメリカ学会／カナダ文学会

丸山 洋平

＜学術論文＞1.日本の人口変動と曹洞宗寺院周辺の人口分析（単著、2019年12月、東北福祉大学仏教文化研究所紀要、第1号、pp.1-16.）

＜著書＞1.都市・地域政策研究の現在（共著、2019年7月、一般財団法人地域政策研究所、pp.189-202）

＜国際会議での発表＞1.Substantive Regional Differences of Parent-Child Co-Residence in Japan -Considered with the Influence of Migration-（単独、10th International Conference on Population Geographies, Loughborough University, England、2019年7月）

＜学会発表＞1.人口移動が親子同居率に与える影響～都道府県別同居可能率と同居実現率の算出～（単独、第8回人口移動調査研究プロジェクト、国立社会保障・人口問題研究所、2019年5月）／2.子世代の人口移動が親子同居率の地域的差異に与える影響（単独、日本人口学会第71回大会、香川大学、2019年6月）／3.人口移動が親との同居率の地域差に与える影響の考察ー人口静態と人口動態との関係ー（単独、2019年度経済統計学会北海道支部研究会、北海学園大学、2019年6月）／4.親との同居選択率と同居率の違いー人口移動による影響の分析ー（単独、日本の家族300年研究会、神戸大学、2019年7月）／5.人口移動が親との同居率の地域差に与える影響の検討（単独、経済統計学会2019年度全国研究大会、東北学院大学、2019年9月）／6.札幌市の人口移動ー道内・道外移動の男女差に着目してー（単独、日本人口学会2019年度第1回東日本地域部会、2019年11月）／7.福井県高浜町の人口移動と家族形成-原発関係労働者の就業移動の影響（単独、日本人口学会2019年度中部地域部会、2019年12月）

＜学会座長就任状況＞日本人口学会第71回大会（2019年5月31日、日本人口学会）／2019年度第1回日本人口学会東日本地域部会（2019年11月24日、日本人口学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.人口問題研究（1件、国立社会保障・人口問題研究所）

＜学会役員就任状況＞人口学研究会（総務幹事（2018年1月～現在に至る））

＜学術集会運営＞2019年度第1回日本人口学会東日本地域部会（日本人口学会（2019年11月24日））

＜所属学会・研究会＞日本人口学会／日本家族社会学会／人文地理学会／日本地理学会／日本都市計画学会／経済統計学会／北海道社会学会／人口学研究会

＜講演会・講習会活動＞No Mapsの「知る・語る 地域創生と学校の魅力向上」への登壇「なぜ地域創生が必要なのか？」（2019年10月17日、北海道総合政策部地域振興課）／第24回厚生政策セミナー「人口減少時代における地域政策の諸課題と今後の方向性」での登壇「地域人口指標の客観的な解釈とは？-人口移動と居住・家族形成との関係を手掛かりにして-」（2020年1月30日、国立社会保障・人口問題研究所）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞高浜町職員を対象とした研修「高浜町の人口動態分析と将来人口推計の職員向け報告会」（2019年7月9日、高浜町）／札幌市における就業人口の将来推計への助言（企業の人手不足対策）（2019年8月～12月、札幌市経済企画局）／神奈川県人口推計・分析共同研究会での助言（2019年9月～2020年3月、神奈川県）／Ixia会（若手道庁職員向け勉強会）での講演「Ixia会第9回勉強会「北海道の人口と家族の将来像」」（2019年10月8日、北海道庁）／新規教室受講者、体験会受講者のアンケート分析（2019年12月～2020年3月、さっぽろ健康スポーツ財団）

三谷 篤史

＜学術論文＞1.Development of Human Tongue Model for Mealtime Assistant Training Using Oral Care Simulation Model（共著、2019年7月、International Journal of Automation Technology, Vol. 13, No. 4, pp.499-505）



＜学会発表＞1.特別養護老人ホーム入居者の口腔状態と機能および循環器疾患有無と内服薬数の関連（共同、第55回日本循環器病予防学会学術集会、久留米シティプラザ、福岡、2019年5月）／2.口腔ケアシミュレータおよびその手技記録ソフトウェアの第二プロトタイプ開発—センサ部の生体類似度向上と記録装置の小型化—（共同、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門講演会2019（ROBOMECH2019）、広島国際会議場、広島、2019年6月）／3.口腔ケアシミュレーション用舌モデルへのMEMS 触覚センサ搭載と接触検知（共同、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門講演会2019（ROBOMECH2019）、広島国際会議場、広島、2019年6月）／4.介護福祉施設入居者の口腔の状態と機能の実態および口腔指標に関連する要因 ～口腔内アセスメントガイドとオーラル・ディアドコキネシスを使用して～（共同、日本老年看護学会第24回学術集会、仙台国際センター、宮城、2019年6月）／5.力覚センサを用いた口腔ケアシミュレータのための計測アルゴリズムの構築（共同、第7回看護理工学会学術集会、沖縄コンベンションセンター、沖縄、2019年6月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Journal of Computer-Aided Design & Applications（2件、Computer-Aided Design & Applications）／2.Proceedings of International Conference on Automation Science（2件、IEEE/RAS）／3.International Journal of Automation Technology（1件、Fuji Technology Press. LTD.）／4.Proceedings of International Conference on Robotics and Biomimetics（3件、IEEE/RAS）／5.Materials（1件、MDPI Journal）

＜学会役員就任状況＞精密工学会北海道支部（商議員）／日本機械学会（ロボティクス・メカトロニクス部門 第2地区技術委員会 幹事）／日本トライボロジー学会（北海道トライボロジー研究会 主査）

＜学術集会運営＞2019年度精密工学会北海道支部学術講演会(函館工業高等専門学校)(精密工学会北海道支部)

＜所属学会・研究会＞日本ロボット学会／日本機械学会／アメリカ電気電子学会(IEEE)/ロボティクス・オートメーション部門(RAS)およびパワー・エネルギー部門(PES)／精密工学会／計測自動制御学会／日本デザイン学会／看護理工学会／日本感性工学会／日本トライボロジー学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞第17回日本口腔ケア協会学術大会にて専門職を対象とした講演の実施「シミュレーション教育における他職種連携の新たなデザイン」（2019年8月4日、日本口腔ケア学会）／第6回北海道地区セミナーにおいて、専門職を対象とした講演の実施「デザインと看護の連携・協同で看護・介護の基礎技術教育を変える～口腔ケアと食事介護に関するシミュレータの開発～」（2019年9月14日、日本口腔看護研究会）／国際福祉機器展2019において、共同開発したクッションを展示（2019年9月25日～27日、フィールド・クラブ株式会社、(一社)保健福祉広報協会）／口腔ケアシミュレータのポスターおよび実物の展示発表を行った（2019年11月27日、SCU産学官金研究交流会実行委員会）／研究会の主査として、道内トライボロジー研究者を対象とした講習会／見学会の企画「令和元年度第1回研究会」（2020年2月5日、北海道トライボロジー研究会）

森 朋子

＜学術論文＞1.コカナの震災復興から見たネワール集落の民家再建の実態と課題，ネパール地震後の文化遺産保護国際協力事業調査報告（単著、2019年10月、日本都市計画学会都市計画論文集，54(3)，pp.399 - 404）

＜国際会議での発表＞1.The study on diverse Cultural Landscapes in Biratori, Hokkaido, through its unique history as Ezo-ti and Hokkaido（招待講演）（単独、2019年10月、in Proceedings of Asian Cultural Landscape Association Conference, pp.62-63（ACLA, マレーシア・ジョホールバル））／2.Astamatrika in Newar Settlements, Kathmandu Valley（依頼講演）（単独、2019年12月、International Researchers Forum: Perspectives of Research for Intangible Cultural Heritage - towards a Sustainable Society（アジア太平洋無形文化遺産研究センター、東京文化財研究所））／3.The study on the conservation of damaged historic settlements in Kathmandu Valley（単独、2019年12月、The 15th Conference of Asian and African City Planning（日本都市計画学会、東京都市大学）pp.77-82）

＜学会発表＞1.灌漑システムから見たネワール集落の土地利用と其の変化、ネパール・カトマンズ盆地の文化的景観に関する研究（単独、2019年度日本建築学会北海道支部研究報告会 pp.291-294、2019年6月）／2.コカナにおける被災した伝統的民家の再建実態（被災後4年）、2015年ネパール地



震後の世界遺産暫定リスト・コカナにおける被災状況調査報告 その11 (単独、2019年度日本建築学会大会 (北陸) pp.85-86、2019年9月) / 3.カトマンズ盆地内ネワール集落の無形文化要素分析による集落の位置づけに関する研究、2015年ネパール地震後の世界遺産暫定リスト・コカナにおける被災状況調査報告 その12 (共同、2019年度日本建築学会大会 (北陸) pp.87-88、2019年9月) / 4.コカナの震災復興から見たネワール集落の民家再建の実態と課題、ネパール地震後の文化遺産保護国際協力事業調査報告 (単独、日本都市計画学会大会 (横浜)、2019年11月)

<論文査読・学会抄録査読> 1.日本建築学会計画系論文集、論文査読 (1件、日本建築学会) / 2.the 57th IFLA World Congress (IFLA2020)、国際会議抄録査読 (4件、International Federation of Landscape Architects)

<学術集会運営> 第92回日本建築学会北海道支部研究発表会、2019年6月29日 (日本建築学会北海道支部) / 芸術工学会2019年度秋期大会 (札幌)、2019年10月26日 (芸術工学会大会) / 令和元年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会、2019年11月16日 (日本都市計画学会北海道支部) / 国際エコモスのHIAの改訂版についての討議、2020年1月24日 (日本エコモス国内委員会)

<所属学会・研究会> 日本建築学会 / 日本都市計画学会 / 日本エコモス国内委員会 / Asian Cultural Landscape Associations

<講演会・講習会活動> 日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会連続企画『わたしの職能』第13回にて講演「『文化遺産の保全と都市計画』～歴史・文化・自然を活かしたまちづくり～」(2019年5月21日、日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会)

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 「文化遺産国際協力拠点交流事業 (ネパールの被災文化遺産保護に関する技術的支援事業)」への支援 (2019年度 (継続)、東京文化財研究所) / 「ユネスコ・日本信託基金・世界遺産ルンビニ保存管理強化事業」への支援 (2019年度 (継続)、ユネスコ・カトマンズ事務所)

山田 信博

<学術論文> 1.問題発見を目的としたまちづくりに関するコミュニティの研究 ワークショップを中心とした手法の検討 (共著、2019年6月、日本建築学会、北海道支部研究報告集、第92号計画系、pp.299-300) / 2.高経年団地におけるコミュニティ支援のあり方に関する検討 札幌市南区の集約化計画団地を対象として (共著、2019年6月、日本建築学会、北海道支部研究報告集、第92号計画系、pp.239-240) / 3.高経年団地におけるコミュニティ支援方策検討のための実証実験「あけぼのテラス」 公的集合住宅団地の集約化手法に関する研究 その3 (共著、2019年9月、日本建築学会、全国大会学術講演梗概集、F-1、pp.1231-1232) / 4.高経年団地のコミュニティ支援を目的とした実証実験の評価と考察 公的集合住宅団地の集約化手法に関する研究 その4 (共著、2019年9月、日本建築学会、全国大会学術講演梗概集、F-1、pp.1233-1234) / 5.ビジネスホテル客室への内窓導入後の熱環境と宿泊客の暖房使用実態 (共著、2019年9月、日本建築学会、全国大会学術講演梗概集、D-2、pp.201-202) / 6.ビジネスホテル客室への内窓導入後の熱環境と宿泊客の暖房使用実態 (査読付論文) (共著、2019年12月、日本建築学会、環境系論文集、Vol.84 No.766、pp.1077-1084) / 7.多世代間交流の前後における高齢者イメージの変容 (査読付論文) (共著、2020年3月、北海道公衆衛生学雑誌 Vol.33 No.2、pp.79-83)

<学会発表> 1.高経年団地におけるコミュニティ支援のあり方に関する検討 札幌市南区の集約化計画団地を対象として (単独、日本建築学会 北海道支部、2019年6月) / 2.高経年団地のコミュニティ支援を目的とした実証実験の評価と考察 公的集合住宅団地の集約化手法に関する研究 その4 (単独、日本建築学会全国大会学術講演、2019年9月)

<論文査読・学会抄録査読> 1.都市学研究 (3件、北海道都市地域学会) / 2.日本建築学会住宅系報告会 (1件、日本建築学会)

<学会役員就任状況> 北海道都市地域学会 (理事、論文編集委員)

<所属学会・研究会> 日本建築学会 / 日本居住福祉学会 / 北海道都市地域学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 真駒内のまちづくりに関する事例を札幌市、UR都市再生機構と協議している (真駒内まちづくり協議会) / 河川護岸デザイン開発に向けた研修 (共和コンクリート工業)



横溝 賢

＜学術論文＞1.Re-Designing Design - Design Principles Based on Historical Analyses of Human Emotions and Values (共著、2019年9月、International Association of Societies of Design Research Conference 2019, Design Revolutions)

＜国際会議での発表＞1.Re-Designing Design - Design Principles Based on Historical Analyses of Human Emotions and Values (共同、International Association of Societies of Design Research Conference 2019、2019年9月) / 2.World Connection Project: Education for Sustainable Society in a Global Setting. ~A Case Study of Designing an Urge Driven Learning and Making Activity (共同、FabLearn Asia 2020、2020年1月)

＜学会発表＞1.ランプリングデザイン運動が実践者に与える影響 (共著、日本デザイン学会第66回春季研究発表大会pp20-21、2019年7月) / 2.自然に対するアンテナに変化をもたらすきっかけのデザイン (共著、2019年度日本デザイン学会秋季企画大会 学生プロポジション、2019年11月) / 3.林業女子、絵本を作る！ (共著、2019年度日本デザイン学会秋季企画大会、2019年11月) / 4.共創のうまれかた (共著、共創学会第3回年次大会、2019年12月)

＜学会座長就任状況＞第66回日本デザイン学会春季研究発表大会 (2019年6月28日～30日、日本デザイン学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本デザイン学会 作品論文 (1件、日本デザイン学会)

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会 (理事、日本デザイン学会理事会) / 日本デザイン学会 (第1支部会 支部長、日本デザイン学会 第1支部会) / 日本デザイン学会 (主査、日本デザイン学会 情報デザイン研究部会)

＜学術集会運営＞2019年度 第1支部会 山形 (秋季企画大会合同開催) 「おいしいデザイン」 (日本デザイン学会 第1支部会、東北芸術工科大学 (幹事校))

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会 / 日本工学教育協会 / 共創学会

＜講演会・講習会活動＞公立はこだて未来大学 情報デザイン特論, テーマ「共創をさがす」 (2019年6月14日 3日間、公立はこだて未来大学 岡本誠) / 公立はこだて未来大学 全学年・講演「デザインをやりつづける」 (2019年6月14日 3日間、公立はこだて未来大学) / 語らうデザイン 01 (2019年7月、科研・社会実践型ラボラトリー) / キッズデザインアカデミー・親子でつくろう！縄文紙器ワークショップ (2019年7月27日、八戸工業大学感性デザイン学部) / 語らうデザイン 02 (2019年8月、科研・社会実践型ラボラトリー) / 青森県八戸市櫛引八幡宮・山の日ワークショップ「オリジナル八幡馬をつくろう！」の実施「山の日・デザインワークショップ, 紙で作ろうオリジナル八幡馬」 (2019年8月7日、櫛引八幡宮) / 青森市浪岡地区「浪岡上を中心とした学官民連携デザインワークショップ」実施「いねいね！浪岡をさがそう！ワークショップ」 (2019年9月7日、青森市役所文化財課) / 東北芸術工科大学1年生 ユーザーエクスペリエンスデザイン演習1 (1年生) にて特別講演 (2コマ)、内省を学ぶワークショップを実施「UXと地域デザイン: わたしとあなた, わたしとなかまとの活動のデザインの話」 (2019年11月19日、東北芸術工科大学プロダクトデザイン学部 酒井聡, 柚木泰彦) / イヴァンイリイチ勉強会01 (2019年12月、情報デザイン研究部会) / 八戸工業大学1年生 インフォグラフィクス論の集中講義 (15週分) 実施「インフォメーショングラフィクス論」 (2019年12月23日 3日間、八戸工業大学感性デザイン学部) / イヴァンイリイチ勉強会02 (2020年1月、情報デザイン研究部会) / イヴァンイリイチ勉強会03 (2020年2月、情報デザイン研究部会) / 八戸工業大学2年生 ビジュアルストーリーテリング論の集中講義 (15週分) 実施「ビジュアルストーリーテリング論」 (2020年2月5日 3日間、八戸工業大学感性デザイン学部)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞情報デザイン研究部会幹事として同部会の運営に携わる (2019年度 1年間、情報デザイン研究部会) / NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会の監事として同団体の運営に携わる (2019年度 1年間、NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会) / 岩手大学が運営する産官学民連携プラットフォーム岩手ネットワークシステムの研究部会、INS SDGs研究会の発足及び運営に携わる。 (2019年度 1年間、INS SDGs研究会) / 日本デザイン学会第1支部会の支部長として同支部会の運営に携わる (2019年度 1年間、JSSD第1支部会) / 日本デザイン学会理事として同学会の運営に携わる (2019年度 1年間、日本デザイン学会) / 日本デザイン学会特集号102号「社会実践のデザイン学」の企画編集に携わる (2019年度 1年間、日本デザイン学会) / 櫛引八幡宮オリジナル観光パンフのデザイン開発 (2019年4月～10月、櫛引八幡宮) / JSTによるSDGs の達成に向けた



競争的研究開発助成プログラム応募にむけたプロジェクト準備検討会「INS SDGs研究会」（2019年6月18日、INS SDGs研究会、岩手ネットワークシステム）／科研基盤研究C デザイン実践研究方法の研修会「語らうデザイン01,02」（2019年6月28日、8月7日、社会実践型ラボラトリー）／八戸圏域の産学連携促進事業のオープニングセミナー企画開催「H.O.P「はちのへオープンイノベーションプラットフォーム発足記念講演会」」（2019年9月17日、八戸オープンイノベーションプラットフォーム）／青森市浪岡地区オリジナルマスキングテープのデザイン開発（2019年9月～3月、青森市文化財課）／2020年度日本デザイン学会秋季企画大会と合わせて開催された第一支部大会の企画運営に携わる「2019年度JSSD秋季企画大会「おいしいデザイン」」（2019年11月8日 2日間、JSSD第1支部会）／情報デザイン研究部会主催 I.イリイチ勉強会 第1回～3回「イヴァンイリイチ勉強会」（2019年12月11日 3日間、情報デザイン研究部会）

石田 勝也

＜所属学会・研究会＞芸術科学会／環境芸術学会／SIAFラボ

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞これまで行われてきたラジオでのアイヌ語講座をメディアを広げて検討する「令和元年度アイヌ語ラジオ講座検討委員会」（2019年6月14日、公益財団法人アイヌ民族文化財団）／動物園の森の今後の仕様に関する情報技術からのアプローチ「動物園の森研究」（2019年7月～2020年2月、札幌円山動物園）

大島 卓

＜学会発表＞1.札幌市円山動物園 北海道ゾーンのサーマルランドスケープデザイン（共同、日本建築学会（北陸）（金沢工業大学）、2019年9月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本造園学会誌『ランドスケープ研究』Vol.83 No.5（1件、公益社団法人日本造園学会）

＜学術集会運営＞第92回日本建築学会 北海道支部研究発表大会（日本建築学会北海道支部）／2019年度 日本造園学会北海道支部大会（公益社団法人日本造園学会北海道支部）

＜所属学会・研究会＞日本造園学会／日本建築学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞産学官連携のデザインワークショップへの参加および運営「広域型産学官連携プロジェクト「日本の空港と空旅のミライをデザインする」サマーキャンプ2019」（2019年8月26日、広域型産学官連携プロジェクト「日本の空港と空旅のミライをデザインする」サマーキャンプ2019事務局）

大淵 一博

＜作品発表＞1.芸術工学会秋期大会2019 参加・講演エントリーシステム（単独、2019年4～12月、芸術工学会秋期大会2019 実行委員会）

＜学会発表＞1.介護福祉施設入居者の口腔機能と多剤薬剤投与との関係ー内服中の薬剤種類数とオーラル・ディアドコキネシス測定結果との関係からー（共同、第16回日本口腔ケア学会学術大会（於 愛知学院大学）、2019年4月）／2.特別養護老人ホーム入居者の口腔状態と循環器疾患有無と内服薬数の関連（共同、第55回日本循環器病予防学会学術集会（於 久留米シティプラザ）、2019年5月）／3.介護福祉施設入居者の口腔の状態と機能の実態および口腔指標に関連する要因～口腔内アセスメントガイドとオーラル、ディアドコキネシスを使用して～（共同、日本老年看護学会第24回学術集会（於 仙台国際センター）、2019年6月）／4.介護福祉施設入居者のOAGと口腔リハビリテーションとの関係～口腔内アセスメントガイドとオーラル・ディアドコキネシスを使用して～（共同、第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会（於 新潟コンベンションセンター）、2019年9月）

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会北海道支部（幹事（庶務・会計担当））

＜学術集会運営＞感性フォーラム2020（日本感性工学会北海道支部）／日本感性工学会北海道支部学生会（日本感性工学会北海道支部）／芸術工学会秋期大会2019（芸術工学会）

＜所属学会・研究会＞電子情報通信学会／日本感性工学会／日本医療情報学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞パッケージデザイン制作協力（2019年4月、社会福祉法人白老宏友会 多機能型事業所ポプリ）／札幌市長グリーンディングカード デザイン審査会（2019年10月1日、札幌市国際部）／システム開発協力（通年、札幌の美しい景観を考える会）／イベント企画・運



営・デザイン制作協力（通年、北海道グレートサンタラン実行委員会）／ソフトウェア利用に関する個別指導等・Webサイトデザイン制作協力（随時、札幌イメージコーディネート研究会）

片山 めぐみ

＜論文査読・学会抄録査読＞1.デザイン学研究（7件、日本デザイン学会）／2.日本建築学会学計画系論文集（2件、日本建築学会）／3.ランドスケープ研究（1件、日本造園学会）／4.展示学（1件、日本展示学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会北海道支部（都市計画委員会委員）／日本建築学会北海道支部（日本建築学会北海道支部研究発表会実行委員会）／人工知能学会（「仕掛学」オーガナイズドセッション組織委員）

＜学術集会運営＞2012年度日本建築学会北海道支部研究発表会（日本建築学会）／2012年度SAGA・アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い（SAGA・アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い）／2019年度日本建築学会北海道支部研究発表会（日本建築学会）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本デザイン学会／日本社会福祉学会

＜講演会・講習会活動＞自分らしく地域と関わるセカンドライフのススメ「「令和的 幸せ論」～肩ひじ張らない地域貢献～（奈井江町）」（2019年10月12日、21世紀総合研究所（北海道受託事業））／自分らしく地域と関わるセカンドライフのススメ「「令和的 幸せ論」～肩ひじ張らない地域貢献～（函館市）」（2019年10月16日、21世紀総合研究所（北海道受託事業））／自分らしく地域と関わるセカンドライフのススメ「「令和的 幸せ論」～肩ひじ張らない地域貢献～（札幌市）」（2019年10月31日、21世紀総合研究所（北海道受託事業））

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌市在宅福祉活動団体連絡会研修会講師「我が事・丸ごとを楽しむ地域の支え合いの居場所づくり」（2019年5月14日、札幌市在宅福祉活動団体連絡会）

金 秀敬

＜国際会議での発表＞1.4. Rethinking Design-Doing Focused on Design-Learning（単独、Design Principles & Practices(於Saint Petersburg, Russia)3.1-3, 2019、2019年3月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.International Journal of Economic Policy in Emerging Economies（1件、Economic Policy in Emerging Economies）／2.The REDO biannual Cumulus Conference Proceedings（4件、Cumulus Association）／3.日本感性工学会論文集（1件、日本感性工学会）／4.International Journal of Affective Engineering（4件、日本感性工学会）／5.International Conference on Tangible, Embedded and Embodied Interactions Proceedings（1件、Association for Computing Machinery）／6.International Conference on Engineering and Product Design Education（4件、International Design Society）／7.SCU Journal of Design & Nursing（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞International Conference on Design & Emotion (Chicago, USA)（学生ボランティア）／International Conference on Kansei Engineering & Emotion Research (Paris, France)（学生ボランティア）

＜学術集会運営＞感性フォーラム札幌2019 学生会 第7回研究発表会（感性工学会北海道支部）

＜所属学会・研究会＞日本感性工学会／日本デザイン学会／The Design Society／The Design Principles & Practices Research Network

＜講演会・講習会活動＞北海道中小企業家同友会産学官連携研究会HoPE8月例会（2019年8月、北海道中小企業家同友会産学官連携研究会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞現職デザイナーと院生を対象し、AR/VR/MR/XR技術を中心とした10日間のデザインレクチャープログラム「AR/VR/MR/XR in art and design」（2019年11月14日～28日、Far Eastern Federal University, Russia）

小宮 加容子

＜学会発表＞1.遊びイベント「ぴちゃ、ぼちゃ、ざぶん？」を通しての「アタマ・ココロ・カラダ」の視点による遊びの考察—頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド（Connekid）」の取り組み事例の報告(22)—（共同、日本デザイン学会第66回研究発表会（於名古屋市立大学）、2019年6月）／2.遊



びイベント「北海道ってどんな色？君だけのうちわ作り」から見る子どもの色選択とテーマ設定の分析
 ー頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド (Connekid)」の取組み事例の報告(23)ー (共同、日本
 デザイン学会第66回研究発表会 (於名古屋市立大学)、2019年6月) / 3.遊び「届けよう！プレゼ
 ント」を通しての導入と結びの考察ー頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド (Connekid)」の
 取組み事例の報告(24)ー (共同、日本デザイン学会第66回研究発表会 (於名古屋市立大学)、2019年
 6月)

＜学術集会運営＞第66回日本デザイン学会春季研究発表大会 (概要編集委員会幹事)

＜講演会・講習会活動＞知活 (ちいき) ゼミナール「①授業を通じての授産施設「かたるべの森」木
 工製品のデザイン提案、②地域創生に向けたユニバーサル製品 (プロトタイプ) の提案」 (2019年10
 月12日、札幌市立大学・北海道立総合研究機構) / ビジネスEXPO「①授業を通じての授産施設「か
 たるべの森」木工製品のデザイン提案、②地域創生に向けたユニバーサル製品 (プロトタイプ) の提
 案」 (2019年11月7日、北海道 技術・ビジネス交流会実行委員会) / SCU産学官金研究交流会「「ア
 タマ・ココロ・カラダ」の視点による遊びの考察」 (2019年11月27日、札幌市立大学)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞介護ロボットのニーズ・シーズ連携協議会北海道協議会委員
 (介護ロボット協議会) / 理事 (北のユニバーサルデザイン協議会)

須之内 元洋

＜作品発表＞1.アートと障害のアーカイブ・京都 (大規模開発・運用) (共同、2019年7月、京都府)

＜国際会議での発表＞1. Analysis of metadata schema of online media for sharing knowledge of
 orchid species cultivation (単独、WOC23、2020年3月)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. DAFx17 国際会議抄録 (1件、DAFx17 (音響信号処理の国際会議))

＜所属学会・研究会＞Association for Computing Machinery / デジタルアーカイブ学会 / 芸術科学会
 / 情報処理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイブ企画・
 構築支援、イベント登壇 (レクチャー・対談) 「第3回福島県障がい者芸術作品展「きになる5ひょう
 げん2019」オープニングトークイベント「きになる作品の残し方」」 (2019年11月30日、はじまり
 の美術館、社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館) / 福祉支援施設入居者の表現に関するデジタ
 ルアーカイブ企画・構築支援 (みずのき美術館) / 福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカ
 イブ企画・構築支援 (軀の津ミュージアム) / 陶磁器デザイナー森正洋氏のデジタルアーカイブ構築ア
 ドバイス・支援 (合同会社森正洋デザイン研究所) / アール・ブリュットアーカイブの運用・構築及
 びギャラリー広報の支援 (京都府) / 「アートとリサーチ」データベースの運用支援 (さっぽろ天神山
 アートスタジオ) / 教育プログラムの開発・広報支援 (浦河フレンドようちえん) / 東京都小金井市立
 前原小学校での教育プログラム企画・運営 (NPOアートフル・アクション)

福田 大年

＜学術論文＞1.参加者の連合的なスケッチによる協創 (博士論文) (単著、2020年3月、公立はこだて
 未来大学大学院システム情報科学研究科) / 2.協創スケッチ法による協働的な創造活動生成過程の解明
 (原著論文) (共著、2020年8月 (論文受領日: 2020年1月6日)、日本デザイン学会、デザイン学研
 究、67巻、第1号、pp.11-18)

＜学会発表＞1.デザイン活動における「自分視点」の重要性に関する考察: 日本型サービスデザイン
 の手技法構築を目指す協働プロジェクトの報告 (2) (共同、第66回日本デザイン学会春季研究発表大
 会、2019年6月)

＜学会座長就任状況＞第66回日本デザイン学会春季研究発表大会 (2019年6月、日本デザイン学会)

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会 (第1支部会、幹事 (2014年4月から現在に至る)) / 日本デ
 ザイン学会 (評議員 (2016年4月から現在に至る))

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会 / ヒューマンインタフェース学会 / 共創学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞教材掲載用の問題作成、吟味および監修や教材に関わる資料
 へのアドバイザー「P検リニューアル」 (2019年3月8日～、株式会社ベネッセコーポレーション) /
 オーラルケア啓発学習プログラムの開発・効果検証・評価の協力 (2019年3月11日～2020年3月31日、
 公益財団法人ライオン歯科衛生研究所) / 総会講演会「協同する手段としてデザイン～実際のプロジェ



クト例を通じて」(2019年4月20日、北海道女性医師の会) / 「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」の表紙デザイン制作(2019年7月1日～10月11日、札幌市まちづくり政策局政策企画部政策調整課) / 元気ショップいこ～る30周年記念企画ものづくりブラッシュアップセミナー 夏講座「みんなで考えると怖くない?! 協創型ブランドづくり」(2019年7月19日、一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会) / 厚真町復興PR事業(2019年8月1日～2020年3月31日、厚真町) / 第24回技術セミナー 衛星データ解析技術研究会「「生活を面白くする」ための衛星データの活用アイデアを、クルクルスケッチで考えてみる」(2019年8月7日、山口県産業技術センター) / エコバッグデザインの制作(2019年8月26日～10月31日、ごみ減量実践活動ネットワーク事務局) / 円山動物園PR事業(オリジナルマップ)(2019年8月29日～2020年3月31日、札幌市円山動物園) / 円山動物園PR事業(オリジナルデザイン入園券)(2019年8月29日～2020年3月31日、札幌市円山動物園) / 第7回Xデザインフォーラム「協創の仕組みのデザイン～会議が変わる視覚的思考～」(2019年9月23日、Xデザイン研究所) / イラストデザイン制作(検討・提案・作成・更新)(2019年12月1日～2020年3月31日、一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団) / 札幌交響楽団演奏会 広報宣伝用ロゴ制作(2020年2月17日～3月31日、公益財団法人札幌交響楽団)

松永 康佑

<学会発表> 1. Sence of non-presence: Visualization of invisible presence (共同、SIGGRAPH ASIA 2019 poster、2019年11月)
 <論文査読・学会抄録査読> 1. Journal asia digital art and design association (年間2～5件程度、asia digital art and design association)
 <学会役員就任状況> asia digital art and design association (査読委員)
 <所属学会・研究会> 日本デザイン学会 / ADADA学会 / ACM SIGGRAPH / 日本図学会 / 日本看護科学学会
 <講演会・講習会活動> 講演「身体運動のCG表現」@産業技術総合研究所つくばセンター(2019年12月10日、産業技術総合研究所) / フォーラム「樺太アイヌ古式舞踊の再現」@北海道教育大学サテライト「樺太アイヌ古式舞踊のCG化」(2020年3月28日、北海道教育大学 百瀬響教授 岩澤孝子准教授)

金子 晋也

<学術論文> 1. 地域資源を活用したストリートファニチャー—札幌市の西2丁目地下歩道の賑わいを目的としたストリートファニチャー—(査読有)(単著、2019年7月、札幌市立大学研究論文集、第13号、pp.17-26) / 2. セルフビルドからセルフエイドへ(単著、2019年10月、建築士10月号、pp.30-33)
 <学会発表> 1. 番屋建築の大空間の特徴 北海道沿岸部の近代木造建築に関する研究 その1(単独、日本建築学会北海道支部研究報告集(92)、pp.345-346、2019年6月) / 2. 明治期から昭和中期における木造の武道場の空間構成(共同、日本建築学会北海道支部研究報告集(92)、pp.253-258、2019年6月) / 3. 日英の伝統的木造住宅におけるはね出し二階の構法と空間構成 日本と欧米諸国における木造建築構法の変遷過程に関する比較研究 その6(共同、学術講演梗概集建築計画(2018)、pp.931-932、2019年7月)
 <論文査読・学会抄録査読> 1. 日本建築学会技術報告集(2019)(1件、日本建築学会)
 <学会役員就任状況> 日本建築学会 建築計画委員会 木造構法小委員会(委員・幹事) / 日本建築学会 建築歴史・意匠委員会近代建築史小委員会(委員) / 日本建築学会 北海道支部 建築歴史・意匠委員会(委員)
 <学術集会運営> 芸術工学会 2019年度秋期大会(実行委員) / 日本建築学会 北海道支部研究発表会(実行委員)
 <所属学会・研究会> 日本建築学会 / 芸術工学会 / 生活学会 / 日本在宅ケア学会
 <講演会・講習会活動> 2019年度 北海道ヘリテージ・マネジメント専門職(第五期) 育成講座「登録文化財所見演習」(2019年8月4日、北海道文化遺産活用活性化実行委員会)
 <専門職者・企業・展覧会等への支援> 芸術工学奨励賞選考委員(2019年3月31日、芸術工学会) / 札幌軟石の調査業務の支援(2019年6月18日、宇都宮大学安森亮雄研究室) / 第92回 日本建築学会



北海道支部研究報告会編集委員会「第92回 日本建築学会北海道支部研究報告会」（2019年6月29日、日本建築学会北海道支部）／建築調査（2019年7月21日、ごきびる番屋サポートの会）／2019年度 北海道ヘリテージ・マネジメント専門職（第五期）育成講座「登録文化財所見演習」（2019年8月4日、北海道文化遺産活用活性化実行委員会）／札幌市立大学のキャンパス見学の調整、アテンド（2019年8月30日、実践女子大学建築デザイン研究室）／建築調査（2019年9月2日～3日、根室市照井商店）／Architekton取材、校正（2019年9月26日、総合資格学院）／建築業者に関する情報の提供（2019年10月5日、黒岩構造設計事務所）／建築歴史・意匠委員会の開催（2019年10月5日、日本建築学会北海道支部）／建築調査（2019年10月11日、小樽民家再生プロジェクト）／2019年度 秋期大会 大会運営委員「DESIGN@HOKKAIDO」（2019年10月26日、芸術工学会）／研究資料の提供、行事の広報支援「旧増毛小学校体育館木造小屋組トラスの紹介」（2019年11月1日、一般社団法人 日本建築構造技術者協会 北海道支部）／第26回卒業作品展2019（広島）への学生作品の出展業務（2019年11月6日、日本インテリア学会）／木造建築構法小委員会の開催（2019年12月3日、日本建築学会）

矢久保 空遥

＜学術論文＞1.3つの音響パラメータと共感的比喩表現の関係 — 基本周波数・周波数構造・減衰時間が音の印象に及ぼす影響 —（単著、2019年、日本芸術工学会）

＜学会発表＞1.通様相性現象を用いた感性へのアプローチ（単独、日本デザイン学会第五支部発表会、2019年）

＜学会座長就任状況＞第66回JSSD春季大会（2019年6月29日、日本デザイン学会）／2019年度秋季大会（2019年10月25日～10月27日、日本芸術工学会）／感性フォーラム札幌2020（2020年2月15日、日本感性工学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.芸術工学会誌No.80（7件、日本芸術工学会）／2.IASDR2019（4件、IASDR）

＜学術集会運営＞2019年度秋季大会（日本芸術工学会）／感性フォーラム札幌2020（日本感性工学会）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本音響工学会／日本感性工学会／芸術工学会／日本サウンドスケープ協会

＜講演会・講習会活動＞『デザイン』の考え方-パッケージデザインへの応用-「『インバウンド需要をつかむ!お土産開発』セミナー 『デザイン』の考え方-パッケージデザインへの応用-」（2019年6月19日札幌市）／新川高校での出前授業「デザインとは何か」（2019年11月7日新川高校）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞禁止サインの代替となる禁止システムの提案（円山動物園）／刊行誌「のほほん」の執筆（札幌市立大学附属図書館）／コロコロホタテパッケージデザイン（丸本本間水産）



看護学部

樋之津 淳子

＜学術論文＞1.札幌市の病院における研修実施状況と中堅看護師の受講実態（共著、2019年7月、札幌市立大学研究論文集、13巻、1号、pp.27-36）

＜その他の論文＞1.大学と医療施設のネットワークを活用した「看護コンソーシアム」構築への基盤作り—中堅看護師研修を中心に—（共著、2019年12月、日本看護管理学会誌、23巻、1号、pp.103-112）

＜学会発表＞1.看護基礎教育の学生と中堅看護師がともに事例分析する授業の教育効果（共同、2019年8月、日本看護学教育学会第29回学術集会）／2.大学との連携による遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果 第1報 看護倫理学の事例分析を学生とともに行って（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会）／3.大学との連携による遠隔授業を用いた研修企画を実施して—中堅看護師の継続教育への認識に視点をあてて（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会）／4.大学との連携による遠隔授業を用いた研修企画を実施して—第2報：教育担当者の継続教育への認識に視点をあてて—（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会）／5.大学との連携による遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果—第2報：研修2ヵ月後の教育担当者の視点から—（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞1.点滴トラブルの低減に向けたエコーでアシストする末梢静脈カテーテル留置の看護技術（単独、2019年6月、第7回看護理工学会学術集会）／2.看護薬理学カンファレンス2019 in 札幌（共同、2019年9月、日本薬理学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護技術学会誌（1件、日本看護技術学会）／2.日本看護研究学会雑誌（5件、日本看護研究学会）／3.看護人間工学会誌（1件、看護人間工学会）／4.日本看護研究学会雑誌（5件、日本看護研究学会）

＜学会役員就任状況＞日本看護研究学会（一般社団法人日本看護研究学会北海道地方会会長）／看護理工学会（評議員・監事）／日本看護技術学会（評議員）／日本看護研究学会（評議員）／看護人間工学会（理事）／日本看護科学学会（理事）

＜学術集会運営＞日本看護研究学会第46回学術集会企画委員

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本人間工学会／看護人間工学会／看護理工学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究会の運営委員、意見交換（2019年5月、12月、北のケア環境研究会）

松浦 和代

＜その他の論文＞1.小児看護OSCEの流れ（共著、2019年8月、へるす出版、42巻、9号、pp.1082-1089）／2.小児看護OSCE 国内の取組みに向けて（単著、2019年8月、へるす出版、42巻、9号、pp.1089-1089）／3.課題作成の基本（単著、2019年8月、へるす出版、42巻、9号、pp.1090-1102）／4.OSCE課題集 入院した乳児への検査 採尿バッグを用いた検尿（共著、2019年8月、へるす出版、42巻、9号、pp.1103-1107）／5.OSCE課題集 呼吸困難な状況にある幼児と家族への援助 症状観察と酸素吸入の実施（共著、2019年8月、へるす出版、42巻、9号、pp.1108-1113）／6.OSCE課題集 サークルベッドからの転落防止に対する乳児の親への指導（共著、2019年8月、へるす出版、42巻、9号、pp.1122-1126）／7.OSCE課題集 発熱のため小児科外来を受診した乳児のトリアージ（共著、2019年8月、へるす出版、42巻、9号、pp.1128-1133）／8.OSCE課題集 初めて予防接種を受けた生後3ヵ月児の親に対する保健指導（共著、2019年8月、へるす出版、42巻、9号、pp.1145-1150）

＜実務関係報告書＞1.医療・福祉施設木材利用促進マニュアル（2020年3月、一般社団法人 木を活かす建築推進協議会）

＜学会発表＞1.Development and evaluation of teaching materials on the prevention of DDH for childcare in Mongolia（共同、2019年6月、ICN Congress 2019 in Singapore）／2.NICUにおける子ども虐待予防に向けた新生児集中認定看護師の臨床判断（共同、2019年8月、日本小児看護学会第29回学術集会）／3.学校看護師の臨床経験、緊急時対応の実態と不安（共同、2019年8月、日本



小児看護学会第29回学術集会) / 4.Oral health promotion during pregnancy: a systematic review (共同、2020年2月、The 6th WANS) / 5.Initial grasp for child abuse prevention by neonatal intensive care certified nurses (共同、2020年2月、The 6th WANS) / 6.Following the onset of Acute Myocardial Infarction, Regional Clinical Alliance Path in Japan: A Systematic Review (共同、2020年2月、The 6th WANS)

〈学会シンポジウム〉1.テーマセッション18 モンゴル国における発育性股関節形成不全の予防的ケアの実践・技術移転から国際連携へ (共同、2019年8月、日本小児看護学会第29回学術集会)

〈学会招聘講演〉1.小児看護の知を国際連携へ (単独、2019年8月、日本小児看護学会第29回学術集会)

〈学会座長就任状況〉国際支援を通じて結実する小児看護の知 (単独、日本小児看護学会第29回学術集会)

〈論文査読・学会抄録査読〉1.日本看護科学学会講演集 (6件、日本看護科学学会) / 2.日本小児看護学会誌 (1件、日本小児看護学会) / 3.日本糖尿病教育・看護学会講演集 (5件、日本糖尿病教育・看護学会)

〈学会役員就任状況〉北海道成育看護研究会 (理事長) / 北海道学校保健学会 (理事) / 北海道小児保健研究会 (幹事) / 日本看護科学学会 (社員 (代議員)) / 全国病弱教育研究会 (東日本ブロック北海道世話人) / 日本小児看護学会 (評議員) / 日本看護学教育学会 (評議員)

〈学術集会運営〉日本小児看護学会第29回学術集会

〈所属学会・研究会〉ICN/WANS/日本小児看護学会/日本看護学教育学会/日本看護科学学会/日本学校保健学会/日本小児保健学会/日本新生児看護学会

〈専門職者・企業・展覧会等への支援〉医療・福祉施設木材利用促進検討委員会 委員 (2019年6月～2020年3月、一般社団法人 木を活かす建築推進協議会) / 医療機関ニーズ対応型開発補助事業 審査会 (2019年7月～2020年3月、交易財団法人北海道科学技術総合進行センター)

荒木 奈緒

〈論文査読・学会抄録査読〉1.日本助産学会誌 (1件、日本助産学会)

〈学会役員就任状況〉日本遺伝カウンセリング学会 (評議員) / 日本遺伝看護学会 (日本遺伝看護学会誌 編集委員)

〈専門職者・企業・展覧会等への支援〉臨床看護研究相談 (2019年5月1日～2020年3月31日、NTT東日本札幌病院) / 看護研究研修会 (2019年5月18日、北海道中央労災病院) / 看護研究研修会 (2019年6月1日、北海道看護協会苫小牧支部)

川村 三希子

〈調査研究報告書〉1.わが国の専門的緩和ケアに従事する看護師のクリニカルラダーの開発 (共著、2020年2月、公益財団法人安田記念医学財団 癌看護研究助成) / 2.専門的緩和ケアを担う看護師に求められるコアコンピテンシー尺度の開発—信頼性・妥当性の検証 (共著、2020年3月、日本ホスピス緩和ケア研究振興財団 2019年度ホスピス・緩和ケアの多施設共同研究事業 助成報告書)

〈実務関係書〉1.ELNEC-J指導者ガイド改訂 (2020年1月、日本緩和医療学会)

〈学会発表〉1.The Spread of the Specialized palliative care Education Program for Nurses in Japan (共同、2019年8月、The 13th Asia Pacific Hospice conference) / 2.倫理的感受性のアセスメントの視点と倫理的感受性を高めるアプローチ がん看護専門看護師の倫理調整から (共同、2019年12月、第39回 日本看護科学学会) / 3.分子標的薬による皮疹を体験したがん患者の受けたセルフケア指導の認識と理解度およびニーズ (共同、2020年2月、第33回 日本がん看護学会) / 4.がん化学療法による性機能障害を経験した若年性乳がん女性のセクシュアリティの変化のプロセス (共同、2020年2月、第33回 日本がん看護学会)

〈学会座長就任状況〉人生最晩年の”生”を支えるケア (2019年8月、第2回 日本緩和医療学会 北海道支部大会)

〈論文査読・学会抄録査読〉1.Palliative care reserch (2件、日本緩和医療学会) / 2.第34回 日本がん看護学会 (4件、日本がん看護学会) / 3.緩和・支持・心のケア合同学術大会 (7件、日本緩和医療学会) / 4.日本看護科学学会誌 (1件、日本看護科学学会) / 5.日本死の臨床研究会 (1件、日本死の



臨床研究会)

＜学会役員就任状況＞日本ホスピス緩和ケア協会（理事）／日本緩和医療学会（代議員）／日本死の臨床研究会（編集委員）／日本緩和医療学会 北海道支部（運営委員）／日本看護科学学会（評議員）／日本看護科学学会（和文査読委員）／日本ホスピス緩和ケア協会 北海道支部（役員）／日本がん看護学会（査読委員）

＜学術集会運営＞第2回 日本緩和医療学会 北海道支部大会／第29回 日本小児学会 実行委員

＜所属学会・研究会＞日本緩和医療学会／日本がん看護学会／日本死の臨床研究会／日本看護科学学会／European Association for Palliative Care／日本老年看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞専門的緩和ケア看護師教育プログラム 進行役 5回実施
「2019年度専門的緩和ケア看護師教育プログラム」（2019年9月～12月、日本ホスピス緩和ケア協会）／ELNEC-J指導者研修「日本緩和医療学会」（2019年9月、日本緩和医療学会）／研究指導（北海道M-GTA研究会）

中村 恵子

＜学術論文＞1. 卒後1～3年の看護師が語る手術看護の経験（共著、2019年8月、日本看護科学会誌、39巻、2号、pp.59-67）／2. Difficulties Experienced in Trauma Nursing Practice by Expert Emergency Nurses in Japan（共著、2019年9月、Open Journal of Nursing、2019巻、9号、pp.1-15）／3. 札幌市の病院における研修実施状況と中堅看護師の受講実態（共著、2019年9月、札幌市立大学、13巻、1号、pp.27-36）

＜調査研究報告書＞1. 大学と医療施設のネットワークを活用した「看護コンソーシアム」構築への基盤づくり（共著、2019年12月、日本看護管理学会誌、23巻、1号、pp.103-112）

＜その他の論文＞1. 看護基礎教育におけるOSCE 10年の実践と将来への課題（単著、2019年9月、看護教育（医学書院）、60巻、9号、pp.720-725）

＜学会発表＞1. 消化器外科手術を受けた高齢者に対する術後3日間の就寝前看護援助（共同、2019年6月、第15回日本クリティカルケア看護学会学術集会）／2. 看護基礎教育の学生と中堅看護師がともに事例分析する授業の教育効果（共同、2019年8月、第29回日本看護学教育学会）／3. 大学との連携による遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果-第1報（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会）／4. 同上 第2報-研修2カ月後の教育担当者の視点から-（共同、2019年8月、同上）／5. 大学との連携による遠隔授業を用いた研修企画を実施して-中堅看護師の継続教育への認識に視点をあてて（共同、2019年8月、同上）／6. 大学との連携による遠隔授業を用いた研修企画を実施して-教育担当者の継続教育への認識に視点をあてて（共同、2019年8月、同上）／7. 一般病棟看護師の急変対応に関する研修の実態（共同、2019年10月、第21回日本救急看護学会学術集会）／8. 熟練看護師が行う心臓血管手術後初回離床時の臨床判断（共同、2019年11月、第39回日本看護科学学会学術集会）／9. 大学と医療機関の連携による中堅看護師研修3年目の評価（共同、2019年12月、同上）／10. 分娩期の支援に必要な助産実践能力が向上する継続教育プログラムの検討（共同、2019年12月、同上）

＜学会招聘講演＞1. タスクシフト・タスクシェアは救急看護師に何をもたらすか（教育講演）（単独、2019年10月、日本救急看護学会第21回学術集会）

＜学会座長就任状況＞第2群 看護教育（5題）（単独、2019年11月、第29回看護科学学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 第16回日本クリティカルケア看護学会学術集会（6件、一般社団法人日本クリティカルケア看護学会）／2. 日本看護学教育学会第30回学術集会（5件、一般社団法人日本看護学教育学会）／3. 第39回日本看護科学学会学術集会（5件、公益社団法人日本看護科学学会）

＜学会役員就任状況＞一般社団法人日本看護管理学会（社員）／一般社団法人日本クリティカルケア看護学会（社員）／一般社団法人日本看護教育学会（社員）／一般社団法人地域の包括的な医療に関する研究会（理事）／北のケア環境研究会（会長）／公益社団法人札幌がんセミナー（評議員）／一般社団法人日本救急看護学会（名誉会員）／一般社団法人日本臨床救急医学会（名誉会員）

＜所属学会・研究会＞公益社団法人日本看護科学学会／一般社団法人日本看護研究学会／一般社団法人日本看護教育学会／一般社団法人日本救急看護学会／一般社団法人日本クリティカルケア看護学会／一般社団法人日本臨床救急医学会／一般社団法人地域の包括的な医療に関する研究会／北のケア環境研究会／コーチング研究会(Do研究会)



＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護管理者教育課程サードレベル（2019年8月～2020年1月、本学）／天使大学大学院助産学研究科「教育評価」「看護OSCEと実践の評価」（2019年10月21日、天使大学）／看護管理者教育課程サードレベル 講義「看護管理者の育成」（2020年1月9日、本学）

卯野木 健

＜学術論文＞1. Post-intensive care syndrome: its pathophysiology, prevention, and future directions. (共著、2019年4月、Acute Med Surg.、6巻、3号、pp.233-246) / 2. Type D personality is a predictor of prolonged acute brain dysfunction (delirium/coma) after cardiovascular surgery. (共著、2019年5月、BMC Psychol.、7巻、1号、pp.233-246) / 3. Early versus delayed mobilization for in-hospital mortality and health-related quality of life among critically ill patients: a systematic review and meta-analysis. (共著、2019年12月、J Intensive Care.、7巻、pp.57) / 4. Influence of mutual support and a culture of blame among staff in acute care units on the frequency of physical restraint use in patients undergoing mechanical ventilation. (共著、2019年12月、Acute Med Surg.、7巻、1号、pp.e479)

＜解説文＞1. 【いま、再びのフィジカルアセスメント【後編】】看護師の勘（単著、2019年5月、ICNR/学研、6巻、2号、pp.47-49） / 2. クリティカルケアのやりがい(第2回)（単著、2019年6月、重症集中ケア、18巻、3号、pp.81-84） / 3. PICSの3要素とその具体的な予防対策 認知機能障害予防のための環境整備（単著、2019年7月、Expert Nurse/照林社、35巻、9号、pp.94-95） / 4. 勉強も努力も足りない既卒のスタッフを配属されても困ります!（単著、2019年8月、ICNR/学研、6巻、3号、pp.94-94） / 5. 急性期の身体拘束 現場からの考察 マンパワーと高い身体拘束率に関連性は薄い（単著、2019年11月、Best Nurse.、30巻、11号、pp.16-17） / 6. 中堅のスタッフが「皆が不満を言っている」と教えてくれました。こういう時は、どうしたら良いのでしょうか（単著、2019年11月、ICNR/学研、6巻、4号、pp.115-115） / 7. (第3章)重症患者対応で重要な知識 鎮痛・鎮静・せん妄（単著、2019年12月、レジデントノート、21巻、4号、pp.2510-2518） / 8. 患者を起こしてまで瞳孔を観察すべきなの?（共著、2020年2月、ICNR/学研、7巻、1号、pp.11-14） / 9. 毎月、毎月、勤務表をつくるのが苦痛です（単著、2020年2月、ICNR/学研、7巻、1号、pp.92-92）

＜学会発表＞1. 集中治療と身体拘束（単独、2019年10月、日本看護学会学術集会【看護管理】）

＜学会招聘講演＞1. 急性期の身体拘束～現場からの考察（単独、2019年8月、日本緩和医療学会）

＜学会座長就任状況＞未来に向けて、特定行為研修制度の課題を考究する（共同、2019年6月、日本クリティカルケア看護学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 日本集中治療医学会雑誌（20件、日本集中治療医学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞日本集中治療医学会（理事）／日本クリティカルケア看護学会（理事）／日本呼吸療法医学会（社員）／日本呼吸療法医学会（評議員審査委員会委員）／日本集中治療医学会（特定行為検討WGメンバー）／日本呼吸療法医学会（RSTプロジェクト委員）／日本集中治療医学会（看護将来計画検討委員会委員）／看護理工学会（評議員）／日本集中治療医学会（WGメンバー（日本救急医学会・日本集中治療医学会敗血症ガイドライン））

＜所属学会・研究会＞日本集中治療医学会／日本呼吸療法医学会／日本クリティカルケア看護学会／看護理工学会／American Association for Critical Care Nurses／Society of Critical Care Medicine

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞新人指導者講習会「新人看護師研修①」（2020年5月13日、市立札幌病院）／Quality Indicatorに関する研修「急性期看護教育に関するコンサルテーション」（2020年5月14日、手稲溪仁会病院）／Quality Indicatorに関する研修「Quality Indicatorに関する研修（講義）」（2020年7月5日、手稲溪仁会病院）／Quality Indicatorに関する研修「Quality Indicatorに関する研修（WS）」（2020年8月19日、29日、10月4日、31日、12月3日、10日、手稲溪仁会病院）

小田 和美

＜学会発表＞1. 「看護の教育的関わりモデル」における「とっかかり/手がかり言動とその直感的解釈」の概念化（共同、2019年7月、日本慢性看護学会） / 2. 患者教育における熟練看護師のプロの技～看護教育専門家として醸し出す雰囲気～（共同、2019年9月、日本糖尿病教育・看護学会）



＜学会役員就任状況＞日本保健医療行動科学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本糖尿病教育・看護学会／日本保健医療行動科学会／日本糖尿病学会／日本糖尿病妊娠学会／日本看護研究学会／日本看護管理学会／日本慢性看護学会／日本看護学教育学会／日本循環器看護学会／日本がん看護学会／千葉看護学会／日本老年行動科学会／日本心身医学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究の講義 院内研究指導「各日2時間程度」（2019年5月29日、9月5日、27日、萬田記念病院）／看護研究の講義「10：30～16：00」（2019年5月31日、6月28日、帯広厚生病院）

菊地 ひろみ

＜学術論文＞1.Pilot study on the effects of cognitive behavioral therapy on depression among Japanese patients with multiple sclerosis（共著、2019年6月、Clinical and Experimental Neuroimmunology、doi: 10.1111/cen3.12529）／2.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動（共著、2019年7月、札幌市立大学研究論文集、第13巻、第1号、pp.3-15）

＜学会発表＞1.道内保健所政令市および周辺自治体訪問看護ステーションの新人訪問ナースの雇用・育成の現状と課題（共同、2019年12月、第9回日本在宅看護学会学術集会）／2.北海道の保健所政令市および周辺自治体の訪問看護ステーションの人材確保・教育の課題と対応（共同、2019年12月、第9回日本在宅看護学会学術集会）／3.北海道の保健所政令市および周辺自治体訪問看護ステーションの人材確保・教育の課題と対応（共同、2019年12月、第9回日本在宅看護学会学術集会）／4.在宅看護のイメージ促進を目的とした模擬患者（SP）参加型演習の学生評価（共同、2019年12月、第39回看護科学学会学術集会）／5.訪問看護における新卒看護師育成に関する文献的検討（共同、2019年12月、第9回日本在宅看護学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞看護科学学会（代議員）／北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本難病看護学会／日本難病医療ネットワーク学会／日本在宅ケア学会／日本在宅看護学会／日本がん看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究支援「看護研究導入講義」（2019年6月10日、札幌厚生病院）／訪問看護スキルアップ講座（2019年11月9日、札幌市立大学）

喜多 歳子

＜その他の論文＞1.他世代間交流の前後における高齢者イメージの変容（共著、2020年3月、北海道公衆衛生学雑誌、33巻、2号、pp.79-83）

＜学会発表＞1.The association between socioeconomic status and the parenting stress index in Japanese mothers with children aged 1.5 years（単独、2019年6月、International Congress Nursing Singapore 2019）／2.健康管理における健康意欲と保健行動および性格特性との関連性（共同、2019年11月、北海道公衆衛生学会）／3.家庭内性教育の促進に向けたPRECED-PROCEEDモデルの適用の検討（共同、2019年11月、北海道公衆衛生学会）／4.Investigation of sexual education at home among high school students in Japan（共同、2020年1月、23' East Asian Forum of Nursing Schokars）／5.児童発達支援事業所を利用する子どもの保護者が保健師の保健指導で得た感情体験（共同、2020年1月、日本公衆衛生看護学会学術集会）／6.子どもの貧困対策に行政保健師ができること、これからの課題（共同、2020年1月、日本公衆衛生看護学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞一般演題（口演）：高齢者保健（2019年11月、北海道公衆衛生学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本産業衛生学雑誌（2件、日本産業衛生学会）／2.日本公衆衛生看護学会誌（1件、日本公衆衛生看護学会学術集会）／3.北海道公衆衛生学雑誌（1件、北海道公衆衛生学会）／4.日本産業衛生学会（19件、日本産業衛生学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（理事）

＜学術集会運営＞北海道公衆衛生学会／日本産業衛生学会

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生学会／日本公衆衛生看護学会／日本産業衛生学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／北海道公衆衛生学会／日本疫学会／看護総合科学研究会／日本地域看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道・東北ブロック会議、研究会の企画・運営「全国保健師教育機関協議会第45回北海道・東北ブロック会議」（2019年8月23日、全国保健師教育機関協議会）



／北海道公衆衛生協会理事として北海道公衆衛生学会評議委員会出席「北海道公衆衛生学会評議員会」(2019年11月30日、北海道公衆衛生学会)／企画、研修会講師「子どもの貧困から考える“個”と“家族”を支えるネットワークづくり」(2019年12月14日、北海道保健師団体連合会)

定廣 和香子

＜学術論文＞1.インスタレーションによるアート・イン・ホスピタル (Art in Hospital) の普及—札幌市をフィールドとしたアクションリサーチを通して— (共著、2020年3月、アートミーツケア学会オンラインジャーナル、11号、pp.1-30)

＜学会発表＞1.看護学実習における看護学生の主体的学習を支援する教授活動—看護学教員に焦点を当てて— (共同、2019年9月、日本看護技術学会第18回学術集会)／2.空間インスタレーションによる Art in Hospital-《風の家/Breathing House》in 北海道- (共同、2019年11月、アートミーツケア学会2019年度大会)／3.「生活」の概念分析—生活学および関連分野に焦点を当てて— (共同、2019年12月、日本看護科学学会第38回学術集会)

＜学会座長就任状況＞ポスターセッション (単独、2019年8月、日本看護学教育学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護学教育学会誌 (1件、日本看護学教育学会)／2.日本看護技術学会誌 (1件、日本看護技術学会)／3.群馬パース大学紀要 (1件、群馬パース大学)／4.日本看護学教育学会学術集会 (4件、日本看護学教育学会)

＜学会役員就任状況＞日本看護学教育学会 (理事)

＜学術集会運営＞日本看護教育学会第29回学術集会企画委員／日本看護学教育学会第29回学術集会理事会企画 (看護はなまる先生) 企画・運営委員

＜所属学会・研究会＞日本看護教育学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／医療の質・安全学会／Sigma Theta Tau International

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞2019年度北海道専任教員養成講習会 看護論／看護論演習講師「2019年度北海道専任教員養成講習会」(2019年5月7日～2020年2月12日、北海道看護協会)／実習指導研修会 (企画・準備) (COVID-19対策による中止のため企画／準備のみ)「実習指導研修会 (基礎編)」(2020年3月7日、8日、日本看護学教育学会)／委員として、改定案を審議「実習指導研修会 (応用編)」(2020年3月9日、看護社会保険連合)

大野 夏代

＜学会発表＞1.ケア提供者の気持ちの変化から考察するマッサージ実践の継続を阻害する要因 (共同、2019年8月、日本看護学教育学会第29回学術集会)／2.グローバル化の中で求められる国際看護の基礎をどう育てるか②外国人の医療場面の困難と看護学生への期待 (共同、2019年8月、日本看護学教育学会第29回学術集会)／3.基礎看護教育における「触れるケア」の実践～看護マッサージと商業的マッサージの比較から安全を考える (共同、2019年8月、日本看護学教育学会第29回学術集会)／4.外国人患者との意思疎通に関する英文文献のキーワードの検討 (単独、2019年9月、日本国際看護学会第3回学術集会)

＜学会座長就任状況＞一般演題第3群 世界の実情 (単独、2019年9月、日本国際看護学会第3回学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本国際看護学会第3号 (2件、日本国際看護学会)

＜学会役員就任状況＞日本国際看護学会 (理事)

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本国際看護学会

貝谷 敏子

＜学術論文＞1.皮膚・排泄ケア認定看護師の組織横断的活動の成果に関する調査 第3報 皮膚・排泄ケア認定看護師の構造・プロセス分析 (共著、2019年10月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌、23巻、3号、pp.330-343)／2.皮膚・排泄ケア認定看護師による病院外施設のストーマ周囲皮膚障害保有者に対する遠隔看護師支援の効果検証 (共著、2019年10月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌、23巻、3号、pp.344-349)／3.創傷・オストミー・失禁領域における災害支援活動と支援上の困難 (共著、2020年1月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌、23巻、4号、pp.437-441)／4.看護学におけるヘルス・テクノロジー・アセスメントの構築のあり方について 褥瘡ケアの経済評価



(単著、2020年1月、看護経済・政策研究学会、2巻、1号、pp.32-39)
 <その他の論文>1.専門スキルと医療経済:褥瘡ケア (単著、2019年12月、アルケア(株)、23巻、4号、pp.9-12)
 <学会発表>1.在宅における医療機器関連圧迫創傷(MDRPU)発生の実態調査(共同、2019年5月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌)
 <学会シンポジウム>1.日本褥瘡学会20年の歩みWOCナースから形成外科医へもの申す(単独、2019年5月、形成外科学会)
 <学会座長就任状況>一歩先ゆく!!WOCNの専門性が生きるエコーを活用した排泄アセスメント(単独、2019年5月、日本創傷オストミー失禁管理学会)
 <論文査読・学会抄録査読>1.第29回日本創傷オストミー失禁管理学会学術集会【英語】(12件、日本創傷オストミー失禁管理学会)
 <学会役員就任状況>日本創傷オストミー失禁管理学(副理事長) / 日本褥瘡学会(評議員)
 <学術集会運営>第28回日本創傷オストミー失禁管理学会学術集会 / 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association
 <所属学会・研究会>日本褥瘡学会 / 日本看護科学学会 / 日本創傷治癒学会 / 日本創傷オストミー失禁管理学会 / 看護理工学学会 / 医療経済学会 / 日本褥瘡学会北海道地方会
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>褥瘡回診での専門知識の提供・技術指導(毎週火曜日午後、勤医協西区病院)

神島 滋子

<著書>1.ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑤脳・神経(共著、2020年1月、メディカ出版、978-4-8404-6901-2、pp.26-28)
 <学会発表>1.脳卒中患者の低栄養への介入と評価に関する文献検討(単独、2019年11月、日本看護科学学会学術集会)
 <学会招聘講演>1.脳神経看護の基礎知識(単独、2019年8月、日本脳神経看護研究学会北海道地方部会) / 2.リハ栄養における看護を再考する(単独、2019年11月、リハビリテーション栄養学会)
 <学会座長就任状況>口演座長(単独、2019年10月、日本脳神経看護研究学会) / 看護研究発表会座長(単独、2020年2月、北海道看護協会小樽支部)
 <論文査読・学会抄録査読>1.日本脳神経看護研究学会誌(5件、日本脳神経看護研究学会) / 2.日本脳神経看護研究学会誌(1件、日本脳神経看護研究学会)
 <学会役員就任状況>日本脳神経看護研究学会(理事) / 日本脳神経看護研究学会(北海道地方部会会長)
 <学術集会運営>日本ニューロサイエンス看護学会学術集会 / 日本リハビリテーション看護学会・日本リハビリテーション栄養学会合同
 <所属学会・研究会>日本看護科学学会 / 日本看護研究学会 / 日本看護学教育学会 / 日本慢性看護学会 / 日本クリティカルケア看護学会 / 日本脳神経看護研究学会 / 日本ニューロサイエンス看護学会 / 日本褥瘡学会 / 日本看護管理学会 / 日本医療情報学会 / 日本リハビリテーション栄養学会 / 日本リハビリテーション看護学会 / 日本高次脳機能障害学会
 <講演会・講習会活動>福祉用具機器展in札幌2019 講演「正しく知ろう!脳音病気~予防と検査」(2019年11月8日、札幌市社会福祉協議会)
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>看護研究指導、研究発表会講評(2019年12月14日、北海道済生会小樽病院)

菅原 美樹

<学術論文>1.Difficulties Experienced in Trauma Nursing Practice by Expert Emergency Nurses in Japan(共著、2019年9月、Open Journal of Nursing、9巻、10号、pp.1073-1087)
 <学会発表>1.一般病棟看護師の急変対応に関する研修の実態-Rapid Response Systemの有無に着目して-(共同、2019年10月、第21回日本救急看護学会学術集会) / 2.Roles of emergency nurses in trauma nursing in Japan(共同、2020年2月、第6回世界看護科学学会学術集会)
 <研究会発表等>1.新救急看護ラダー活用の提案(単独、2019年10月、第21回日本救急看護学会学術



集会)

＜学会座長就任状況＞コードブルーが伝えたかった救急医療（単独、2019年6月、第15回日本クリティカルケア看護学会学術集会）／災害時におけるDPAD活動について（単独、2019年10月、第21回日本救急看護学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本救急看護学会（5件、日本救急看護学会）／2.日本クリティカルケア看護学会誌（1件、日本クリティカルケア看護学会）／3.日本クリティカルケア看護学会誌（5件、日本クリティカルケア看護学会）

＜学会役員就任状況＞日本救急看護学会（医療政策担当理事）／日本クリティカルケア看護学会（評議員 将来構想委員会委員）／看護系学会等社会保険連合（看護系学会等社会保険連合社員）

＜学術集会運営＞第23回日本救急看護学会学術集会／日本緩和医療学会第2回北海道支部学術集会

＜所属学会・研究会＞日本救急看護学会／日本クリティカルケア看護学会／日本循環器看護学会／日本臨床救急医学会／日本集中治療医学会／日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本看護研究学会／日本災害看護学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞認定看護分野基準カリキュラム検討委員（公益社団法人日本看護協会）／トリアージナース育成研修会 9/14-15（日本救急看護学会）

藤井 瑞恵

＜学術論文＞1.札幌市の病院における研修実施状況と中堅看護師の受講実態－看護コンソーシアム構築に向けた課題から（共著、2019年7月、Journal of Design & Nursing、13巻、1号、pp.27-36）／2.大学と医療施設のネットワークを活用した「看護コンソーシアム」構築への基盤作り-中堅看護師研修を中心に（共著、2019年12月、日本看護管理学会誌、23巻、1号、pp.103-112）

＜学会発表＞1.特別養護老人ホーム入居者の口腔状態と口腔機能および循環器疾患有無と内服薬数の関連（共同、2019年5月、第55回日本循環器予防学会）／2.ウェールズにおける高齢者口腔ケアシステムの視察報告（共同、2019年5月、口腔ケア学会）／3.看護基礎教育の学生と中堅看護師がともに事例分析する授業の効果－看護倫理学における遠隔授業を行って－（共同、2019年8月、日本看護学教育学会第29回大会）／4.大学との連携による遠隔授業を用いた研修企画を実施して－中堅看護師の継続教育への認識に視点をあてて－（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会）／5.大学との連携による遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果－教育担当者の視点から－（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会）／6.大学との連携による遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果-学生とともに看護倫理学の事例分析を行って－（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会）／7.大学との連携による遠隔授業を用いた研修企画を実施して－教育担当者の認識に視点をあてて－（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会）／8.A地域における介護福祉施設入居者の口腔状態と機能および口腔管理の実態（共同、2019年8月、第78回日本公衆衛生学会学術総会）／9.透析看護認定看護師による療法選択支援の現状と課題（共同、2019年11月、第22回日本腎不全看護学会）／10.大学と医療機関との連携による中堅看護師研修三年目の評価（共同、2019年12月、第39回日本看護科学学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本糖尿病教育・看護学会誌（2件、日本糖尿病教育・看護学会）／2.日本糖尿病教育・看護学会誌（1件、日本糖尿病教育・看護学会）／3.北海道公衆衛生学雑誌（1件、北海道公衆衛生学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生協会（編集委員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本糖尿病教育・看護学会／日本看護学教育学会／日本看護学会／日本看護管理学会／日本慢性看護学会／日本腎不全看護学会／日本糖尿病学会／日本透析医学会／日本老年医学会／日本疫学会／日本循環器病予防学会／日本褥瘡学会／北海道公衆衛生協会

＜講演会・講習会活動＞ミニ大通お散歩まつり いつまでも桑園地区で生き生き健康「高血圧と減塩食」（2019年9月8日、ミニ大通りお散歩まつり実行委員会）／第4回北海道CKD地域交流会「都市部と地方都市における通院時間の長い透析患者・家族が抱える問題」（2019年10月5日、協和発酵キリン株式会社）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞中堅看護師研修「中堅看護師研修1 学ぶと教えるのコミュニケーション」（2019年9月～2020年1月、看護コンソーシアムプロジェクト会議、看護コンソーシアム会議）／中堅看護師研修「中堅看護師研修2 健康教育指導法」（2019年12月～2020年2月、看護コン



ソーシウムプロジェクト会議、看護コンソーシウム会議) / プレマネージャー研修「プレマネージャー研修」(2019年12月～2020年2月、看護コンソーシウムプロジェクト会議、看護コンソーシウム会議)

本田 光

＜学術論文＞1.沿岸部に在住する中学生の津波のリスクに対する認識と避難意思との関連(共著、2019年7月、日本公衆衛生雑誌、66巻、7号、pp.348-355) / 2.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動 - 「まちの健康応援室」継続利用による効果検証 - (共著、2019年7月、SCU Journal of Design & Nursing、13巻、1号、pp.3-15) / 3. Doctors' contributions to primary care in outpatient clinics in depopulated areas within Hokkaido (共著、2019年9月、Journal of Rural Medicine、15巻、1号、pp.135-143) / 4. Developing a comprehensive career development scale for public health nurses in Japan (共著、2019年10月、Public Health Nursing、37巻、1号、pp.16-24) / 5. 妻が妊娠期にあったときの夫の気持ちと関わり - 男性保健師の経験 (共著、2020年3月、北海道公衆衛生学雑誌、33巻、2号、pp.63-69) / 6. 共生ホームにおいて高齢者と子どもとの交流を生み出すスタッフの意図 (共著、2020年3月、北海道公衆衛生学雑誌、33巻、2号、pp.71-77)

＜調査研究報告書＞1. 乳幼児を持つ母親の地域との関係性構築支援のための尺度開発 科研費報告書 (単著、2019年10月、日本学術振興会、pp.1-4)

＜その他の論文＞1. 地域保健活動の推進に活用できるソーシャル・キャピタル測定尺度 (SC-20) 使用ガイド (共著、2020年3月、北海道公衆衛生学雑誌、33巻、2号、pp.107-111)

＜実務関係書＞1. 特集 小児看護OSCEの実践とその評価 健康支援(学年4) 初めて予防接種を受けた生後3か月児の親に対する保健指導 (共著、2019年8月、小児看護、42巻、9号、pp.1145-1150)

＜学会発表＞1. 認知症初期集中支援チームの活動の効果とその課題について (共同、2019年11月、第71回 北海道公衆衛生学会) / 2. Testing the Reliability and Validity of the Scale for Measuring Social Relationship in Mother of Small Children (共同、2020年1月、23th East Asia Forum of Nursing Scholars)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. BMC Health services research (1件、BMC) / 2. 第8回日本公衆衛生看護学会学術集会 (5件) / 3. 日本公衆衛生看護学会誌 (1件) / 4. Public Health Nursing (1件)

＜学会役員就任状況＞日本公衆衛生看護学会(論文査読委員) / 北海道公衆衛生学会(評議員)

＜学術集会運営＞日本小児看護学会第29回学術集会実行委員

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会 / 日本地域看護学会 / 日本看護科学学会 / 日本公衆衛生学会 / 日本産業衛生学会 / 日本農村医学会 / 北海道公衆衛生学会

＜講演会・講習会活動＞札幌市立みなみの杜高等支援学校における男子生徒向け性教育「「男性の体」について」(2020年3月6日、札幌市立みなみの杜高等支援学校)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞夏季教員研修会の運営協力「第34回全国保健師教育機関協議会夏季教員研修会」(2019年8月19日) / 北海道東北ブロック会議の開催校「第45回全保教北海道東北ブロック会議および研修会」(2019年8月23日) / 令和元年度第2回新任保健師学習会講師「ケースメソッドで学ぶ公衆衛生看護管理」(2019年12月6日)

村松 真澄

＜学術論文＞1. Development of Human Tongue Model for Mealtime Assistant Training Using Oral Care Simulation Model (共著、2019年8月、Int. J. of Automation Technology、13巻、4号、pp.499-505)

＜その他の論文＞1. 福祉の現場から 口腔介護の基礎技術教育環境充実のための食事介護シミュレーションモデルの開発(解説) (共著、2019年8月、地域ケアリング、21巻、9号、pp.59-61) / 2. 【口腔アセスメントガイド(OAG)を活用したがん患者の口腔ケア】(Part 1) 口腔内の状態を適切にアセスメントするためのOAGの活用 (単著、2019年9月、看護技術、65巻、10号、pp.1064-1067)

＜学会発表＞1. ウェールズにおける高齢者口腔ケアシステムについての視察報告 (共同、2019年4月、第16回日本口腔ケア学会) / 2. 介護福祉施設入所者のオーラル・ディアドコキネシスと内服中の薬剤種類数との関係 (共同、2019年4月、第16回日本口腔ケア学会) / 3. 特別養護老人ホーム入居者の口



腔状態と循環器疾患有無と内服薬数の関連（共同、2019年5月、第55回日本循環器予防学会）／4.介護福祉施設入所者のオーラル・ディアドコキネシスと内服中の薬剤種類数との関係（共同、2019年6月、日本老年看護学会第24回学術集会）／5.介護福祉施設入居者の口腔の状態と機能の実態および口腔指標に関連する要因（共同、2019年6月、日本老年看護学会第24回学術集会）／6.看護系大学基礎教育における認知症をもつ人のケアに関する教育の内容と教育方法－看護系大学教員へのインタビューから－（共同、2019年9月、日本老年看護学会第24回学術集会）／7.介護福祉施設の入居者のOAGと口腔リハビリテーションとの関係（共同、2019年9月、第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会）／8.A地域における介護福祉施設入居者の口腔の状態と機能及び口腔管理の実態（共同、2019年10月、第78回日本公衆衛生学会）／9.介護福祉施設入居者における口腔内アセスメントガイドによるスクリーニングと口腔内指標との関連（共同、2019年12月、第27回日本歯科医療管理学会北海道支部総会・学術大会）／10.Dementia care in undergraduate nursing education: A questionnaire survey among deans in nursing universities（共同、2020年1月、23rd EAST ASIAN FORUM OF NURSING SCHOLARS(EAFONS2020)）

＜学会シンポジウム＞1.シンポジウムII：『多職種間連携に向けた卒前教育を考える』『本学における口腔ケア教育、デザイン学部との連携教育の現状と課題』（単独、2019年8月、第17回日本口腔ケア協会学術大会）／2.デザインと看護との協働 口腔ケアシミュレータとクッションの開発（共同、2019年9月、看護薬理学会シンポジウム）

＜学会招聘講演＞1.特別講演看護学部における口腔ケア教育（単独、2020年3月、北海道医療大学歯学会第38回学術大会）

＜研究会発表等＞1.「口腔ケアが見える化～Oral Assessment Guide(OAG)を使った口腔ケアデータベースの開発～」講演（単独、2019年9月、日本口腔看護研究会）／2.口腔ケアにおける基礎技術を学ぶための口腔ケアシミュレータの開発～高齢者の健康寿命を延ばすためのケア技術向上を目指して～（共同、2019年11月、SCU産学官連携研究発表会）／3.A地域における介護福祉施設入居者の口腔の状態と機能及び口腔管理との関係（共同、2019年11月、SCU産学官連携研究発表会）／4.第9回ハワイ国際交流セミナー&視察研修のセミナー講師（単独、2020年3月、高知大学医学部付属病院がん治療センター）

＜学会座長就任状況＞口演看護2の座長（2019年9月、第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌（1件、日本摂食嚥下リハビリテーション学会）

＜学会役員就任状況＞日本老年看護学会（代議員）／日本摂食嚥下リハビリテーション学会（評議員）／日本口腔ケア学会（評議員）／日本口腔看護研究会（世話人）／日本公衆衛生学会（日本公衆衛生学会モニタリング・レポート委員会）／北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会評議員／日本口腔ケア学会評議員／日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員／日本看護科学学会／日本公衆衛生学会／日本看護管理学会／日本看護教育学会／日本地域看護学会／日本看護技術学会／日本認知症ケア学会／看護理工学会／日本在宅ケア学会／日本看護研究学会／日本老年歯科医学会／日本歯科医学会／北海道歯学会／日本がん看護学会／北海道口腔ケア研究会／日本歯科医療管理学会／日本口腔看護研究会／北海道公衆衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞他職種が学べる内容で企画「第18回北海道口腔ケアセミナー 在宅医療における食のあり方」（2019年5月25日、北海道口腔ケア研究会）／在宅医療カレッジin札幌の現地コーディネータ「本学を会場に企画テーマ：〔住民が自らつくる地域医療のカタチ〕実施した。」（2019年7月27日、在宅医療カレッジ）／研究会の企画・実施「第11回公開研修会嚥下障害患者への食支援・食介入時のリスク管理を考える」（2019年8月31日、飲み込み安心ネット札幌）／口腔ケアの研修会を看護・介護向けに企画実施「第6回北海道地区セミナー食支援、最後まで食べられる口づくりを目指して他研修会講師」（2019年9月14日他、日本口腔看護研究会）／ホームホスピスの始まり、現在、そしてこれから、を企画運営実施「ホームホスピスの始まり、現在、そしてこれから、」（2019年9月15日、小規模ケアホームのケアを考える会）／フィールドクラブと共同開発した車椅子用クッションの展示（2019年9月26日、国際福祉機器展）／看護部職員への教育「看護師が行う一般的な口腔ケア」（2019年12月4日、札幌東徳洲会病院）／食支援研修会「口腔機能と食のケア」（2020年1月17日、特別養護老人ホームあそか、介護関係職員医療連携支援事業口腔ケア実践セ



ミナーin比布) /健康運動指導士および健康運動実践指導者の登録更新に係る単位認定講習会 令和元年度 運動指導従事者研修「介護予防とオーラルフレイル」(2020年2月9日、一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団) /企画等の相談(年間、旭川口腔ケア普及会)

守村 洋

＜学会発表＞1.模擬患者を用いた精神看護学シミュレーション教育における学生の総合的気分状態(共同、2019年6月、日本精神保健看護学会第29回学術集会総会) /2.精神看護学シミュレーション教育を受けることで看護学生が感じたやりがい(共同、2019年6月、日本精神保健看護学会第29回学術集会総会) /3.精神看護学シミュレーション教育における模擬患者養成の検討(共同、2019年6月、日本精神保健看護学会第29回学術集会総会) /4.精神看護学におけるシミュレーション教育の現状と課題(共同、2019年8月、日本看護学教育学会第29回学術集会) /5.大学との連携による遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果(共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会) /6.A大学における精神看護学シミュレーション教育の取り組みと今後の課題(共同、2019年9月、第7回日本シミュレーション医療教育学会) /7.大学と医療機関との連携による中堅看護師研修3年目の評価(共同、2019年12月、日本看護科学学会第39回学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.熊本保健科学大学研究誌(1件)

＜所属学会・研究会＞日本精神保健看護学会/日本看護管理学会/日本シミュレーション医療教育学会/日本看護科学学会/日本救急看護学会/日本看護予防学会/日本うつ看学会/日本看護学教育学会/日本看護シミュレーションラーニング学会/日本社会精神医学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞メンタルヘルス・スペシャリスト養成講座「精神保健」(2019年6月2日、一般社団法人メンタルケア協会) /自殺予防の取組(2019年7月29日、札幌市教育委員会) /「心の健康」編集委員会(2019年8月7日、北海道精神保健協会) /＜社会保険診療報酬算定要件研修＞精神科訪問看護基本療養費算定要件研修(2019年8月9日、北海道看護協会) /精神療養講座「双極性障害について」(2019年8月17日、札幌市精神障害者家族会) /日常生活自立支援事業・生活支援員登録説明会(精神障害)(2019年10月15日、札幌市社会福祉協議会) /自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐための方策について(2019年10月31日、北海道釧路保健所)

伊東 健太郎

＜学術論文＞1.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動ー「まちの健康応援室」継続利用による効果検証(共著、2019年7月、札幌市立大学、13巻、1号、pp.3-15)

＜学会発表＞1.精神看護学シミュレーション教育における模擬患者養成の検討(共同、2019年6月、日本精神保健看護学会第29回学術集会・総会) /2.精神看護学シミュレーション教育を受けることで看護学生が感じたやりがい(共同、2019年6月、日本精神保健看護学会第30回学術集会・総会) /3.模擬患者を用いた精神看護学シミュレーション教育による学生の総合的気分状態ーPOMS2®による経年変化からー(共同、2019年6月、日本精神保健看護学会第31回学術集会・総会) /4.精神看護学におけるシミュレーション教育の現状と課題(共同、2019年8月、日本看護学教育学会第29回学術集会) /5.A大学における精神看護学シミュレーション教育の取り組みと今後の課題(共同、2019年9月、第7回日本シミュレーション医療教育学会学術大会)

＜学術集会運営＞日本心理教育・家族ネットワーク第23回研究集会 準備活動

＜所属学会・研究会＞日本精神保健看護学会/日本看護科学学会/日本看護教育学会/日本自殺予防学会/日本社会精神医学会/日本看護研究学会/日本看護学会/日本シミュレーション医療教育学会/日本看護シミュレーションラーニング学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞当事者研究北海道大会ネットワーク運営の支援(2019年4月～8月、北海道当事者研究ネットワーク) /保健師、精神保健福祉士へ精神障害者支援のための研修(2019年10月17日、むつみ会) /現役看護師を中心とした参加者が当事者研究を行い自身のメンタルヘルスについて分析するための支援(毎月、当事者研究会「ぱちぱちの会」) /医療職者が当事者研究を行い、生きづらさについて共有し分かち合う会の支援(毎月、当事者研究「Supaの会」)

工藤 京子

＜学会発表＞1.応急仮設住宅の音環境(単独、2020年2月、第25回日本災害医学会総会・学術集会)



＜研究会発表等＞1.胆振東部地震の寒冷地仕様仮設住宅における音環境の調査（単独、2019年11月、SCU産学官金研究交流会）

＜学会役員就任状況＞日本看護研究学会北海道地方会（事務局、会計）

＜学術集会運営＞日本看護研究学会北海道地方会シンポジウム事務局、会計（2019/07/28）／日本小児看護学会第29回学術集会運営（2019/08/4）

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本呼吸ケア・リハビリテーション学会／日本看護研究学会／日本慢性看護学会／日本看護管理学会／日本看護技術学会／日本認知症ケア学会／日本災害医学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞中堅看護師研修コースの指導、授業への参加、OSCE課題作成指導「中堅看護師ステップアップ研修(全6回)」（2019年4月～6月、2019年8月～2020年2月、手稲溪仁会病院）／北海道介護福祉士会4支部合同研修会にて講演（被災地での支援活動）「北海道介護福祉士会4支部合同研修会（苫小牧）」（2019年9月29日、北海道介護福祉士会）

黒田 紀子

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本新生児看護学会(査読責任者)（40件、第30回日本新生児看護学会）

＜学術集会運営＞第29回日本小児看護学会／第30回日本新生児看護学会 準備活動

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞1病棟に対する研究支援（1年間を通じて対面、メール等での研究支援）（2019年7月29日～2020年3月31日まで、札幌厚生病院）

高橋 奈美

＜学術論文＞1.慢性疾患患者における生命維持療法の意思決定支援に関する看護師の問題意識（共著、2019年12月、日本慢性看護学会誌、13巻、2号、pp.74-81）

＜著書＞1.ナース・グラフィカ成人看護学⑤リハビリテーション看護（共著、2020年1月、メディカ出版、978-4-8404-5377-6、pp.248-257）

＜その他の論文＞1.高度実践看護師が行う看護研究-EBPの取り組みから新たな知見を創造する（共著、2020年3月、日本CNS看護学会誌、6巻、pp.1-3）

＜学会発表＞1.在宅看護のイメージ促進を目的とした模擬患者（SP）参加型演習の学生評価（共同、2019年12月、日本看護科学学会）

＜学術集会運営＞日本ニューロサイエンス看護学会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本慢性看護学会／日本難病看護学会／日本CNS看護学会／日本在宅ケア学会／日本在宅看護学会／北海道医療大学看護福祉学部学会

＜講演会・講習会活動＞札幌市立大学 専門セミナー訪問看護スキルアップ講座 2019訪問看護のフィジカルアセスメント～お腹を診る看る～（2020年11月9日、在宅看護学領域）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌ALS地域医療連携講演会（2020年10月16日、田辺三菱製薬会社）

武富 貴久子

＜学会発表＞1.理論と実践のギャップにおける教育的課題の探究（共同、2019年7月、第51回日本医学教育学会大会）／2.看護職のHealthy Work Environment特性の解明に向けた前向き研究（第3報）（共同、2019年10月、第78回日本公衆衛生学会総会）／3.看護師長がマネジメントにおいて感じる困難とその要因および精神的健康との関連（共同、2019年11月、第57回日本医療・病院管理学会学術総会総会）／4.The theory-practice gap in nursing education; A systematic review focused on the academic and clinical education（共同、2020年2月、The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science）／5.A synergic affect of passive smoking and having dog on pediatric asthma in Japan（共同、2020年2月、The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science）

＜学会シンポジウム＞1.マネジャーの孤独感は和らぐか：看護組織におけるマネジメント力育成に向けた協働学習の可能性（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会）

＜学会役員就任状況＞日本看護科学学会（看護倫理検討委員会委員（会計））／日本看護学教育学会（看護学教育制度委員会委員）



＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護教育学学会／日本看護研究学会／日本医学教育学会／日本医療・病院管理学会／日本血管看護研究会／日本公衆衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞副部長研修企画・運営、研修会による講師「ステップアップ！プレマネージャーの実践リフレクション」（2019年7月8日～2020年2月12日、看護コンソーシアム部門）／看護研究指導および看護研究研修会講師「看護研究の実際」（2019年7月20日～2020年2月14日、砂川市立病院）／標準模擬患者指導（2019年9月14日、2019年10月5日、北海道大学医学部）／研究グループへのアドバイス（2020年11月30日、町立中標津病院）

原井 美佳

＜学術論文＞1.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動ー「まちの健康応援室」継続利用による効果検証ー（共著、2019年6月、札幌市立大学研究論文集2019、13巻、1号、pp.3-15）／2.Doctors' contributions to primary care in outpatient clinics in depopulated areas within Hokkaido（共著、2020年2月、Journal of Rural Medicine、15巻、1号、pp.16-24）／3.多世代間交流にの前後における高齢者イメージの変容ー「食」に関するワークショップを通してー（共著、2020年3月、北海道公衆衛生学雑誌、33巻、2号、pp.79-83）

＜実務関係報告書＞1.2019年度札幌市立大学看護学部キャリア支援委員会活動報告書（共著、2020年3月、札幌市立大学）

＜実践報告書＞1.寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発 第4回いきいき健康塾 報告書（共著、2020年2月、札幌市立大学）

＜学会発表＞1.地域に居住する後期高齢者の女性の尿失禁の有訴率および生活への影響の程度についての検討（共同、2019年6月、第32回日本老年泌尿器科学会）／2.Relationship between urinary incontinence and level of certification of long-term care needs of community-dwelling latter-stage elderly women in Northern Japan（共同、2019年9月、ICS2019)International Continence Society）／3.学官連携による健康啓発事業ー寒冷過疎の地域の高齢者を対象とした継続的な取り組みー（共同、2019年10月、第78回日本公衆衛生学会総会）

＜研究会発表等＞1.大学と町の協働による特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発（共同、2019年11月、第9回SCU産学官金研究交流会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.札幌市立大学研究論文集2020（1件）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議委員）

＜学術集会運営＞日本小児看護学会第29回学術集会の運営補助（2019/8/3-8/4）

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会／日本老年泌尿器科学会／日本排尿機能学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本農村医学会／日本認知症ケア学会／札幌市介護支援専門員連絡協議会／全国福祉用具専門相談員協会／日本産業カウンセラー協会／日本コンチネンス協会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究支援「ラダーⅣ 看護研究の講師」（2020年7月29日、11月14日、JA北海道厚生連帯広厚生病院）

檜山 明子

＜学術論文＞1.A SURVEY OF THE IMPLEMENTATION AND CHARACTERISTICS OF FALL PREVENTION IN HOSPITALIZED PATIENTS（共著、2019年6月、Journal of Medical Safety、2019巻、pp.18-25）／2.The Relationship between the Usability of Fall Prevention Tools and Characteristics of Nurses（単著、2019年9月、International Journal of Nursing、6巻、1号、pp.99-106）／3.A survey of clinical nurses' research needs for research support from university faculty（共著、2019年11月、Journal of Nursing Education and Practice、10巻、2号、pp.62-69）

＜学会発表＞1.Measurement of the Errors between the Estimated Reach Distance to an Object and the Actual Distance of Movement（単独、2019年7月、International Conference on Social Science and Business）／2.Hierarchical organization of nurse decisions and priorities for fall prevention（共同、2019年8月、4th Nursing World Conference）／3.看護実践において身体拘束を行わないための工夫（共同、2019年11月、第39回日本看護科学学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.看護総合科学研究会誌（1件、看護総合科学研究会）



＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本看護倫理学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／看護総合科学研究会／北のケア環境研究会／日本看護技術学会／日本医療・病院管理学会／日本看護管理学会／日本精神保健看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究方法講師「看護研究研修」（2019年6月10日～8月8日、北榆病院）／看護理論講師「看護論演習」（2019年6月18日～7月19日、北海道看護協会）／運営委員（事務局）（北のケア環境研究会）／運営委員（事務局）（日本看護研究学会北海道地方会）

森川 由紀

＜学会座長就任状況＞学術集会研究発表座長（単独、2019年10月、北海道母性衛生学会）

矢野 祐美子

＜学術論文＞1.札幌市の病院における研修実施状況と中堅看護師の受講実態－看護コンソーシアムにおける中堅看護師支援に向けて－（共著、2019年7月、SCU Journal of Design & Nursing、13巻、1号、pp.27-36）／2.大学と医療施設のネットワークを活用した「看護コンソーシアム」構築への基盤作り－中堅看護師研修を中心に－（共著、2019年12月、日本看護管理学会誌、23巻、1号、pp.103-112）

＜学会発表＞1.大学との連携による遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果－第2報：研修2ヵ月後の教育担当者の視点から－（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会）／2.大学との連携による遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果 第1報 看護倫理学の事例分析を学生とともに行って（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会）／3.大学との連携による遠隔授業を用いた研修企画を実施して 中堅看護師の継続教育への認識に視点をあてて（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会）／4.大学との連携による遠隔授業を用いた研修企画を実施して－第2報：教育担当者の継続教育への認識に視点をあてて－（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会）／5.看護基礎教育の学生と中堅看護師がともに事例分析する授業の教育効果 看護倫理学の遠隔授業を行って（共同、2019年8月、日本看護学教育学会第29回学術集会）／6.倫理的感受性のアセスメントの視点と倫理的感受性を高めるアプローチ ～がん看護専門看護師の倫理調整から～（共同、2019年11月、第39回日本看護科学学会学術集会）／7.大学と医療機関との連携による中堅看護師研修3年目の評価（共同、2019年11月、第39回日本看護科学学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.「研究報告」の流儀と「実践報告」の流儀 ～看護管理の「実践知（アート）」から導かれる「科学知（テクノロジー）」～（共同、2019年8月、第23回日本看護管理学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞日本看護管理学会（学術活動推進委員）

＜学術集会運営＞日本看護管理学会 例会in北海道／日本看護管理学会 例会in東海

＜所属学会・研究会＞日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本看護評価学会／日本医療・病院管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞実習指導者研修1・プリセプター研修1（2020年1月28日、苫小牧市立病院）

山本 真由美

＜調査研究報告書＞1.看護実践能力を向上させるための教材開発と評価（科研番号16K11948）（単著、2019年4月、札幌市立大学看護学部山本真由美、pp.1-22）

＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本母性衛生学会／日本看護科学学会／日本看護管理学会／日本看護学教育学会／日本看護研究学会／日本看護技術学会／日本看護理工学会／北海道母性衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道看護教育施設協議会札幌地区のメンバーとして活動「奇数月第3火曜日に活動」（2020年7月16日他、北海道看護教育施設協議会札幌地区）／北海道看護協会第1支部助産師職能委員「母体死亡事例、新生児フィジカルアセスメント」（2020年7月20日、公益社団法人北海道看護協会、北海道看護協会第1支部助産師職能）

石引 かずみ

＜論文査読・学会抄録査読＞1.第30回 日本新生児看護学会学術集会（10件、日本新生児看護学会）



＜学術集会運営＞日本看護研究学会 北海道地方シンポジウム講演／日本小児看護学会 第29回学術集会実行委員

＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本母性衛生学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本フォレンジック看護学会

鬼塚 美玲

＜学会発表＞1.母親役割を持つ看護師のワーク・ファミリー・コンフリクトにおける因果関係モデルの検証（単独、2019年7月、第21回日本医療マネジメント学会学術総会）／2.母親役割を持つ看護師のワーク・ファミリー・コンフリクトの特徴（単独、2019年11月、第67回職業・災害医学会学術集会）

＜学術集会運営＞日本小児看護学会第29回学術集会

＜所属学会・研究会＞日本防衛衛生学会／日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本統合医療学会／日本医療マネジメント学会／日本職業・災害医学会／日本災害看護学会

柏倉 大作

＜学会発表＞1.TeamSTEPS®における主観的チームワーク調査票日本語版の開発（共同、第39回日本看護科学学会学術集会）

＜学術集会運営＞日本緩和医療学会第2回北海道支部大会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本看護技術学会／日本看護理工学会／北海道クリティカルケア研究会

近藤 圭子

＜学術論文＞1.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動 「まちの健康応援室」継続利用による効果検証（共著、2019年7月、SCU Journal of Design & Nursing、13巻、1号、pp.3-15）

＜その他の論文＞1.小児看護「小児看護OSCEの実践とその評価」（共著、2019年8月、へるす出版、pp.1145-1150）

＜学会発表＞1.学官連携による健康啓発事業 寒冷過疎の地域の高齢者を対象とした継続的な取り組み（共同、2019年10月、第78回日本公衆衛生学会総会）／2.Understanding the health, medical, and welfare needs of older adults living in the community（共同、2020年1月、23rd East Asian Forum of Nursing Scholars）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜学術集会運営＞日本小児看護学会

＜所属学会・研究会＞日本プライマリケア連合学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生看護学会／日本在宅ケア学会／日本看護科学学会

渋谷 友紀

＜学会発表＞1.看護師養成所における「看護研究の教育」の現状と教員の意識（共同、2019年8月、日本看護学教育学会）／2.教員自身の研究活動と看護研究の教育に対する教員の意識-北海道の3年課程看護師養成所における調査-（共同、2019年11月、日本看護科学学会）

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本看護科学学会

田仲 里江

＜学術論文＞1.地域保健活動の推進に活用できるソーシャル・キャピタル測定尺度(SC-20)使用ガイド（共著、2020年3月、北海道公衆衛生学雑誌、33巻、2号、pp.107-111）／2.日本のフォレンジック看護教育におけるシラバスの検討(Construction of Syllabi for Forensic Nursing Education in Japan)（共著、2020年3月、日本フォレンジック看護学会誌、6巻、2号、pp.29-46）

＜学会発表＞1.学生が看護師とともに学んだ授業の意味 看護倫理学の授業を遠隔地とつないだ教育実践から（共同、2019年8月、日本看護学教育学会）／2.大学との連携による遠隔授業を用いた研修企画を実施して ー第2報:教育担当者の継続教育への認識に視点をあてて（共同、2019年8月、日本看護管理学会）／3.大学との連携による遠隔授業を用いた研修企画を実施して 中堅看護師の継続教育への認



識に視点をあて（共同、2019年8月、日本看護管理学会）／4.大学との連携による遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果－学生とともに看護倫理学の事例分析を行って－（共同、2019年8月、日本看護管理学会）／5.大学との連携による遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果－第2報 研修2か月後の教育担当者の視点から－（共同、2019年8月、日本看護管理学会）／6.大学と医療機関との連携による中堅看護師研修3年目の評価（共同、2019年11月、日本看護科学学会）／7.都市部の高齢者を対象とした地域のサポート活動 第1報 見守りの構造（共同、2020年1月、日本公衆衛生看護学会）／8.都市部の高齢者を対象とした地域住民主体のサポート活動 第2報 活動の困難と期待（共同、2020年1月、日本公衆衛生看護学会）／9.子どもの貧困」対策に行政保健師ができること、これからの課題 WS（共同、2020年1月、日本公衆衛生看護学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（北海道公衆衛生学会評議員 2020年11月30日まで）

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本学校保健学会／看護総合科学研究会／日本統合医療学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道大学医学部医学科で医療系大学間共用試験実施評価機構医学系臨床実習前OSCEを実施する標準模擬患者指導教員の派遣「北海道大学医学部医学科で医療系大学間共用試験実施評価機構医学系臨床実習前OSCE」（2019年10月5日、北海道大学医学部医学科）／中堅看護師研修2（道東・札幌圏の看護師への研修）の企画・運営に従事し、講師を担った。中堅看護師研修2（札幌圏の看護師への研修）の企画、運営に従事した。副師長研修の企画、運営に従事した。「中堅看護師研修1「“教える”と“学ぶ”のコミュニケーション」」（2019年10月～2020年2月、看護コンソーシアム中堅看護師ワーキング）／中堅看護師研修2（道東・札幌圏の看護師への研修）の企画・運営に従事し、講師を担った。中堅看護師研修1（札幌圏の看護師への研修）の企画、運営に従事した。副師長研修の企画、運営に従事した。「中堅看護師研修2「看護における健康教育」」（2019年11月～2020年2月、看護コンソーシアム中堅看護師ワーキング）／中堅看護師研修2（道東・札幌圏の看護師への研修）の企画・運営に従事し、講師を担った。中堅看護師研修3（札幌圏の看護師への研修）の企画、運営に従事した。副師長研修の企画、運営に従事した。「副師長研修会「ステップアップ！プレマネージャーの実践リフレクション」」（2019年12月～2020年2月、看護コンソーシアム中堅看護師ワーキング）

牧田 靖子

＜その他の論文＞1.医療的ケアが必要となった子どもと家族への支援（単著、2019年7月、「小児看護」へるす出版、42巻、8号、pp.1042-1049）／2.小児看護OSCEの流れ（共著、2019年8月、「小児看護」へるす出版、42巻、9号、pp.1082-1083）／3.発熱のため小児科外来を受診した乳児のトリアージ（共著、2019年8月、「小児看護」へるす出版、42巻、9号、pp.1128-1131）

＜学会発表＞1.モンゴル国における発育性股関節脱臼の予防ケアの実践－技術移転から国際連携へ（共同、2019年8月、日本小児看護学会）

＜学術集会運営＞日本小児看護学会第29回学術集会

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本小児救急医学会／日本小児集中治療研究会／日本子ども虐待防止学会／日本糖尿病・教育看護学会／日本看護学教育学会／北海道子どもの虐待防止協会／北海道地域医療研究会／北海道成育看護研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道内の看護師、助産師、保健師を対象に点滴固定方法の検討「小児の特性に応じた安全・安楽な末梢静脈血管留置カテーテルの管理」（2019年10月4日、小児周産期ケア検討会）

大友 舞

＜学会発表＞1.Oral health promotion during pregnancy: a systematic review（共同、2020年2月、第6回世界看護科学学会）

＜学術集会運営＞日本小児看護学会第29回学術集会

＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本母性衛生学会／日本看護科学学会／日本口腔衛生学会／日本小児看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道大学において新生児蘇生法Sコースインストラクターを



担当した。市立札幌病院において、新生児蘇生法SコースとAコースのインストラクターを担当した。
「新生児蘇生法講習会 Sコース（北海道大学）、新生児蘇生法講習会SコースとAコース（市立札幌病院）」（2019年10月12日と20日 両日とも1日間、一般社団法人 日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法講習会）

高橋 葉子

＜学会発表＞1.Hierarchical organization of nurse decisions and priorities for fall prevention（共同、2019年8月、4th Nursing World Conference）／2.看護実践において身体拘束を行わないための工夫（共同、2019年11月、日本看護科学学会）

＜学術集会運営＞日本看護研究学会北海道地方会2019年度シンポジウム

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本看護技術学会／日本母乳哺育学会／日本新生児看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞事務局運営（2019年4月～2020年3月、日本看護研究学会北海道地方会）

中田 亜由美

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本在宅ケア学会／日本公衆衛生学会／日本小児保健協会／北海道成育看護研究会／看護総合科学研究会／日本老年看護学会

「札幌市立大学のシンボルマークについて」

札幌市立大学のシンボルマークは、
英国の著名なクリエイティブグループtomatoの
ジョン・ワーウィッカー氏によってデザインされました。
雪の結晶のイメージは、札幌の自然環境を特徴づけると共に、
大学での学習過程を図像的にあらわしたものです。(登録商標)



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

札幌市立大学年報 2019年度 第14号

編 集 広報室

担 当 事 務 経営企画課

発 行 日 2020年12月1日

発 行 行 札幌市立大学

〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 FAX : 011-592-2369

URL <https://www.scu.ac.jp>